

ざぶ水を浴びる」嘩拉嘩拉的澆水②灌了灌蕩的「汁がざぶざぶして居る」湯灌了灌蕩的

ざぶし雑仕(色) ①管雜務②做菜飯的事情

ざぶする雑炊(色) 湯飯

ざぶだん 雜談(色) 閒談

ざぶとん 坐蒲團(色) 坐褥子、墊子

ざぶに 雜煮(色) 攔年糕青菜的湯

ざぶに 挿入(色) 挿、挿入、挿進去、挿在裡頭(挿入紙) 挿入紙、挿紙、挿入之空白紙葉

ざぶにん 雜人(色) 賤人

ざぶひやう 雜兵(色) 歩兵

ざぶもつ 雜物(色) ①零碎東西②零碎兒(兒ノ雜)

ざぶやく 雜役(色) 雜役

ざぶよう 雜用(色) ①零碎事情②零碎費用、日中費用

ざぶらふ 候フ(四段自動) 與ます同、尺牘常用此語「昨日御手紙拜見仕り候」昨接雲翰

ざぶらふ侍フ(四段自動) ①服侍、伺候②與さぶらふ同

ザフラン 帕夫藍(色) (Zafran) 藏紅花、番紅花、帕夫蘭

ざぶり(副) 撲燈的「ざぶりと河に落ちた」撲燈的一聲掉在河裡頭了

ざへ(動) ①只要「金さへあれば何でも思ふままになる」只要有錢甚麼事都沒有不順心的「人は正

直でさへあればよい」人只要實誠就行了②連……也「今日は天氣がよくて一點の雲さへ無い」今天氣很好連一點雲彩也沒有「貴下にさへ出来ない事を私にどうして出来ませう」連您也不能辦的事我那兒能辦的呢③而且、尙且「聖人でさへ過がある」聖人尙且還有錯兒「風が烈しいのに雨さへ加はって来た」風颯的利害而且搭着又下起雨來了④都、也「死さへも恐れない」死我都不怕

ざへぎる 遮ル(四段他動) 擋、遮、攔阻、攔擋、阻擋(擋 bang)

「追割三人道を遮って通さない」三個路却擋着道路不叫我過去

「燈光の前に立って光を遮るな」你別在燈光前頭擋着亮兒(道路を遮る)阻擋道路、攔路(眼界を遮る)擋眼(行手を遮る)攔頭、攔路「輿を遮り直訴する」攔輿告狀、攔輿遞稟(人の話を遮る)攔人的話頭

ざんつ 差別(色) 分別、差別、區別

「差別をつける」分彼此、分厚薄、分上下「差別的待遇」分別待遇、歧視

ざんへぶり 囀(色) ①叫喚的②吵鬧

ざんへづる 囀ル(四段自動) 叫喚、吵鬧

(shoo) ②吵鬧 鳥が囀る」鳥兒叫喚、鳥兒吵

ざんのかみ 道祖神(色) 道祖

ざんし 座星(色) 兜髻之頂子

ザボタージ(色) (Sabotage) 妨業、怠工、怠業、故意懶惰

ざんてん 霸王樹(色) 霸王鞭(扇形ニ)

仙人掌(圓ク)、仙人拳(圓キ)、仙人球(圓)

ざんざ 左様(副) ①不很、不甚(左程暑くはない)不很熱(左程忙しくない)不甚忙②這麼、那麼、如此「左程仰しやるなら仰に従ひませう」您這麼求我就遵命了「私は今の社會が左程まで腐敗して居るとは思はなかつた」我沒想到現在的社會會壞到這步田地

ざんぷ 作法(色) ①規矩、禮法②舉動、行爲

ざんぼる(四段自動) 怠工、怠業、懶

ざま様(色) ①様子、容貌、模樣②方向「横様に置く」横擱着(仰け様に臥る)仰面朝天躺着(見苦しい様)不是様子、不像様子

ざま狭間(色) ①縫兒②箭眼、砲眼

ざま様(接尾) ①稱呼人之敬語、老爺、先生、大人(某様)某先生、某老爺、某大人(皆様)諸位、列位、衆位、諸君(貴下様)您、閣下、老兄、兄臺(父上様)父親大人(自分ノ父)、令尊大人(他人ノ父)(姉上様)賢姊大人(叔父上様)叔父大人②添在語尾表恭敬之意「御苦勞様」勞駕勞駕「御待遠様」受等受等「御草草様」實在簡慢「御粗末様」草率不恭

ざま様(色) 様子「見られた様では

ない「不像様子」(様見る)「你瞧是
不是」
さまかたち様形(名) 様子、容貌、
さまざま様様(副) 各様、各色、雜
様、多様、各式各様兒、多種多
様、種種
さます冷ス(四段他動) ①涼「湯を冷
す」涼開水②敗、掃「興を冷す」
敗興、掃興
さます覺ス・醒ス(四段他動) 醒「目を
醒す」睡醒了「醉を醒す」醒酒「迷
を醒す」醒悟
さまたぐ妨グ(下二段他動) 妨、礙、妨
礙、阻碍、耽悞「人の勉強を妨げ
る、妨礙人家用功
さまたげ妨(名) 妨、礙、妨礙、阻
碍、耽悞、糟擾「昨日は上りまし

てお妨しました」昨天上府上去
實在糟擾您了「度度上ってお妨
します」我常來耽悞您的工夫
「往來の妨になる」有礙交通
さまつ 瑣末(名) 細小
さまつ 早松(名) 春天下來的松茸
さまづけ様付(名) 稱呼人用恭敬
語
さまで 然迄(副) 與さほど同
さまよふ 彷徨フ(四段自動) ①流落、
飄流②游移③逍遙、遊迹
さみし 淋シ・寂シ(形志久語) 與さび
し同
さみす 貶ス(左段他動) 藐視、瞧不上
さみせん 三味線(名) 絃子「三味線
をひく」彈絃子「三味線の絃」絃子の
絃子の絃「三味線の駒」絃子の

馬兒「三味線の駒」絃子鼓兒「三
味線の棹」絃子把兒「三味線彈」
(ヒキ)彈絃子的
さみだれ 五月雨(名) 連陰雨
さむ覺ム・醒ム(下二段自動) 醒「夢が
さめる」醒了夢了「醉がさめる」
酒醒了「迷がさめる」醒悟了「目
がさめる」睡醒
さむ冷ム(下二段自動) ①涼「湯がさめ
る」開水凉了②落「色が冷める」
顔色落了③敗、掃「興が冷める」
敗興、掃興④退「熱が冷める」退
了燒了⑤冷淡「初は頗る熱心だっ
たが今は大分冷めた」當初很熱
心的様子可是現在很冷淡了
さむがる 寒ル(四段自動) 怕冷
さむけ 寒氣(名) 冷「寒氣がする」發

さむけだつ 寒立ツ(四段自動) 冷起
さむさ寒(名) 冷、寒「寒が烈しい」
冷的利害
さむし 寒シ(形久語) 寒、冷
「さむし 淋シ・寂シ(形志久語) 與さ
びし同
さむそら 寒空(名) 寒天、冷天
さむらひ 士(名) 士、士人
さめ白眼(名) 粉眼兒
さめ鯨・鯨(名) 海鯨魚
さめざめ 潜潜(副) 潜然 「皮兒
さめはだ 鯨肌(名) 像鯨草似的肉
さも(副) 實在、很「さも面白さう
に笑ふ」很高興的樣子樂(シヤ)「さ
も似たり」很像似 「任他(詞)
さもあらばあれ 遮莫(副) 遮莫(マ)

さもし(形志久語) 卑賤、卑陋、鄙吝
ざもと 座元(名) 戲館掌櫃的、園
主兒
さもなくば(接) 不然則……
さや 鞘(名) ①刀鞘子②筆帽兒③
差、餘額、賺「鞘を取る」得用錢
「元の鞘に納る」復歸原位
さや 莢(名) 豆莢、豆皮子
さや 紗綾(名) 紗「紗綾形」(ガタ) 萬
字不到頭、萬不斷
さやあて 鞘當(名) 爭風
さやいんげん 莢隱元(名) 扁豆
さやう 左様(副) ①那麼、這樣樣
「それでは左様致しませう」那麼
就這麼辦罷「左様ですか」是麼
②不錯、對了「左様ですお説」の
通りです」不錯您說的對了③承

問「貴下は英國に何年居ました
か」您在英國有幾年了「左様六
年ばかり居ました」承問大約有
六年了「左様なら」再見再見、明
天見、改天見
さやか 明カ(副) 分明、明白、清楚
「明かに見えない」看不清楚
ざやく 坐藥(名) 坐藥
さやくち 鞘口(名) 刀鞘子口
さやばしる 鞘走る(四段自動) 出鞘
さやまめ 莢豆(名) 與次語同
さやゑんどう 莢豌豆(名) 帶皮兒
さゆ 白湯(名) 白開水 「的豌豆
さゆ 汗ユ(下二段自動) ①冷、沍寒②
澄明③熟練
さよ 小夜(名) 夜、夜裡
さよう 作用(名) 作用、動作、工作

〔反應作用〕(ハン) 反應作用〔消化作用〕(セウク) 消化工作〔化學的作用〕(ケイガク) 化學的作用〔作用する〕(テキ) 起反應、於某物質生影響〔酸類は金屬に作用を及ぼす〕 酸類反應於金屬

さよく左翼(名) 左翼

さら皿(名) ①盤子、碟子(小) ②磁膝蓋兒〔コーヒ皿〕茶托、茶碟〔文具皿〕文具盤、都盛盤〔現象皿〕(ウザラ) 洗相片盤、洗片盤

(さら) 新(名) 新的

(ざら) (名) 大概齊的、一概

さらいげつ 再來月(名) 下月

さらいねん 再來年(名) 後年

(さら) けだす (四段他動) ①開言吐語、直言不諱、把心事合盤托

出、一點兒也不避諱、簡直的說出來 ②全都騰出來(箱ノ中ノ物ナド) さらさら更紗(名) 花洋布、印花布

(さらさら) (副) ①嘩拉嘩拉的(さらさらと流れる) 水嘩拉嘩拉的流(珠数をさらさらともむ) 把數珠嘩拉嘩拉的揉 ②乾乾淨淨的〔髪がさらさらする〕頭髮乾乾淨淨的 ③趨筆(さらさらと書く) 趨筆而寫

さらさら更更(副) 毫無、一點兒也(沒)〔更更覺がない〕一點兒也不理會

ざらざら(副) 粗〔此紙はざらざらして居る〕這張紙很粗

さらし晒(名) ①晒、曬 ②漂、漂晒 ③漂白布 ④梟首

さらしくび晒首(名) 梟首

さらし二晒粉(名) 漂白粉、漂白藥、漂粉

さらしもめん晒木綿(名) 漂白布

さらしや晒屋(名) ①漂布的 ②漂布場

さらす晒ス(四段他動) ①晒、曬(日光に晒す) 在日光底下晒、在太陽地曬 ②暴露(屍を晒す) 暴露於風雨 ③漂白、漂晒(木綿を晒す) 漂白綿花布〔奇麗に晒す〕漂淨了、漂白了 ④梟首〔恥を晒す〕丟臉

さらすば不然者(接) 不然則、不然(それうじゆ) 婆羅雙樹(名) 婆羅雙樹、波羅雙樹

サラダ(名) (Salad) ①生菜 ②生菜食品〔サラダ油〕生菜油

さらち新地(名) 空地

(ざら) つく (四段自動)

さらでだに(副) 與さなきだに同

さらなり(句) 不用說、不必說、那還用說麼

さらに更ニ(副) ①一點兒也(不、毫(無)、總(不)、決(不)〔私は更に知らなかった〕我總沒知道 ②再、又、從新〔更に改めてする〕從新改做 ③更〔更に好い〕更好 〔更に云はず〕不用說

さらぬがほ不然顔(名) 粧做沒事人兒似的

さらぬだに(副) 與さなきだに同

さらぬてい不然體(名) 與さらぬ

がほ同

さらば然バ(接) 然則、那麼(然ば私もお暇致さう) 那麼我也要告假了

さらば(感) 再見再見、改天見

さらばかり皿秤(名) 盤秤

さらひ竹杷(名) 竹把子

さらひ復習(名) 溫習

さらひ復習(名) 溫習

さらひ浚(名) ①淘、浚 ②掃

さらふ復習フ(四段他動) 溫習、練、演試〔昨日の課業を復習ふ〕溫習

さらふ功課〔芝居をさらへる〕演練、演戲、演練戲劇

さらふ浚フ・漂フ(四段他動) 浚、漂、淘、挑挖〔井戸を浚へる〕淘井〔壕を浚へる〕挑挖河〔溝を漂へる〕

淘溝

さらふ攫フ(四段他動) ①抄〔鳥が肉を攫へる〕鳥兒抄一塊肉 ②使絆子〔足を攫へる〕腳底下使絆子

さらへ竹杷(名) 與さらひ同

さらまはし皿廻(名) 耍盤子的

ざらめ粗目(名) 糖霜

さらりと(副) 淳然(ポ)〔さらりと過を改めた〕淳然改過

さり然リ(四段自動) 然〔さりとして〕雖然、可是〔さりながら〕然、可是

ざり砂利(名) 砂石〔砂利を敷く〕鋪砂石

ざり(助動ザラ・ザリ・ザル・ザレ) 不、沒

ざりがたし去難シ(形久活) ①難走

②躲不了〔去難き用事がある〕有

要緊的事情、有必得要辦的事
情

さりげなし(形久語) 沒有……的

様子、假粧沒事人兒似的

さりじやう去狀(名) 休書、休帖

サリシル酸(名) 柳酸、水楊酸

さりとして(接) 雖然這樣、可是

さりながら(接) 雖然、可是

さる猿(名) 猿、猿、猴兒(手長猿)

さる申(名) 申 「長臂猿」

さる去ル(四段他動) 去、離(相去る)

と遠からず」相去不遠(今を去る

五十年前) 離現在前五十年(世

を去る) 去世

さる去ル(四段他動) 去(妻を去る) 去

妻(官を去る) 去官

さる曝ル(下二段自動) 曝露

さる(接) ①某、有(さる人)某人、

有人 ②這麼樣、那麼樣、如此

「さる事なし」沒這麼樣的事

ざる箆(名) 箕子、箆(shoo) 箆

ざる戲ル(下二段自動) ①戲、調戲

(Fido) 女に戯れる」調戲女人

撲(犬が人に戯れる) 狗撲人

さるがしこし猿賢シ(形久語) 小

慧、小聰明

さるぐつわ猿響(名) 撐口具、口

銜、塞口的布、堵嘴的物(猿響を

はめる) 上撐口具、用布堵嘴、塞

綿花

さる二猿子(名) 坎肩兒

(ざる) 箆(名) 臭棋、屎棋

さるしばる猿芝居(名) 耍猴兒

さるぢる猿智慧(名) 小智謀

さるつかひ猿遣(名) 耍猴兒的

さるに然(接) 然、然而 「眼

さるのこしかけ猿腰掛(名) 胡孫

さるひき猿牽(名) 耍猴兒的

さるほどに然程(接) 這個時候、

這個當兒

さるまた猿股(名) 褲叉(ol's) 兒

(さるま) 猿松(名) 多嘴多舌的人

さるまはし猿廻(名) 凹眼睛

さるみみ箆耳(名) 耍猴兒的

さるもの然者(名) 有名的、有能

耐的、老手 「聰明

さるりこう猿利口(名) 小慧、小

され戲(名) 玩兒、玩耍、談諧

されかうべ鬮體(名) 鬮體骨

されき砂磔(名) 砂石

ざれごと(戲言) 玩耍的話、談

諧的話

され(接) 然、可是、雖然(屢訪

れたされど不在だった) 屢次過訪

然沒在家

されば(接) 故此、所以

(ざれもの戯者) 愛談諧的人、

玩耍的人

ざろん座論(名) 座上空論

さわ茶話(名) 茶話、品茶談話(茶

話會) 茶話會

さわがし騒シ(形志久語) ①擾亂、鬧

「世の中が騒しい」世上擾亂

② 嚷、喧嚷、吵鬧、喧吵、喧鬧、喧

鬧(表で騒しいのは何ですか) 外

頭嚷嚷(jang) 的甚麼(やう騒

しくしないで静にしなさい) 你別

されさわ

這麼喧嚷(jang) 靜靜兒的罷(銅

鑼や大鼓で騒しい) 鑼鼓喧鬧

③ 興起來、轟然(輿論が騒しくなっ

て来た) 輿論轟起來了

さわがす騒ス(四段他動) ①擾、攪、

滋擾、騷擾 ②驚動

さわがせる騒セル(上一段他動) 同上

さわぎ騒(名) ①亂、騷擾、風潮

② 嚷嚷、吵鬧、喧鬧

さわぐ騒グ(四段自動) ①嚷嚷、喧

嚷、吵鬧、喧鬧、喧吵(酒を飲ん

で騒ぐ) 喝酒嚷鬧喝喝的(がや

がや騒ぐ) 喧嘩、喧吵、喧嚷、吵

鬧、嚷鬧(彼等は何を騒いで居る

のです) 他們嚷鬧甚麼(飲めや歌

へで大に騒ぐ) 你喝我唱的興高

彩烈 ②起風潮、鬧(學生が又騒

ざわさわ

ざだした) 學生們又鬧起來了、

學生們又起了風潮了 ③ 心驚、

慌(心が騒ぐ) 肉跳心驚(ちつとも

騒がす) 一點兒也不慌

さわさわ騒騒(副) 騷然、慌(氣が

さわさわする) 慌神

ざわざわ騒騒(副) 同上 「清楚

さわやか爽(名) ①爽快、痛快

さる差違(名) 差、差別

さる座位(名) 座位

さるん菜園(名) 菜園子

さを竿(名) ①竿、杆 ②棹 ③衣櫃

之陪幫字(算筒一竿) 二頂衣櫃

さをいれ竿入(名) 量地(liang)

丈量地畝

さをさす棹ス(四段自動) 撐、盪

さをしか小男鹿(名) 小公鹿兒

ざわさわ

さきさん

さをだけ竿竹(名) 竹竿子 「了さをだち竿立(名) 馬驚了站起来さをとめ早乙女(名) ①姑娘、閨女、處女②種稻秧子的姑娘さん産(名) ①産、産業②生、生産③産物、出産「恒の産なき者は恒の心なし」無恒産者無恒心(名)「産をする」生小孩子、生子女、生兒女「産が重い」難産「此品は何處の産です」這個東西那兒出産的さん算(名) ①算「算を置く」算卦「算が當る」算的對了②算學「彼は算が上手です」他的算學好③算盤「算を持って下さい」請您拿算盤(名) 讚「算盤算一算さん三(名) 三、三個

さん

さん酸(名) 酸、強子さん棧(名) ①帶(蓋ナドニ)②窓戶檔兒(サド)(Kang?)さん慘(名) 慘さん散(名) 散さん様(名) 稱呼人的恭敬語、先生、兄、翁、君(金さん)金先生(張さん)張兄(裕齋さん)裕翁「お兄さん」令兄「お子さん」令郎さん讒(名) 讒さん殘(名) 殘さん斬(名) 斬さん竄(名) 竄さん慚(名) 慚さんい産衣(名) 毛衫兒さんいつ散逸(名) 散逸さんいん山陰(名) 山陰

さん

さんおき算置(名) 算卦さんか山家(名) 山家さんか山河(名) 山河さんか参加(名) 入在裡頭、入夥さんか山下(名) 山底下さんが参賀(名) 去致賀さんかい山海(名) 山海さんがい三階(名) 三層樓さんがい三界(名) 三界(欲界・色界・無色界)「子・夫婦さんかう三綱(名) 三綱(君臣・父さんかう三更(名) 三更(夜十さんかう参考(名) 参考、備查(参考書)(シ)参考的書、備查的書さんかう参向(名) 赴、趨さんかう殘看(名) 剩菜、剩飯、雜

さん

貨菜、殘席(産)さんかく三角(名) 三角、三角形「三角外交」(ワイカウ)三角外交「三角關係」(ワシケイ)三角關係「三角形」(ケイ)三角形「三角洲」(シウ)三角洲、三稜洲、三江口「三角術」(ジユツ)三角法、八線、三隅量法「三角測量」(クワヤツ)三角測量「三角同盟」(ウメド)三國同盟「三角法」(ハフ)與三角術同さんかく山嶽(名) 山嶽さんかく産額(名) 出産的額數、出頭、産額、産量、所産之量ざんがく殘額(名) 與さんだか同ざんがにち三箇日(名) 正月初一初二初三三天さんかん三韓(名) 高麗

さん

さんかん參看(名) 比照、參看さんかん算勘(名) 用算盤算さんき産期(名) 産期さんぎ算木(名) 算木ざんき慚愧(名) 慚愧、慚惡、慚羞さんきやく三脚(名) 三條腿的「三脚架」(カ)三足架、三條腿的架子「三脚床几」(ヤワシ)三足櫬ざんざり散切(名) 鉸頭髮「散切頭」和尚頭さんきん參勤(名) 年班ざんきん殘金(名) 剩下的錢、剩餘、剩餘金、餘款さんぐ産具(名) 生産所用的東西さんぐう三宮(名) 太皇太后・皇太后・皇后さんぐう參宮(名) 拜伊勢大廟去

さん

さんくわ産科(名) 産科さんくわい散會(名) 散會さんぐわつ三月(名) 三月(三月節句)(セツク)三月節、上巳節さんくわん參觀(名) 參觀ざんげ懺悔(名) 悔悟、悔過、悔罪、懺悔「懺悔話」(バナシ)後悔的話さんけい參詣(名) 拜廟、上廟さんげき慘劇(名) 慘劇「業さんげふ産業(名) 生業、生意、實さんげん三絃(名) 絃子ざんげん讒言(名) 讒言、誹謗、中傷、誣告さんご産後(名) 産後、産褥さんご珊瑚(名) 珊瑚「珊瑚珠」(シユ)珊瑚子

さん

さんこう 參候(名) 伺候
 ざんこく 殘酷(名) 殘酷、殘忍、狠心、凶横、凶惡、凶狠、沒憐恤心
 さんさい 三才(名) 三才(天・地・人)
 さんさい 山妻(名) 賤内
 さんさい 山寨(名) 山寨
 さんざい 散財(名) 花錢
 さんざい 散在(名) 散在
 さんざい 斬罪(名) 斬罪
 さんざく 散策(名) 遊、遊遊、閒步、趨達、散活
 さんざし 山査子(名) 山査、山楂
 さんざつ 慘殺(名) 殘殺
 (さんざ) ばら(副) 與さんざん同
 (さんざん) 散散(副) 亂七八遭、落花流水、利害「散散に敗かされたる」敗的亂七八遭「散散なぐりつ

さん

ける」打了個落花流水「散散頂戴しました」酒足飯飽了「散散吐られた」利害害的被呻吟了一頓
 さんさんくご 三三九度(名) 合卷、交杯酒、交杯盞(三三九度の杯)
 交杯酒、結婚的禮 「五五
 さんさんごご 三三伍伍(名) 三三
 さんし 蠶糸(名) 蠶絲 「鐘
 さんじ 三時(名) 三點鐘、三下兒
 さんじ 産兒(名) 生子女、生兒女、生産兒女、添子女、生産、産子「産兒制限」(イセ) 限止産子、限制生産、生育節制、節育
 さんじ 暫時(名) 暫時、暫且、片時、一會兒「暫時お待ち下さい」請等一會兒

さん

さんしゅう 三秋(名) 三秋「一日三秋の思」一日不見如三秋(冬)
 さんじつ 産室(名) 産房
 さんじふい ちもじ 三十一文字(名) 日本歌
 さんじふろ っけい 三十六計(名) 三十六計「三十六計走るを上策とす」三十六策走是上策、三十六計走爲上計
 さんしやう 三省(名) 三省(Saving?)
 さんじやう 慘狀(名) 慘狀
 さんじやう 山上(名) 山上
 さんじやう 參上(名) 上府上去、拜訪、趨赴尊府「明早朝參上致すべく候」擬于明早親詣尊府(趨赴尊府)

五九四

さん

さんじやく 參酌(名) 參酌
 さんじやく 三尺(名) 三尺(三尺帶)
 (オビ) 襦布「三尺店」(オビ) 小舖子「三尺の童子」(ドウジ) 三尺童子
 さんしゆ 蠶種(名) 蠶種兒
 さんしゆつ 産出(名) 産出、産出
 「貴國ではどの地方から絹絲が産出しますか」貴國甚麼地方産出
 絲呢「産出額」(カ) 産出額、産額、出産的額數
 さんじゆつ 算術(名) 算學
 さんしゆのしんき 三種神器(名) 日本皇室傳來之御寶、八咫鏡・草薙劍・八坂瓊曲玉是也
 さんじよ 山椒(名) 花椒
 さんじよ 産所(名) 與さんしつ同
 さんじよ 賛助(名) 賛助

さん

さんじよ 殘暑(名) 殘暑 「剩餘
 さんじよ 殘剩(名) 下餘、剩下、
 さんじよ 蠶食(名) 蠶食
 さんじよ 産褥(名) 坐月子、産褥「産褥熱」(ネ) 産後熱症、産婦熱症
 さんじよ ばん 三色版(名) 三色版
 さんしん 斬新(名) 斬新、新奇的、新式的、珍奇的、從來未有的
 さんず 散す(佐) 散す「散す」
 消愁釋悶
 さんすくみ 三疎(名) 三不伏「三不伏」
 さんすけ 三助(名) 搓澡的「三言」
 さんすゐ 山水(名) 山水
 さんずゐ 三水(名) 三點水
 さんぜ 三世(名) 三世 「蘇
 さんせい 三聖(名) 孔子・釋迦・耶

さん

さんせい 贊成(名) 贊成、同意、認可、許可「貴下は贊成ですか」您贊成不贊成「彼は私の意見に贊成した」他贊成了我的意見「贊成の意を表する」表明贊成、表明同意「父は此結婚に贊成した」這結婚父母都許可了、做這門親父母都許可了
 さんせい 參政(名) 參政「參政權」
 (ケン) 參政權 「いけ」同
 さんせい 産制(名) 與産兒制限
 さんせう 參照(名) 比照、參看、參照、酌照
 さんせう 山椒(名) 花椒
 さんせう 山椒魚(名) 鯢魚
 さんせん 山川(名) 山川

五九五

さん

さんぜん 潜然(副) 潜然、潜焉
 さんぜん 燦然(名) 燦然 「禪」
 さんぜん 參禪(名) 參禪、出定、坐
 さんぜん 嶄然(名) 嶄然
 さんぜんさんご 産前産後(名) 胎
 前産後
 さんそ 酸素(名) 養氣、氧、氫
 さんぞく 山賊(名) 山賊
 さんぞく 三族(名) 三族(父・子・孫)、三屬
 さんたい 三體(名) 三體字
 さんたい 參内(名) 覲見、陛見
 さんだいせつ 三大節(名) 四方拜
 (正月) 紀元節(二月) 天長節(四月) 上巳節
 さんだいふ 三太夫(名) 管家的、執事的
 さんたう 算當(名) 算、計算

さん

さんだう 參堂(名) 上府上去、赴府、趨府(參堂拜願の上御禮申陳べく候) 躬赴貴府面申謝悃
 さんだう 棧道(名) 棧道
 さんたう 殘黨(名) 餘黨
 さんだか 産高(名) 與さんがく同
 さんだか 殘高(名) 剩餘、盈餘、餘款、餘銀、盈餘額、餘額、餘數
 さんたん 讚嘆(名) 讚嘆
 さんたん 慘澹(名) 慘澹
 さんたん 算段(名) 籌、籌畫、籌策
 (金の算段をする) 籌款項、湊錢、籌款(無理算段をしてやつと金が出來た) 七捩八湊、湊出錢來了
 さんだんろんば 三段論法(名) 三段論法
 段推理法

さん

さんち 產地(名) ①出産的地方 ②生産的地方
 さんち 山地(名) 山地、山多的地
 さんちやう 山頂(名) 山頂兒、山尖、山頭、山峯、山巔
 さんちやく 參着(名) 到、抵、來到
 (參着拂) (払い) 見票即付的(參着拂手形) (ヒラカタ) 即期支票
 さんじよ 三女(名) ①三個姑娘(三人)
 (三) ②三姑娘(三人)
 さんじよ 删除(名) 删除、刪去
 さんてう 參朝(名) 上朝
 さんご 三度(副) 三回、三次
 さんごう 贊同(名) 贊成、贊同(彼の意見に贊同する) 他的意見我贊同
 さんどウイッチ 三度(名) (Sandwich) 夾

五九六

さん

サントニン(名) (Santonia) 菌藻
 精、三多年、珊托寧
 さんなん 三男(名) ①三個兒子(三人)
 ②排三、行三(三番目) 「在裡頭」
 さんにふ 算入(名) 算在裡頭、歸
 さんじん 殘忍(名) 殘忍、殘虐、狠心、兇橫、殘酷、不憐恤的、愛殺的
 さんぬる 去ル(動) 已過的
 さんねん 殘念(名) 可惜、抱歉、遺憾、屈枉、不痛快、不高興、悔恨、惱恨、抱恨(人に罵られて殘念に思ふ) 被人罵覺着不痛快(彼に負けたのが殘念だ) 輸給他實在不痛快 (これは殘念汽車に乗り後れた) 這實在是不高興沒趕上火車(用事があつて殘念ながら

さん

行かれません) 有事不能去實在抱歉 (好い機會を外して殘念だ) 耽悞了好機會實在可惜(試験に不合格で殘念でした) 考試考不中實在的屈枉(未だ參上の暇を得ず殘念に存居候) 未遑趨候雅教款甚教甚
 さんねん 殘年(名) 殘年、殘生
 さんのけ 産氣(名) 覺作 (okui) (産氣がついた) 有覺作
 さんのお 産戸開(名) 産水
 さんば 産婆(名) 收生婆、姥姥(おば)
 (お)、接生婦、穩婆
 さんばい 三拜(名) 三拜
 さんばい 參拜(名) 拜廟、上廟
 さんばい 三盃酢(名) 搦酒和醬油的醋

さん

さんばう 三方(名) 食糧一類
 さんばう 山砲(名) 過山砲
 さんばし 棧橋(名) 碼頭、埠頭(棧橋稅) (ベイ) 碼頭稅
 さんばそう 三番叟(名) 開場的戲
 さんばつ 散髮(名) 絞頭髮、理髮
 (散髮屋) (リ) 剃頭舖、剪髮處、理髮處
 さんばふ 算法(名) 算法 「髮處」
 さんばん 殘飯(名) 殘飯、食殘
 さんび 讚美(名) 讚美(讚美歌) (カ) 聖歌、聖詩、讚美歌
 さんびやうし 三拍子(名) ①用三個樂器找腔調的 ②三件事情(三拍子揃ふ) 三件都具備的
 さんびやく 三百(名) 三百(三百代言) (イケン) 卑劣的律師、訟棍

五九七

さんびん 三品(名) 綿絲綿花綿布
 さんぶ 三府(名) 東京大阪京都
 さんぶ 散布(名) 散布、播散、傳播
 さんぶ 産婦(名) 産婦、産母
 さんぶく 山腹(名) 山坡兒、山腹
 さんぶく 三伏(名) 三伏
 さんぶく 三幅對(名) 三張做
 一幅的對子、三個成一對的
 さんぶつ 産物(名) 出產、産品、産物、物産、生産物〔農産物〕(ノウ)
 農産物〔海産物〕(カイ)海産物、海味〔副産物〕(フク)副産物
 さんぶつ 殘物(名) 剩下的東西
 サンフランシスコ 桑港(名) 舊金山
 さんぶん 散文(名) 散體文、常文
 さんべい 散兵(名) 散兵布陣〔散兵

線(セン)散兵線 「おかめ同
 さんべいにまん 三平二滿(名) 與
 さんほ 散步(名) 遊、閒步、趨達、
 散活、散步、出游、散步逍遙、繞
 灣兒去
 さんほう 參謀(名) 參謀〔參謀官〕
 (クワン)參謀官〔參謀總長〕(ウチャウ)
 管理軍諮處事務(ワ)參謀總長
 (ニ)參謀長(チャウ)參謀長〔參謀本部〕
 (ホシ)軍諮處(ワ)參謀本部
 (四)參謀本部
 さんほんじろ 三盆白(名) 白糖
 さんまい 三味(名) ①三味 ②專心、
 一心一意的
 さんまいがさね 三枚襲(名) 日本
 禮服之名、套上三件衣裳故名
 さんまた 三股(名) 杈子

さんまん 散漫(名) ①放肆、放縱
 ②散心、心意散蕩
 さんみ 酸味(名) 酸味
 さんみやく 山脈(名) 山脈 「務
 ざんむ 殘務(名) 未結的任務、餘
 さんめん 三面(名) ①三面 ②新報
 上の雜記〔三面記事〕(キジ)同上
 さんもん 山門(名) 山門
 さんもん 三文(名) 三文〔三文の價
 もない〕三(さん)大也不值
 さんや 山野(名) 山野
 さんやう 山陽(名) 山陽
 さんやく 散藥(名) 散藥、藥粉、藥
 末、藥麩子
 さんよ 參與(名) 參與
 ざんよ 殘餘(名) 下餘的、剩下的、
 餘額、剩餘、盈餘、餘款

さんよう 算用(名) 算數(さんよう)〔算用
 數字〕(スウ)碼字 「落千丈
 さんらく 慘落(名) 暴落、暴跌、一
 さんらん 蠶卵(名) 蠶子兒
 さんらんし 蠶卵紙(名) 蠶子兒紙
 さんらん 散亂(名) 散亂 「燦
 さんらん 燦爛(名) 燦爛、光輝燦
 さんりよう 山陵(名) 山陵
 さんりよう 三稜(名) 三稜兒〔三稜
 洲〕(シウ)與さんかくしう同〔三
 稜柱〕(チュウ)三角鏡
 さんりん 山林(名) 山林
 さんりんしや 三輪車(名) 三輪脚
 踏車(車)〔自動〕三輪摩托車(車)〔自動〕
 さんれつ 參列(名) 到會、到場、參
 列、列席、臨席
 さんろ 山路(名) 山路

さんろう 參籠(名) 在廟裡住幾天
 禱告
 さんろく 山麓(名) 「山根兒底下
 さんわう 山王(名) 神廟之名
 さんる 篡位(名) 篡位
 し詩(名) 詩
 し史(名) 史
 し士(名) 士
 し師(名) 師
 し試(名) 試
 し始(名) 始
 し仕(名) 仕
 し視(名) 視〔滑稽視する〕視作滑稽
 し市(名) 市

し氏(名) 氏
 し絲(名) 絲
 し嗣(名) 嗣
 し司(名) 司
 し飼(名) 飼
 し死(名) 死〔病死〕(ベウ)病死、病故
 〔横死〕(ワウ)横死、兇死、強死〔戰
 死〕(セン)戰死、陣亡〔死をも辭せ
 ぬ〕死也不怕〔死中に活を求め
 る〕死中求活、死裏逃生
 し資(名) 資 「夫子
 し子(名) ①子、兒子 ②子爵 ③孔
 し雌(名) 雌、母的
 し志(名) 志
 し私(名) 私
 し支(名) 支
 し肢(名) 肢〔四肢〕(シ)四肢〔上肢〕

し

し(ジヤウ) 上肢(下肢) 下肢

し祠(名) 祠

し四(名) 四、四個

し氏(推尾) 氏

し爲(在變他動) する之第二變化

し(助動キ・シ・シク) 表過去時之助動

詞「失にき」死了「行きし人」去

了)的人

し(助) 強語勢之助詞「涙し流る」

吹く」又、而且「雨も降るし風も

し品行も正しい」又有智識品行

じ字(名) 字

じ時(名) ①時、時候 ②點鐘、小時

「午前八時」午前八點鐘

じ慈(名) 慈

寺(名) 寺、和尚廟

ししあ

じ辭(名) 辭

じ(助動) 否定助動詞、有一面否

定一面精度之意、怕不……也

「雨は降らじ」怕不下雨「彼は承

諾せじ」他怕不肯

シース(名) (Sheath) 文具夾

シーソー(名) (Sesaw) 與ぎこ

ばたん同 「洋布

シーチング(名) (Sheeting) 粗布、

じあい慈愛(名) 慈愛

じあい自愛(名) ①自愛、愛己 ②

保重、珍重、自珍、珍攝「折角御

自愛是祈候」自玉爲屬、伏惟珍

攝、珍重爲要、諸希珍重、伏望

起居珍重努力加餐爲祝「自愛主

義(シユキ) 但知愛己

しあがる仕上ル(四段他動) 了結、完

しあ

六〇〇

了、做得、辦完「洋服はまだ仕上

りません、洋服還沒做得哪

しあぐ仕上グ(下二段他動) 了結、完

了、做得、辦完、成功、完成、潤

色、潤飾「多年苦心して漸く飛行

機を仕上げた」許多年的苦心纔

把飛機做成了「仕事はまだ仕上

らない」事情還沒辦完哪「立派

に仕上げた」做得完美「工事を仕

上げた」完成工作「文章は仕上げ

ましたか」您做的文潤色好了沒

有「今日中に仕上げればならぬ」

儘着這一天總得做得了

しあげ仕上(名) 成功、完成、潤

色、潤飾、做得、精治、精作、精

細、完成的狀態「仕上を急ぐ」急

於成功「この繪は仕上がよくな

い) 這個畫兒潤飾的不好「仕

上の仕事」精細工夫「仕上塗」最

後所糝的漆「家は落成したがま

だ仕上がすまぬ」房子是落成了

就是裏頭的細工還沒做得了

「しあさって明明後日(名) 大後天、

大後兒、大後兒個

しあはせ仕合(名) ①運氣好 ②幸、

造化、幸福 ③微倖「仕合が悪い」

運氣不好「一時の仕合」一時的

微倖「御承諾下されば仕合に存

候」如荷金諾銘感之至

しあはせに仕合ニ(副) 幸虧、好

在、幸而、多虧「今日は仕合に天

氣もよい」今天好在天氣也好「仕

合に人が通りかかって救上げた」

幸虧有人解那兒過把他救上來

しあ

了「自動車と人力車が衝突したが

仕合に怪我(けが)が無かった」汽車碰

了洋車多虧沒傷人

しあひ仕合(名) 賽、鬪技、比試、

比賽、競技「野球の仕合」野球競

技會、比賽野球「柔道の仕合をす

る」比試拳脚

しあふ仕合フ(四段他動) 賽、鬪技、

比賽、比試、競技 「辦錯

しあやまつ 爲過ツ(四段他動) 做錯、

しあやまる 爲誤ル(四段他動) 同上

しあん思案(名) 想、思想、盤算

「思案に餘る」想不出主意來「思

案に暮る」想的沒法子了「かれ

これ思案する」左思右想「思想

顔(ガホ) 想事的樣子「思案投首

(デクビ) 歪着腦袋想

しあ

しい私意(名) 私心、私意

じい侍醫(名) 御醫、太醫「侍醫局」

(キヨク) 太醫院

じい字彙(名) 字彙、字典

しいう私有(名) 私自有的、私有

「私有物」(ブツ) 私有物「私有財産」

(イサン) 私有財產 「贏

しいう雌雄(名) 雌雄、公母 ②輸

じいう自由(名) 自由、隨便、隨

意、無約束、無管束、沒拘管「自

由行爲」(カウキ) 自由行事、自由而

行「自由貿易」(ワヱキ) 自由貿易、

無稅貿易、通商自由「出版の自

由」(シユツ) 出版自由、印書自由

「言論の自由」(ガンロン) 言論自由

「自由意志」(イシ) 自作主意、自由

主意「自由港」(カウ) 自由港、無稅

しあ

六〇一

口岸〔自由行動〕(ワドカ) 自由行動、自由行事、自由而行(自由結婚) (ツク) 男女不用媒介結婚、不是明媒正娶的〔自由自在〕(ジザイ) 自由自在、隨隨便便、不拘(自由廢業) (イダツ) 妓女情願爲良(自由放任) (ウニシ) 聽其自然(行かうが行くまいが私の自由です) 去不去都是隨我的便(私一人の自由にはなりません) 我一個人不能作主(彼は西洋人と自由に會話が出来る) 他和西洋人說話很隨隨便便
 しいか 詩歌(名) 詩歌
 しいぎやく 弑逆(名) 弑逆
 しいす 弑ス(四段他動) 殺
 しいだす 爲出ス(四段他動) 做出來、做起來、鬧出事來

しいづ 爲出ヅ(下二段他動) 同上
 しいる 仕入ル(下二段他動) 辦、販、收買、買進、採辦(品物を仕入れる) 辦貨、採辦貨物、收買貨品、進貨(仕入帳) (シイレ) 貨源
 しいん 子音(名) 子音、僕音、發聲
 しいん 私印(名) 私印、各人用的
 しい醜(名) 醜
 しい臭(名) 臭(臭を千載に遺す) 遺
 しい醜(名) 醜
 しい周(名) 周
 しい響(名) 響
 しい洲(名) 洲
 しい秀(名) 秀
 しい州(名) 州
 しい時雨(名) 時雨
 じう 柔(名) 柔(柔よく剛を制す) 柔

しうあく 醜惡(名) 醜惡
 じうい 獸醫(名) 獸醫
 じうい 舟遊(名) 坐船遊遊
 じうい 周遊(名) 周遊、遊覽、出遊(周遊列車) (ツシヤ) 周遊列車(周遊切符) (キツプ) 周遊券、遊覽票
 じうい 秀逸(名) 秀逸
 じうい 秋雨(名) 秋雨
 じうい 驟雨(名) 驟雨、急雨、陣雨
 じうい 周易(名) 周易
 じうい 就役(名) 服役、服苦工
 じうい 收益(名) 利益、收益、賺頭、賺錢
 じうかい 秋海棠(名) 秋海棠
 じうかう 修交(名) 修交
 じうかう 醜行(名) 醜行、醜事

しうかう 醜交(名) 私通
 しうかう 周航(名) 周航、環航(世界を周航する) 環航地球
 しうかう 秋毫(名) 秋毫
 じうかう 獸行(名) 如獸的、畜類的行爲(獸行を遂げる) 汚辱婦女
 しうがく 就學(名) 就學、上學
 しうがく 修學(名) 修學(修學證書) (ヨウシヨ) 修業文憑(修學旅行) (ヨカリ) 修學旅行
 しうがく 收額(名) 進款總額
 じうかぜい 從價稅(名) 按值稅
 しうかん 週間(名) 禮拜、星期、一週間
 しうかん 週刊(名) 週刊、週報、每週
 しうかん 收監(名) 下獄、收監

しうき 臭氣(名) 臭、臭氣、臭味
 〔臭氣を止める〕 解臭、除臭、去臭氣、防臭氣、避臭氣(臭氣止の藥) 解臭藥、防疫臭水、防臭劑、
 しうき 秋氣(名) 秋氣
 しうき 秋季(名) 秋季、秋天
 しうき 週期(名) 週期、週時(自然週期) (シゼン) 自然週期(週期律) (ツ) 週期律
 しうき 周忌(名) 與くわいき同
 しうぎ 祝儀(名) 酒錢、賞封兒、賞號(祝儀不祝儀) 紅白事、葷素(此着物は祝儀不祝儀いづれにも着られます) 這件衣裳葷素都可以用
 しうき 蹴球(名) 足球、足球戲
 しうき 蹴鞠(名) 蹴鞠、踢球
 しうき 終局(名) 終局、了局、了結、定局

しうきん 收金(名) 收銀子、收賬
 しうぎん 秀吟(名) 佳吟
 しうくわい 周回(名) 周圍、周遭
 しうかく 收穫(名) 收割、收成、秋收、收莊稼、打糧食
 しうけつ 終結(名) 終結、了結
 しうげふ 就業(名) 就業
 しうげふ 修業(名) 修業(修業證書) 修業文憑
 しうげふ 醜業(名) 醜陋的生業(醜業婦) (カ) 土娼(カゴ)、妓女、不好的婦女
 しうげん 祝言(名) ①賀詞 ②婚禮
 しうごく 囚獄(名) 牢獄、監獄、囚
 じうこつ 獸骨(名) 獸骨
 房

しうさ 收差(名) 收差(球面收差)
(キツ) 圓面收光差(色の收差) 光
行差

しうざう 修造(名) 修造、修築、修
しうさん 聚散(名) 聚散 「蓋

しうし 祝詞(名) 祝詞、賀詞
しうし 收支(名) 出入、收付、出款

與進款(收支償はない) 出入不
抵、收付不抵、入不敷出、所進
不抵所出(收支相償ふ) 入敷所
出、出入兩抵、使進的費用(收
支對照表) (シヤウヘイ) 收支對照表

しうし 修史(名) 修史
しうじ 修辭(名) 善言、修辭、善辯
「修辭學」(ガク) 美詞學、修詞學
しうし 秋收(名) 秋收 「期
しうじつ 週日(名) 一禮拜、一星

しうじつ 終日(名) 一天到晚、整
天、整天家、全天

しうじつ 秋日(名) 秋日、秋天
しうしふ 收集(名) 收集(材料を收
集す) 收集材料

しうしや 舟車(名) 舟車
しうしやう 愁傷(名) 傷心、哀痛、
悲哀、難過、煩惱(御愁傷様で
す) 您煩惱了(御尊父様が御不幸
でさぞ御愁傷で御座います) 令
尊去世老弟不定是怎麼樣難過

しうしやう 周章(名) 慌、慌忙、惶
惑
しうしやう 繡匠(名) 繡花匠
じうじやく 柔弱(名) 柔弱(女の樣
に柔弱な) 柔弱像婦女似的

しうしゆ 袖手(名) 袖手(袖手傍觀
する) 袖手傍觀、觀望

しうしゆく 收縮(名) 收縮、短縮
じうじゆつ 柔術(名) 拳法、柔術、
柔道

じうじゆん 柔順(名) 柔順、老實
しうしよく 修飾(名) 修飾、潤色、
潤飾 「接印

しうしよく 就職(名) 就職、上任、
しうじよく 就學(名) 睡、睡覺
しうしん 修身(名) 修身
しうじん 舟人(名) 舟人、水手
しうじん 囚人(名) 囚人、囚犯、監
犯 「面獸心」(ジツ) 人面獸心
じうしん 獸心(名) 獸心、獸性(人
しうせい 醜聲(名) 醜聲氣、壞名

しうせい 修正(名) 修正、修改、刪
改、修飾(書物を修正する) 修改
書本(規則を修正する) 修改章程
「寫眞を修正する」 點版、把版潤
色

しうぜい 收稅(名) 收稅、徵稅
じうせい 獸性(名) 獸性、獸心的、
兇橫、野性、畜生性子

しうせん 周旋(名) ①周旋、照料、
張羅(學薦) (chi) 「適當な地位を
周旋してやって下さい」 請您給他
舉薦一個妥當的地方(酒席を周
旋する) 周旋杯盤(細君の周旋を
する) 說媳婦兒 「(yu)

しうせん 鞞(名) 鞞、唵、唵搖
しうぜん 修繕(名) 修理、收拾、拾
掇(修繕費) 修費(時計の修繕)

收拾鐘表

しうそ 愁訴(名) 訴苦、訴苦處
しうぞく 醜俗(名) 醜俗、陋風
しうたい 醜態(名) 醜態、難看(醜
態をあらはす) 出醜

しうたう 周到(名) 周到
しうたう 修道(名) 修道 「同
じうたう 柔道(名) 與じうじゆつ

しうたん 愁歎(名) 愁歎、悲哀、悲
傷、悽慘、悲慘(愁歎場) (悲慘
的節目、戲劇中之悲慘的場段
しうち 仕打(名) 行爲(彼の仕打は
本當に憎らしい) 他的行爲真可
惡(わる)

しうち 瘦地(名) 瘦地、瘦田
しうち 羞耻(名) 羞耻、羞辱

しうち 周知(名) 周知、共知(人皆
周知のこと) 人所共知的、衆所
共知 「造

しうちやく 會長(名) 會長
しうちやく 祝着(名) 賀喜
しうちゆう 袖中(名) 袖中、袖裏
しうぢよ 醜女(名) 醜女

しうちん 袖珍(名) 袖珍的、袖珍
板、袖珍書(袖珍本) (ボン) 同上
しうてき 讎敵(名) 仇、仇敵、讎敵
しうと舅(名) 公公(父)、岳父(妻)、
丈人(同)
しうと囚徒(名) 囚犯、囚人、監犯
しうとく 修得(名) 修得
しうとめ 姑(名) 婆婆(母)、岳母
(妻)、丈母娘(同)

しうなふ 収納(色) 収納
 じうなん 柔軟(色) 柔軟 「肉
 じうにく 獸肉(色) 獸肉、牲口的
 しうにふ 收入(色) ①收②進項、
 進款、入項(收入印紙)「インシ」印
 花、印花票 「任、接印、受職
 しうにん 就任(色) 赴任、上任、履
 しうねし 執念シ(形久活) 愛記仇兒、
 しうねん 周年(色) 周年 「蛇心的
 しうは 秋波(色) 秋波(秋波を送る)
 眼角(chiao)送情、飛眼看人、送
 秋波、使迷眼、含情睇視 「報
 しうはう 週報(色) 週報、週刊新
 しうばく 就縛(色) 叫巡警拿住了、
 破獲、捕縛、逮捕、捉獲 「回班
 しうばん 週番(色) 每一星期值一

しうび 愁眉(色) 愁眉
 じうひ 柔皮(色) 軟皮子
 じうひ 獸皮(色) 獸皮
 しうふ 醜婦(色) 醜婦
 しうふく 修復(色) 修理、修復、收
 拾、拾掇、修補 「聲
 しうぶん 醜聞(色) 醜風氣、壞名
 しうぶん 秋分(色) 秋分(fen)
 しうへん 周邊(色) 周圍、周遭
 しうほ 收捕(色) 收押
 しうみ 臭味(色) 臭味
 しうみつ 周密(色) 周密
 しうみん 就眠(色) 睡覺
 しうめい 醜名(色) 臭名 「養
 しうやう 修養(色) 涵養、修身、修
 しうよう 收容(色) 歸入、收容、容
 納(收容所)「シヨ」收容所(收容し

きれない)容不下(三百人の學生
 を收容する)容納三百個學生
 じうよく 獸慾(色) 色慾、肉慾、淫
 しうらん 收攬(色) 收攬 「慾
 しうり 修理(色) 修理、修復、收
 拾、拾掇、修整、修補
 しうりう 周流(色) 周流
 じうりん 蹂躪(色) 蹂躪、躪蹋、侵
 犯(權利を蹂躪する)蹂躪權利
 (侵犯)
 じうるゐ 獸類(色) 獸類、畜生、畜
 しうれい 秋冷(色) 秋涼兒
 しうれん 收斂(色) 收斂、斂澁、斂
 「收斂劑」(イ)斂藥、斂澁藥
 しうれん 聚斂(色) 聚斂、苛斂
 しうろ 袖爐(色) 手爐
 しうわい 收賄(色) 收賄、受賄

しうる 周圍(色) ①周圍 ②外間、
 しうを 羞惡(色) 羞惡(hu) 「外頭
 しうんてん 試運轉(色) 試運轉
 じえい 自營(色) ①自己營生 ②自
 食其力
 しえう 至要(色) 最要緊、至要
 しえう 枝葉(色) ①枝葉 ②旁枝兒
 しえき 使役(色) 使役、使喚
 じえき 時疫(色) 時疫、時痧、時令
 シェリー(色) (Sherry)舍利酒 「病
 しえん 紙鳶(色) 風箏
 しおき 仕置(色) ①辦下 ②治罪(仕
 置場)「シ」法場
 しおく 仕置ク(四段他動) 辦下
 しおち 爲落(色) 遺漏、缺典
 しおぼす 爲果ス(下二段他動) 完成、

成功、做得了、辦妥了
 しおん 師恩(色) 師恩
 しおん 私恩(色) 私恩
 しおん 子音(色) 子音、僕音、跟音
 じおん 字音(色) 漢字之音
 しか 鹿(色) 鹿(鹿を逐ふ者は山を
 見ず)逐鹿者不見山 「准假
 しか 賜暇(色) 賞假(chia)、給假、
 しか 紙價(色) 紙價
 しか 市價(色) 市價、行市、行價
 しか 詩歌(色) 詩歌
 しか 爾・然(副) 那麼、這麼、如是、
 如此「我もしか思ふ」我也這麼
 想「しかはあれど」可是、雖然如
 此「しか云ふ」云爾
 しか(助) 不過、就是「五人しか無
 い」不過有五個人「戦死としか思

はれない)一定是陣亡了
 しが 齒牙(色) 齒、牙、牙齒(齒牙に
 掛くるに及ばぬ)不用掛齒
 じか 時下(色) 現在的氣候(時下炎
 暑の候何卒御自愛是祈候)刻下正
 當炎暑之際諸希珍重是禱
 じか 自家(色) 自己、自家(自家撞
 着)(ウチヤク)自相矛盾、打嘴(自家
 製造)(イザウ)自己製造、家裏做、
 自做(自家用)(ヨウ)自家用的
 じか 時價(色) 時價、市價
 じが 自我(色) 自我、個性 「烟
 シガー(色) (Cigar)呂宋烟、雪茄
 しかい 四海(色) 四海「四海兄弟」
 (イテウ)天下一家「四海波靜か」天
 下泰平、海不揚波「四海波」(ナミ)
 結婚禮唱的喜歌之名

しか

しかい 視界(色) 眼力所及、眼力
的範圍、眼看的遠近
しがい 死骸(名) 死屍、屍身、屍
首、屍骸 「市街戰、巷戰」
しがい 市街(名) 市街(市街戰) (セー)
じがい 字解(名) 字解
じがい 自害(名) 尋死、自盡、自殺
しかう 思考(名) 想、思想
しかう 私考(名) 私見
しかう 私交(名) 私交
しかう 施行(名) 施行(施行期限)
(キゲン) 施行法令之期限(法律を
施行す) 施行法律
しかう 嗜好(名) 嗜好 「爲
しかう 私行(名) 私行、個人的行
しかう 志向(名) 志向

しか

しがう 謔號(名) 謔號
しがう 試毫(名) 試筆
じかう 侍講(名) 侍講
じかう 事項(名) 事情、事項
じかう 時好(名) 時好、久用歸有
じかう 時好(名) 時好、時興 「權
じかう 字號(名) 活字之大小
じかう 次號(名) 第二本、第二號
(以下次號) (イカ) 未完、續登、下
次當續登 「て同
しかうして而シテ(卷) 與しかし
しかかり仕掛(名) ①做起事情來、
着手 ②辦事辦到半路上
しかかる 仕掛ル(四段他動) ①做起
來、着手(シカ) ②辦事辦到半路
上、辦到半截兒

しか

しかく 四角(色) 四方、四角兒
しかく 刺客(名) 刺客、兇手、兇
徒、行刺的、暗刺的
しかく 詩客(名) 詩客、詩人
しかく 資格(名) 資格(資格を失う
た) 失了資格(個人の資格で) 以
個人資格(資格を與へる) 賦與
資格
しかく 仕掛ク(下二段他動) ①做起来
「仕事を仕掛けて止める」 剛做起
事情來又擱下了 ②挑(戰を仕掛
く) 挑戰(喧嘩を仕掛ける) 找岔
兒打架 ③啤(唾をしかける) 啤
しがく 史學(名) 史學 「垂沫
しがく 視學(名) 視學
じかく 自覺(名) 自覺、自己意識、
自識、自知

六〇八

しかく けい 四角形(名) 四角形、

方形

しかく しめん 四角四面(名) 嚴正、
嚴厲 「四角四面な人」 走方步兒
的人

しかく ばる 四角張ル(四段自動) ①有

四角的 ②規矩矩的、嚴肅的
「四角張って物を云ふ」 嚴肅的樣
子 說話「そう四角張らないで居な
さい」 你別這麼規規矩矩的、你
別客氣

しかけ 仕掛(名) ①辦到半截兒上

②規模「此度の博覽會は中大仕
掛です」 這回博覽會規模很大
「大仕掛の工場」 大規模的工廠
しかく 爾ク(副) 這麼、那麼、如
是、如此

しか

しかし 併シ(名) 可、可是、然、然

而、但、但是、却、乃(併し私は心

配する) 可是我怕、但是我怕(彼
は人間はよい併し學問がない) 他
爲人不錯可沒有學問(彼の支那
語は上手だが併し調子が好くな
い) 他的中國話很好但是腔調
兒不好(いくら勉強してもよいが
併し體を注意せよ) 你怎麼用功
也不要緊可是得保重身體(窮
しては居るが併し人に諂ふことを
しない) 他雖然窮然而可不會諂
媚人(初は信じなかつた併し今は
信する) 起先我本不信任而現在
信了(彼は賢いが併し怠ける) 他
聰明却懶惰

しかじか 云云(名) 云云

しかし ながら 併ナガラ(卷) 與し
かし同
じかせん 耳下腺(名) 耳下腺、腮
じかた 仕方(名) 法子、方法、做
法、辦法(仕方なく承知した) 沒
法子答應他了(かうなれば仕方
がない) 已經走到這步田地上了
沒法子了(色色仕方を考へる) 各
樣想法子(仕方が間違つた) 辦法
辦錯了、辦錯了方法
しかたばなし 仕方話(名) 打手式
(しかつべらし(形志久語) 拘禮、粧
禮貌、鄭重其事的、故爲拘謹的
(しかつめらし(形志久語) 同上(し
かつめらしい顔をする) 粧模做
樣、粧做莊重的樣子
しかと 睨ト(副) ①必定、準、必、

しか

しか

六〇九

しか

確然「此事はまだ疑と定らない」
 這件事還沒確定「彼はまだ
 疑と決心が出来ない」他還沒打
 準主意②分明、清楚、明白「し
 かと見えない」看不清楚、看不
 明白③結實、緊「しかと結び付け
 る」緊緊「しかと約束する」立結
 實的約
 じがない(形久話) 窮、貧窮
 しかのみならず加之(接) 加之、
 又搭着、而且、尙且
 しかばね屍(名) 死屍、屍首「屍は
 山をなす」屍首如山
 しかふ仕換フ(下二段他動) 改做
 しかへし仕返(名) ①改做②報仇、
 報復、報怨、報恨、報冤
 しかへす仕返ス(四段他動) ①改做

しか

②報仇、報復、報怨、報恨、報冤
 「しがみつく」(四段自動) 攬住、攬緊、
 抱住
 抱住
 「的、愁容
 抱住
 しかみつら顰面(名) 愁眉不展
 しかむ顰ム(下二段他動) 愁容、皺眉、
 皺眉頭、愁眉不展、雙眉緊鎖、
 皺着眉頭「顔を顰める」同上
 しかも而モ(接) ①而且「金持で而
 も才幹がある」不但有錢而且有
 才幹②偏偏的「而も正月元日に
 焼出された」偏偏的大年初一着
 了火的
 了火的
 しからしむ然ラシム(下二段自動) 使
 しからば然バ(接) 然則、那麼
 しがらみ筋(名) 鬧
 しかり然リ(良變自動) 不錯、對了、
 是了、然「然りと答ふ」他回答說

しか

不錯「然るべき人」相當的人、妥
 實的人「然るべき口が有れば周旋
 して下さい」若有合式的事請您
 舉薦我
 しかり叱(名) 申斥、責備
 しかる叱ル(四段他動) 申斥、申叱、
 責備、說、斥說、數落、譴責、指
 摘「母が子を叱る」母親申斥孩
 子「先生に叱られた」叫先生說了
 一頓
 しかるうへは然上ハ(接) 如此則、
 這麼樣就、既是這麼着、既然如
 此
 しかるに然ニ(接) 然、然而「あの
 兄弟は仲が善い然に今度分家し
 た」他們弟兄倆很和睦然而這
 回分家了

六二〇

シガレット(名) (Cigarette) 紙烟、

香烟、烟捲兒
 しかれども然ドモ(接) 然、然而、
 しかれば然バ(接) ①所以、故此、
 這麼着②啓者、茲啓者
 しかん支干(名) 支干
 じかん時間(名) ①工夫兒、時候
 兒、時刻、時間、點鐘、鐘點②拍
 子(音樂)「二時間」一點鐘的工夫、
 一點鐘、一句鐘、一小時「營業時
 間」(エイダ) 營業時間「執務時間」
 (シツム) 辦公時間「労働時間」(ラウド
 ワーク) 工作時間「八時間労働」八小時
 工作「時間給」(キフ) 按時間的工
 資「授業時間」(ジュク) 授課時間「時
 間切迫」(ツバク) 時間逼近、時日迫
 切「時間がかかる」費工夫兒、要

しか

工夫兒、得(Yes)……鐘的工夫
 兒「何時間かかるか」得(Yes)幾點
 鐘的工夫兒「時間になった」到了
 時候了、時刻到了「時間を改め
 た」改了時刻了「それは時間の問
 題です」那就是時間遲早就是了
 「この時計は時間が正確です」這
 個表走的準確「時間外の仕事を
 する」作外活「愉快で時間の立つ
 のも知らなかった」快樂的也沒
 理會過了時候了「相互に時間を
 守りませう」你們按着準時刻罷
 じかん字眼(名) 字眼
 じかんへう時間表(名) 時刻表「學
 科時間表」功課表「汽車時間表」
 火車開行時刻表
 しき敷(名) ①墊子(シキ) ②押租(シキ)

しかしき

しき(名) 與しきみ同
 しき式(名) ①式、樣、樣式「カード
 式」卡片式「此二つの時計は式が
 違ふ」這兩個表樣式不同②算
 式③禮、禮節、典禮「就任式」
 (シウニ) 受職典禮「開業式」(カイゲ)
 開幕禮「落成式」(ラクセ) 落成禮
 「卒業式」(ブツゲ) 畢業禮「開院式」
(カクイ) 開院典禮「式をする」行
 禮、行典禮
 しき識(名) 識、見識
 しき色(名) 色「五色」五色
 しき指揮(名) 指揮、調度「上官の
 指揮を仰ぐ」聽上司的指揮「指揮
 官」(クワン) 指揮官「指揮刀」(クワ)
 しき四季(名) 四季
 しき士氣(名) 士氣「士氣大に振ふ」

しき

六一一

士氣大振

しき志氣(名) 志氣

しき死期(名) 死期、死的日子

しき(接尾) 一點兒(「れしきの物」)

這麼點兒東西

しき私議(名) 私議

しき思議(名) 思議、思想

しき仕儀(名) ①情形、様子(「仕儀

地」此仕儀になった)事情辦到這

しき諮議(名) 諮議 「地步上了

しき鳴(名) 鶻、沙錐鳥

しき食(名) 飯(「一日二食」)一天吃

しき時機(名) 時機 「兩頓飯

しき時期(名) 時期、時期、時候、

しき辭氣(名) 辭氣 「時節

しき磁器(名) 磁器、瓷器

じき次期(名) 下期、下次

じき自記(名) 自己寫的

じき兒戲(名) 兒戲

じき字義(名) 字義、字意

じき時宜(名) 時宜

じき辭儀(名) ①推辭(ワリ) ②寒暄

しきいし敷石(名) 漫的石頭、箭

しきうつし敷寫(名) 寫仿、摸寫、

照着格兒寫

しきがね敷金(名) 押租

しきがは敷皮(名) 皮褥子

しきがはら敷瓦(名) 甄、磚

しきがみ敷紙(名) ①墊紙 ②紙做

的地毯

しききん敷金(名) 押租

しきさい色彩(名) ①光潤(ツヤ) ②彩

色、顔色

しきし色紙(名) 詩箋

しきじ式事(名) 禮、典禮

しきじつ式日(名) 行禮的日子

しきしま敷島(名) 日本別名

しきしや識者(名) 識者

しきじやう色情(名) 色慾、慾情、

癡情(色情狂)(キヤウ) 色鬼、色中

餓鬼、花癡、色癡

しきずな敷砂(名) 墊道的砂土

しきせ爲着(名) 管衣裳穿

しきそ色素(名) 色素

しきたい色代(名) ①叩頭、行禮

②奉承(オセウ)

しきだい式臺(名) 門房的地板

しきたり仕來(名) 慣例、常例、老

例、俗例、通俗、俗套子、俗規矩

「永年の仕來だから、今急に改められぬ」這是多年的老例一時改不了「既に仕來になつて居る」已

經成了老例了 「答里斯

ジキタリス(名) (Digitalis) 實莖

しきたる仕來ル(四段自動) 因習、做

慣、成老例

しきち敷地(名) 地基(工場の敷地)

工廠地基、廠基(鐵道の敷地)路

床、鐵路底盤(學校の敷地)校地

しきふ敷布(名) 褥單子、被單子

しきふ支給(名) 給、付給、給發、

發給(「俸給を支給する」)付給薪

水、給發俸薪(「旅費の支給を受

く)支領路費(「學校で書籍文具を

生徒に支給する)學校發給學生

們書籍和文具

しきふ至急(名) 吃緊的、趕緊的、緊急的、快快的、速速、火急、萬急、飛速(「至急に願上候」)速速爲感(「大至急」)萬萬火急(「至急電報」)快電、加急電報

じきふ自給(名) 自立、自食其力、

自給的、自營生計、自謀餬口

(「自給自足」(ジツク)不必靠着外國

貨能自立的、靠自國貨發用的、

無求於人的、不求外助的

しきぶくわん式部官(名) 掌管官

中禮節之官(「式部職」(シヨク)掌儀

司(儀)

しきぶとん敷蒲團(名) 褥子

しきべつ識別(名) 分別、分晰、辨

識、識別、分辨、辨別

しきまう色盲(名) 色盲、色瞎、亂

色目、不辨五色

しきみ鬘(名) 鬘、門闌兒

しきもの敷物(名) 坐褥子(ザツ)、墊

子(カサキザ)、毡子(ツツ)、地氈(ジウ)、

席(ザ)

しきやう市況(名) 市況、商況、買

しきやく鳴焼(名) 油炸茄子

しきやく刺客(名) 與しかく同

しきゆう子宮(名) 子宮、胎

しきよ死去(名) 死、去世、壽終、

謝世、作古、身故(「御尊父様御死

去の由」)驚聞老伯遽歸道山、驚

悉令尊大人倏捐館舍(「仙駕歸

しきよく支局(名) 分局 「天

しきよく色慾(名) 色慾、肉慾、情

慾、慾火、淫火

しき

じきよく事局(名) 事局

じきよく時局(名) 時局、局面、現

相、時勢

しきり仕切(名) ①隔斷(部展ナ) ②算

賬(部展ナ)、清賬、結賬 ③了結(此年

末で仕切を附ける) 以這年底清

賬(部展の仕切を立てる) 隔開屋

子、把屋子隔斷開(仕切が遅い)

事情了結的慢(仕切書) (ガキ) 賣

貨清單、貨本單、本單、送貨單、

隨貨單(仕切金) (キ) 清賬時兩

面所付的錢(仕切帳) (チャウ) 清賬

的簿子

しきりに類(詞) 屢次的、累次

的、紛紛、再三、再三再四的、連

連的、很、慌(類に升進する) 屢

次階級(類りに私を誘ふ) 再三再

四的約我(頭が類りに痛む) 腦袋

痛得慌(很) (類りにうなづく) 連

連的點頭(類りに上書を奉る) 紛

紛上摺子

しきりやう識量(名) 識量

しきる類ル(四段自動) 越發的(雨降

り類る) 雨越發的(下起來了)

しきろう食籠(名) 盒子

しきる敷居(名) 底礎、下礎

しきん資金(名) 資本、本錢、本

兒、基金、經費、款項、資金

しきん齒斷(名) 牙床子

しきん賜金(名) 賜金、下賜金

しきんせき試金石(名) 試金石

しき(宿) (名) 與しゆく同

しき(市區) (名) 市街之區域、市區

しき(數ク) (四段自動) 滿、數(名聲天

しきしく

下に敷く(名聲滿於天下) (落花地

に敷く) 落花敷地

しき敷ク(四段自動) ①鋪、墊(蒲團を

敷く) 鋪鋪蓋(坐蒲團を敷いて坐

る) 墊上褥子坐(下に紙を敷く)

底下鋪紙、底下墊紙 ②擺、排

(陣を敷く) 擺陣、列陣 ③布、施

施行(命令を敷く) 施命令、下命

令、發命令(市制を敷く) 施行市

制

しき及ク(如ク) (四段自動) 比、比肩、

如(何の樂か之に如かん) 曷樂如

じく字句(名) 字句 「之(文)

しぐう四隅(名) 四隅 「科(役者)

しぐさ爲種(名) ①與しうち同 ②

しきしく(類) 抽搭抽搭(しきしく

しきしく) 抽搭抽搭的哭

しぐむ仕組(四段自動) 想、做、編

〔芝居に仕組む〕 編在戲上〔うそ

の事實を仕組む〕 編造一套謊話

〔事を仕組んで人をだます〕 編事

訛人〔うまく仕組んだ狂言〕 捏好

了的活局子、捏好了窩窩(彼等

が仕組んだ謀計です) 是他們設

好了的計策〔此機械は頗る巧に

仕組んである〕 這個機器做的很

巧妙

しぐる時雨ル(下二段自動) 下時雨

しぐれ時雨(名) 秋冬之交常下的

しぐわ死火(名) 滅火兒、死灰

しぐわ齒科(名) 牙科〔齒科醫〕 (イ)

しぐわい詩會(名) 詩會

しぐわい死灰(名) 死灰〔死灰また

燃ゆ〕 死灰復燃

しぐわい次會(名) 下次的會、次

會〔次會まで延す〕 延至次會再

議

しぐわい次回(名) 下回、下次、次

回、第二回、第二次、下末兒

しぐわいしや司會者(名) 會正、會

長、主席者、主座

しぐわく字畫(名) 字畫

しぐわし私窩子(名) 土娼

しぐわじさん自畫自讚(名) 自畫

しぐ

しき

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しき

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

しきしく

自讚、自是、自以爲是
 しくわつ 死活(名) 死活、生死
 しくわつ 四月(名) 四月、槐月、清和
 しくわつ 自活(名) 自食其力、自和
 しくわん 士官(名) 武官、軍官(士官學校)武備學堂、軍官學校(士官候補生)未入軍官學校
 在兵營學習軍務的武弁
 しくわん 仕官(名) 仕官、做官
 しくわん 志願(名) 情願、願意、志願(志願兵)志願兵、投效兵、效力兵(志願者)情願的人、願意的人、志願人
 しくわん 次官(名) 侍郎(清)、次長
 しけ 時化(名) 開天氣、狂風暴雨的天氣 打不着魚

しけ 濕氣(名) 濕氣
 しけ 絁(名) ①與しけいと同 ②與しけおり同
 しけい 紙型(名) 紙版、紙型
 しけい 死刑(名) 死刑、死罪
 しけい 慈惠(名) 慈惠
 しけい さいい 私經濟(名) 家計
 しけい だん 自警團(名) 保衛團、自衛團
 しけいと 絁絲(名) 粗絲線
 しけう 示教(名) 指教、承教
 しけおり 絁織(名) 綿紬
 しげき 刺激(名) 激、激刺、刺擊、激發、促動、刺戟(良心を刺激する)激發大良(刺激を受ける)受激刺(人心を刺激する)激發人心(刺戟物)刺戟物、刺動物、刺戟

品
 しけこむ (四段自動) 眠花宿柳
 しげし 繁(形久活) ①繁、茂、密、多(人口繁し)人口稠密(事務繁し)事情過多、事情很忙(車馬の往來繁し)車馬來往的很多(樹木繁し)樹木茂生 ②麻煩、累贅
 ③屢次、再三、勤(繁く通ふ)去的勤、再三再四的來往
 じけし 字消(名) 消字器、橡皮擦
 しげし 繁(動) 屢次的、再三再四的、勤(繁繁行く)人に嫌はれる)去勤了)叫人嫌
 しけつ 死結(名) 死扣兒
 じけつ 辭訣(名) 辭別、辭行
 しげふ 始業(名) 開始、開業、開功
 しげふ 試業(名) 考試、開工

じげふ 事業(名) 事業、生業
 しげり 繁(名) 繁茂、茂生、茂盛
 しける 時化(四段自動) 天氣開、狂風暴雨
 しける 濕氣(四段自動) 發潮
 しげる 繁(四段自動) 繁茂、茂生、茂盛(木が繁る)樹木密、樹木茂
 しけん 私權(名) 私權
 しけん 私見(名) 私見
 しけん 試驗(名) ①考試、考課、試驗 ②試(タメ)、試行、試辦 ③化驗(化學的ニ) (入學試驗) (ニ)ガ) 入學考試(競争試驗) (キヤウ) 競争考試、爭勝考試(資格試驗) (シカク) 領憑考試、授與資格の考試(再試驗) (サイ) 覆試(定期試驗) (サイキ) 定期考試(臨時試驗) (リンジ) 臨時考試

〔學期試驗〕(カウキ) 期考(筆記試驗) (ヒツキ) 筆記考試(口頭試驗) (コウト) 口頭考試、口述試驗(選拔試驗) (センバ) 甄別考試(試驗管) (クワン) 試驗管、試管、試筒(試驗官) (クワン) 考官、監考者、考試官、試驗委員(試驗紙) (シヤウ) 考場(試驗答案) (ウァン) 試卷、考卷、卷子(試驗問題) (シタイ) 考試題目、試驗問題、考題、試題(試驗論文) (シヤウ) 試卷、考卷(試驗委員) (キケン) 考試委員(試驗を受ける) 入考、赴考、受考試(試驗に及第する) 考中、考上了、考得了、得中(試験に落第する) 考不中、沒考中、沒考上、下第、落第、名落

孫山(試験的に行ふ) 試行、試辦 (試験問題を出す) 出試題
 しげん 始原(名) 元始、始初、起始
 じげん 事件(名) 事件、事情
 じげん 示現(名) 顯聖、顯靈驗
 じげん 時限(名) ①時限 ②堂(第一時限は歴史です) 頭一堂是歷史
 しに 四股(名) 腿(四股をふむ) 拿架
 しに 市虎(名) 俠客
 しに (名) 小鱸魚
 しに 指呼(名) 指呼
 しに 指願(名) 指願
 しに 死期(名) 死期
 しに 死後(名) 死後、身後(死後の事) 後事、身後的事
 しに 私語(名) 私語、打體息、在耳朶上說

しご支吾(名) 支吾
 じご自己(名) 自己(自己廣告)(ウコウク)
 吹嘘自己、自己表彰、顯白自
 己、賣弄能幹(自己信賴)(シライシ)
 恃己、靠己、倚仗自己(自己保
 存)(ホリシ) 自保、自己圖存(自己
 實現)(ツゲン) 自誠、自我實現(自
 己流)(ウリ) 自己的派頭(自己本
 位)(ホンキ) 自我本位、自己中心、
 じご事故(名) 事故 「利己主義
 じご耳語(名) 耳語、體息話、貼己
 話、啾啾咕咕的話 「後
 じご爾後(名) 此後、從今以後、爾
 後(ヨウダシ) 事後、過後(事後承
 諾) 事後求夥伴的人應
 允、事後求同意
 しごう 伺候(名) 伺候

しごう 耳孔(名) 耳朶眼兒
 じごう 時候(名) 氣候、天氣、時令
 「時候當」(アタリ) 時令症
 しごき 扱(名) ① 捋(の、ヨビク) ② 裕布
 「扱帶」(オビ) 同上 「方之島名
 しごく 四國(名) ① 四國 ② 日本南
 しごく 至極(副) 極、很、甚、至(至
 極結構です) 好極了(大慶至極で
 す) 可賀之至
 しごく 扱(名) 與こく同
 じごく 自國(名) 本國、母國(自國
 語)(ジ) 本國語
 じごく 時刻(名) 時刻、時候
 じごく 地獄(名) 地獄
 しごじらす (四段他動) 叫病纏上
 了、叫病留根兒 「病留根兒
 しごじる (下二段自動) 病纏上了、

しごせん 子午(名) 子午線
 しごたま (副) 撐筋肚累、很多
 「しごたま食った」吃的撐筋肚累
 しごと 仕事(名) 事、業、事業、事
 情、活、工、工作、營幹、公幹(手
 仕事)(ウ) 手工(請負仕事)(ウケオ)
 工(針仕事)(ハリ) 針線活、針紬(仕
 上のすまぬ仕事) 粗活(母は家で
 仕事をして居ます) 母親在家裏
 做活哪(何の仕事もせず遊んで暮
 す) 沒甚麼營幹白過日子(民國
 革命の仕事はまだ完成せぬ) 民國
 革命工作還沒有成功(「仕事師」
 (シ) 工人、工匠、做工的(工場)
 (ハ) 工場、局子、作坊 (so'fang)
 「仕事日」(ジ) 工作日、執務日(仕
 事室)(シ) 工作臺、細工臺、案子

「仕事箱」(ハコ) 針線盒、針紬箱
 しごな 渾名(名) 渾名、混名、綽
 號、外號
 しごなし(名) 舉止、態度
 しごなす (四段他動) 辦得合宜、處
 事得宜 「自受、自找其苦
 じごぶじごく 自業自得(名) 自作
 しごみ 仕込(名) 教養、教育
 しごみ びる 仕込杖(名) 二人奪、暗
 刀棍、杖刀
 しごむ 仕込ム (四段他動) ① 教、教養、
 教育 ② 辦、販(子を仕込む) 教養
 兒子(商品を仕込に行く) 辦貨去
 「杖に日本刀を仕込む」把日本刀
 插在棍子裡頭
 しごり 凝(名) 板、核、小節、小瘤
 「肩に凝が出来た」肩膀兒的筋板

しごる 凝ル (四段自動) 「了小節了
 筋板了、成
 しごろ 錠(名) 錠鍛
 しごん 齒根(名) 牙床子
 しごん 紫紺(名) 玫瑰紫
 じごん 自今(名) 自今、以後、往後
 しさい 詩才(名) 詩才
 しさい 仔細(名) ① 所以然、緣故、
 緣由、底蘊、細情、詳情、底細
 「彼は必ず仔細を知って居る」他
 必知道這裏頭的細情(これには
 仔細があるに違いない) 這裡頭
 必有個緣故(事の仔細を皆話す)
 把事情所以然都說出來了
 仔細、細細兒的(仔細に見る) 仔
 細看、細細兒的看
 しごい 資財(名) 資財、資產、資業

しごい 死罪(名) 死罪
 しごい 私財(名) 私財
 じごい 自裁(名) 自裁、自盡、自殺
 じごい 自在(名) 自在、自由(自在
 畫)(グ) 自在畫(自在鉤)(カギ) 活
 套兒、伸縮自在的鎖鏈子
 しごいらし 仔細ラシ(形志久活) 有緣
 故的樣子
 しごう 思想(名) 思想、意思、想
 頭、意影(危險思想)(キケン) 危險
 しごう 志操(名) 志操 「思想
 しさく 試作(名) 試作
 じさく 自作(名) 自作、自製
 しさし 爲止(名) 辦到半路上、辦
 到半截兒上
 しさす 爲止ス (四段自動) 辦到半路

上、辦到半截兒上

しざつ 視察(名) 考察 「短見

じざつ 自殺(名) 自殺、自盡、自尋

しざる 退ル(四段自動) 退、退縮

しさん 資産(名) 資産、資財、資業

しさん 死産(名) 死産、死胎、生産

死孩、死後産生の

しさん 四散(名) 四散

じさん 自讃(名) 自讃、自賞、自詡

しし肉(名) 肉

しし獅子(名) 獅子(獅子身中の蟲)

獅子之蟲(獅子頭)ガシラ 獅子

頭(獅子吼)カ 獅子吼(獅子鼻)

(バシツ)獅子鼻兒、鬚鼻子眼兒(獅

子舞)マヒ 耍獅子、太獅子

しし(名) ①野猪 ②鹿

しし(名) 鬮子

しし志士(名) 志士

しし指示(名) 指示、指點

しし四子(名) ①四個兒子 ②第四

個兒子、行四

しし尿(名) 小便、尿、溺

しし四肢(名) 四肢

しし死屍(名) 死屍、屍身

しし孜孜(副) 孜孜(孜孜として意

らず)孜孜不倦

しし(感) ①喝道之聲 ②制止之聲

しし四時(名) 四時、四季

しし私事(名) 私事

しし次子(名) 次子、行二

しし侍史(名) 侍史、執事

しし時事(名) 時事

しし時時(副) 時時的、時時

しし(名) 刺繡(名) 刺繡、綉花(刺繡

する)刺、繡、綉、綉花、刺繡(刺

繡細工)ケイ 綉貨、繡工、刺繡

的貨(刺繡職人)ヨクニシ 繡匠、綉

花的、綉花匠

じしう 自修(名) ①自修、修身、自

己修養 ②溫習

じじこくこく 時時刻刻(副) 時時

ししつ 私室(名) 私室 「刻刻

ししつ 資質(名) 資質

しじつ 至日(名) 冬至、冬節

じしつ 自失(名) 自失

じじつ 時日(名) 日子、工夫兒

じじつ 次日(名) 第二天、明天

じじつ 事實(名) ①事、事情 ②實

情、實事、事實、實有、實在、實

在情由(それは事實です)這是實

情(事實無根)沒有實底、沒有的

法自斃

ししやく子爵(名) 子爵

じしやく磁石(名) ①磁石 ②羅針

盤、羅盤(磁石盤)パン 同上

じじやく自若(名) 自若、方寸不

亂、泰然自若、鎮定、沈着

ししやくにふ 四捨五入(名) 四捨

ししゆ旨趣(名) 宗旨 「五入

ししゆ死守(名) 死守、守到死(舊

法を死守する)死守舊法

じしゆ自首(名) 自首、投首、自行

投到

じしゆ自主(名) 自主、自己作主

「自主權」ケン 自主權

じじゆう始終(名) 始終 「平常

じじゆう始終(副) 始終、不住的、

じじゆう侍從(名) 侍從(侍從長)

事情、沒根兒的事(不日事實上
あらはれます)不日見諸事實(事
實上の政府)事實上的政府

ししふ 詩集(名) 詩集

しじふくにち 四十九日(名) 七七

之期、七終、七七、斷七

しじふはって 四十八手(名) 謂捺跤

之法有四十八様

しじまる 蹙ル(四段自動) 縮、縞、縮

しじみ 蜆(名) 沙蜆 「埋

ししむら 肉(名) 肉塊

ししや使者(名) 使者、差人

ししや死者(名) 死人、死的人

ししや侍者(名) 侍者

じしや 寺社(名) 神廟與寺院

ししや 師匠(名) 師傅

侍従長
 ししゆく止宿(名) 住、借住
 ししゆく私淑(名) 私淑、(多) 作模範、作榜様
 しじゆく私塾(名) 私塾
 ししゆく支出(名) 支、付、花、開支、支發、支給、支付、支出、付
 出〔支出高〕(タカ) 出項、支款、開支款項、出費、支出之款〔無暗に支出する〕濫支〔収入が支出に及ばない〕所進不抵所出、入不敷出
 しじゆつ施術(名) 施術、手術、施
 しじゆん諮詢(名) 諮詢、諮議
 ししよ司書(名) 圖書司、管書員
 ししよ私書(名) 私信〔私書函〕
 (ア) 郵政信箱

ししよ死處(名) 死處
 じしよ字書(名) 字書、字典、字彙
 じしよ辭書(名) 辭典 「簽名
 じしよ自署(名) 自己署名、親自
 じじよ自助(名) 自助、自勵
 じじよ自助(名) 自助、自勵
 じじよ自稱(名) 自稱、自命、自
 稱する〔自命中國話很好
 じじよ自乘(名) 平方數、互相
 乘數、自乘 「式、牙形裝飾
 ししよく齒飾(名) 狗牙式、鋸齒
 じしよく辭職(名) 卸任、卸印、卸
 職、告退、掛冠、致仕、開缺、辭
 差、辭職、辭官、退職〔辭職を願
 出る〕呈請開缺
 じじよでん自敘傳(名) 自傳、自

著傳、自叙行狀
 ししん指針(名) 指針
 ししん仕進(名) 仕官、出仕
 ししん私心(名) 私心
 ししん私信(名) 私信
 ししん使臣(名) 星使、使臣
 しじん私人(名) 私人、個人
 しじん詩人(名) 詩人、詩家
 ししん侍臣(名) 侍臣
 じしん自身(名) 自己、親自、親
 身、本人、本身、自家
 じしん自信(名) 自信、自負、自
 恃、自靠、賴己、自己仗着自己
 じじん自盡(名) 自盡
 じじん時人(名) 時人
 じしんぎ時辰儀(名) 時辰儀、鐘
 しす死ス(佐聲動) 與しぬ同「表

じす辭ス(佐聲動) ①推辭の辭、辭
 別、告假、告辭
 じす侍ス(佐聲自動) 侍、伺候
 しす指數(名) 指數、率〔物價指
 數〕物價指數
 しす紙數(名) 紙數、頁數(ペリ)
 しす爲濟ス(四段他動) 辦完了、
 做好了
 しずる雌蕊(名) 雌蕊、陰蕊、花
 じする自炊(名) 自炊、自吃
 じする自水(名) 跳河、投河
 しせい資性(名) 資性、性質、天性
 しせい死生(名) 死生〔死生の界目〕
 生死的關節
 しせい市井(名) 市井
 しせい施政(名) 施政
 しせい姿勢(名) 狀態、體態、體

勢、態度、姿勢、儀容〔直立の姿
 勢〕站立的狀態、站勢、立狀〔直
 立不動の姿勢〕立正姿勢〔折敷の
 姿勢〕跪勢
 しせい四聲(名) 四聲〔平聲上聲去聲入聲
 上聲去聲ノ別アリ〕
 しせい私生(名) 私孩子、私生子
 しせい紙製(名) 紙做的
 しせい至誠(名) 至誠
 しせい市制(名) 市制〔市制を敷く〕
 施行市制
 しせい市政(名) 市政、市務
 じせい時勢(名) 時勢〔時勢の要求
 に應ずる〕應時勢的要求
 じせい時世(名) 時世
 じせい自省(名) 與じしやう同
 じせい辭世(名) ①死、去世、過去

②絶命詞
 じせい自製(名) 自製、自做、自造
 じせい自制(名) 自制、自束、自
 治、自持、自抑、守己、克己、約
 束自己、收束自己
 じせい自生(名) 自生 「ぼ五音
 じせいおん次清音(名) びびぶべ
 しせい私生子(名) 私生子、私
 孩子、姦生子、私子、野孩子、私
 産子
 しせい私生兒(名) 同上
 しせう私消(名) 吞、侵吞、侵用、
 私用、竊用、虧短、私挪〔官金を
 私消する〕侵吞公款、私用公款
 しせき咫尺(名) 咫尺〔咫尺の間〕咫
 尺之間〔天顔に咫尺す〕咫尺天
 顔

しせ

じせき 自責(名) 自責、自悔、自疚
 じせき 事蹟(名) 事蹟
 じせき 次席(名) 次席、次座
 じせき 磁石(名) 與じしやく同
 しせつ 使節(名) 使節
 しせつ 私設(名) 私立、民立、私設、商辦的
 しせつ 施設(名) 設立、措施
 じせつ 自説(名) 己見(飽まで自説を主張する) 固執己見、執意、堅持己見
 じせつ 時節(名) ①時候兒 ②時令、季節(時節物)(モ) 應時的、合時的、隨時的(時節はづれ) 過時、不合時、不是時候兒
 しせん 死戰(名) 死戰
 しせん 支線(名) 支路

しせ

しせん 視線(名) 視線、視綫、目線
 「人の視線を引く」 引動人的視線、惹人的視線
 しせん 子錢(名) 利錢
 しせん 資錢(名) 本錢、資本
 しぜん 至善(名) 至善
 しぜん 自然(名) 自然、天然的、自來的(自然界)(カ) 天然界(自然主義)(シユモ) 自然主義、寫實主義(自然の理) 自然之理(自然と人生) 自然與人生(自然科學)(ワカク) 自然科學(自然療法)(ワハル) 自然療法(自然淘汰)(トウダ) 天演淘汰、天擇、物競天擇、適者生存(自然律)(リツ) 自然律、天然律、天則(自然力)(リョク) 自然力、天然之力(常に勉強すれば自然に上手に)

しせしそ

なる) 時常用功自然而然的就會了
 じぜん 慈善(名) 慈善(慈善會)(クワイ) 慈善會(慈善心)(シン) 慈善心、善念(慈善箱)(ゴ) 慈善箱、救貧箱
 じぜん 事前(名) 先事(事前に用意する) 先事豫備
 しそ 紫蘇(名) 蘇子
 しそ 始祖(名) 始祖
 しそ 使喚(名) 使喚、挑唆
 しそ 駛走(名) 駛走 「法
 しそ 四則(名) 加法減法乘法除
 しそ 四足(名) ①四條腿 ②牲口
 しそ 子息(名) 兒子
 しそ 紙燭(名) 油紙捻兒
 しぞく 氏族(名) 氏族

六二四

しそ

しぞく 士族(名) 日本人民有華族士族平民三階級、士族者係古來士人、明治維新後稱士族
 しぞく 使喚(名) 與しそ同
 じぞく 自足(名) 自足的、獨力的、無求於人的、不求外助的、不必靠着外人
 しそこ なひ 爲損(名) 做錯、做差、しそこ なふ 爲損(四段他動) 做錯、しそつ 士卒(名) 士卒「做差、辦錯しそむ 爲初ム(下二段他動) 動手、着手、下手、做起來
 しそん 至尊(名) 至尊、皇上
 しそん 子孫(名) 子孫、後嗣、後裔、後人、後代、後輩、後輩子孫
 じそん 兒孫(名) 兒孫
 じそん 自尊(名) 自尊、自大、自許

しそした

しそんじ 爲損(名) 與しそこなひ同
 しそんず 爲損(名) 與しそした舌(名) 舌、舌頭(舌を掉ふ) 掉舌(舌がまはらぬ) 咬舌兒、舌筋短、舌頭不俐儻、短舌兒、大舌頭說話(舌が縫(モ)れる) 舌頭不俐儻、舌頭重(舌を巻く) 感動、佩服(叱られて舌を出す) 被人申責的吐舌頭(伸舌頭)(舌も舌に及ばず) 駟不及舌(舌の苔) 舌苔(舌を噛む) 咬舌頭
 した 簧(名) 簧
 した 下(名) ①下(下へ下りる) 往下下(賊を下に組伏せる) 把賊往下按着(下に置く) 往下擱着 ②裏頭(しやつを下に着る) 裏頭穿

した

汗褸兒 ①底下、下頭、下邊兒(山の下) 山下(地の下) 地下、地裡 ②試(下縫をする) 試縫 ③貼換(古いのを下にやる) 用舊的貼換 ④手下(某の下につく) 屬於某人的手下 ⑤小(彼は私より役が下です) 他的差使比我小
 じた 自他(名) 自他
 じた 耳朶(名) 耳朶
 した あご 下顎(名) 下巴頰兒
 した い 肢體(名) 肢體
 した い 死體(名) 死屍、屍身、屍體
 した い 次第(名) ①次序、次第、層次、秩序、程序 ②緣由、來由、緣故(次第を立てる) 整次序(式の次第) 禮節秩序(事の次第) 事情の緣由(どう云ふ次第です) 是甚

六二五

した

麼緣故「面目次第もない」丟臉、對不起、拉不下臉來「次第によつたら」或者、瞧罷、看罷、瞧光景罷「次第によつたらお伴します」瞧光景罷我也可以做陪的

しだい 次第(接尾) ①就、立刻就。即「用事がすみ次第歸ります」事情辦完了立刻就回來「見本は御一報次第御送申上べく候」另有樣本函索即寄、備有樣本承索即奉②隨、看、按「貴下のお思召次第でどうでもよい」隨您的意思怎麼樣也行「腕前次第で金持にも大官にもなれる」人是按他的能耐如何也可以做闊家也可以做大官「値段次第で買ひます」看價錢怎麼樣了我可以買「報酬は

した

望次第(接尾) 酬謝銀是要多少給多少

じたい 辭退(名) 謙辭、推辭、辭却、推却、辭退「人からの招待を辭退する」人家請我推辭不去、辭謝請帖「人からの贈物を辭退する」推辭禮物、璧回禮物、退禮「らす」事體重大
じたい 事體(名) 事體「事體容易なじたい 事態(名) 事態的情形、事じたい 字體(名) 字體「情的狀況じたい 自體(副) 原來、本來
じだい 自大(名) 自大、自高、自誇
じたい 時代(名) ①時代、世代、時候、紀年②朝、國朝、朝代「明治時代」明朝「時代後」ナリ」過了景了的時代「時代後」ナリ」過了景了的

した

「時代思潮」(シテウ) 時代思潮、時代精神「時代違」(チガヒ) 1. 時代不同 2. 和世上兩樣的人「時代物」(モノ) 1. 有了年的東西、古物 2. 史劇、時代劇「時代錯誤」(サケゴ) 年月錯謬的、時代錯誤「時代の要求に合致する」恰合時代要求

しだい 次第(接尾) 單子、禮單(儀式)、次第書、程序表、秩序表、秩序單、順序表「芝居の次第書」戲單、戲目單「運動會の次第書」運動會秩序單「卒業式の次第書」卒業禮的單子「結婚式の次第書」結婚禮的禮單
しだい しいに 次第(接尾) 與しだい しいに 同
しだい しいに 事大主義(名) 順硬

六二六

風の主義

しだいと 下線(名) 底線
しだいに 次第(接尾) ①依次序、挨着次序②漸漸的、一天比一天「次第に排列する」挨着次序陳設「佛國の人口は次第に減少する」法國的人口漸漸的減少「學問が次第に上達する」學問一天比一天的高
したう 至當(名) 最妥當
しだう 指導(名) 指導、教導、指教「新聞は輿論を指導する」報紙指導輿論「指導員」指導員
しだう 斯道(名) 斯道
しだう 祠堂(名) 祠堂
したうけおひ 下請負(名) 轉包工

した

したうち 舌打(名) 嘔嘴、吧嘔嘴
したうつ 舌打(名) 嘔嘴、吧嘔嘴

したおび 下帶(名) 蔽下身的布
したがき 下書(名) 草稿、底子、稿「手紙の下書」信稿兒「下書をかく」打個底子
したかた 下方(名) ①下民②鼓手
したがって 從(接) 與したがひて同
したがね 下金(名) 與ふるかね同
したがひて 從(接) 因、按、因此、所以、因而、是故「人の思想は歳に從って變化する」人的思想按着歲數兒變化「彼處は便利だから從って家賃も高い」那個地方方便所以房錢也大「あの銀

した

行は開店した從って 金融界は大なる影響を受けた」那個銀行開閉了因此金融界受了很大的影響「進むに從って難しくなる」越進步越見困難

したがふ 從(接) ①從、隨、跟、遵、依從、聽從「後に從うて行く」在後頭跟着去「規則に從ふ」依從條規「慣例に從う」依照慣例、循從習慣「それでは御意に從ひませう」那麼就遵命了「心の欲する所に從ふ」隨心所欲「人の意に從ふ」信從人的意思、依從人意、順從人心「命令に從はぬ」不從命令、不遵命、不聽話「重きに從ひて罰す」從重治罪「形が影に從ふ」形影相隨②按、順「理

六二七

した

に従うて行ふ)順着理辦、按理而行③仿「古人の法に従うて書く」仿着古人的筆法寫

したがふ從フ(下二段他動)①跟、隨、帶②服從「伴の者を從へる」帶着一個跟班的「敵を從へる」使敵人服從

したがまへ下構(名) 預備、備辦

したぎ下着(名) 裡頭穿の衣裳

したぎき下聞(名) 預先打聽

したく支度(名) ①預備、備辦(も)う支度は出來ましたか)你都預備好了麼「此飲食店で支度して行かう」件們在這個飯館子裡吃飯回頭再走②穿衣裳、打扮「旅行の支度をする」打點行裝、收拾行李、裝行囊

した

したく私宅(名) 私寓、私宅、自宅、自己的房子

じたく自宅(名) 同上

したくさ下草(名) 樹底下長的草

したくちびる下唇(名) 下嘴唇兒

したぐみ下組(名) 預備、預辦、備

したげ下野(名) 格兒

したげい二下稽古(名) 演習

したこき舌拔(名) 刮舌子

したごころ下心(名) 期待、預期

したごしらへ下拵(名) 預備、預辦、備辦

したさき舌端(名) 舌尖

したし親シ(形志久活) ①親近②親密、對勁、相好、親近

したし仕出(名) ①做出來②飯館子外送的茶飯

した

したじき下敷(名) 墊子「下敷の罫」背格兒「紙に下敷を置いて字を書く」紙下邊兒墊一張襯紙、紙下墊一張紙寫字、墊背格兒寫「家が倒れて下敷になる」叫房子壓了「砸了」人が將棋倒になつて私「下敷になる」人都魚貫似的倒了我在頂底下

したしく親シク(副) 親、親自、親身、自己、個人「親しく行き病氣を見舞ふ」親自去問病去「親しく見る」親眼看

したしごと下仕事(名) ①預備的事務②轉包工 「姓、庶民

したじた下下(名) 下民、民衆、百姓

したじみた(副) 濕着

したしみ親(名) 親、愛、交情

した

したしむ親ム(四段他動) 親、親近「彼は狡猾だから君は親しんではいけぬ」他人狡猾你別親近他

したしむ親ム(四段他動) 親、親近「民を親む」親民 「個底兒

したしらべ下調(名) 預備、打下

したすり下摺(名) 試刷

したす仕出ス(四段他動) ①做出來、飯館子送菜飯「身代を仕出す」做起產業來了

したぞり下剃(名) 剃頭渣兒

したたか健(副) ①利害、痛、重重的②許多、好些個「したたか打れた」挨打的利害、被人痛打了一頓「したたか有る」有好些個「健者」(モ)剛勇之士、利害的人

した

したたむ認ム(下二段他動) ①寫「手紙を認む」寫信、繕函(交) ②瞧見、聽見、看見③吃「晝飯を認む」吃响飯

したたり滴(名) 水點、水滴

したたる滴ル(四段自動) 滴打、滴滴、滴瀝「血が滴る」血滴打

したたるし(形久活) 嬌滴滴的(物)「油

したち下地(名) ①底兒、預備②醬

したつ仕立つ(下二段他動) ①裁縫、做「洋服を仕立てる」縫洋服②教養、教育「子供を仕立てる」教養小孩子③預備「車を仕立てる」預備車④打發、遣、派「飛脚を仕立てる」打發脚夫

したづくり下作(名) 與したごし

した

したつづみ舌鼓(名) 與したうち

したて仕立(名) ①做、作②裁縫③教養、教育④預備「仕立屋」裁縫、成衣匠、縫衣匠、成衣舖、裁縫舖「別仕立の汽車」專車

したで下手(名) ①下謙、謙恭、和霽「下手に出る」待人謙恭、自己占下風②下去「火が下手になる」火下去了 「下手に組む」蹣跚從下邊兒入手「仕方がないから下手に出て取捌いてやった」沒法子就合着給他辦了

したなめづり舌嘗(名) 嚐唇

したならし下馴(名) 預先練習

したぬひ下縫(名) 試縫

したぬり下塗(名) 打底兒「壁の下

した

塗をする「抹墻先打底兒」漆の下塗をする「先漆底兒」
 したば下葉(名) 底下的葉子
 したば下齒(名) 下巴頰兒上的牙
 したば下端(名) 下邊兒、底下
 したばし慕シ(形志久語) 依戀、戀慕、欽慕
 したばたらき下働(名) ①在人的手下做活 ②做雜活兒的使女
 したばら下腹(名) 小肚子、小腹
 したばり下張(名) 打底兒
 したびび下火(名) 火下去了
 したひげ下鬚(名) 頰(hass)下濤
 したひも下紐(名) 褲
 したふ慕フ(四段他動) ①依戀、戀慕、欽慕、敬慕「故郷を慕ふ」依戀故郷「男を慕ふ」戀慕男人「英

した

雄を慕ふ「欽慕英雄」趕、追趕「後を慕ふ」跟着後頭走
 したまへ下前(名) 底襟兒
 したむ溜ム(四段他動) 閉出來「水を溜む」把水閉出來
 したむき下向(名) ①朝下 ②背運、運氣走了 ③有手下人的人望
 しため下目(名) ①眼睛往下瞧 ②藐視(シム)、瞧不上、瞧不起
 したもつれ舌纏(名) 短舌頭、咬舌兒、大舌頭
 したやく下役(名) 下僚
 したよみ下讀(名) 先預備念
 「しだら(名) 「しだら無い」無次序、放肆、放恣、亂七八遭「不しだら」同上
 「しだらく自墮落(名) 無次序、放

したしち

六三〇

したりがほ得意顔(名) 得意的樣子
 したりやなぎ垂柳(名) 垂楊柳
 したる垂ル(四段自動) 垂、垂下
 したる下繪(名) ①草圖、畫稿 ②花樣子
 したをれ下折(名) 折了搭拉着
 したん紫檀(名) 紫檀
 したん師團(名) 鎮(名)、師團(師團長)(一)統制官(師團長)(師團司令部)(一)師團司令部
 したん事端(名) 事端
 じたん示談(名) 說和、調處、調說、私家講和
 した質(名) 質(chai)當(tang)典「着物を質に置く」當衣裳「質が流れた」當死了「質を受出す」贖當

しち 死地(名) 死地

しち七(名) 七、七個
 しち支持(名) 支持、維持
 じち自治(名) 自治、自律「自治權」(一)自治之權、自律之權「地方自治」(チハウ)地方自治「自治行政」(ヤウセイ)自治行政「自治制」(セイ)自治制「自治團體」(シタイ)自治團體
 しちえう七曜(名) ①七曜(日月水火木金土) ②星期、星期一、星期二、星期三、星期四、星期五、星期六(又禮拜、禮拜一)
 しちぐさ質種(名) 當頭(tang)典
 貨、質物、典物
 (しちくどし(形久語) 很麻煩、很累贅、拉拉絲絲的

しちぐわつ 七月(名) 七月、桐月

しちげふ質業(名) 押當行、典當行(tang)「執質權」
 しちけん質權(名) 執物產抵欠權、
 しちごさん七五三(名) ①以一三五七九爲陽數、凡有祝賀之事於此日辦理 ②與しめなは同「七五三の祝」凡兒女長到三歲、五歲七歲、則穿新衣拜土地廟、家裡預備好菜祝之
 しちごん七言(名) 七言詩
 しちじ七時(名) 七點鐘、七時
 しちじふ七十(名) 七十
 しちじやう七情(名) 七情、喜・怒・哀・樂・愛・惡・欲
 しちしよく七色(名) 七色、七樣

しちせき 七夕(名) 七夕、七月七、

しちせき七夕(名) 七夕、七月七、
 しちぜつ七絶(名) 七言絶句、七絶
 しちてんばったう七顛八倒(名) 七顛八倒、輾轉苦楚、苦得亂滾
 しちながれ質流(名) 當死、當舖裡滿出來的
 しちはう七寶(名) 七寶、金・銀・琉璃・碼碯・碑磔・眞珠・玫瑰「七寶燒」(ヤキ)珞藍、玳瑁、景泰藍、景泰藍瓷器
 しちふくじん七福神(名) 五路財神(日本ニテハ大黒天・權子三郎・毘沙門天・辨財天・福祿壽・壽老人・布袋和尚ヲ云ヒ、支那ニテハ釋安増・招財・招寶)「事、很麻煩」
 (しちめんだう七面倒(名) 很費

しち

しち

しち

六三一

しちめんてう 七面鳥(名) 火雞
 しちもつ 質物(名) 當舖、典貨
 しちや 七夜(名) 生子第七天請客
 しちや 質屋(名) 當舖、典當行、押當舖
 しちやう 紙帳(名) 紙做的帳子
 しちやう 市長(名) 市長、市尹
 しちやう 市廳(名) 市廳、市政廳、市政公所
 しちやう 視聽(名) 視聽
 しちやう 市場(名) 市場
 じちやう 次長(名) 幫辦、次長
 しちやう 市町村(名) 城鎮鄉
 しちゆう 市中(名) 市中、城裡
 しちゆう 死中(名) 死中(死中に活を求む) 死中求活、死裏逃生

しちゆう 支柱(名) 戢木、挺棍、頂柱(支柱で支へる) 撐住、頂住、拿戢木戢上 「姑娘(四番目) ①四個女子 ②四 ③侍女(名) 侍女、女僕、使女、婢女、丫頭、丫鬢
 じぢよ 次女(名) 二姑娘、二女兒
 しちよう 至重(名) 至要、最要緊的
 しちよう 輜重(名) 輜重(輜重兵)
 (一)輜重隊(輜重輪卒) (二)輸運輜重的兵
 じちよう 自重(名) 自重、自敬
 じちりん 七厘(名) 白爐子
 (しちん 繻珍(名) 與しゆちん同
 しつ 質(名) 質、性質、品質、成色
 (この銀は質が悪い) 這項銀子成色不好

しつ 室(名) ①室、屋子 ②審(氷室) 氷窖 ③室、夫人(正室) 正室、正
 しつ 瑟(名) 瑟 「夫人、正太太
 しつ 失(名) 失(萬一失なし) 萬無一
 しつ 濕(名) 濕 「失
 しづ 賤(名) 卑賤
 じつ 實(名) 實、實誠(其名ありて實なし) 有其名無其實、有名無實(實の所を打明ける) 告訴實話、告訴明白(あの男は實が無
 い) 他那個人不實誠 「執
 しつ あう 執拗(名) 執拗、剛愎、偏
 じつ あく 實惡(名) 丑
 しつ い 失意(名) 失意、失望、失志
 しつ い 執意(名) 執意
 じつ い 實意(名) 誠心
 じつ いん 實印(名) 圖書、戳子

しつう 齒痛(名) 牙疼
 しつう 四通(名) 四通(四通八達)
 しつう 四通八達
 (ツタツ) 私通(名) 私通、私情、私奔、私合、私下往返、桑中密約、偷香窃玉 「用、利益
 じつえき 實益(名) 益處、實利、功
 しつか 膝下(名) 膝下
 しづか 靜(名) 靜、安靜、平靜、平安、清靜(世の中は靜です) 世上
 很安靜(海上が靜です) 海面上
 很平靜(貴下のお住居は甚だ靜で
 す) 您住的的地方很安靜(騒がな
 いで靜にしない) 別鬧靜靜兒
 的罷(靜に戸を開けた) 輕輕兒的
 把屋門開開了(お靜に) (客ヲ送ル時
 主人ノ挨拶)
 慢走慢走、您慢慢兒的走

じつか 實家(名) 婆家(嫁ト)、娘家
 じつか 實價(名) 實價、實估之價
 しつがい 悉皆(副) 都、全都 「兒
 しつがい 二つ 膝蓋骨(名) 磕稜蓋
 しつかう 失効(名) 無效力、失効、
 作廢
 しつかう 執行(名) 行、辦、執行、行
 使(刑の執行猶豫) 處刑猶豫、容
 緩施刑、執行猶豫、緩刑(職務を
 執行する) 執行職務、行使職務
 しつかう 疾行(名) 疾行 「驗
 じつかう 實効(名) 實效、實在的效
 じつかう 實行(名) 實行、施行、辦
 理、舉行
 しつかく 失格(名) 失了資格
 じつがく 實學(名) 實學

しつかり(副) ①結實、堅實、牢
 固、堅固、一定、強壯、健壯(氣
 をしつかり持つ) 把心拿結實了
 「しつかり定らない」 不能一定(し
 っかりと縛る) 綁牢固(しつかりと
 記憶する) 好好的牢記(心がしつ
 かりしてない) 沒定心的、沒堅
 志(あの人間はしつかりして居る)
 他是堅實的人、他是有志氣的人
 (體がしつかりして居る) 身體
 強壯、身子結實 ②使勁的(カチカチ)
 「しつかりつらまへる」 使勁的拿
 ③緊(戸をしつかり締める) 把門
 關緊 ④好好的(此度の試験はし
 っかりやり給へ) 這回您得好好
 兒的考一考
 じつかん 十干(名) 十干

じっかん 實感(名) 實感、實覺、覺
 しつき 漆器(名) 漆器、漆貨 「察
 しつき 濕氣(名) 濕氣、潮氣
 しつき 質疑(名) 問不明白的地方、
 質問、疑問、質疑
 じつき 字突(名) 念書指字的籤子
 じつき 實記(名) 實錄
 じつき やう 實況(名) 實況、實情
 しつき やく 失脚(名) ①失脚、失足、
 跌倒、蹣脚(はたき) ②失敗、失事、
 しつき 疾苦(名) 疾苦 「敗事
 しつき 疾驅(名) 疾驅
 しつき 仕付ク(下二段他動) ①挿稻秧
 子 ②教養、教育、調教「彼の父は
 厳しく子供を仕付けます」他的父
 親嚴嚴的調教兒女
 しづく 聖(名) 水滴、水滴打「雨の

雫 雨水點兒「一雫」一滴、涓滴、
 細滴「露の一雫」一點露水
 しつこい 漆喰(名) 三合土、灰泥、
 沙泥、膠泥
 しつこす 爲盡ス(四段他動) 做完了、
 辦完了「仕事は爲盡した」事情都
 辦完了
 しつこわい 失火(名) 失火、失慎、走
 しつこわい 室外(名) 屋外、屋子
 外頭
 じつぐわい 日外(名) 日前、那一天
 しつけ 仕付(名) ①挿稻秧子 ②教
 養、教育、調教 ③繙線「仕付系で
 止める」用繙線兒繙「仕付方」(カ)
 教養的法子
 しつけ 濕氣(名) 濕氣、潮氣、濕潮、
 潮濕「濕氣がひどい」潮氣重「濕

氣る 受了濕潮
 しつけない 失計(名) 失計
 しつけない 失敬(名) ①失敬、失禮、
 得罪 ②舉手行禮「昨日は不在で
 失敬しました」昨天沒在家失迎
 失迎「僕はこれで失敬する」我從
 這兒和您分手「兵隊が失敬した」
 兵行舉手禮「これは失敬しまし
 た」這可得罪您了「今日は用事が
 あるから失敬する」今天我有事
 不能去「此葉卷は彼の家のを失敬
 したのだ」這根雪茄烟是我解他
 家裏袖了來的
 じつけない 實景(名) 實景
 じつけない 實兄(名) 親哥哥
 じつげつ 日月(名) 日月
 しつげふ 失業(名) 失業、沒有活

路、沒事的「失業せる貧民」失業
 的窮民 「(カ)實業家
 じつげふ 實業(名) 實業「實業家」
 じつげん 實權(名) 實權「影で實權
 を握る人」暗中握實權的人、黑
 幕中人
 じつげん 實見(名) 親眼看
 じつげん 實檢(名) 檢查、查勘、實
 地檢查
 じつげん 實驗(名) 試驗、實驗、歷
 練、試辦「實驗室」(シ)實驗室
 じつげん 實現(名) 實現、成就、實
 行、遂「理想を實現する」實現其
 理想「かかれての希望を實現した」
 成就了素願
 (しつこ) 小孩子的尿
 しつご 失誤(名) 錯兒、錯失

しつこし(形容) ①麻煩、累贅 ②
 油膩多(油)、口沈(舌)「しつこく尋
 れる」追根兒問(參照)
 じつごと 實事(名) 打扮文生唱
 じつさい 實際(名) 實際、實在、實
 地、實事「實際家」(カ)實際家、現
 實家、實事求是的人「實際的生
 活」(セイクワツ)實際的生活「理論と
 實際と」理論與實際「實際の經
 験」實際之經驗、實地見習、歷
 練過「實際の値段」實價「實際の
 支出高」實支數目「議論よりも實
 際が大切だ」不用說空話實事求
 是是最要緊的「彼の字は實際う
 まい」他寫的字實在好「私は實
 際行かないのです」我實不能
 去「これは實際の事情です」這是

實在的 情形「實際さう云ふわけ
 なら私も強いては申しません」若
 眞正如此則我不敢強求您
 じつざい 實在(名) 實體、實事、實
 在的、確的、實有的、實在有的
 しつざう 濕瘡(名) 疥癬
 じつざう 實相(名) 實相、真相
 しつざく 失策(名) 錯兒、錯過、錯
 しつし 嫉視(名) 嫉視 「失
 しつじ 執事(名) 執事、管事的
 じつし 實子(名) 親生的兒子
 じつし 實施(名) 據實施行、施行、
 實行、實施「規則通に實施する」
 照章實行
 じつじ 實事(名) 實事
 しつじつ 靜靜(副) 慢慢兒的
 じつじつ 實實(名) 內容、實質

じっしふ 實習(名) 實習、實驗、練習、演習、實地學習

しっしやう 漆匠(名) 油漆匠

じっしやう 實正(名) ①真正 ②言明

〔金三百圓也但利子月二分の定右之金員借用候處實正也〕今借到

銀三百元正言明每月貳分起息

じつじやう 實情(名) 實情、實在情由

じっしやう 實證(名) 實據〔實證する〕證實、證明

しっしよく 失職(名) 失業、失職

しっしん 失神(名) 失神、失魂、消魂

じっしん 十進(名) 十進法、十進法

しっす 失ス(在變働) 失、過(嚴に失

しつす 失於嚴(在變働) 失〔民心を失す〕失民心

じつすう 實數(名) 實數

しっせい 執政(名) 執政

しっせい 失政(名) 失政

じっせい 實誠(名) 實誠

しっせう 失笑(名) 失笑

しっせき 吐責(名) 申叱、責備

しっせき 失跡(名) 失踪、無踪跡

じっせき 實跡(名) 實跡

じっせつ 實說(名) 實說

じっせん 實踐(名) 實踐〔實踐倫理學〕實踐倫理學

しつそ 質素(名) 儉素、樸素、清淡、質素、質樸〔暮向が質素な〕過日子儉素〔質素な着物〕樸素的の衣

しつそ 質素(名) 儉素、樸素、清淡、質素、質樸〔暮向が質素な〕過日子儉素〔質素な着物〕樸素的の衣

しつそ 執奏(名) 轉奏

しつそ 疾走(名) 快走

しつそ 失踪(名) 失踪、無踪跡

しつたい 失體(名) 失體面、丟臉、出醜

じつたい 實體(名) 實體、本體、質體〔實體論〕(リ)實體論、本體論

しつたう 失當(名) 失當、不妥、不妥當

しつたつり 執達吏(名) 執行吏、承

じつだん 實彈(名) 眞子、實彈、獨

しつち 濕地(名) 濕地、濕地、子彈

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

じつち 實地(名) 實地、就地、實際

しつち 實地(名) 實地、就地、實際

れば分らない) 不見實地兒就不能明白〔理論と實地と〕理論與實際

じつちく 實竹(名) 死竹

じつちよく 實直(名) 實誠

しつちつる 失墜(名) ①耗費 ②失落

じつて 十手(名) 鐵尺(ていし)

じつてい 實體(名) 實誠

じつてい 實弟(名) 親兄弟

しつと 嫉妬(名) 嫉妬、吃醋、妬忌

しつとけい 濕度計(名) 濕度表、驗濕表

しつとり(副) 靜靜兒的、安靜的

しつない 室内(名) 屋內、屋裡

じつなし(形久括) ①沒法子、無法

②難受、難過

じつに實ニ(副) 實、眞、實在〔實に

立派だ) 實在好看

しつねん 失念(名) 失記、忘了、忘記

しづのめ 賤女(名) 匹婦

しづのを 賤男(名) 匹夫

しつばい 失敗(名) 失敗、失事、敗事、債事(文)

しつばう 失望(名) 失望、灰心(大に失望する) 大失所望

しつぱう 七寶(名) 與しちはう同

しつび 失費(名) 花費、出費、耗費、消費

じつび 實費(名) 實用的經費、實銷

〔旅費は實費を支給する〕盤費是實報實銷

じつび 實否(名) 信否

しつびつ 執筆(名) 執筆

しつぷ 濕布(名) 濕布、濕布裹法〔濕

布する) 裏冷濕布(精)、裏熱濕布

じつぷ 實父(名) 親父親

しつぷう 疾風(名) 疾風

じつぶつ 實物(名) 實物、正物〔實物教授〕(ワジユ)實物教授、實物課程、目觀教授

しつべい 疾病(名) 疾病

しつべい 竹筥(名) 戒尺(教師法師ナド板ナリ) ①以指頭彈〔竹筥返〕(ガヘシ) 一還一報、受了冤立刻就報復、利用人家說我的話反攻他

しつべい 執柄(名) 執權柄

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

しつぽ 尻尾(名) ①尾子、尾巴 ②馬脚〔犬の尻尾〕狗尾巴〔私がかくまてやつたので尻尾を出さずすんだ〕我給他掩埋了這算是沒露出馬脚來了

じつほ 實母(名) 親母親 「直
 しつほく 實朴(名) 直樸、樸實、質
 しつほく 卓子(名) ① 桌子、八仙桌
 子 ② 攪兒瀆麪(色色ノ火藥ヲス)「卓子
 臺」(ノ) 桌子
 (しつほり(副) ① 淋(春雨にしつほり
 濡れる)被春雨淋的很濕 ② 親密
 「しつほり語る」説得很親密
 しづまる 鎮ル(四段自動) ① 鎮、鎮定、
 平定「亂が鎮る」擾亂平定了 ②
 平靜「波が鎮る」波浪平靜起來
 了 ③ 止、小「痛が鎮る」疼止了「風
 が少し鎮る」風小了一点兒 ④ 睡
 覺
 じつみやう 實名(名) 印、官印
 しつむ 執務(名) 辦公事、辦公(執
 務時間) (シカ) 辦公時間

しづむ 沈ム(四段自動) ① 沈、沈下去
 ② 跳「海底へ沈む」往水底下沈
 下去了「海に沈む」跳海「氣が沈
 む」鬱悶「涙に沈む」淚人兒似的
 「憂に沈む」憂悶「苦海に沈む」賣
 身爲妓
 しづむ 沈ム(下二段他動) 沈、沈下去
 「敵船を沈める」打沈敵艦
 しづむ 鎮ム(下二段他動) 鎮、鎮定、平
 定、鎮靜、彈壓「兵亂を鎮める」
 平定兵亂、彈壓兵亂「氣を鎮め
 る」定心、虚心「痛を鎮める」叫疼
 止住、止痛、鎮痛「怒を鎮める」
 息怒、止怒、消氣、壓氣「驚を鎮
 める」解驚、除驚、壓驚、消驚
 じつむ 實務(名) 實務
 じつめい 實名(名) 印、官印

しつもん 質問(四段他動) 質問、疑
 問、訊問、尋問
 じつよう 實用(名) 實用「實用に適
 する」適於實用、可用、堪用、可
 實用
 しつらふ(四段他動) 安置、擺說、擺
 じつり 實利(名) 實利
 じつりよく 實力(名) 實力
 しつれい 失禮(名) 失禮、失儀、短
 禮、失敬、得罪、缺禮「失禮致し
 ます」(副) 失陪失陪、再見再
 見、我要告辭了「昨日は留守で失
 禮しました」昨天失迎「誠にお忽
 忽で失禮です」實在簡慢的很「
 れは失禮しました」(罪ヲ謝) 得罪得
 罪、有罪有罪
 しつれい 濕冷(名) 冷潮「濕冷な天

氣) 冷潮的天氣
 じつれい 實例(名) 實例、例證
 じつれき 實歴(名) 歷練、閱歷
 しつれん 失戀(名) 失愛、失戀、悲
 じつろく 實録(名) 實録 「秋扇的
 しづわ 後輪(名) 鞍坐子
 じつわ 實話(名) 實話 「兒
 して 仕手(名) ① 辦事的人 ② 正角
 して(動) ① 而「言はずして知る」不
 言而知「美にして賢」美而賢 ②
 使、叫、以、用、令「人をして恐れ
 しむ」令人可怕
 して(接) 可是「して貴下は何時お
 立ですか」可是您多麼起身呢
 して 死出(名) 與してのやま同
 してい 師弟(名) 師弟
 してい 子弟(名) 子弟

してい 私邸(名) 私宅、私寓、私第
 してい 指定(名) 指定、指出來、派
 定「指定の場所」指定的地點、所
 指的 地方、到達地「指定地」(ヲ)
 同上 「的思想
 してう 思潮(名) 思潮、世間一般
 してう 鷺鳥(名) 鷺鳥
 してう じゆう 施條銃(名) 來福槍、
 起坑槍
 (してかす(四段他動) 做出來、弄出
 來、鬧出來「間違をしてかす」鬧
 出錯兒來
 してき 指摘(名) 指出來、指摘、指
 じてつ 磁鐵(名) 磁鐵、鐳鐵
 しでのたび 死出旅(名) 死、去世
 しでのやま 死出山(名) 冥府、陰
 府、黃泉、道山

してひも 四手紐(名) 紗帶「文字入
 四手紐」(ワジ) 印字紗帶
 してん 支店(名) 分行 (Fase hang?)
 してん 指點(名) 指點 「支店
 しでん 史傳(名) 史傳
 じてん 字典(名) 字典、字彙
 じてん 自轉(名) 自轉、廻旋、旋轉
 「地球は太陽の周圍を自轉する」地
 球 繞着太陽自轉
 じてん 次點(名) 票數在次的、次
 じてん しゃ 自轉車(名) 自行車、
 脚踏車、脚車、二輪送貨車
 (競走用自轉車) 跑車、競賽用
 脚車「小供用自轉車」童車「女子
 用自轉車」女車 「四金剛
 してんわう 四天王(名) 四天王、
 してん 仕途(名) 仕途、宦途

しと

しと使徒(名) 使徒、聖差
 じと磁土(名) 高嶺土、陶土、瓷
 しと指頭(名) 指頭 「様(shan)」
 じと紫銅(名) 紫銅
 じと侍童(名) 侍童、書僮兒
 じと兒童(名) 兒童
 じと自動(名) ①自動的、自發的、自作的 ②動詞之動作與他事物無關係者謂之自動詞、花咲ク、鳥鳴ク之類是也(自動詞)
 (シ)同上
 じと自動車(名) 汽車、摩托車、摩托卡、自動車
 じとでんわ自動電話(名) 自動電話、公共電話
 じと爲遂(下二段他動) 辦完了、辦完了、辦成、成功、成就、了

しとしな

局、了結、作成
 じとく自得(名) ①自得、自受 ②自得、自適、適意 「亂、狼狽」
 しとけなし(形久語) 亂七八糟、混亂
 (しとしと) ①慢慢兒的
 しとじと(副) 陰陰的(しとじと濕る)潮陰陰的
 しとね禪(名) 褥子、坐褥
 しとみ蒔(名) 上階下摘的窓戶
 しとむ爲留(下二段他動) 殺、殺死
 しとやか(副) 安詳、文雅、秀雅
 しとり濕(名) 濕 「斯文」
 しとる濕ル(四段自動) 濕
 しとろ(副) 亂七八糟、混亂、狼狽
 しとろもどろ(副) 同上
 しな品(名) ①東西、物(値段は安い)が品が悪い ②價錢賤東西不可

しな

好(品を吟味する)挑選貨物(此品粗末ながら進呈仕候)些須微物奉呈閣下 ②品、品類、様(三品の菜)三様兒菜 ③事情(品によつたら参ります)看事情怎麼様我也可以去 ④人品 ⑤品級
 しな支那(名) 中華、中華民國、中國(支那靴)カバン 皮箱(支那人) (ジ)中國人(支那文字)モジ 中國字
 しな(接尾) 時候、臨...的時候(歸りしな)往回裡、臨走的時候兒(寝しなに)要睡覺的時候、臨睡
 しなう私囊(名) 私囊、自己腰櫃
 しながき品書(名) 什物單、貨單
 しながず品數(名) 樣數兒、件數

六四〇

しな

兒
 しなかたち品形(名) 人品、品貌
 しなぎれ品切(名) 賣盡了、都賣完了、賣斷(tuwan)頭兒了、售罄(名) 「評、品題」
 しなさだめ(名) 品階、品評、批評
 しなしな(名) 顛顛微微的
 しなじな品品(名) 各樣兒、樣樣兒、各式各樣的
 しなす爲做(四段他動) 做、作、爲
 (しなせ)ことば(名) 恭敬話
 (しなせ)ぶり(名) 假粧恭敬的樣
 しなだま品玉(名) 耍球兒
 しなだる萎垂ル(下二段自動) ①捻
 (men) ②掩擱着(カルク、カルク) 疊
 肩搭擱
 しなのき科木(名) 椴木

しな

しなひ竹刀(名) 竹刀
 しなぶ翳(四段自動) 翳着
 しなぶ萎(上二段自動) 捻(mien)
 呆、萎、萎敗、枯萎、衰邁(花が皆萎びる)花兒都呆了、花兒都萎敗了(萎びた老人)衰邁的老頭兒、枯槁的老頭兒
 しなほす爲直(四段他動) 從新改做、再做、另作(初めから爲直す)再起頭兒做、再開首作、從新再做、重新做
 しなもの品物(名) 東西、貨品、貨
 しなやか翳(名) ①嫋娜、苗條 ②顛顛微微的、柔撓
 しなゆ翳(下二段自動) 與しなふ同
 しならう爲習(四段他動) 學、學習

しなしに

(商業を爲習ふ)學習買賣
 しなる爲慣(下二段自動) 做慣了
 しなわけ品別(名) 分門別類
 しなん指南(名) ①指南 ②教
 しなん四男(名) ①四個兒子 ②第二個兒子、行四 「子、行二」
 しなん次男(名) 次子、第二個兒子
 しにいき死生(名) 與しせい同
 しにいし死石(名) 死棋 「去了」
 しにいる死入(四段自動) 死了、過
 しにおくる死後(下二段自動) ①誤
 死期 ②一個人還活着
 しにがね死金(名) ①養老銀 ②死錢、白花钱
 しにがほ死顔(名) 死人的臉
 しにがみ死神(名) 閻王爺、閻羅王、勾魂使者、勾魂鬼(死神に取

六四一

りつかれる」叫勾魂鬼纏住了
 しにぎは 死際(名) 臨終、臨死、將死、臨亡
 しにせ老舗(名) 老舗、老莊
 しにそこなふ 死損フ(四段自動) 尋死死不了 「死盡」
 しにたゆ 死絶ユ(下二段自動) 死絶、死にのこる 死殘ル(四段自動) 還活着 「過去了」死絶、死盡
 しにはつ 死果ツ(下二段自動) ①死了、しにびと 死人(名) 死人、死鬼
 しにみづ 死水(名) 臨終喝の水(死水を取る)給合殮(支那ニテハロニ) しにめ 死目(名) 臨終、臨危、臨死 しにもものぐるひ 死物狂(名) 拼命、不顧死活

しにやみ 死病(名) 一定死的病、要命的病
 しにわかる 死別ル(下二段自動) 死別
 しにわかれ 死別(名) 死別
 しにん 死人(名) 死人、死鬼
 じにん 自認(名) 自認
 じにん 自任(名) 自任
 じにん 辭任(名) 辭任、辭職
 しぬ 死ヌ(余勢自動) 死、死亡、絶命、身故、命終、壽終、不在、作古、謝世、去世、過去、故、亡(死んでも忘れぬ)到死也忘不了
 しぬく 爲拔ク(四段他動) 辦到底、做到極處「悪事を爲拔く」無惡不做
 しねん 思念(名) 思念、尋思、沈思
 じねん 次年(名) 第二年、明年

じねん 自然(名) 自然、天然(自然薯(ジャウ)山藥(自然生)(セイ)自然生的)
 じねん 自燃(名) 自然、自燒
 じねんに 自然ニ(副) 自然的、自然
 しの 篠(名) 篠 「而然的」
 しのうこうしやう 士農工商(名) 士農工商
 しのぎ 鎬(名) 刀背稜(鎬をけづる) 兩人拿刀拚命似的砍
 しのぐ 凌グ(四段他動) ①凌「雲を凌ぐ」凌雲 ②侮、欺凌「長者を凌ぐ」欺凌長輩 ③冒「風雨を凌ぐ」冒風雨 ④忍、耐「暑を凌ぐ」耐暑「飢を凌ぐ」忍飢 ⑤壓下「氣力壯者を凌ぐ」氣力壓下壯者
 (しのこの四五) 說三道四(四)

の五のと云はずに承知しなさい
 你不用說三道四的就答應罷
 しのだけ 篠竹(名) 篠
 しのつく あめ 篠衝雨(名) 大雨、傾盆大雨 「邊發紅兒、東方亮」
 しののめ 東雲(名) 朦朧亮兒、東
 しのび忍(名) ①偷偷兒的 ②地遁、遁法、隱身法、蔽形術 ③細作、間諜、漢奸
 しのびあるき 忍歩(名) 偷偷兒的走、蹣跚脚的走 「兒的進去」
 しのびいる 忍入ル(四段自動) 偷偷
 しのびごと 忍事(名) 密事
 しのびごゑ 忍聲(名) 喳喳的說話
 しのびづま 忍夫(名) 姦夫、淫夫
 しのびづま 忍婦(名) 姦婦、淫婦
 しのびなき 忍泣(名) 咽泣

しのびのじゆつ 忍術(名) 與にんじゆつ 同 「奸細、漢奸」
 しのびもの 忍者(名) 細作、間諜、しのびやかに 忍ニ(副) 偷偷的
 しのぶ 忍ブ(四段他動) ①耐、忍耐、扎掙、容忍、含忍 ②據、隱「恥を忍ぶ」忍耻、忍辱、含忍羞辱「一時の怒を忍ぶ」忍一時忿「可笑さを忍ぶ」忍笑「無慘(シガ)で聞くに忍びぬ」慘不忍聞「世を忍ぶ」隱世、遁世
 しのぶ 忍ブ(上二段自動) 同上
 しのぶ 忍ブ(四段自動) 藏、隱、躲匿
 しのぶ 忍ブ(上二段自動) 同上
 しば 柴(名) 柴「柴を折る」打柴
 しば 芝(名) 草名、結縷草
 しばい 紙牌(名) 紙牌

しはい 支配(名) 管轄、管理、調遣、治、治理、宰治、節制(大阪府の支配に屬す)歸大阪府管轄(人間は境遇に支配される)人為境遇所使、人被境遇所支配(長官が部下を支配す)上憲調遣部下「知事の支配に屬する」歸知事的節制(支配人)(一)總經理(會社)、經理(店)、掌櫃的(商店)(副支配人)(二)「裏」
 (ニク) 協理
 しばう 四方(名) 四方、四面、四下
 しばう 四寶(名) 四寶(筆・硯・墨・紙)、文房四寶
 しばう 資望(名) 資望
 しばう 死亡(名) 死亡(死亡の通知)
 しばう 訃音、報喪

しはしひ

人、畜刻的人

しはんぶん 四半分(色) 四分之一

しひ椎(名) 椎樹

しひ私費(名) 私費、自備

しひ鴟尾(名) 獸頭

しひ自費(名) 自備、自認

しひ侍婢(名) 侍女、丫頭、丫鬟

しひ慈悲(名) 慈悲「慈悲心」(シ)

善心、慈悲心

じびき字引(名) 字典、字彙、辭典

「字引を引く」檢字典、查字典、翻字典

しひごと 誣言(名) 誣言

しひたけ 椎茸(名) 香蕈、香菌

しひつ 試筆(名) 試筆

じひつ 自筆(名) 自己寫的、親筆

しひ

しひつく 強付ク(下二段他動) 強扭、硬叫他做

しひて 強テ(副) 強、硬、勉強「私は強てお願は致しません」我也不能強求您「強て留めるから一晩泊った」他強留我所以我也住了一宿(強 ch'iang?)

しびと 死人(名) 死人、死鬼 「豆

しひな 糍(名) 糍糰子(米)、糍豆子

しひやくしびやう 四百四病(名) 百般的病、所有病症有四百零四類

しびる 痺ル(下二段自動) 發木、麻「脚が痺れた」脚麻了「手が痺れた」手麻了

しびれ 痺(名) 發木、麻「痺をさくら

しひしふ

了 1. 脚麻了 2. 等膩了、等急了 「藥、迷蒙藥

しびれぐすり 痺藥(名) 麻藥、迷

しびん 尿瓶(名) 與しゆびん同

しふ 師傅(名) 師傅

しふ 師父(名) 師父

しふ 集(名) 集

しふ 執(名) 執

しふ 強フ(上二段他動) 強(ch'iang?) 勉強、強扭「難きを人に強ふ」強人所難「酒を強ふ」強扭着叫人喝酒「來るのが厭(イ)なら強ひな

くてもよい」既是他不肯來就不必勉強了

しふ 誣フ(上二段他動) 誣、誣言、誣告、誣報、誣問、誣捏

しふ 四分(名) ① 四分之一 ② 四分

「四分の利」四分利錢

しぶ 澁(名) ① 澁 ② 柿油、柿漆「柿の澁を抜く」澁柿子

しぶ 支部(名) 分會、支部

しぶ 自負(名) 自負、自許、自尊

しぶ 慈父(名) 慈父

じふ十(名) 十、拾「十に八九」與十

中八九同「十の八九」同上「一を聞いて十を知る」聞一知十

しぶいち 四分一(名) ① 四分之一

② 銀白銅

じぶいちぐわつ 十一月(名) 十一月、冬月、仲冬月、葭月

じぶいちじ 十一時(名) 十一點鐘

しぶがき 澁柿(名) 澁柿子

しぶがく 習學(名) 習學

しぶかは 澁皮(名) ① 樹皮 ② 栗子皮 ③ 有(wet) 光似白的「澁皮のむけた女」有光似白的女人、漂亮的女人

しぶがふ 集合(名) 集合、集會、聚同、聚集

しぶかみ 澁紙(名) 柿油紙

しぶぎ 集議(名) 集議 「滯雨

しぶき 繁吹(名) 滯「繁吹雨」(ア)

じぶき 什器(名) 什物、什件、什器、什貨、傢俱、傢伙

しぶきん 集金(名) ① 湊錢(金ヲアツ

スル) ② 收賬(掛ラ)「集金人」(ニ) 收

賬的

しふく 紙幅(名) 紙幅、篇幅、紙面

しふ

しふ

六四七

地位「紙幅限ありて詳述を得ず」以無餘白(限於篇幅)不能詳述

しぶく 繁吹ク(四段自動) 滯「雨がしぶきか、る」雨滯 「的衣裳

じぶく 時服(名) 時服、應時對景

しぶくる (四段自動) 生氣、有氣

しぶくわい 集會(名) 集會、聚會、聚集「集會所」(ジ) 公所、會館

じぶぐわつ 十月(名) 十月、梅月、陽春

しぶくわん 習慣(名) 習慣、習氣、素習、習俗「習慣は第二の天性で

ある」習慣成自然、習慣如天性「習慣となる」成了習氣、作慣了、習慣了

しぶげき 襲撃(名) 襲擊、攻擊、衝

六四六

しふ

擊、衝鋒

しふけん 集權(名)

集權

じうごや 十五夜(名)

仲秋、三五

しぶさ 澁(名)

「夜

しふさん 集散(名)

集散「大阪は百

貨集散の地である」大阪は百貨

總匯的地方、大阪は百貨的集

散地

しふじ 習字(名)

寫字、習字、練字

「習字帖」(テウ) 1. 練字本 2. 法帖

「習字手本」練字的法帖

しぶし 澁シ(形久活)

①澁②俏式(クスマ

ナキ)、古雅、穩重、沈穩(あの役者

は藝が澁い)那個戲子做法很穩

重(聲が澁い)唱的沈穩(がらが

澁い)花樣俏式、花樣樸素(この

しふ

柿は澁い)這個梯子澁

じふじ十時(名) 十點鐘

じふじ十字(名) 十字兒「十字架」

(カ)十字架「十字街」(ガイ)十字街、

十字路「十字火」(クワ)十字火、十

字礮火「十字形」(ケイ)十字兒、十

字形 「的、不願意的樣子

(しぶし)澁澁(副) 不痛痛快快

しふしやく 襲爵(名) 襲爵、世襲

しふじゆく 習熟(名) 熟習 「爵位

しふしよく 襲職(名) 襲職

しふしん 執心(名) 執意

しふぞく 習俗(名) 習俗

じふたい 澁滯(名) 澁滯、遲滯、耽

擱、遷延

しふ

しふだん 集團(名) 團體、羣「集團

をなす」合成羣、集成羣、合攏起

來

しぶちや 澁茶(名) 苦澁的茶

しふちやく 執着(名) 迷、迷惑、固

執、拘執、纏住、墨守「生命に執

着する」吝惜生命「習慣に執着す

る」墨守習慣

しふちゆう 集注(名) 湊集、貫注、

灌注「精神を集注する」心神全

在、把全神灌注、把心神貫注在

一處「全力を集注して當る」集中

全力以當事

じふちゆうは 十中八九(名) 十

中八九、十有八九、十分有八

九、大約有九成(人の病は十中八

しふ

九まで食物から來る(ト) 大凡人

的病十分有八九是吃出來的病

しぶつ 死物(名) 死物

しぶつ 事物(名) 事物 「展的

しぶつら 澁面(名) 愁容、愁眉不

ジブテリヤ(名) (Diphtheria) 喉痧、

白喉

(しぶと) 死人(名) 死人、死鬼

しぶとく 拾得(名) 撿得、拾得

しぶとし(形久活) 執拗、固執、硬

頸、頑強、倔強、一死兒的「しぶ

とく白狀せぬ」一死兒的不認賬

「しぶとい奴」頑強的東西

じふに 十二(名) 十二(十二月)(カ)

十二月、臘月、嘉平(十二支)(シ)

十二支(十二時)(ジ)十二點鐘(十

二指腸)(ト)十二指腸、小腸頭

しふ

曲處、腸首段(十二單)(ヒト) 古

代宮女之禮服「十二分」(フ) 十

二分(十二分に醉ふ) 十二分醉了

じふにんと いろ十人十色(名) 十

個人十個樣子、十個指頭沒有

一般兒齊的、人生一百種種色

じふにん なみ十人並(名) 一様

しぶぬり 澁塗(名) 和尋常

しふねがる 執念ガル(四段自動) 怨

恨、抱怨、記仇兒

しふねし 執念シ(形久活) 怨恨、抱

怨、記仇兒、有仇必報

しふねん 執念(名) 怨恨、抱怨、記

仇兒(あの人執念深い) 他愛記

仇兒、他好報仇、他是睚眦必報

しふ

しふのう 十能(名) 煤鏟子

しふはい 集配(名) 集者湊也配者

送也「集配人」(シ) 送信的 「器

じふはう 什寶(名) 什寶、寶物、寶

じふはちばん 十八番(名) 得意的

事情、拿手、拿手活、拿手的技

じふはちこう 十八公(名) 松樹、

十八公

じふぶん 十分(副) 十分、齊全、

饒、穀、滿、完全、足「十分に頂戴

しました」酒足飯飽了「十分注意

する」十分留神「これだけあれば

十分です」有這些個就足穀了

「十分に準備する」預備的十分齊

全「御安心なさい彼は十分承諾し

た) 您放心罷他滿應滿許了(授爵の値打は十分ある) 饒有授爵
 しぶみ 滋味(色) 滋味 「的價値
 しぶめん 澁面(色) 與しぶつら同
 しふもつ 什物(色) ①什物、什器、什件、什貨、傢俱、傢伙、寶器、寶物 「文字鎗」(ヤリ)三角矛
 じふもんじ 十文字(色) 十字兒(十しぶりばら 澁腹(色) 結痢、垂肚
 しぶる 澁ル(四段自動) 澁滯(ナド)遲滯(同)、艱澁(言華)、滯滯膩膩的(同)、結痢(同)
 しふれん 習練(色) 練習 「豆
 じふろくささげ 十六大角豆(色) 豆
 しふる 拾遺(色) 拾遺 胭脂、脂粉
 しふん 脂粉(色) 胭脂、脂粉

しふん 私憤(色) 私憤
 しぶん 詩文(色) 詩文
 しぶん 死文(色) 具文
 しぶん 斯文(色) 斯文
 じぶん 時分(色) 時候、時分
 じぶん 時文(色) 時文
 じぶん 自分(色) 自己、各自(Ko³)
 各自兒(Ko³)、各自各兒(Ko⁴ tsu⁴ Ko³ tsu⁴)、各人(Ko³)、各自で自分の事をする」各自辦各自的事「自分でする」各自兒做「自分で行つて見なさい」你各自兒去瞧瞧(自分で求めて苦勞する)自尋苦惱(自分勝手)任性、隨自己的便(彼は自分勝手)の處がある」他有任性的地方兒(自分勝手なふるまうてはいけない)你別

隨着意兒辦事(自分免許)「シキヨ」
 自覺不凡、自負不淺(自分持)「モチ」自備、自己擔費用(今日の會費は皆自分持です)今天的會費都是各自各兒匯錢
 しぶん づれつ 四分五裂(色) 四分
 しべ 藥(色) 藥、花藥 「五裂
 しべ 積(色) 積
 しへい 紙幣(色) 紙幣、鈔票(紙幣發行)「ツカウ」發行鈔票(紙幣入)「レ」鈔票夾
 じへい 時弊(色) 時弊
 じへい 辭柄(色) 辭柄、話柄
 しへう 師表(色) 師表
 じへう 辭表(色) 辭呈、辭稟、辭職書、請辭職文(辭表を差出す)奏請開缺、呈請開缺、提出辭職

しへたぐ 虐グ(下二段他動) 虐、虐待、刻剝、暴虐、欺壓、欺負(人民を虐ぐ)暴虐民人、刻剝民人
 しべつ 死別(色) 死別
 じべつ 辭別(色) 辭別、辭行
 しへん 四邊(色) 四面兒、四周圍
 しべん 支辨(色) 支費、支銀、支付、支給、開錢、開支(國庫から支辨する)由國庫開支
 じへん 事變(色) 事變
 じべん 自辨(色) 自認、自備(郵税は自辨のこと)郵費一概自認
 しほ 試補(色) 試用、試補
 しほ 鹽(色) 鹽、白鹽、生鹽、食鹽「鹽にする」醃着(鹽を出す)去鹹味(鹽がきかない)缺鹽、鹹味不

しほ 潮(色) ①海潮②機會(大潮) 大潮、朔望潮、子午潮(今は丁度好い潮です)現在正是好機會(私が云ふとそれを潮にして云ひ出す)他聽這句話提起頭兒來了「それを潮に彼は職をやめた」就着這個他罷了官了 「模子
 じほ 字母(色) ①字母②字模(活字)
 じほ 慈母(色) 慈母
 しほあひ 汐合(色) ①海潮長落(chang³ lao³)②機會、火候
 しほあんばい 鹽按排(色) 鹹淡兒
 しほうを 鹽魚(色) 鹹魚、醃魚
 しほおし 鹽壓(色) 鹹菜
 しほかげん 鹽加減(色) 與しほあ

しほかせ 潮風(色) 潮風 「之灶
 しほがま 鹽竈(色) 煮海水做白鹽
 しほから 鹽辛(色) 魚肉或魚子或魚腸所做的醃 「説話
 しほから 鹽辛聲(色) 啞嗓兒
 しほからし 鹽辛シ(形久活) 鹹
 しほくみ 鹽汲(色) 打海水做白鹽
 しほけ 鹽氣(色) 鹹味、鹽分「兒
 しほけむり 潮煙(色) 浪花、水花
 しほざかな 鹽着(色) 鹹魚
 しほさき 潮先(色) ①海潮要長的時候②事情要出來的時候
 しほじむ 鹽染ム(四段自動) 髒了汚(色) 淋

しほ

しほじり 鹽尻(名) 鹽灘上堆成之
 しほせ 鹽瀨(名) 潮流 「砂」
 しほた 鹽田(名) 鹽池、鹽灘
 しほだし 鹽出(名) 去鹹味
 しほだち 鹽斷(名) 白齋 「流」
 しほぢ 湖路(名) ①水路、海路 ②潮
 しほづけ 鹽漬(名) 鹽醃的、拿鹽
 醃(鹽漬の肉) 醃肉
 しほで 較(名) 杈兒
 しほどき 潮時(名) ①海潮長落的
 時候 ②機會
 しほはま 鹽濱(名) 鹽池、鹽灘
 しほはゆし 鹹シ(形久活) 鹹
 しほひ 潮干(名) 潮落(潮干狩)(ガリ)
 潮落時下沙洲打魚介

しほ

しほびき 鹽引(名) 鹹魚
 しほぶた 鹽豚(名) 鹹肉
 しほぶろ 鹽風呂(名) 燒海水的澡
 堂(鹽風呂に入る) 燒海水洗澡
 しほまちぶね 潮待船(名) 等潮的
 船
 しほみち 潮路(名) 海潮來去之路
 しほみづ 鹽水(四段自動) ①海潮 ②
 鹽水、鹹水、鹽汁
 しほむ 萎(四段自動) 呆(men's) 萎、
 萎敗、枯萎(花萎む) 花呆了
 しほや 鹽屋(名) ①鹽廠 ②鹽商
 しほやき 鹽燒(名) ①煮海水做白
 鹽 ②鹽丁(鹽ヲ造) 「鹽開水」
 しほゆ 鹽湯(名) ①燒海水洗澡 ②
 しほり 絞(名) ①擰、擠 ②纏繞(絞)

しほ

染)同
 しほる 絞ル(四段自動) ①擠(牛乳を
 絞る) 擠牛奶(汁を絞り出す) 把
 水擠了去(聲を絞る) 擠着聲音
 「油を絞る」 擠油、壓油 ②擰(手
 拭を絞る) 擰手巾 ③絞(膏血を絞
 る) 絞膏血、吸人膏血 ④打(幕を
 絞る) 把幔帳打起來 ⑤勒索(人
 の金を絞る) 勒索人錢 ⑥想、思
 索(智慧を絞る) 苦心思索、左思
 右想、千思萬想、構思(文の思想
 を絞る) 搜索枯腸、大費思索
 「聞く者皆袖を絞る」 聽的人都掉
 下眼淚來了
 しほん 資本(名) 資本、本錢、本(固
 定資本)(コトイ) 常住資本(流通資
 本)(カウツ) 循環資本(六國資本團)

しま

(ロツコシ) 六國資本團(資本金)カ
 財東、財主、資本家(資本金)キン
 本、資本、本錢、本銀、成本、母
 財、資本(資本主)シユ(ヌシ) 財東、
 資本家、資本家
 しま 島(名) 海島
 しま 縞(名) 紋、斑紋、花道兒(縞
 毛布)(モウフ) 花洋氈子(縞木綿)
 (モイ) 有花道兒的布
 しま 揣摩(名) 揣摩
 しまい 姊妹(名) 姊妹、姐妹
 しまうま 縞馬(名) 斑馬、紋馬、花
 條馬
 しまがら 縞柄(名) 花道兒的樣子
 しまぐに 島國(名) 海國
 しまだ 島田(名) 姑娘梳頭之名(島
 田鬘)(マダ) 同上

しま

しまだい 島臺(名) 几上做蓬萊山
 以為婚禮裝飾者
 しまつ 始末(名) ①始末、始末根
 由(始末を糺す) 問始末根由 ②
 辦理、收拾(始末をつける) 辦理
 好了(か) 亂れては始末がつかぬ
 だらう) 既然這麼亂了恐怕就不
 易收拾了(始末におへぬ) 了不
 得、受不得 ③儉省(sheng) 省錢
 「始末のよい人」 儉省的人 ④様
 子、狀態(放蕩の結果が此始末で
 す) 這個樣子就是荒蕩的結果、
 荒蕩的收場就是如此(始末書)
 (ガキ) 自行檢舉之書(始末屋)ヤ
 儉省的人
 しまね 島根(名) 海島、海國
 しまひ 仕舞(名) ①了結、了局、完

しま

了、完結、末尾、盡頭、煞尾、終
 點(仕舞は喧嘩になりました) 臨
 完了打起架來了(仕事はこれで
 仕舞です) 事情這就了結了(hoo.
 chih? ta) かなればお仕舞で
 す) 既是這樣就結了 ②終久
 「仕舞には必ず罰が當るだらう) 我
 看終久必遭了報了 ③粧扮、梳
 粧、打扮(あの娘は今日は綺麗に
 お仕舞をして居る) 那個姑娘今
 天粧扮的很好看(仕舞物)(モイ)
 殘貨
 しまふ 仕舞フ(四段他動) ①關、關閉
 「店を仕舞ふ」 關鋪子 ②完、了
 結、完結、完畢(御飯を仕舞った)
 吃完了飯了 ③收(餘(アマ)は皆仕
 舞っておきなさい) 下餘的都收

起來罷「仕事を仕舞ひなさい」你把活收起來罷 「こりや仕舞った事をした」這是怎麼話說的、這可糟糕了

しまふ 仕舞フ(四段自動) 了(カ)金は皆使って仕舞ひました」錢都花盡了「人は皆歸って仕舞った」人都走了「死んでしまった」死了「困ってしまった」爲上難了

しまもの 縞者(名) 有花道兒的布しまり 締(名) ①緊、緊密 ②鎖、關 ③約束、拘管 ④節制 ⑤儉省(口に締の無い人) 1. 嘴不嚴的人(口モスグ洩ラス人) 2. 廠嘴唇兒的人(口ニシマリナク) (門の締をする) 鎖上門(締のよい人) 會省錢的人 しまる 締る(四段自動) ①緊、緊密

「繩が締りました」繩子捆的很緊 ②繫(帶が締らない)帶子繫不上 ③鎖、關(戸が締った)關上門了 ④改、收斂(行狀が締って来た)他的品行現在改過一點兒來了、他現在收斂了點兒了 「開いた口が締らない」嚇得目瞪口呆 しまる 締ル(四段他動) ①管、管理

「支配人が店を締る」掌櫃的管理 締子 ②約束、拘管(規則で締る) じまん 自慢(名) 自誇、自譽、自滿 しみ 衣魚(名) 蠹魚子、蠹蟲、書蠹、蛀蟲(衣魚に食はれた)被蠹 魚子 打了 しみ 染(名) 汚(カ)淋、哦噠、髒點(着物に染がついた)衣裳髒了汚

じみ 滋味(名) 滋味 「淋了(じみ)不華美、老乾、素(服裝がじみです)打扮的不華美(色が餘りじみだ)顔色太素

しみこむ 染込ム(四段自動) ①浸、滲、浸滿、浸透、滲透 ②沾染、沾潤、沾上了(水が染込む)水浸進去、水滲入、水滲透(惡風が染込む)染上了壞風俗、不好的習氣沾染(地上的溜水が皆染込んだ)地上汪着的水都滲下去了(頭の中に染込ませる)印入人的腦袋(油を染込ませる)叫油滲透了 しみじみ 染染(副) 親密的、切實的 「染染話をしたことはいない」沒說過談心的話(お互共は暫く染染と話をした)傳們切實的說了

しみち 爲道(名) 法子、方法 しみづ 清水(名) 清泉 「沾染上 しみつく 染付ク(四段自動) 染、浸、(しみ)つたれ(名) ①膏刻、膏吝 ②乏人(意氣地)

しみぬき 染抜(名) 洗掉汚(カ)淋 しみとぼる 染透ル(四段自動) 滲入、滲透(水が染透る)水滲透了、滲水、叫水淋濕了(雨が染透らぬ) 雨水不滲、雨水滲不透 しみやく 死脈(名) 死脈、絕脈 しみん 市民(名) 市民 「商」 しみん 四民(名) 四民(士・農・工・しむ)染ム(四段自動) ①染、沾染(惡習に染む)沾染不好的習氣、感染 惡習 ②刻、銘(教訓が心に染み

る)教訓的話刻在心裡(身に染みて有難く思ふ)銘刻在心的感念 ③髒(油が着物に染みる)油髒了衣裳 ④燻(香が染みる)味兒燻了、香氣透徹 ⑤扎、透(寒さ身に染む)冷的扎骨、透骨的冷 ⑥淹、滲(眼藥が眼に染みる)眼藥淹眼睛(インキが染む)墨水滲化

しむ 占ム(下二段他動) 占、佔、佔領、得(席を占む)佔席(重要なる地位を占める)佔重要地位(敵の城を占める)佔領敵人的城池(彼は第一席を占めた)他得了第一名(かうなればもう占めたものだ)若這麼一來可了我的心了、若這麼一來實在湊合我了、若這

麼一來大事已經妥了、這麼一來可到了手了

しむ 締ム(下二段他動) ①繫(帶を締める)繫帶子 ②緊(繩を締める)緊繩子 ③鎖、關、上(戸を締める)鎖上門(カギヲ)、關上門(ル)、上門(戸)店をしめる)歇業、關門、閉歇 ④算、結(帳面を締める)結帳、算賬、算清賬目 ⑤擠(油を締める)擠油、壓油 ⑥加楔(椅子がゆるんだ締めなければならぬ)椅子走了榫(suw)子了得加楔加楔 ⑦合、掩(本をしめる)合上書、掩上書、把書摺上 ⑧收(傘をしめる)收傘 ⑨摺(拳(シヨ)を握りしめる)摺着拳頭 ⑩約束、拘管(此子は情(シ)けるからきつく締

しむ

めてやらう」這個小孩子懶惰得嚴嚴的拘管①擰「雞を締める」擰小鷄兒脖子①勒、扭住、扼「首を締める」上吊(自分)、勒脖子(シノ首ヲ)、扭住領口(襟)、扼人頸部(頰)②共總、共計、一共「締て五百圓也」共計五百元正「(フシ)を締めてかかる」擦拳磨掌的、捋胳膊挽袖子

しむ染ム(下二段他動) 使染

しむ(助動シメ・シム・シムル・シムレ) 使役

性之助動詞、使・令・俾・叫「之を知らしむべからず」不可使知之(文)

しむ(助動シメ・シムル・シムレ) 同上

しむ時務(名) 時務

しむ事務(名) 事、事務、公事「事

じむ

務を執る」辦事、辦公事「事務室(シ)辦事處、公事房、辦公室「事務處」(シ)辦事處、事務所、司務所、公事房、事務公所「事務引繼」(キツギ)交卸公務「事務員」(ヤシ)辦事人、賬房員

じむ染ム(接尾) 様子、似的「狂氣染む」瘋子似的

しむく仕向ク(下二段他動) ①待、待遇、應對「彼がどう云ふ風に仕向けてくるか見やう」俾們先看看他怎麼應對我們②動手、下手「喧嘩を仕向ける」先動手③發去、發送、運送、轉運「荷物を仕向ける」發送貨物、把貨發去

しむけ仕向(名) 待、待遇、對待、應對「仕向地」(ヲ)送往處、指定

しめ

地、到達地、所指的(地方「仕向先」(サキ)同上

しめ標(名) 與しめなは同

しめ縮(名) ①總共、一共、共計、通共、合計、總算、合算起來②緘、封

しめい使命(名) 使命「使命を奉ず」奉使命「天我に一つの使命を與へた」天附與我一個天職

しめい指名(名) 指名

しめい死命(名) 死命

しめい氏名(名) 姓名「氏名點呼」(テノ)點卯

しめい自明(名) 自明、自然明白的、顯而易見的、不待論的

しめいしよう自鳴鐘(名) 自鳴鐘

しめうり縮賣(名) 包攬買賣(賣)「縮

しめ

しめがざり標飾(名) 與しめなは同

しめがさす搾滓(名) 油渣子(油)

しめがね縮金(名) 帶頭兒、鑽子、帶扣、扣帶頭

しめがひ縮買(名) 攬貨、包攬

しめぎ搾木(名) 壓油莖子、壓油機、壓機、榨機 「止」(期日)

しめきり締切(名) 封閉(門戶)、截止

しめきる締切ル(四段他動) ①封閉「戸を締切る」封閉門②截止「五月八日で締切る」以五月八號爲截止 「理、約束、拘管

しめくくり締括(名) ①繫緊②管

しめくくる締括ル(四段他動) ①繫緊②管理、約束、拘管 「絞死

しめころす締殺ス(四段他動) 勒死、

しめ

しめし示(名) 示、指、指明

しめし濕(名) ①濕②襪子(子供)

しめしあはす示合ス(四段他動) 合謀、聯絡、合同

しめす濕ス(四段他動) ①濕、沐、蘸「手拭を濕す」蘸手巾「筆を濕す」沐(moist)沐筆 ②除(chi)「火を濕す」除火

しめす示ス(四段他動) 示、示知、示明、表示、指示「衆に示す」示衆「實例を示す」立榜樣、立表式「方法を示す」指示方法

しめすへん示偏(名) 示補旁兒

しめだか締高(名) 總數、總碼、總額

しめだし締出(名) 關在外頭、關

しめ

阻、阻止入内「締出を食ふ」把我關在外頭

しめだす締出ス(四段他動) 關在外頭、關阻、阻止入内、把人掩閉在外

しめつ自滅(名) 自滅、自亡

しめつく締付ク(下二段他動) 繫緊、捆上緊

しめつく(四段自動) ①發潮②潮個粘(sticky)的「此處は大變しめつきます」這個地方太潮「身體がしめつく」身上覺着潮個粘的

しめっほい(形久活) 同上

しめて締テ(副) 共總、共計、一共、通共、合計、總算

しめなは標繩(名) 稻草編的繩子、新年每戶掛之於門上以取吉利

しめやか(名) 冷清、冷清清清的
 しめらす(動) 弄濕、濕潤、作濕、潤一潤
 しめり(動) ①濕、濕潤、滋潤、濕氣 ②下雨、雨水(よい濕)好雨
 『今年の濕は丁度よい加減です』
 今年雨水調勻
 しめりけ(動) 濕氣
 しめる(動) 濕ル(四段自動) 濕、濡濕、潤
 濕(着物が濕つた)衣裳濕了(地面が濕る)地皮兒滋潤
 しめる 沈ル(四段自動) 發愁、憂悶
 しめん(動) 四面、四面、四圍、四下裡
 しめん(動) 紙面、紙幅、篇幅(信封、函、新報上)紙
 『紙面限あり後日再録すべし』紙

幅有限姑俟後日再陳
 しも霜(名) 霜(霜が降る)下霜
 しも下(名) ①下、底下 ②下部、下身 ③下民、人民 ④下人、底下人
 『下に列記す』開列於下、列後、開列如左、在下文開列
 しも(動) 此助詞無意義唯激語勢而用(無きにしもあらず)不無、非無
 しもいちだんくわつよう下一段活用(名) 文語下一段活唯有蹴る之一語、其語尾變爲け・ける・けれ、俗語下一段活其數甚多、所有文語下一段活皆變爲俗語下一段活
 しもがる(動) 霜枯ル(名) 草木被霜打しもがれ(動) 霜枯(下二段自動) 霜打

冷落、荒涼 「しむ」歡娛耳目
 じもく耳目(名) 耳目(耳目を樂まじもぐえ下座(名) 糞
 しもぎ下座(名) 下座兒
 しもぎま下様(名) ①下民、人民、百姓 (po' hsing') ②下賤的
 しもじも下下(名) 下民、人民、百姓 (po')
 しもつき霜月(名) 十一月、冬月、しもと答(名) 答 「仲冬月、葭月しもにだんくわつよう下二段活用(名) 動詞語尾變化在うえ之二段、添る及れ活用者、謂之下二段活、例如得之一語變爲え・え・う・うる・うれ
 しものく下句(名) 日本歌第四句及第五句謂之下句

しもばしら(動) 氷錐錐兒
 しもはんき(動) 下半年(名) 下半年、下半年期、下半年屆
 しもびと下人(名) 下人、底下人
 しもぶくら下脹(名) 豐頰、胖臉
 蛋兒
 しもふり霜降(名) ①下霜 ②墨裡藏針的花樣、黑白點相間的花樣(霜降羅紗) (ラシヤ) 芝麻呢
 しもべ下部(名) 底下人、僕人、使喚人、家人、家丁、僕役
 しもやけ霜燒(名) 凍瘡、凍瘡
 しもやしき下屋敷(名) 徳川時代諸侯別墅
 しもよけ霜除(名) 擋霜雪的東西
 しもん諮問(名) 諮問、諮詢、諮議
 しもん指紋(名) 指斗紋、指印、斗

箕、斗(指紋を取る)搵斗箕
 しや紗(名) 紗
 しや救(名) 救 「③公司
 しや社(名) ①祠、神廟 ②社、夥黨
 しや舍(名) 舍
 しや捨(名) 捨
 しや射(名) 射
 しや謝(名) 謝
 しや斜(名) 斜
 しや者(名) 者
 しや邪(名) 邪
 しや蛇(名) 蛇、長蟲(蛇(ジ)の道は蛇(ジ)耗子纒知耗子路
 シャープえんぴつ(名) 活動鉛筆
 じやあく邪惡(名) 邪惡
 じやあしやあ(動) 不知羞耻、無耻、厚顏、莽撞

しやい(動) 謝意、謝悃(謝意を表す)表謝意、鳴謝悃(文)
 じやい(動) 邪意、邪意
 じやいう(動) 社友(名) 夥友、公司職員、行員、店友
 じやいん(動) 邪淫(名) 邪淫
 しやう(動) 仕様(名) 方法、法子、法(仕様書) (ガキ) 説明書、造法書、計畫書
 しやう(動) 飼養(名) 養、養活、畜養、養育、飼養、餵、餵(牛馬を飼養する)飼養牛馬、餵馬牛(家畜を飼養する)養牲口、畜牲口、養活牲口(蜂を飼養する)養蜂
 しやう(動) 省(名) 部(外務省)外交部
 しやう(動) 莊(名) 莊

しやう 將(名) 將
 しやう 笙(名) 笙
 しやう 性(名) 性
 しやう 上(名) 上
 しやう 症(名) 症
 しやう 生(名) 生
 しやう 賞(名) 賞
 しやう 正(名) 正
 しやう 娼(名) 娼
 しやう 商(名) 商
 しやう 相(名) 相
 しやう 匠(名) 匠
 しやう 祥(名) 祥
 しやう 償(名) 償

しやう 象(名) 象
 じやう 常(名) 常 「信、文書」
 じやう 状(名) 状、情形 ②信、書
 じやう 上(名) ①上、上頭 ②好「上」
 じやう 錠(名) 錠 「の上」頂好
 じやう 情(名) 情「情がある」有情
 「情が無い」無情、薄情「情が深い」情深「情が厚い」情厚「情を知つて犯す」知情故犯「情として止まらない」情實難已「情として辭(ハト)る事が出来ない」情不可却、情難推却
 じやう 城(名) 城、城池
 じやう 滋養(名) 滋養、補身、補養、營養「滋養分」(フ) 養身的、補身的、養生物、滋養物

じやう 時様(名) 時様 「色(銀)」
 しやう あい 性合(名) ①性情 ②成
 じやう あい 情愛(名) 情、情愛「夫婦の情愛」夫婦之情「親子の情愛」親子之情
 しやう あく 掌握(名) 掌握
 じやう 攘夷(名) 攘夷
 じやう い 上意(名) 上意
 じやう い 情意(名) 情意「情意投合」
 す 情投意合
 しやう いう 醬油(名) 醬油
 じやう いう 情由(名) 情由
 じやう いう 城邑(名) 城邑
 じやう えん 上演(名) 上演、表演
 しやう か 商家(名) 商舖、商家、舖

しやう 上下(名) 上下
 しやう か 唱歌(名) 唱歌、樂歌
 しやう か 娼家(名) 妓館、妓院、妓樓
 しやう が 生薑(名) 薑「生薑漬」(ジ) 薑湯
 じやう か 城下(名) ①城、城池 ②城根兒、城脚「城下の盟」城下之盟 「場中」
 しやう かい 商界(名) 商界、買賣
 しやう かい 詳解(名) 詳解 「子」
 しやう がい 生涯(名) 生涯、一輩
 しやう がい 生害(名) 自盡、自殺、尋死

しやう がい 傷害(名) 傷害、殘害、損害、損害「人命を傷害する」傷害性命
 しやう がい 障害(名) 妨礙、障礙、阻擋、攔阻「障害物」(フ) 攔阻物、阻擋物
 しやう がい 障礙(名) 同上「性慾障礙」
 しやう かい 將校(名) 「軍官、將校」
 しやう かう 商港(名) 武官、武員、商港、通商口岸 「行名」
 しやう かう 商號(名) 字號、商號、
 じやう かう 情交(名) ①交情 ②男女之情 「河」
 じやう かう 城壕(名) 城壕、護城
 しやう がう 商行録(名) 行名

しやう がく ばう 正覺坊(名) ①蝸
 龜 ②酒鬼、喝大酒的
 しやう かん 傷害(名) 傷害
 しやう かん 賞鑑(名) 賞鑒、鑑識
 しやう き 正忌(名) 忌日
 しやう き 正氣(名) 心、心神「正氣を失ふ」失神、暈過去了「正氣の沙汰ではない」許是發了瘋了罷
 しやう ぎ 商議(名) 商議
 しやう ぎ 牀几(名) 馬叔兒
 しやう ぎ 娼妓(名) 妓女、娼妓、娼婦、娘子、賣笑的、密姐兒
 しやう ぎ 將棋(名) 象棋「將棋をさす」著象棋「將棋の駒」棋子「將棋倒」(ダフシ) 1. 搥影壁的玩兒 2. 羊

拉屎兒似的倒(たう)了、人魚貫
 似的倒了(將棋盤)象棋盤
 じやうき常規(名) 常規 「發瘋
 じやうき上氣(名) ①上火(セリボ) ②
 じやうき情誼(名) 情誼、情義
 じやうき上級(名) 上級(上級官
 じやうき上級(名) 上級(上級の官
 廳)上級公署(上級の官
 吏)上級官、上憲、上司、位長的
 人(最上級)極級、至盡層
 次、尤最級 「賣情形
 じやうきやう商況(名) 商況、買
 じやうきやう上京(名) 上京、晋京
 じやうきやう狀況(名) 情形、情
 狀、情勢、狀況 賠償、償
 じやうきやく償却(名) 賠償、償

還、償清
 しやうきやく正客(名) 正客
 じやうきやく上客(名) ①上坐的
 客人 ②貴客、嘉客
 じやうきやく常客(名) 長主顧
 じやうきやく常議員(名) 常駐議
 員 「賠償銀
 しやうきん償金(名) 賠款、償銀、
 しやうきん賞金(名) 賞銀、賞錢、
 獎金
 しやうきん正金(名) ①金錢、銀
 錢 ②現錢、正幣、現幣
 しやうく章句(名) 章句
 しやうくわ紫陽花(名) 紫繡毬
 しやうくわい商會(名) 行(hang)

公司、商會 「城外
 じやうぐわい城外(名) 城外頭、
 じやうぐわい上皇(名) 上皇
 じやうぐわく城郭(名) 城郭
 じやうぐわつ正月(名) 正月、端
 月、青陽、孟陽、春王
 しやうぐわん將官(名) 將官
 しやうぐわん掌管(名) 掌管
 しやうぐわん商館(名) 洋行(hang)
 しやうぐわん償還(名) 償還、付
 還、歸還
 しやうぐわん賞玩(名) 賞玩
 じやうぐわん上憲(名) 上憲、上
 游、上司、長官、上級官
 しやうぐん將軍(名) 將軍

じやうげ上下(名) ①上下 ②來回
 しやうけつ猖獗(名) 猖獗
 しやうげふ商業(名) 商業、買賣、
 商務、交易、貿易、通商(商業會
 議所)商業會、商務總會(商
 業見習者)商業學校(商業
 學校)商業學校(商業登記)
 (トウキ)商業註冊 「宵節、燈節
 じやうげん上元(名) 上元節、元
 じやうげん上弦(名) 上弦
 しやうご商賈(名) 商賈(商人)、商人
 しやうご正午(名) 晌午、正午、午
 時、中午
 じやうご上古(名) 上古、先古
 じやうご上戸(名) 酒量大的人、

喝大酒的人
 じやうご漏斗(名) 酒漏子
 しやうご商工(名) 商工(商工會)
 (シャウ)商工部
 しやうごねつ猩紅熱(名) 痧疹、
 風瘡、紅熱症、花紅熱症、紅疹
 熱病、猩紅熱
 しやうご生國(名) 生地
 じやうご上告(名) 上告、上控
 (しやうごり性慾)悔、後悔、
 悔恨、懊悔(性慾なく)不知悔、
 沒悔心的
 しやうご正座(名) 正座、首座
 じやうご上座(名) 上座
 しやうごさい詳細(名) 詳細

城寨
 じやうごさい城寨(名) 城寨
 しやうごさう傷創(名) 傷創
 しやうごさう尙早(名) 還早、過早、
 太早、時機未熟
 じやうご上策(名) 上策、上着
 じやうご上作(名) ①做得很好
 ②好年頭兒 「挿
 じやうごさし狀差(名) 信斗兒、信
 しやうごさん稱讚(名) 稱讚、讚美、
 讚賞
 しやうご賞詞(名) 賞詞、獎詞
 しやうご賞賜(名) 賞賜
 しやうご生死(名) 生死、死活(生
 死の境)生死關頭
 しやうご障子(名) 隔扇(支那ニハ日本
 障子ニ相當)

スルモノナシ、室ト室トノ間ヲ仕切ルニ腰板ノアル障子様ノモノヲ用フ、之ヲ障子ト云フ、窓ノ障子ト云フ

じやうじ賞辭(名) 賞詞、獎詞
じやうじ上梓(名) 上梓
じやうじ上使(名) 欽使
じやうじ情死(名) 鴛鴦併命、相思併命
じやうじ上巳(名) 上巳節
じやうじ城市(名) 城市
じやうじ情思(名) 情思
じやうじ城趾(名) 城址、廢墟
じやうじ狀師(名) 狀師
じやうじ情事(名) 男女之情、情事、相思
じやうじ常時(名) 平常、平素

じやうじしき常識(名) 明理、達理、常識
じやうじつ情實(名) 情面(情實を打破する) 破除情面(情實に拘泥する) 拘泥情面、瞻徇情面、徇私(情實を許さぬ) 不看情面、不露出厚薄(情實に引かれる) 爲情面所牽
じやうじふ常習(名) 常習
じやうじふくわん商習慣(名) 商習慣例
じやうじや商社(名) 公司、行
じやうじや精舎(名) 精舎
じやうじや淨寫(名) 淨寫、繕寫、繕寫
じやうじや將相(名) 將相

じやうじやう猩猩(名) 猩猩、狒狒(猩猩) 大紅
じやうじやう清淨(名) 清淨、乾
じやうじやう上上(名) 頂好、最好、極好
じやうじやう情狀(名) 狀情(情狀酌量) (ヤクレウ) 酌酌情形
じやうじゆ城守(名) 城守
じやうじゆ城主(名) 城主
じやうじゆ上酒(名) 好酒
じやうじゆ成就(名) 成就、成功、作成、了局、了結
じやうじゆつ上述(名) 上述、前述、以上所説、以前所提
じやうじゆん上旬(名) 上旬、初

じやうじよ上書(名) ①上書、奏摺子②奏摺、奏書、奏疏
じやうじよ淨書(名) 淨寫、繕寫、繕清、繕清
じやうじよ情緒(名) 情緒
じやうじよ上衝(名) 上火
じやうじよ常勝(名) 長勝、每戰必勝、戰無不勝
じやうじよ上乘(名) 上乘
じやうじよ常食(名) 平常所吃
じやうじよ常職(名) 一定的生業
じやうじよ正眞(名) 眞正
じやうじよ精進(名) ①齋戒、吃素菜②拚命的做、儘着力兒辦

〔精進揚(アゲ) 炸素菜(精進落) (オチ) 開齋、開葷(精進物) (モ) 素菜(精進料理) (レウリ) 同上
じやうじん上申(名) 稟報、申報、上申、呈報、詳報(上官に上申する) 申報上司(上申書) (シ) 稟報的文書、申報的文書、呈文
じやうじん情人(名) 情人、情郎、私情人
「通人
じやうじん常人(名) 平常人、普
じやうじん賞ス(佐變他動) 賞(功を賞す) 賞功(花を賞す) 賞花、看花
じやうじん生ズ(佐變他動) 生、發、起、長(chang) 草木芽を生ず 草木發芽兒(誤解を生ず) 生出誤會(種種の弊害を生ず) 生各樣弊

じやうじん生ズ(佐變自動) 生、發、起、長(chang) 草木生ず 草木長
じやうじん請ズ(佐變他動) 請、延請
「客を請す」 請客(彼を正座に請する) 讓他坐首座
じやうじん上手(名) 巧、好、會、巧妙(口が上手) 嘴巧(手が上手) 寫的好(彼は支那語が上手です) 他的中國話甚好(上手な人) 好手
「彼の細工は中中上手です」 他的手工很巧妙(貴下は實に買方が上手だ) 您實在是會買的(私は人にお上手が云へない) 我不會奉承人
じやうじん將帥(名) 將帥

じやうずる 祥瑞(名) 祥瑞
 じやうする 淨水(名) 洗手水
 じやうせい 上製(名) 上製
 じやうせき 上座(名) 上座
 じやうせつ 詳説(名) 詳細説、詳
 じやうせつ 常設(名) 常設、永久
 開設 「線橋」
 じやうせつ 上設橋(名) 橋、越
 じやうせん 商船(名) 商船
 じやうせん 商戰(名) 商戰、商務
 じやうせん 上船(名) 上船 「競争」
 じやうせん 上疏(名) 上疏、上奏
 摺 奏摺、奏書、奏疏 「訴
 じやうそ 上訴(名) 上告、上控、上

じやうそう 上奏(名) 奏上、奏皇
 上、奏明、陳奏(上奏案) (ア) 奏
 稿(上奏書) (シ) 奏書、奏摺、奏
 疏 「頭」的那一層
 じやうそう 上層(名) 頂上頭(或外
 じやうぞく 裝束(名) ① 打扮兒(タイ
 ② 禮服) (イ) 行頭、戲衣
 じやうそつ 將卒(名) 將卒
 じやうたい 正體(名) ① 原形 ② 心
 神、神氣(正體を失ふ) 失神(妖物
 (モク)の正體を見届ける) 看出妖
 精的原形來
 じやうたい 請待(名) 請客、招請、
 邀請、招待(與せうたい同) (請
 待狀) (ジャウ) 請帖
 じやうだい 掌大(名) 手大的

じやうたい 狀態(名) 狀態、様子、
 局面、情形、景況、境遇、地步
 「經濟狀態」(ケイジ) 經濟之狀態、
 生計情形(衛生狀態) (エイセ) 衛生
 じやうだい 上代(名) 上古 「情形
 じやうたいなし 正體無シ(形久活)
 死的様子、沒有魂(正體無しに
 眠る) 睡死覺(酒に酔うて正體無
 くなる) 醉的沒有魂了
 じやうだい 唱道(名) 唱道(新しい
 説を唱道する) 唱道新説
 じやうだい 倡導(名) 倡導
 じやうたう 常套(名) 常用的、日
 常用的、陳套的、老套的(常套
 語) (シ) 日常用語、日常話柄、陳
 套之語(常套手段) (チ) 常用的

手段 「常經」
 じやうだう 常道(名) 常道、常理、
 じやうたく 請托(名) 請托、囑托
 人情 「(chang)」
 じやうたつ 上達(名) 上達、長進
 じやうだん 上段(名) ① 上一層 ②
 擧刀打頭上砍去的體勢
 じやうだん 冗談(名) 玩兒、談諧、
 戲言、笑話、取笑兒、戲謔、打
 趣、趣話(冗談に云ふ) 說着玩兒
 「冗談にする」 當兒戲(冗談を云
 ふ) 打趣、取笑兒、鬪眼、耍笑、
 說笑話、說趣話(冗談じゃない)
 不是頑兒的
 じやうち 常置(名) 常派的、常駐
 的、常置的、常任的、常設的(常

置委員) (キキ) 常置委員、常任委
 員、常設股
 じやうじき 正直(名) 正直、實誠、
 心眼兒正(彼は正直だ) 他人實
 誠(子供は正直なものだ) 小孩子
 心眼兒正
 じやうちやうくわん 上長官(名) 「裡
 陸海軍將官與校官
 じやうちゆう 掌中(名) 掌中、手
 裡頭 「[常住坐臥] (ザク) 同上
 じやうちゆう 常住(名) 常、常川
 じやうちゆう 象徴(名) 與へらし
 やう同
 じやうつき 祥月(名) 忌月
 じやうてい 上帝(名) 上帝

じやうてん 商店(名) 舖子、商店、
 店舖 「程」
 じやうと 上途(名) 起身、動身、啓
 じやうと 淨土(名) 淨土
 じやうとう 正統(名) 正統
 じやうとう 上騰(名) 升騰、騰起
 じやうとう 上等(名) 上等、頭等、
 頂好
 じやうとう 常燈(名) ① (佛前ニ) 海
 燈、長明燈 ② 街燈、路燈(常燈
 明) (ミヤウ) 同上
 じやうとう 上棟(名) 上棟(上棟式)
 じやうとく 生得(名) 生得、長得
 じやうとく 淨土宗(名) 佛教

之一派 「頭」
 じやうない 城内(名) 城内、城裡
 じやうなう 樟腦(名) 潮腦、樟腦
 じやうなふ 上納(名) 上捐、交納、
 呈納
 じやうにち 正日(名) 忌日
 じやうにん 上人(名) 稱呼高僧謂
 上人
 じやうにん 商人(名) 商人、商戶、
 商賈、商民、買賣人、做買賣的
 じやうにんげん 上人間(名) 老實
 的人、實誠的人 「同
 じやうねん 性根(名) 與こんじやう
 じやうねん 生年(名) 年紀、歲數
 じやうのこと 筆(名) 筆

じやうのふる 筮(名) 筮
 じやうはい 賞牌(名) 賞牌、功牌、
 獎牌、記功牌
 じやうばい 商賣(名) 買賣、生意、
 生理、貿易、生業、行(hang)混
 事(ぎ)「商賣をする」做買賣、做
 生意「商賣繁昌」(シヨウ)買賣興
 旺「商賣不景氣」(シヨウ)買賣蕭索
 「御商賣は何ですか」貴行是那行
 「私の商賣は米屋です」敝行是米
 行「商賣上」(アガリ)從良的妓女「商
 賣敵」(ガタキ)同行是冤家「商賣替
 (ガ)改行(hang)「商賣人」(シ)買
 賣人、商賈、做買賣的「商賣屋」
 (ヤ)舖子、店舖、買賣舖子
 じやうはい 上輩(名) 長輩(chang)

じやうはう 詳報(名) 詳報
 じやうはう 情報(名) 報知細情、
 情報、詳情「軍事情報」(シヨウ)軍
 事情報
 じやうばう 狀貌(名) 相貌、容貌
 じやうば 二 狀箱(名) 護書
 じやうはさみ 狀夾(名) 信挿
 じやうばつ 賞罰(名) 賞罰
 じやうはふ 商法(名) ①商法、商律
 ②買賣、做買賣的 道兒
 じやうはふ 常法(名) 常法
 (じ)やうばり 情張(名) 剛愎、執拗、
 硬頸
 じやうはりの かがみ 淨玻璃鏡(名)
 萬魂鏡

しやうばん 相伴(名) ①陪客 ②相
 伴「私もお相伴します」我也可以
 做陪
 じやうばん 城番(名) 守城之兵
 じやうはんき 上半期(名) 上半期、
 じやうび 賞美(名) 讚美「上半年
 じやうび 薔薇(名) 薔薇、月季花
 じやうび 常備(名) 常備「常備軍」
 (ゲン)常備軍
 じやうひつ 正筆(名) 親筆 「賞品
 じやうひん 賞品(名) 獎品、獎賞、
 じやうひん 商品(名) 貨、貨物、商
 品、物品「商品見本」(ミホ)貨樣、
 樣品、樣本「商品切手」(キッテ)禮
 券「商品目錄」(クロキ)物件清單、

物件冊子「商品陳列所」(レイジヤン)考
 工廠、商品陳列所
 じやうひん 上品(名) ①雅、典雅、
 溫雅、文雅、秀氣、正派 ②好東
 西「鼠色は上品です」淺灰色很雅
 「この急須は上品です」這個茶壺
 秀氣
 じやうふ 娼婦(名) 娼婦
 じやうふ 生麩(名) 做漿的麩
 じやうぶ 尙武(名) 尙武
 じやうぶ 菖蒲(名) 菖蒲
 じやうふ 城府(名) 城、城府
 じやうふ 上布(名) 夏布
 じやうふ 情婦(名) 姦婦、外婦、外
 家、嬖女

じやうふ 情夫(名) 姦夫、外遇、情
 夫、姘夫
 じやうぶ 上部(名) 上部
 じやうふく 常服(名) 便服
 じやうぶくろ 狀袋(名) 信皮兒、
 封套、信封
 じやうふだ 正札(名) ①價錢條兒、
 價目籤兒、價碼兒籤子 ②言無
 二價「正札付」(ツキ)飛籤兒的貨、
 言無二價的貨 「常常、平常
 じやうふだん 常不斷(名) 不斷的、
 じやうぶつ 正物(名) 眞物
 じやうぶつ 成佛(名) ①成佛 ②死
 じやうぶみ 狀文(名) 信、書信
 じやうぶん 性分(名) 性情、性質

じやうぶん 上聞(名) ①天聽 ②奏
 じやうぶん 上文(名) 「上」
 じやうへい 城兵(名) 城兵
 じやうへう 商標(名) 商標、牌號、
 牌記
 じやうへう 上表(名) 上表、上奏
 じやうへき 障壁(名) 分壁、隔壁、
 隔牆
 じやうへき 城壁(名) 城壁、城牆
 じやうへん 將偏(名) 反片兒
 じやうほ 商舖(名) 舖子、店舖
 じやうほ 讓歩(名) ①讓道、讓路
 ②舍己從人、讓步、遜讓、退讓、
 屈從、容讓、聽從「互に讓歩す
 る」各自退讓「も」讓歩は出來ぬ」

再不能退讓「止むを得ず讓歩し
 た」沒法子聽從他
 じやうほく 上木(名) 上梓
 じやうみ 正味(名) 淨貨、淨重、除
 皮、刨皮的分量、退皮分量、除
 皮淨重、淨貨輕重「正味何斤あ
 るか」淨貨有多少斤「正味の數」
 淨數
 じやうみ 賞味(名) 賞味、嗜口味、
 じやうみ 上巳(名) 與じやうし同
 じやうみやく 靜脈(名) 靜脈、靜
 脈管、回血管
 じやうむくわん 商務官(名) 商務
 官、貿易事務官
 じやうめい 正銘(名) 眞正
 じやうめん 正面(名) 對面兒「正反對

正面兒(物)、迎面、迎頭「正面に
 見える」在對面兒看得見「正面
 に字が書いてある」正面兒寫着
 有字「汽車が正面から衝突した」
 火車迎頭衝上了、火車碰頭了
 「正面攻撃」迎面攻撃「正面席」
 (一)正面席(二)對包廂(三)正
 面圖(四)正面圖、正面景
 じやうめん 上面(名) 上面兒
 じやうもん 城門(名) 城門
 じやうや 庄屋(名) 里正、村正
 じやうや 賞揚(名) 稱讚、稱揚、
 じやうや 倘佯(名) 倘佯「稱賞
 じやうや 常宿(名) 熟店
 じやうや 常夜燈(名) 風燈子
 じやうゆ 醬油(名) 醬油、清醬「醬

油の糟「カス」醬渣子「醬油の質」
 (一)醬「醬油の諸味」(二)同上
 じやうゆ 上諭(名) 上諭 「同
 じやうよ 稱譽(名) 與しやうやう
 しやうよ 賞與(名) 賞給、賞賜、酬
 勞、賞與金、花紅「賊を捕へた巡
 査は賞與がある」拿住賊的巡警
 有賞賜「あの會社は年二回賞與を
 出す」那個公司給一年兩回的
 花紅「賞與金」(一)花紅、酬勞、
 辛力錢、獎勵金 「與、移交
 じやうよ 讓與(名) 轉授、交割、讓
 じやうよう 常用(名) 常用、平常用
 じやうよく 情慾(名) 情慾、情欲、
 肉慾、色慾
 しやうらい 生來(名) 生來

しやうらい 將來(名) 將來、後來、
 以後、往後、從此以後「將來の計
 畫を立てる」籌畫將來「將來を慮
 る」慮後、顧後「將來見込がある」
 將來不可限量、將來有指望、有
 前途之希望「彼は將來がある」他
 有光明之前程、他的前程遠大
 「近き將來」於近之將來、再過一
 二年、此後不多幾月(年)
 じやうらん 上覽(名) 御覽
 じやうりう 上流(名) ①上流、上
 游、上流 ②上等「上流社會」上等
 社會 「下地
 じやうりく 上陸(名) 上岸、登岸、
 しやうりやう 商量(名) 商量、商議
 しやうりやう 精靈(名) 靈魂、陰

靈「精靈祭」(マツリ)與うらばん同
 しやうりやく 省略(名) 省略、簡
 じやうりやく 上略(名) 上略「略
 しやうりよ 省慮(名) 放心、不掛
 慮「御省慮被下度候」祈弗繫念、
 祈勿錦念 「青、經年不凋
 じやうりよく 常綠(名) 常綠、常
 じやうるり 淨琉璃(名) 古兒詞一
 じやうるる 城壘(名) 城壘 「類
 じやうれい 獎勵(名) 獎勵、鼓舞
 しやうれい 省令(名) 部令、部示
 じやうれい 常例(名) 常例
 しやうろ 正路(名) 正道、正路
 しやうろん 詳論(名) 細論
 しやうわる 性惡(名) 壞皮氣的、

性氣不好的 「位
 じやうの讓位(名) 讓位、退位、辭
 じやうのん上院(名) 上院、參議院
 じやか釋迦(名) 釋迦(釋迦に說法)
 孔子門前說孝經、孔子門前賣
 じやが車駕(名) 車駕 「文章
 じやがいも馬鈴薯(名) 山藥豆、土
 豆、地蛋
 じやかう車行(名) 車行、坐車去
 じやかう社交(名) 交友、交游、交
 際、社交(人間は社交的の動物で
 す)人は社交的動物(あの細君
 は社交的の腕がある)那位太太
 有實際上的才幹
 じやかう麝香(名) 麝香
 じやかご蛇籠(名) 石籠

(じやかじやか(副) 噎噎噎噎的
 「じやかじやか三味線を引く」噎
 噎噎噎的彈絃子
 (じやがたらいも馬鈴薯(名) 與じ
 やがいも同
 (じやがむ(四段自動) 蹲、蹲下
 (じやがれごる(名) 噎聲音
 (じやがれる(下二段自動) 噎
 「聲が噎れる」噎子噎了
 じやかん(名) 齋務長
 (じやかん左官(名) 與さくわん同
 じやがん斜眼(名) 斜眼
 じやぎ謝儀(名) 謝儀
 じやき邪氣(名) ①邪氣②傷風
 (じやきじやき(副) 噎噎噎噎的
 「剪(ハサ)でじやきじやき切る」拿
 剪子噎噎噎噎的絞

じやきよく邪曲(名) 邪曲
 (じやぎり(名) 開場吹臺的音樂
 じやきん謝金(名) 謝金、謝錢、酬
 費、賞錢、酒錢、報酬銀
 じやきん砂金(名) 河金、金沙
 じやく尺(名) ①尺(民國ニテハ營造尺庫平
 二種アリ營造尺ノ一尺ハ萬國標準制即チ公尺
 ノ〇・三三三三尺ニ當ル公尺ハメートルナリ
 ②尺(モリ) ③尺寸(Shun)寸法「尺を
 取る」量尺寸
 じやく勺(名) 勺(日本ノ勺ハ支那一七
 じやく笏(名) 笏、手版
 じやく杓(名) 水舀子
 じやく爵(名) 爵
 じやく酌(名) 斟酒(酌をする)同
 じやく釋(名) ①釋、釋氏②解釋
 じやく癩(名) 疝氣的病(癩にさは
 る)沖了肺管子

じやく蝦蛄(名) 蝦蛄
 じやく弱(名) 弱(弱の肉は強の食)
 弱之肉強之食
 じやく寂(名) 寂
 じやくか借家(名) 租住的房子
 じやくがう綽號(名) 綽號、外號、
 渾名
 じやくかん若干(名) 若干、若許
 じやくき瘡氣(名) 瘡氣
 じやくぎ釋義(名) 釋義、講義、講
 釋、用別的話說明、用替代語說
 じやくきよ借居(名) 借住 「明
 じやくきよ若許(名) 若許、若干
 じやくきよ積極(名) 積極(積極
 的)積極的 「借銀、借款
 じやくきん借金(名) 欠款、借債、
 じやくく借區(名) 租界

じやくくわん借款(名) 與しやく
 きん同
 じやくけう釋教(名) 釋教、佛教
 じやくこく弱國(名) 弱國
 じやくさい借債(名) 與しやくき
 じやくざい借財(名) 同上「ん同
 じやくし杓子(名) 小勺兒(小サ)、鐵
 勺子(鐵ニテ)、漏勺(多クノ穴ヲ)、馬勺
 (大キ)、飯鏟子(飯ヲシ)「杓子定規」
 (ヤウギ)走方步兒、錯地方不拉屎
 「杓子面」(ツラ)窪心臉「杓子菜」體
 菜
 じやくしやく綽綽(副) 綽綽(綽綽
 として餘裕あり)綽綽有餘裕
 じやくしよ市役所(名) 市政公所、
 市政廳
 じやくせん借錢(名) 與しやくき

じやくそつ弱卒(名) 弱卒
 じやくたいげ赤帶下(名) 赤帶下
 じやくたく借宅(名) 與しやくか
 同
 じやくち借地(名) 租地、租業(借
 地契約書)「ヤクシヨ」租契、租約、租
 批「借地權」(ケン)租權「永代借地
 權」(エイタイ)永租權「借地人」(ニン)
 地戸、租戸、租地人、借地人「借
 地料」(リ)租價、租錢、租銀
 じやくち蛇口(名) 龍口
 じやくぢやう錫杖(名) 九連環
 じやくてん釋奠(名) 釋奠
 じやくてん弱點(名) 軟弱處、弱
 點、缺點、缺處(人情の弱點)人
 情的弱點「人の弱處をつらまへ
 る」拿人的缺處

電送機、相片傳送機〔寫真凸版〕
 (ツリ)印刷用照相版〔寫真亞鉛凸版〕(トリアエ)照相鋅版、影印鋅版、照相鋅版畫
 じやしん 邪心(名) 邪心
 じやしん 邪神(名) 邪神
 じやす 謝ス(佐變他動) ①謝、道謝 ②推辭〔恩を謝す〕謝恩〔客を謝す〕謝客〔罪を謝す〕謝罪〔身を以て天下に謝す〕以身謝天下
 じやする 邪推(名) 猜疑、歪心眼
 兒〔邪推深し〕歪心眼兒多
 じやせい 寫生(名) 寫生、寫眞
 じやせき 沙石(名) 沙石
 じやせつ 社説(名) 報館論説、社説、首論
 じやぜつ 謝絶(名) 謝絶、推辭、辭

却〔面會謝絶〕(メンクワ)閉戶謝客、免見客人〔縱覽謝絶〕(ジュウラ)謝却觀覽〔謝絶して行かなかつた〕推辭沒去
 じやせつ 邪説(名) 邪説
 じやそく 蛇足(名) 蛇足〔蛇足を添ふ〕畫蛇添足
 じやたい 車體(名) 車身 「車道」
 じやだう 車道(名) 車走的道兒、
 じやたう 邪道(名) 邪道
 じやだつ 洒脫(名) 洒脫、灑脫
 じやだん 遮斷(名) 遮擋、遮斷、截住、攔截、阻絶〔交通を遮斷する〕遮斷交通
 じやち 砂地(名) 沙地
 じやち 車地(名) 車盤、引重器
 じやち 邪智(名) 邪智

しやちがはら 鴟瓦(名) 獸頭
 しやぢく 車軸(名) 軸、車軸、輪軸
 しやちほ 二鯨(名) ①海獸之名 ②獸頭 「だち同」
 しやちほ 二鯨立(名) 與さか
 しやちこ ばる (四段自動) ①拿架子
 ②扎施〔君はどうしてさうしやちこばって居るのです〕你怎麼這麼拿架子〔糊が強くて着物がしやちこばつた〕漿的太厚衣裳都扎施了
 しやちやう 社長(名) 行東、公司總
 しやちゆう 社中(名) 夥友 「辦
 しやぢん 砂塵(名) 砂塵
 シヤツ(名) (Shirts)汗襦兒、汗衫、襪衫、襯衣、衛生衣(スリヤ)〔ホツイト〕シヤツ 硬汗衫、白襯衣〔シ

ヤツ地 襯衣材料、色布、白色布(白色)、原色布(原色)
 じやつ 奴(名) 他那個東西
 ジャッキ(名) (Jack) ①與バリカン同 ②螺獅起重器、舉重螺絲器、千斤鎚
 じやつき 惹起(名) 惹出、惹起、生起、鬧出來〔彼の演説は一大問題を惹起した〕他演說的話惹起一大問題來了〔騒動を惹起した〕鬧出事來了 「抄圖器」
 しやつき 寫圖器(名) 伸縮圖畫器、
 しやつくり 噓(名) 與しやくり同
 (しやつつら) 狗臉、屁股(hu) 臉
 シヤツポ(名) 帽子 「臉」
 しやてい 舍弟(名) 舍弟
 しやてい 射程(名) 彈界、射擊界、

射程、射距、彈距〔敵は射程外にあり〕敵兵在彈界外、敵兵在彈力構不着的地方
 しやてき 射的(名) 打靶兒、打紅心、射的〔射的會〕(クワイ)射的會、打靶會〔射的場〕(ヂヤウ)打靶場、靶子場、操槍場
 しやてつ 車轍(名) 車轍
 しやでん 社殿(名) 神殿
 しやでん 社田(名) 供神的田地
 しやど 緒土(名) 緒土
 しやど 砂土(名) 砂土
 しやとう 社頭(名) 廟前、廟頭裡
 しやにち 社日(名) 社日 「然
 (しやにむ) 遮二無二(副) 亂、猛
 じやねん 邪念(名) 邪念
 じやのめ 蛇目(名) 雙圈紋〔蛇目

傘(カサ) 雨傘、有雙圈紋的雨傘
 しやば 車馬(名) 車馬〔車馬通行止め〕禁止車馬往來〔車馬道〕馬路
 しやば 娑婆(名) 人生、人世、塵世、世上、俗世〔娑婆氣〕(キ)塵心、凡心、俗念、耽於世慾的心、耽於名利的心〔娑婆塞〕(ササギ) 虛度光陰、游手好閒
 じやはふ 邪法(名) ①邪法 ②法術
 じやばら 蛇腹(名) 縲子
 じやびせん 蛇皮線(名) 絃子
 しやふ 車夫(名) 車夫、拉車的
 (しやぶる) (四段他動) 話、餽、餽
 しやべつ 差別(名) 差別、分別
 (しやべりて) 喋手(名) 多嘴的、碎嘴子、愛說話的、愛叨嘮的人

シヤベル(名) (Shovel) 鏟、鏟鋤、鐵鍬、鐵鍬
 しゃべる(動) (四段自動) 多嘴、多言、多舌、多口、滑舌、碎嘴、多言多嘴、多嘴多舌
 しゃぼてん(名) 與さぼてん同
 しゃぼん(名) 寫本(名) 抄本、抄寫の書
 しゃぼん石鹼(名) 與せきけん同
 「石鹼入」(一)「胰子盒兒」「石鹼玉」
 「(二)「胰子泡兒、胰皂泡、肥皂泡」
 「(三)「吹胰子泡兒、吐泡兒」
 じやま(名) 邪魔(名) 妨礙、障碍、阻擋、攔阻、耽悞、費事、攪、累贅
 「貴下の處には御客があつたから私はお邪魔しなかつた」
 「這兒有客所以我沒敢進來打攪」
 私は用

事で忙しいから邪魔するな」
 「我這兒有事忙着哪你別攪我」
 「お邪魔ですがあの急須を取って下さい」
 「累贅、遞給我那個茶壺」
 「毎度上りましてお邪魔になります」
 「我屢次的到府上來騷擾騷擾」
 「打攪」
 「これは邪魔になるから持って行かない」
 「這個東西很累贅我不帶去」
 「往來の邪魔をする」
 「擋着道兒」
 「人の計策を邪魔する」
 「駁攔人的計謀、衝撞人的計策」
 「邪魔臭い」
 「麻煩、費事、累贅」
 「これは邪魔臭い」
 「這可麻煩了」
 「邪魔物」
 「(一)「有礙的東西、眼中釘、攔阻物」
 「彼は私を邪魔物にして居ます」
 「他把我當做眼中釘」
 しゃみ(名) 三味(名) 絃子(三味線)

同上
 しゃむ(名) 社務(名) ①公司的事務
 ②神廟的事務
 しゃむ暹羅(名) 暹羅國
 ジャム(名) (Jam) 菓膏、菓醬、菓子醬、糖醬
 しゃめん(名) 斜面(名) 坡面兒、坡滑面、斜面、起楞起角兒的「テーブル」
 「は斜面のが書き好い」
 「寫字桌是面子起楞起角兒的好寫」
 しゃめん赦免(名) 赦罪
 しゃも(名) 油鷄
 「しゃもじ」
 杓文字(名) 飯鏟兒
 しゃもつ(名) 謝物(名) 禮物
 しゃもん(名) 借問(名) 借問
 しゃもん沙門(名) 沙門
 しゃやう(名) 斜陽(名) 斜陽

じやもんせき(名) 蛇紋石(名) 蛇紋石、じやらく(名) 洒落(名) 洒落、「琅瑛」
 じやらくさい(名) 洒落臭い(形久話) 冒
 「じやらくら(名) 妖嬌
 「失」
 「じやらす(名) 逗猫(動) 逗「猫をじやらす」
 「同」
 じやらつく(名) (四段自動) 與じやれる
 じやり(名) 舍利(名) ①舍利 ②僵蠶
 じやり瀉痢(名) 瀉肚子
 じやり射利(名) 射利、貪利、圖利
 「射利的の男」
 貪利的人、利心重的人
 じやり砂利(名) 與ざり同
 じやりえん(名) 砂利鹽(名) 瀉鹽、苦鹽、瀉利鹽、洋朴硝
 じやりかうべ(名) 髑髏(名) 髑髏骨
 じやりき車力(名) 拉大車的、趕

大車的
 じやりべつ(名) 舍利別(名) 糖漿、糖
 じやりやう(名) 車輛(名) 車輛
 じやりん(名) 車輪(名) 車輪、車軸、車輪、車軸
 じやる(名) 曝(動) (下二段自動) 與さる同
 「じやれ(名) 洒落(名) ①有意思 ②笑話、談話、趣話、玩笑 ③異性話
 「(一)「俏皮(洒落を云ふ)」
 1. 説笑話 2. 説異性話(大層お洒落をして居ます) 打扮的很俏皮(洒落者) 俏皮的人、愛打扮的人
 じやれい(名) 謝禮(名) ①道謝 ②謝禮、謝儀、酬勞資、酬金、謝資
 ③(教師)束脩、修金、聘金 ④(醫師)診資、脈禮、馬錢
 「うべ同」
 じやれかうべ(名) 髑髏(名) 與されか
 じやれき(名) 砂礫(名) 砂礫

「じやれる(動) (下二段自動) ①有意思(此庭は中洒落て居る) 這個花園子很有意思 ②説笑話、談話(洒落を云ふ) 説談話的話、説異性話 ③俏皮(彼女は洒落て居る) 那個女人俏皮
 「じやれる(動) (下二段自動) ①鬧着玩兒 ②賣俏、賣風流、賣弄風情、弄媚(猫が女の兒にじやれる) 猫跟小姑娘鬧着玩兒
 じやわ(名) 爪哇(名) 爪哇 「浴」
 シヤワー(名) (Shower) 射水浴、淋浴
 じやるん(名) 社員(名) 夥友、公司職員、行員、店友(新聞社員) (シン) 報館辦事人、報館職員
 シヤン(名) 美女、尤物
 じやん(名) ①噹噹的(半鐘をじや

んじやん鳴らす」把小鐘兒噹噹的打吹、糟(もうおじやんになつた)事情已經吹了

ジャンク(名) (Junk) 民船、海船

「じやんけん(名) 沙鍋石頭水的拳(じやんけん) 1. 同上 2. 滑拳

「じやんこ(名) 麻子 「嚷」的聲音

「じやんこづら(名) 麻子臉兒

「じやんじやん(副) 快快的(云ひ付けられた事はしやんじやんとしなさい)吩咐的事情得快快的辦

「しやんす(助動) しやんす(シヤンス) 與な

さします同

「しやんとこ(名) 潑辣的

シヤンペン(名) (Champagne) 香

檀酒、三鞭酒

しゆ朱(名) 硃、硃砂、朱墨、硃

墨朱色、朱紅色(與鉄同(朱に交れば赤くなる)近朱者赤、挨金似金挨玉似玉

しゆ主(名) 主(主となす)爲主

しゆ鉄(名) 一兩的二十四分之一

しゆ首(名) 首

しゆ種(名) 種(chung)種子

しゆ首(接尾) 首(一首の詩)一首詩

しゆ樹(名) 樹、樹木

しゆ儒(名) 儒

しゆ壽(名) 壽

しゆ受(名) 受

しゆ呪(名) 呪 「各有九級

しゆ從(接頭) 日本臣下位階正從

しゆあく(主悪) 罪魁、巨魁、元

兇、張本人

しゆい主意(名) 主意

しゆい趣意(名) 宗旨(趣意書)(ガキ)

しゆい略説、宣言書、發起書

しゆい主因(名) 爲主的原因

しゆい手淫(名) 捋管兒、手淫、

自淫自洩

しゆいん朱印(名) 紅圖書(赤き)

徳川將軍之朱筆

しゆいん樹蔭(名) 樹陰兒

しゆい宗(名) 佛教之流派

しゆい衆(名) 衆、衆人(寡は衆に敵せず)寡不敵衆

しゆい主(名) 主人、東家、居停

しゆい雌雄(名) 雌雄、公母

しゆい從(名) 從

しゆい銃(名) 槍(鳥銃) 鳥槍

「歩兵銃」(ホヘ)「騎兵銃」(キヘ)馬

「宗教狂」(キョウ)迷信宗教的人

しゆいけつ終決(名) 了結、了局、

完事、完畢、告終

しゆいけつ充血(名) 充血、血積、

盈血、血聚在一處(目に充血する)眼睛紅了、眼起紅絲(腦に充血する)血量頭上、血湧入腦

しゆいけん銃劍(名) 槍刺子、刺

刀(帶刺的槍) (刺) (ツキ)

しゆいこう衆口(名) 衆口

しゆいこう銃口(名) 槍口 「匠

しゆいこう銃工(名) 槍匠、火器

しゆいころし主殺(名) 殺主人、

弑君

しゆいさい終歳(名) 整年

しゆいさう銃創(名) 槍傷 「槍

しゆいさう銃鎗(名) 帶刺(刺)的

槍(元込銃) (キコ) 後膛槍(二連銃) (ニレン) 雙筒的、雙管的(連發銃) (レンパ) 快槍、連環槍

しゆい縦(名) 縦

しゆい戎衣(名) 戎衣、戎裝

しゆいか從價(名) 以貨價爲標準、

按照價值、從價(從價五分) (五分)

值百抽五、按照估價每百分抽

稅五分(從價稅) (ゼイ) 以貨價爲

標準課幾成稅、從價稅、按值

稅、價值稅

しゆいか終航(名) 末盪船

しゆいか銃腔(名) 槍筒

しゆいがん銃眼(名) 砲眼

しゆいぎ從騎(名) 跟馬

しゆいぎ衆議(名) 衆議「衆議院」

(キ) 下院、衆議院

しゆいき戎器(名) 戎兵、武器、兵器

しゆいき銃器(名) 槍、火器、軍火

しゆいきよく終極(名) 極處、到

頭處

しゆいきよく終局(名) 終局、了

局、了結、結局、最後

しゆいぐ戎具(名) 與しゆいき同

しゆいぐわ衆寡(名) 衆寡(衆寡敵

せず)寡不敵衆

しゆいぐわん縦貫(名) 縦貫、豎

しゆいぐわん銃丸(名) 槍子兒

しゆいぐん從軍(名) 從軍、臨陣

しゆいけい從兄(名) 從兄、叔伯

哥哥、表兄(母方) (從兄弟) (テイ) 從

兄弟、叔伯弟兄、表兄弟(母方)

しゆいけう宗教(名) 宗教、教門

じゆうさつ 銃殺(名) 槍斃、槍決
 しゆうし 宗旨(名) ①宗旨 ②生業、行 (hang?)
 しゆうし 終始(名) 始終 「了」
 しゆうし 終止(名) 終止、終結、完
 じゆうし 從姊(名) 叔伯姐姐
 じゆうし 從子(名) 姪兒
 じゆうじ 從事(名) 做、從事(貴下は何に御從事ですか) 恭喜是(私は農業に從事して居ます) 我從事他從事於著述
 しゆうじつ 終日(名) 終日、整天
 じゆうじつ 充實(名) 充實、豐富、充足、完全、全的(内容充實) 内容完全的
 じゆうしや 從者(名) 跟班的、從

者、隨從、跟人、跟役、陪從
 じゆうしやう 銃傷(名) 槍傷
 じゆうしやう 銃床(名) 槍托(銃床尾) (銃尾底)
 じゆうしゆ 銃手(名) 銃手
 しゆうじゆう 主從(名) 主僕、主從 (suigi?) 「順、老實、服管
 じゆうじゆん 從順(名) 順良、從子、一生、一世(終身の大事) 終身大事(此恩は終身忘れません) 這個恩我終身不忘(終身妻帯せぬ) 一輩子不娶媳婦兒、終身不娶(終身官)(クワン) 終身官
 しゆうじん 衆人(名) 衆人
 じゆうしん 銃身(名) 槍筒
 しゆうせい 終生(名) 與しゆうし

ん同
 じゆうせい 銃聲(名) 槍聲、槍響
 しゆうせう 終宵(名) 整夜、一夜
 しゆうせつ 衆說(名) 衆說
 じゆうぜん 從前(名) 從前、原先、往日、向日(これは從前に無い例です) 這是從前沒有的例(從前の通) 仍舊、照舊
 じゆうそく 充塞(名) 充塞、充滿
 じゆうそく 充足(名) 充足、充盈
 じゆうそつ 從卒(名) 服侍武官的兵
 じゆうそふ 從祖父(名) 叔伯爺爺
 じゆうそほ 從祖母(名) 叔伯太太
 じゆうたい 縱隊(名) 縱隊
 じゆうたい 銃隊(名) 槍隊、槍營
 じゆうたう 充當(名) 充當

しゆうだふし 主倒(名) 帶累主人
 しゆうたん 終端(名) 末端、煞尾、盡頭
 じゆうたん 絨毯(名) 絨毯子、地毯、毯條、踏脚毯 (室ノ入口ナ)
 じゆうだん 銃彈(名) 槍子兒
 じゆうだん 縱斷(名) 縱斷
 じゆうてい 從弟(名) 從弟、叔伯兄弟、表弟(母方)
 しゆうてん 終點(名) 極處、末尾、末了兒的、末端、盡頭、終點 [終點の驛] 末了兒的火車站、最終驛、末站
 じゆうてん 充墳(名) 墳上、填充、裝滿(齒を充墳する) 墳牙
 じゆうでん 充電(名) 充電
 しゆうと 宗徒(名) 信宗教的人

しゆうどり 主取(名) 被雇用、服役、侍奉 「門、門派、宗派」
 しゆうは 宗派(名) 法門、教派、教
 じゆうは 銃把(名) 槍把
 しゆうはい 崇拜(名) 崇拜
 じゆうはう 銃砲(名) 槍砲
 じゆうはん 從犯(名) 從犯、同謀的人
 しゆうび 終尾(名) 終尾、末尾、末
 じゆうび 充備(名) 俱全、具備
 じゆうふ 從父(名) 叔伯老爺
 じゆうふく 戎服(名) 戎裝(戎服を着く) 戎裝打扮 「うけい同
 じゆうふけい 從父兄(名) 與じゆ
 じゆうふてい 從父弟(名) 與じゆ
 うてい 同
 じゆうぶん 充分(副) 與じふぶん
 うてい 同

じゆうへい 從兵(名) 手下的兵
 じゆうほ 從母(名) 叔伯姥姥
 じゆうほく 從僕(名) 從僕
 じゆうまい 從妹(名) 叔伯妹妹、表妹(母方)
 しゆうまつ 終末(名) 末尾、盡頭
 じゆうまん 充滿(名) 充滿、盈滿
 しゆめい 主命(名) 主人吩咐
 しゆうもち 主持(名) 官身子
 しゆうや 終夜(名) 終夜、整夜
 しゆうよう 主用(名) 主命、主人吩咐的事情
 じゆうらい 從來(副) 從來、向來 [從來は何の商賣をして居たか] 從來做過甚麼買賣(從來に無い盛會でした) 從來未有的盛會
 じゆうらん 縱覽(名) 瞻覽、觀覽

〔縦覽謝絶〕(ヤゼツ) 謝却觀覽

じゆうりやう 從量(名) 以貨物數量爲標準、從量、按量(從量稅) 以貨物數量爲標準課稅、從量稅、按量稅、斤件稅

しゆうれう 終了(名) 完了、了結、完畢、完事、完結、告終

しゆうれつしゃ 終列車(名) 晩車

じゆうれふ 銃獵(名) 拿槍打獵、打圍

しゆうろん 衆論(名) 衆論

じゆうわう 縱橫(名) 縱橫(鐵道が縱橫に通ずる) 鐵路縱橫交錯(馬車や自動車) 縱橫に馳せちがふ(馬車汽車) 縱橫直撞的(縱橫無盡) (ムジ) 縱橫無敵的(縱橫無礙)

(ムジ) 同上 「預備兵

じゆうみん 充員(名) 補充的人員、輸贏、勝敗

しゆうえい 主要(名) 主要、大宗(主要物産) 大宗出產、主要物産(此處の輸出は何が主要ですか) 這兒出口貨甚麼是大宗

じゆうえう 需要(名) 需要、需用、求(需要過多) (クワダ) 求過於供(需要供給) (ヨウキフ) 供求、供取、支應

じゆうえふ 樹葉(名) 樹葉子

しゆうえん 酒宴(名) 酒席、宴會、筵席、飯局

じゆうえん 壽宴(名) 壽酒

しゆか 酒家(名) ①酒舖 ②喝酒的人

しゆが 自我(名) 自我、主觀的

じゆか 樹下(名) 樹底下

しゆかい 手械(名) 手鐲

じゆかい 授戒(名) 授戒

じゆかい 受戒(名) 受戒

しゆかう 趣向(名) 設想、趣向(これは面白い趣向です) 這個設想很有意思(人によって趣向がちがふ) 人心的趣向不相同

しゆかう 酒肴(名) 酒肴、酒菜

しゆかく 酒客(名) 酒客

しゆかく 主客(名) 主客

しゆかく 主格(名) 主語、主格、主施、句主、主位、起詞

じゆがく 儒學(名) 儒學

しゆかん 手簡(名) 手書、手簡

しゆかん 主幹(名) 司理者

しゆがん 主眼(名) 主眼

しゆき 酒氣(名) 酒氣

しゆき 酒旗(名) 酒旗、酒標、酒帘

しゆき 酒器(名) 酒器

しゆきやう 酒狂(名) 酒瘋、酒狂、中酒狂、酒癡、撒酒癡兒

しゆぎやう 修行(名) 修行、修道

しゆぎよ 狩漁(名) 打獵打魚、漁

しゆぎよ 入御(名) 還宮

しゆきよう 酒興(名) 酒興

しゆきよう 入興(名) 高興

しゆぎよく 珠玉(名) 珠玉 「店

しゆく 宿(名) ①宿、住 ②驛、小鎮

しゆく 塾(名) 塾、家塾、書院

しゆく あく 宿惡(名) 舊惡(病)

しゆく い 祝意(名) 賀喜的意思

しゆく えき 宿驛(名) 驛、驛站

しゆく えん 祝宴(名) 喜酒、賀宴

しゆく えん 宿縁(名) 夙縁

しゆくし 夙志(名) 夙志
 しゆくじ 祝詞(名) 祝詞、祝詞、頌詞〔祝詞を呈する〕呈祝詞
 しゆくじ 祝辭(名) 同上
 しゆくし 熟思(名) 熟思、細想、深思、思索、沈思
 しゆくし 熟視(名) 熟視、細看
 しゆくし 熟柿(名) 熟柿、細看
 義)等(シ)瓜熟蒂落的主義
 しゆくじ 熟字(名) 連字、連合的
 しゆくじつ 祝日(名) 賀節、連合的
 しゆくしや 宿舍(名) ①寓所、住處
 しゆくしや 縮寫(名) ①縮寫、②縮
 しゆくしやく 縮尺(名) 縮尺、比
 しゆくしよ 祝酒(名) 喜酒、例尺
 しゆくしよ 宿所(名) 住處、寓所

しゆくしよう 祝勝(名) 祝捷
 しゆくす 祝ス(佐) 賀、賀喜、慶賀〔友人の及第を祝す〕賀友得中〔新年を祝す〕賀新年
 しゆくす 宿ス(佐) 住〔大阪に一宿す〕在大阪住了一宿
 しゆくす 熟ス(佐) 熟、成熟、長熟〔菓物が熟した〕菓子熟了〔職工の技術が熟した〕工人的手工做熟了〔相談が熟した〕商量妥了〔機未だ熟せず〕機未熟、還不到好機會哪〔此柿は熟し切って居る〕這個柿子熟透了
 しゆくする 宿醉(名) 傷酒
 しゆくする 熟睡(名) 大睡、沈睡、睡熟、睡沈、睡的香、睡着(sleep)
 しゆくせ 宿世(名) 宿世

じゆくせい 塾生(名) 塾裡的學生
 しゆくせう 縮小(名) 往小裡縮、減少、減省、縮小、縮短、減縮、節減〔軍備を縮小する〕縮小軍備、縮短軍備〔經費を縮小する〕節減經費、減省經費
 しゆくせふ 祝捷(名) 祝捷
 しゆくたい 縮退(名) 退縮
 しゆくたい 宿題(名) 學生在家裡自修練習、宿題〔これは宿題にするから〕日考へて來なさい〕這個題目你們在家裡想一想明天再答對
 しゆくたつ 熟達(名) 熟達、練達、
 しゆくだん 熟談(名) ①熟談、②說和
 しゆくち 熟知(名) 熟知、明知

じゆくちやう 塾長(名) 學長、山長(chang)
 しゆくぢよ 淑女(名) 淑女
 しゆくちよく 宿直(名) 值宿
 しゆくちん 宿賃(名) 店錢
 しゆくづ 縮圖(名) 縮圖
 しゆくつう 熟通(名) 精通、精明
 しゆくつぎ 宿繼(名) 驛遞、驛傳
 しゆくてつ 熟鐵(名) 熟鐵
 しゆくてん 祝典(名) 賀禮、慶典、祝典、賀喜之禮
 しゆくでん 祝電(名) 賀電
 しゆくど 塾頭(名) 熟思、細想
 しゆくどう 塾頭(名) 山長、學長(chang)
 しゆくどく 淑德(名) 淑德
 しゆくどく 熟讀(名) 讀熟、熟讀、

念熟
 しゆくば 宿場(名) 驛、驛站
 しゆくはい 祝杯(名) 賀杯、喜酒
 しゆくほう 祝砲(名) 賀砲、敬砲
 しゆくほう 放敬砲
 しゆくばう 宿望(名) 宿志、夙願
 しゆくはく 叔伯(名) 叔伯
 しゆくはく 宿泊(名) 住、住店、在客店裡住〔宿泊人〕(シ)客人、住店的客人〔宿泊料〕(シ)店錢
 しゆくはつ 祝髮(名) 祝髮、削髮
 しゆくびやう 宿病(名) 宿痾、纏延的病
 しゆくふ 叔父(名) 叔父、叔叔、舅
 しゆくふく 祝福(名) 祝福、祈福
 しゆくぶん 祝文(名) 賀詞、賀章

しゆくへい 宿弊(名) 宿弊
 しゆくほ 叔母(名) 叔母、姑姑、孀兒(女)弟、姨兒(弟) 〔う同
 しゆくまう 宿望(名) 與しゆくば
 しゆくみん 熟眠(名) 與じゆくす
 ゐ同
 しゆくめい 宿命(名) 命、命定、命運、定數、天數、定命、命該如此、命裏所造〔宿命論〕(ロ)天命論、宿命論、命運論〔宿命論者〕(シ)信數家、信命定的人、信命運的人
 しゆくや 夙夜(名) 夙夜
 しゆくらん 熟覽(名) 熟覽
 しゆくりよ 熟慮(名) 熟思、細想
 しゆくれう 宿料(名) 店錢、房飯

錢、宿膳費

じゆくれん 熟練(名)

熟練、老練、

有閱歴、巧妙、練達、精通(熟練

家)の熟手、老手、閱歴深の妙

手(世事に熟練す)練達世事(熟

練職工)良工、熟練の工人

じゆくろ 熟路(名)

熟路、熟道

じゆくわい 首魁(名)

首魁、頭目、

罪魁、張本人

じゆくわん 首卷(名)

首卷

じゆくわん 主管(名)

主管、管理、

支配、監督

じゆくわん 主觀(名)

主觀(主觀的)

(テキ)主觀的

じゆくろん 宿怨(名)

宿怨

じゆくん 主君(名)

主子、主公、主

しゆくん 殊勳(名)

殊勳

しゆけい 主計(名)

軍需官(兵國陸軍

需總監、軍需監(將官相當)一三三軍需正佐官相

當)一三三軍需官(尉官相當)アリ海軍二八軍需

主監(軍需大中少監、

一三三軍需官アリ)

しゆげい 手藝(名)

手藝、手工、技

しゆけう 儒教(名)

儒教

しゆげふ 修業(名)

修業、肄業

じゆげふ 受業(名)

受業

じゆげふ 授業(名)

授課、授業(授

業時間)(ジカン)授課時間(授業料)

(レウ)學費

しゆけん 主權(名)

主權、君權、統

治權(主權者)(シヤ)君主、元首、

有主權者

じゆけん 受験(名)

考試、應考、

受試験(受験生)(シヤ)考生、受験

者、應試者(受験料)(レウ)考費

しゆこ 酒戸(名)

酒店、酒館

しゆご 主語(名)

主語、句主、主

位、起詞、主格、主施

しゆご 守護(名)

守護、保衛、護

衛、守衛、防護、防衛、防守、把

守

しゆこ 首肯(名)

點頭、頷首

しゆこ 手工(名)

手工

しゆこ 殊功(名)

殊功

しゆこ 主公(名)

主公

しゆこん 樹根(名)

樹根

しゆこん 入魂(名)

相好、對勁

しゆざ 首座(名)

首座、正座

しゆざい 主催(名)

主辦、贊助、由

しゆざい 主宰(名)

「管

しゆざう 酒造(名)

造酒

しゆざう 壽藏(名)

壽藏、壽城

しゆざつ 手帳(名)

手帳

しゆざつ 手札(名)

①名片(名刺)②

手札、手書

しゆざや 朱鞘(名)

紅刀鞘子

しゆざん 珠算(名)

珠算

じゆざん 授産(名)

給生業(授産場)

(一)習藝所、貧民習藝所

じゆざんぶつ 主産物(名)

大宗的

出産

しゆし 趣旨(名)

宗旨、趣旨(此一

篇の趣旨)這一篇的宗旨

しゆし 殊死(名)

殊死(殊死して戦

ふ)殊死戦

しゆし 鉄鎧(名)

鉄鎧

しゆし 主使(名)

主使

しゆじ 主事(名)

主事、掌管の人

しゆじ 朱字(名)

朱字、紅字

じゆじ 樹脂(名)

樹脂、樹膠、樹

膏、植物脂液

しゆじや 取捨(名)

取捨、取舍(取

捨に迷ふ)難於取舍

しゆじや 手寫(名)

親筆寫

じゆじや 儒者(名)

儒者

しゆじやう 首唱(名)

首唱、唱道

しゆじやう 首相(名)

首相、國務

しゆじやう 主將(名)

首將、「卿

しゆじやう 主上(名)

主上、主公、

しゆじやう 衆生(名)

衆生、「主子

しゆじやく 授爵(名)

封爵、授爵

しゆじゆ 種種(名)

種種、各様、様

様兒、各色各様、多種多樣(種

種の菓子)各様點心(種種御世話

になりました)諸事叫您費心了

謝謝(種種に考をめぐらす)左思

右想

じゆじゆ 授受(名)

授授、交收、成

交(賣買授受)(バイ)財物成交(金

錢授受)(キンセ)授受銀錢

しゆじゆつ 手術(名)

①手藝、手

工②施術、施割、施手術、手術、

施手術術(手術臺)(ダイ)手術床、

割症臺

じゆじゆつ 呪術(名)

法術

しゆじよ 手書(名)

手書、親自寫

しゆじよ 朱書(名)

與しゆがき同

しゆじよう 殊勝(名)

可讚美、可

嘉、老實、可稱譽(殊勝な若者)

老實的少年(殊勝な心掛)成善

的心地、善心
 しゆしよく酒色(名) 酒色
 しゆしよく酒食(名) 酒茶
 しゆしよく手燭(名) 手燈 「同
 しゆしゆつ輸出(名) 與ゆしゆつ
 しゆじん主人(名) ①主人、東家、
 居停、鋪東(店)、僱主(マスト) ②老
 爺(御主人は御在宅ですか) 你們
 老爺在家麼(主人公) (コウ) 主人
 公(主人又ハ小説) 小説中的主人翁、
 小説中的英雄、書膽
 じゆしん受信(名) 受信、受信(受
 信機) (キ) 受信機、接電信機(電信
 機) (受信人) (ニシ) 收信人、收件人
 しゆす縹子(名) 縹子(毛縹子) (ク)
 假縹(縹縹子) (シ) 同上
 じゆず珠數(名) 數珠、念珠、香串

兒(珠數繫) (ツナギ) 串通一塊兒(多
 くの罪人が珠數繫になつて護送せ
 られる) 許多的囚犯串通一塊兒
 被巡警押着走
 しゆすずり朱硯(名) 紅硯臺
 しゆずみ朱墨(名) 朱沙墨、朱墨、
 じゆする入水(名) 跳河 「硃墨
 しゆせい守成(名) 守成
 しゆせい守勢(名) 守(守勢を轉じ
 て攻勢を取る) 反守爲攻
 しゆせい酒精(名) 酒精
 しゆぜい酒稅(名) 酒稅
 じゆせい受精(名) 受精、成胎、交
 孕、成孕
 しゆせき手跡(名) 筆跡
 しゆせき主席(名) 主席、首座(某
 君を推して主席となす) 推某君

主席
 しゆせき首席(名) ①主席、首座 ②
 總教習 ③領袖(首席公使) (コウシ)
 領袖公使(首席で合格する) 中在
 第一名(銀行團の首席) 銀行團
 的領袖
 しゆせき酒席(名) 酒席、飯局、筵
 しゆせきえい酒石英(名) 葡萄酒
 しゆせきさん酒石酸(名) 葡萄酸
 しゆせん酒仙(名) 酒仙 「鹽
 しゆせん主戰(名) 主戰 「拾
 しゆぜん修繕(名) 修理、拾撥、收
 じゆぜん受禪(名) 受禪
 しゆせん守錢奴(名) 看財奴、
 齷齪的人
 しゆそ首鼠(名) 首鼠(首鼠兩端)
 (ヤクタン) 首鼠兩端、兩面討好

じゆそ呪咀(名) 呪咀
 しゆそく手足(名) 手足
 しゆぞく種族(名) 種族、民族
 しゆぞく種屬(名) 種類
 しゆたい主體(名) 主體
 じゆたい受胎(名) 受精、成胎、受
 孕、成孕、交孕
 じゆだい入内(名) 入宮
 じゆたく受託(名) 受託、受人托
 咐(受託人) (ニシ) 受貨者、收主
 じゆだく受諾(名) 肯應、答應
 しゆだん手段(名) 手段、法子(高
 壓手段) (カウア) 強硬手段(巧妙な
 る手段) 巧妙的法子、妙法、通天
 しゆぢ主治(名) 主治 「的手段
 しゆちやう主張(名) 主張、一定
 說、確說、堅稱

しゆちん縹珍(名) 閃緞
 しゆつ出(名) 出
 じゆつ術(名) ①術、法 ②法術
 じゆつ述(名) 述 「出演
 しゆつえん出演(名) 出臺演戲、
 しゆつか出荷(名) 發貨、出貨、把
 貨發去
 しゆつが出芽(名) 出芽、發芽
 しゆつかう出港(名) 船出口(出港
 免狀) (シヤウ) 出口單
 しゆつきやう出郷(名) 出郷
 しゆつきやう出京(名) ①出京(京ヲ
 テ田舎ニ行ク) ②進京、晉京(田舎ヨリ
 へ行ク) 起程
 しゆつきよ出御(名) 起程
 しゆつきん出勤(名) 辦公、辦公
 事、出勤

しゆつきん出金(名) 拿錢、出銀
 しゆくわわ出火(名) 起火、着火、
 失火、失慎
 しゆくわい出會(名) 遇見
 じゆくわい述懷(名) 述懷
 しゆくわん出棺(名) 發引、出殯
 しゆつぐわん出願(名) 具稟、稟
 請、稟呈、呈報、具呈、呈請、稟
 報(出願人) (ニシ) 具稟人、具呈人
 呈請人(商標登錄を出願する) 呈
 請商標註冊 「出征
 しゆつぐん出軍(名) 發兵、出兵、
 しゆつぐん出群(名) 出羣、超羣、
 出衆
 しゆつけ出家(名) ①出家、出世 ②
 じゆつけい術計(名) 術計
 しゆつけつ出血(名) 流血、出血(腸

出血(チヤウ) 肚腸血出(子宮出血)
(ウキユ) 血崩 「顯現、出顯」
 しゆつげん 出現(名) 現出、發現、
 じゆつご 術語(名) 專門名詞、術
 語、學語、專門話、科學名詞
 しゆつごく 出獄(名) 出監獄
 じゆつこん 入魂(名) 相好、對勁
 しゆつさつぐち 出札口(名) 賣票洞
 しゆつさつしよ 出札所(名) 賣票
 處、賣票房、售票房、票房
 しゆつさん 出產(名) 生、生產、產
 子、分娩、生兒女(妨ちゃんが御
 出產で御目出度う) 您有弄璋之
 喜實在可賀之至(男子)、您有弄
 瓦之喜實在可賀(女子)、(子供が
 產した) 生產一個孩子、添了孩
 子(出產届)、(下) 報生兒女單

しゆつし 出仕(名) 做官、當差
 しゆつし 出資(名) 投資、放下資
 本、拿資本、投入
 じゆつし 術士(名) 術士
 しゆつしやう 出生(名) 與しゆつ
 せい同
 しゆつしよ 出處(名) 出處、原引
 しゆつしん 出身(名) 出身(大學出
 身)(ダイガ) 大學校出身
 しゆつす 卒(佐賀自動) 卒
 じゆつすう 術數(名) 術數
 しゆつする 出水(名) 出水、發水
 しゆつせ 出世(名) 發跡、出息、出
 頭、熬出來(彼はもと書記だった
 が出世して知事になった) 他原來
 是一個錄事現在發跡做縣知事
 了(出世が早い) 發跡的很快(あ

あいふ人は出世は覺束ない」那麼
 様人沒有出息兒
 しゆつせい 出生(名) 生、生產、分
 娩、生兒女、添(男兒が出生した)
 生產了一個男孩子、添了男孩
 兒(私は明治十年の出生です) 我
 是明治十年生的(出生届)(トドケ)
 報生兒女單(出生率)(リツ) 生率、
 生產數(出生地)(チ) 出生處、誕
 生處、生地
 しゆつせい 出精(名) 發憤、努力
 しゆつせい 出征(名) 出征、出兵、
 上陣
 しゆつせき 出席(名) 去、來、到、出
 席(今晚の宴會は君は出席します
 か) 今天晚局你出席不出席(今
 日は出席の學生が少い) 今天到

的學生不多(出席をつける) 點
 名、簽到(出席簿)(ヒ) 考勤簿、簽
 しゆつせん 出船(名) 開船 「到簿
 しゆつそ 出訴(名) 打官司、告狀、
 控告、告下 「い同
 しゆつたい 出來(名) 與しゆつら
 しゆつたつ 出立(名) 動身、起身、
 啓程
 しゆつちやう 出張(名) 出差、前赴、
 前往、派出去(御用で上海に出張
 する) 有公事前往上海(出張を
 命ず) 吩咐出差(役員を出張さ
 す) 派員、差遣職員(出張所)(シヨ)
 分號、事務所、臨時事務所(出
 張店)(テン) 分行、分號
 しゆつちやう 出場(名) 出場、挑

簾出場(が)
 しゆつぢん 出陣(名) 出陣、上陣
 しゆつてい 出廷(名) 過堂、上堂
 しゆつてん 出典(名) 出處 「程
 しゆつと 出途(名) 動身、起身、啓
 しゆつとう 出頭(名) 上、赴(自分で
 役所へ出頭する) 親身赴公署(法
 廷へ出頭を命ずる) 把人傳案、傳
 人到案
 しゆつどう 出動(名) 進軍、出發、
 行軍、拔營(出動命令)(イレ) 出
 發令、拔營令
 じゆつなし 術無(形久遠) ① 沒法
 子、無法子、無可奈何 ② 難受、
 苦 「同
 しゆつなふ 出納(名) 與するたふ
 しゆつにふ 出入(名) 出入(出入口)

(コウ) 出入口兒 「身去
 しゆつば 出馬(名) ① 騎馬去 ② 親
 しゆつばい 出梅(名) 黃梅節末一
 天
 しゆつばつ 出發(名) 起身、動身、
 啓程、發程、上路、就道、起節、
 首途、榮行(出發點)(チ) 出發
 點、出發線、出發標
 しゆつばん 出版(名) 出版、出印、
 印行、刊行(出版物)(チ) 出版
 物、印刷物、發行物
 しゆつばん 出帆(名) 開船
 しゆつび 出費(名) 花費、費用、開
 銷、出費、用款、經費
 しゆつびん 出品(名) 出品、陳列
 しゆつぺい 出兵(名) 出兵
 じゆつぺい 恤兵(名) 恤兵

しゆつほつ 出沒(名) 出沒
 しゆっほん 出奔(名) 出奔、逃跑、逃亡、出走
 しゆつらい 出來(名) 做得、作成、出藍
 しゆつらん 出藍(名) 出藍 「製成」
 しゆてつ 鑄鐵(名) 鑄鐵、生鐵、銑
 しゆてん 酒店(名) 酒舖、酒店、酒
 しゆと首途(名) 首途 「樓」
 しゆとう 種痘(名) 種牛痘、種花兒
 しゆとく 取得(名) 取得、得着、獲得
 しゆとく 領土の取得 領土之取得
 しゆどく 酒毒(名) 酒毒
 しゆなう 首腦(名) 主腦
 しゆなふ 收納(名) 收納
 しゆなふ 受納(名) 受納、採納、受

しゆ 領(御受納被下度候)懇乞晒存是荷、尙祈俯納是禱
 じゆなん 受難(名) 遭難、受苦
 しゆにく 朱肉(名) 紅印色
 しゆにふ 輸入(名) 與ゆにふ同
 しゆにん 主任(名) 主任、主管事
 しゆぬり 朱塗(名) 紅漆漆的 「務
 しゆはい 手背(名) 手背
 しゆはい 酒杯(名) 酒杯、酒盅
 しゆはん 首犯(名) 首犯、主犯、正犯
 しゆはん 首班(名) 首席
 じゆばん 襦袢(名) 汗褸兒、汗衫
 じゆひ 樹皮(名) 樹皮
 しゆび 首尾(名) ①首尾、前後「言葉の首尾が合はぬ」說話前後不符「首尾一貫」前後照應的、首

しゆ 尾貫徹的、首尾一致的 ②幸得、僥倖「首尾よく合格した」僥倖得中 ③結果、收場「首尾は如何です」是怎麼個收場 「拂塵
 しゆび 塵尾(名) 蒼蠅尾兒、塵尾、
 しゆび 守備(名) 守備、把守(守)「
 しゆびき 朱引(名) 用朱筆標
 しゆひつ 主筆(名) 大主筆、報館大主筆
 しゆひん 主賓(名) 主客、正客
 しゆびん 洩瓶(名) 夜壺、尿壺、便壺、夜淨的
 しゆふ 首府(名) 首都、京城、都城、京都、京師、首善之區、輦轂之下
 しゆふ 主婦(名) 「婆、當家的婦人
 しゆふ 主婦(名) 主婦、主婦、主家
 しゆふ 首服(名) 自首服罪

しゆふく 修復(名) 與しゆぜん同
 しゆふで 朱筆(名) 朱筆
 しゆぶん 正文(名) 正文
 しゆへき 酒癖(名) 酒癖(酒ヲ飲ム癖好)酒皮兒(酒クセ) 「別、分類」
 しゆべつ 種別(名) 分門別類、類
 しゆほ 酒舖(名) 酒舖、酒店、酒樓
 しゆほ 酒保(名) 酒保、兵營裡的酒肆
 しゆほ 主母(名) 與しゆふ同
 しゆほ 酒母(名) 酒母
 しゆほう 首謀(名) 事首、首謀、主謀(首謀者)「シヤ」造意犯、渠魁、罪魁、首魁
 しゆみ 趣味(名) 趣味、意思、好尙、嗜味、翫味、風趣(彼は山水の趣味を解しない)他不解山水

しゆ 的風趣(一人で飲んでも趣味がない)一個人喝酒也沒甚麼意思「彼は文學美術の趣味がない」他對文學美術沒有鑑賞力「何の趣味もない人」不風雅的人、無趣味的人、沒有鑑賞力的人
 しゆみせん 須彌山(名) 須彌山
 じゆみやう 壽命(名) 壽數「壽命だから致方ありません」也是壽數到了沒法子
 しゆむ 主務(名) 主管的事務
 しゆめい 主命(名) 主人的吩咐、主人之命「主命により」奉主人的命
 しゆもく 種目(名) 條目、項目、品目、目錄「營業種目」(エイト)經營目錄

しゆもく 撞木(名) 鐘槌子(撞木形)杖、拐棍兒
 じゆもく 樹木(名) 樹木
 しゆもつ 腫物(名) 疙瘩、爛瘡、瘍、膿瘡、膿瘍
 しゆもん 手紋(名) 手紋、掌紋
 じゆもん 呪文(名) 呪文「呪文を唱へる」念呪
 しゆゆ 須臾(名) 須臾
 じゆよ 授與(名) 授與、給、贈「賞品を授與する」授與賞品
 しゆよう 主用(名) ①要緊的事情 ②主人的事情
 じゆよう 需用(名) 需要、需用、求「需用に應じきれない」供不應求「需用者」(シヤ)用主兒

しゆら 修羅(名) 修羅
 じゆらい 入來(名) 來、光臨
 じゆらう 入牢(名) 入獄、下獄
 じゆらうじん 壽老人(名) 壽星、老壽星
 しゆらん 酒亂(名) 鬧酒皮氣(酒亂ノ)
 酒瘋子(同上)、酗酒滋事(酒亂ニ)
 しゆり 修理(名) 與しゆり同
 しゆり手裏(名) 手裡(手裏劍)、
 鏢、鏢
 じゆり受理(名) 給辦、受理、接
 收、收受(此訴訟は受理しない)
 這場官司審判廳不受理(人民の
 請願を受理す) 收受人民之請願
 しゆりよう 首領(名) 首領、領袖、
 領頭兒、帶頭的(黨の首領)、黨魁

じゆりやう 受領(名) 收、收下、
 領、受領(受領書)、收單(うけま
 シ)、收單(うけま
 シ)
 「受領證」(シヨウ)同上 「chungy」
 しゆるる 種類(名) 類、種、種類
 しゆれふ 狩獵(名) 狩獵、打圍、打
 獵 「業」手訣、手法兒、手彩兒
 しゆれん 手練(名) 熟練(手練の早
 練)
 しゆる 棕欄(名) 棕(棕欄の毛)、棕
 絲(棕欄竹)、棕竹(棕欄箒)
 しゆる手爐(名) 手爐
 しゆるろう 鐘樓(名) 鐘樓
 しゆるろう 酒樓(名) 飯館子(料理、
 酒館)
 じゆわき 受話器(名) 受話器、收
 音機、無線電收音機
 しゆわん 手腕(名) 手腕、能耐、

才幹、本事
 しゆゐ 主位(名) 首位、首席
 しゆゐん 主因(名) 主因
 しゆゑい 守衛(名) 守衛、護衛、防
 守、防衛、把守
 しゆん 旬(名) 正是時候(鯛)は今
 が旬です 大頭魚現在正是時候
 しゆん 駿(名) 駿
 しゆん 俊(名) 俊
 しゆん 純(名) 純
 しゆん 醇(名) 醇
 しゆん 閏(名) 閏
 しゆん 巡(名) 巡
 しゆん 旬(名) 旬
 じゆん 順(名) 順、次序(物事に
 順を立ててする)、按着次序辦事
 「順がちがふ」次序不對「いろは

順(以日本字母爲序、依日本字
 母順序「アルハベツト順」依英國
 字母順序「いろは順に並べる」依
 日本字母順序排列「御順にお詰
 め下さい」順着勻一勻「年齢の順
 に坐る」序着齒坐
 じゆん 准(接頭) 副
 しゆん 春遊(名) 春遊
 じゆん 巡遊(名) 巡遊、巡歴、
 游歴
 じゆん 純一(名) 純一
 しゆん 春雨(名) 春雨
 じゆん 純益(名) 餘利、淨剩、
 餘利、賺利、淨贏、淨賺、純益、
 純利、淨利、紅利
 じゆん 巡閱(名) 巡閱
 じゆん 順延(名) 住下勻日子

「雨天順延」風雨推延、下雨順延
 じゆん おう 順應(名) 順應、順從、
 適合、隨合、變通、遷就、通融(時
 代の潮流に順應する)、隨合時代
 的潮流、按着時勢遷就(其境遇
 に順應する)、隨機應變、隨方就
 圓(日本人は順應性がある)、日本
 人能變通(民心に順應する)、順應
 民心(大勢順應)、隨合潮流、順從
 時勢
 じゆん 巡幸(名) 巡幸
 じゆん 巡邏(名) 巡邏、巡察
 じゆん 巡航(名) 巡洋、坐船
 游歴
 じゆん 順行(名) 順着走(順
 ナ行)、遵行、遵辦

じゆん 準行(名) 照辦、遵辦
 しゆん 春寒(名) 春寒
 しゆん 瞬間(名) 瞬間、一眨
 眼的工夫、轉眼之間、轉瞬間、
 轉息間、一轉眼、片時、片刻、瞬
 時、頃刻、一晃兒、俄頃
 しゆん 春機(名) 春心(春機發動
 期)、(ツドウキ)春心發動的時候、發
 性期
 しゆん 春季(名) 春季(春季皇靈
 祭)、(ウレイサヒ)孟祭、春分皇祭
 祀祖先之禮
 じゆん 準規(名) 準規、準則
 しゆん 春菊(名) 蒿子
 じゆん 順逆(名) 順逆
 じゆん 順境(名) 順境

じゆんきよ 准許(名) 允准
 じゆんきよ 准據(名) 照、按照、援
 據、援照(成案に准據する) 援照
 成案
 じゆんきん 純金(名) 足金、純金
 じゆんぎん 純銀(名) 足銀、紋銀、
 純銀
 しゆんぐ 蠢愚(名) 蠢愚、蠢笨
 しゆんぐう 春宮(名) 春宮、東宮
 じゆんぐり 順繰(名) 挨着次序、
 輪流着、以次……
 しゆんぐわ 春畫(名) 春畫、春工
 [春畫帖(デフ) 春冊
 じゆんくわい 巡廻(名) 巡視、巡
 察、巡邏、巡廻(巡廻講演)(ウエカ)
 巡遊講演
 じゆんくわう づきん 順光頭巾(名)

與おこぞ づきん 同
 じゆんくわん 循環(名) 循環(血液
 循環)(ケツエ) 血運、血液循環
 しゆんけい 春景(名) 春景
 しゆんけいぬり 春慶塗(名) 漆器
 之名
 じゆんけう むん 進教員(名) 小學
 校助教員
 しゆんけつ 俊傑(名) 俊傑
 じゆんけつ 純潔(名) 純潔(純潔な
 愛) 純潔的愛情
 じゆんげつ 閏月(名) 閏月
 じゆんげふ 巡業(名) 生藝人周游
 各處作生藝
 じゆんけん 巡檢(名) 巡檢
 しゆんこう 竣工(名) 竣工、成工、
 告成、完了了了、完了了了

じゆんこく 純黒(名) 漆黒
 じゆんさ 巡查(名) 巡捕、巡警、巡
 士、警吏(巡查派出所)(ウツジシ) 巡
 警派出所、巡捕房(巡查部長)
 (チヤウ) 巡捕長、警長(刑事巡查)
 (クイシ) 刑事巡警、偵探(騎馬巡
 査)(キバ) 騎馬巡警、騎巡(護衛巡
 査)(ゴエイ) 護衛巡警
 しゆんさい 俊才(名) 俊才
 じゆんさい 葦菜(名) 葦菜、茆
 じゆんさつ 巡察(名) 巡察 「同
 しゆんじ 瞬時(名) 與しゆんかん
 じゆんじ 殉死(名) 殉死、從死
 じゆんじ 巡視(名) 巡視、巡察、巡
 邏、查看(巡視船)(セン) 哨船、護
 船
 じゆんじ 順次(名) 順次、依次、挨

しゆんしう 俊秀(名) 俊秀
 しゆんじう 春秋(名) 春秋
 じゆんしう えき 純收益(名) 與じ
 ゆんえき 同
 じゆんしくわん 准士官(名) 准尉
 しゆんじつ 春日(名) 春日
 じゆんじつ 旬日(名) 旬日
 しゆんじやう 春情(名) 春心
 じゆんじゆ 遵守(名) 遵守、奉行、
 照行
 じゆんじゆ 醇酒(名) 醇酒、濃酒、
 しゆんじゆん 逡巡(名) 逡巡、躊
 躇、游移不定、因循
 じゆんじゆん 諄諄(名) 諄諄(諄諄
 と説き聞かす) 諄諄的勸戒
 じゆんじゆん 順順(名) 挨着次序、
 輪流着(順順に出て来る) 挨着次

序出來
 じゆんじよ 順序(名) 順序、次序、
 次第、程序(式の順序) 禮節秩序
 [順序に並べる] 按着次序擺
 しゆんじよく 春色(名) 春色「飾
 じゆんじよく 潤色(名) 潤色、粉
 じゆんしん 純眞(名) 純、純清、清
 淨、純潔(純眞の愛) 純潔之愛
 じゆんず 準ズ(佐變自動) 準、做、按、
 照、按照(價格に準ず) 照估價、
 按照價值「以下之に準ず」以下
 准此、以下做之、下做此(支出は
 收入に準じて増す) 支出準收入
 而増(原形の大小に準ず) 照原形
 的大小
 じゆんず 殉す(佐變自動) 殉(一死以
 て國難に殉す) 一死以殉國難

じゆんする 純粹(名) 純粹、純淨、
 じゆんせい 純正(名) 純正「清淨
 しゆんせつ 浚渫(名) 浚渫、挑挖、
 開挖、挖溶(浚渫機)(キ) 挖河機
 器、挖河機(浚渫船)(セン) 挖泥
 船、浚泥船、浚河船
 じゆんぜん 純然(名) 完全、純然、
 純乎、純粹
 しゆんそく 瞬息(名) 瞬間、一眨
 眼的工夫、轉眼間、轉息間
 しゆんそく 駿足(名) 駿馬
 じゆんそく 準則(名) 準則
 じゆんたう 順當(名) 妥當、順安、
 順當(事が順當に行く) 事情順順
 當當的(風雨が順當なる) 風調雨
 順的
 じゆんたく 潤澤(名) 有浮餘、豐

富〔金が潤澤にある〕錢有浮餘
 じゆんたつ 順達〔名〕 傳單、公信
 しゆんだん 春暖〔名〕 春暖
 じゆんち 馴致〔名〕 馴致、馴習、馴
 しゆんでいき 浚泥機〔名〕 浚泥機
 じゆんてう 順調〔名〕 順、順叙、順
 利、順適〔事が順調に運ぶ〕事情
 進行的很順利〔病氣の經過は順
 調です〕他的病症調治的順手
 しゆんどう 蠢動〔名〕 蠢動
 じゆんなん 殉難〔名〕 殉難〔non〕
 じゆんに 順〔副〕 按着次序、輪
 流着
 じゆんねん 閏年〔名〕 閏年
 しゆんば 駿馬〔名〕 駿馬
 じゆんばい 巡拜〔名〕 歷拜
 じゆんばく 純白〔名〕 純白、雪白

(hsieh's party) 清白
 じゆんばん 順番〔名〕 次序、次第、
 班次〔私の順番が来た〕輪到了
 我的班次了〔順番が狂った〕次序
 亂了〔順番に呼び出す〕按着號頭
 兒叫出來
 じゆんび 準備〔名〕 預備、備辦、佈
 置、準備、籌備〔試験の準備する〕
 預備考試、自備應試〔課業の準
 備をする〕準備課業〔準備が出来
 ましたか〕預備好了麼、籌備妥
 當了麼〔一切の道具は私が準備し
 ます〕一切傢伙我可以備辦〔一
 切の準備が出来た〕一切都佈置
 好了、一切都備辦妥了〔準備金〕
 (キ)準備金、預備金、積存金、
 儲備金、備藏金、存備金〔準備事

項(シヨウ) 籌備事宜、預備事項
 〔祝典の準備〕(シユクテ) 籌備祝典
 〔戦闘準備〕(セント) 準備戰鬥
 じゆんびつ 潤筆〔名〕 潤筆、寫字、
 畫畫兒〔潤筆料〕(レイ) 筆資、潤資
 〔潤筆料規程〕潤格
 しゆんぶう 春風〔名〕 春風
 じゆんぶう 順風〔名〕 順風
 しゆんぶん 春分〔名〕 春分
 じゆんもう 純毛〔名〕 純毛、眞純
 羊毛、全毛織成的、滿毛的
 じゆんみん 順民〔名〕 順民
 しゆんめ 駿馬〔名〕 駿馬
 しゆんやう 春陽〔名〕 春陽
 しゆんやう 馴養〔名〕 馴養
 じゆんやうかん 巡洋艦〔名〕 巡洋

じゆんやうし 順養子〔名〕 叔伯過
 繼的兒子
 じゆんよう 準用〔名〕 準用
 じゆんら 巡邏〔名〕 巡邏
 じゆんりやう 順良〔名〕 順良
 じゆんれい 巡禮〔名〕 ①香遊、游
 歴聖地、朝山拜廟 ②香遊的客
 人、香客、朝山的
 じゆんろ 順路〔名〕 順道兒
 じゆんろく 馴鹿〔名〕 馴鹿、駕鹿、
 長角羚羊
 じゑい 自衛〔名〕 自衛
 じよ書〔名〕 ①書 ②字 ③書信、函、
 じよ暑〔名〕 暑
 じよ初〔名〕 初
 じよ署〔名〕 署
 じよ庶〔名〕 庶

じよ自餘〔名〕 其餘、下剩
 じよ序〔名〕 序、序言、小引、緒言、
 弁言
 ショーウインドー 陳列窓
 ショール 披肩、圍脖
 兒
 しよあたり 暑中〔名〕 中暑、中暑
 しよいう 所有〔名〕 屬、有、所有、
 執、管〔これは私の所有です〕這
 是我所有的〔永久に自己の所有
 とす〕永遠執業〔財産〕〔彼は家作を
 一軒所有して居る〕他有一處房
 子〔私は田地を數段所有してゐま
 す〕我有幾畝地〔債券所有者〕(サイ
 シヤ) 執債券者〔所有權〕(ケン) 所有
 權〔所有者〕(シユ) 主兒、本主兒、
 原主、所有者、業主〔財産〕、執業

的人(ト)、房東(家屋)、房主(邸)、
 地主(土地)、貨主(荷物)〔所有地〕(チ)
 所有地、地産、田産〔所有物〕(ブツ)
 所有物、所有品
 しよいちねん 初一念〔名〕 初志、
 當初的目的〔初一念を貫かれば
 止まない〕總得辦到了當初的目
 的 不止
 しよ使用〔名〕 用、使、使喚、使
 用、應用〔北平ではどんな錢を使
 用しますか〕北平使甚麼錢〔私は
 三人のボーイを使用して居ます〕
 我使喚的有三個底下人〔使用し
 たら元の處へ置きなさい〕你使完
 了就攔回原處罷〔電話を使用す
 る〕使用電話〔電話使用者〕電話
 用戶〔使用人〕(ニ) 使喚的人、底

下人、使用的人、傭人、服務員〔使用物〕^(ツ) 使用物〔使用權〕^(ケ) 使用權〔使用料〕^(レ) 賃錢、租錢

しよ 試用(色) 試用、見習、試

しよ 升(名) 一斗之十分之一、

しよ 稱(名) 稱、稱呼

しよ 衡(名) 衡

しよ 證(名) 證

しよ 頌(名) 頌

しよ 勝(名) 勝

正、將、莊、相、章、尙、掌、賞、唱、床、祥、詳、傷、象、上、等見
しやう 條下、小、少、抄、肖、消、
召、招、照、笑、燒、簫等見せう
條下、妾、捷、涉等見せふ條下
じよ 自用(色) 自己用
じよ 尉(色) 老翁、老頭兒
じよ 乘(色) 乘
じよ 上、情、常、成、城、讓、
釀、狀等見じやう條下、饒、擾、
見ぜう條下、丈、杖、定、錠、場
見ぢやう、條見でう、帖見でふ
條下
しよ 鐘愛(名) 鐘愛
しよ 承引(名) 答應、肯應
しよ 印(名) 憑據印信
しよ 松膏(名) 松香

しよ 昇降(色) 昇降(chiang)
上下〔昇降機〕^(キ) 昇降機、升梯、
升車、電梯〔昇降口〕^(ケ) 出入口
兒、門路
しよ 稱呼(色) 稱呼、姓
じよ 乘客(色) 乘客、搭客、
旅客

しよ 鐘馗(名) 鐘馗
じよ 蒸氣(名) ①水汽、蒸氣、
汽 ②火輪船、輪船〔小蒸氣〕^(ロ)
小輪船、汽艇〔蒸氣機關〕^(ク)
蒸氣機器、蒸氣機關、蒸氣引
擎、汽機、輪機〔蒸氣車〕^(シ) 火
輪車、火車〔蒸氣船〕^(セ) 火輪
船、輪船〔蒸氣唧筒〕^(ホ) 蒸氣
唧筒、汽力唧筒〔蒸氣力〕^(ホ) 汽力

しよ 昇給(名) 長薪水、加
増薪水
じよ 乘客(名) 乘客、搭
客
じよ 剩餘(名) 剩餘的錢
じよ 勝區(名) 勝區
じよ 承繼(名) 承繼
じよ 憑單、券契、
證券〔有價證券〕^(イ) 有價證券
じよ 證言、證詞、
對證的話、見證的話
じよ 稱呼(名) 稱呼
じよ 鐘鼓(名) 鐘鼓
じよ 憑據、證據、見
證〔證據金〕^(キ) 押款、保證準備
金、證據金〔證據金を政府に納め
る〕 押款存在公署裡、繳納證

據金〔證據立つ〕^(ツ) 作見證、證明、
立憑據〔證據人〕^(ニ) 證人、作證
的人〔證據物件〕^(ツ) 證物、做
證據的物件
しよ 昇承(名) 昇承
しよ 證左(名) 證左
しよ 稱讚(名) 稱讚
しよ 勝算(名) 勝算、成算
じよ 乘算(名) 乘算
じよ 包月的車、
自用車、自己控的車
じよ 乘車(名) 乘車、坐車
しよ 字據、憑單、
文契、文憑、契據、印據、證書
〔借用證書〕^(シ) 借款字據、借
約、借單、借字、借票〔卒業證書〕
〔ツク〕 畢業文憑〔金錢受取證書〕

しよ 昇叙(名) 陞官
じよ 悶熱
しよ 衝心(名) 衝心、攻心
しよ 陞任、陞官、
升、升騰
しよ 證、作
證、見證、作憑據 ② 保、管保〔ウク
しよ 誦ス(佐變他動) 誦
しよ 稱(名) 稱
しよ 頌〔徳を頌
す〕 頌徳
じよ 乘ズ(佐變自動) 乘、趁〔船
に乗す〕 乘船、坐船〔機會に乗す〕

しよ 銀錢收單、領款憑單
〔保證證書〕^(ホ) 保單〔預金證書〕
〔ヨキ〕 存款憑單〔證書面〕^(ハ) 字
據上的字
しよ 陞叙(名) 陞官
じよ 悶熱
しよ 衝心(名) 衝心、攻心
しよ 陞任、陞官、
升、升騰
しよ 證、作
證、見證、作憑據 ② 保、管保〔ウク
しよ 誦ス(佐變他動) 誦
しよ 稱(名) 稱
しよ 頌〔徳を頌
す〕 頌徳
じよ 乘ズ(佐變自動) 乘、趁〔船
に乗す〕 乘船、坐船〔機會に乗す〕

乘機會、趁機會、乘時、乘便
じようず乗^ス(佐變他動) 乘「之に三

を乗す」用三乘之
じようせい鐘聲(名) 鐘聲

じようせき證跡(名) 證跡

じようぜん承前(名) 承前、續前、
續編

じようせん剩錢(名) 剩下的錢

じようせん乗船(名) 乗船、坐船、
上船、登船

じようを勝訴(名) 贏官司
じようた冗多(名) 冗多

じようだう唱道(名) 唱道、提倡
じようだく承諾(名) 肯、答應、肯

應、金諾、季諾(彼は承諾するま
い)他怕不答應(御承諾被下度希
上候)望希季諾(御承諾被下候は

した)火車和汽車衝撞了(意見
が衝突する)倆人意見不防頭、
倆人意見不合、意見相背、意不
相投(汽車が衝突した)火車撞了

〔新舊思想の衝突〕新舊思想之衝
突②爭執(兩政黨衝突を起す)兩
政黨起爭執③接觸(歩哨が小衝
突をした)歩哨有小接觸

じようじん證人(名) 證人、做
證人、見證人②保人(ニク)

じようじん承認(名) 承認、認
准、認爲(承認せぬ)不承認、不
認、抵賴、撒賴(各國は新政府を
承認した)各國都承認了新政府

②答應、肯應(此條件では承認出
來ぬ)於這個條件我就不能肯
應

ば仕合に存候)如荷金諾銘感之
至
じようだん冗談(名) 與じやうだ
じようち勝地(名) 勝地、勝區

じようち承知(名) ①聽見說、聽
說(貴下は御承知の事と思つて居
ました)我以爲是您已經聽見說
過了②答應、肯應、認(忘れたら
承知しないぞ)你若是忘了我可
不答應你的(彼は承知しました)

他肯應了(償金を出すことを承知
した)認賠、認了賠款③知道(先
日のお話は承知しました)上回說
的話我都知道了(承知仕候)敬
知、知(案内状ナドニ承諾(御承知置願
上候)惟希鑒照(御承知の事と存
候)諒所深悉)④儲(彼はいくら誤

じようば乘馬(名) 騎馬(乘馬服)
じようば馬衣、跨馬服

じようはい勝敗(名) 勝敗 「シカ
じようはく松柏(名) 松樹柏樹(シハ)

じようはつ蒸發(名) 蒸發、蒸爲
氣、蒸散、發散(蒸發氣)①蒸
氣、水氣

じようはふ乘法(名) 乘法 「費
じようひ冗費(名) 冗費、濫費、耗
じようひよう證憑(名) 憑據、證
據

じようぶ勝負(名) 勝敗、勝負、輸
贏(勝負は時の運)一勝一敗兵
家常勢(勝負がつかない)不分勝
敗(三番勝負)②三回見輸贏

じようにん使用人(名) 見しよ
條下

つても私は承知出來ない)你怎麼
求情我可不能饒你
じようちやう冗長(名) 冗長

じようぢよ乗除(名) 乘除

じようてん昇天(名) 昇天、上天

じようてん衝天(名) 衝天(意氣衝
天)意氣衝天、意氣揚揚

じようでん承傳(名) 承傳、承繼

じようどう衝動(名) 衝動、激動
〔衝動的なる〕隨興動的、有一激
動就作的性子

じようどく頌德(名) 頌德
じようどく誦讀(名) 誦讀

じようどつ衝突(名) 衝突、衝
撞、碰、對碰、相撞、抵碰、碰、
衝碰、不防頭(船が衝突する)兩
隻船碰了(汽車と自動車が衝突

〔勝負事(チ)〕賭博
じようふく承服(名) 肯從

じようぶん冗文(名) 冗文

じようへい昇平(名) 昇平、太平

じようみやう稱名(名) 念佛

じようめい證明(名) 證明、證實、
指證、證定、作證、質證出來、立
憑據(支拂證明)②證明付欸
〔證明書〕③文憑、證明書

じようもん證文(名) 與しよ
上同

じようやう稱揚(名) 稱揚

じようよ乘輿(名) 乘輿

じようよ剩餘(名) 剩餘、下餘、下
剩、盈餘、贏餘、羨餘、敷餘、浮
餘(剩餘金)①餘錢、餘銀、餘

資、餘款、剩銀、盈餘、剩下的錢
 しようよう 從容(色) 從容
 しようよう 懲懲(色) 懲懲
 しようり 勝利(色) 勝、勝利
 じようりう 蒸溜(色) 蒸、蒸溜、蒸餾(蒸溜器) 餿、蒸餿、蒸溜器(蒸溜水) スキ 蒸溜水、蒸氣水
 じようろ 松露(色) 松露、黑蘆菇
 じようろ 如雨露(色) 噴壺
 じようろ 鐘樓(色) 鐘樓
 じよういん 承允(色) 應允、允諾、允肯、允許
 じようあん 冗員(色) 冗員
 じよえん 所縁(色) 有縁的人
 じよえん 初縁(色) 初縁
 じよか 書家(色) 書家
 じよか 書架(色) 書架

しよかい 初階(色) 初階、初歩、啓蒙
 じよかう 初更(色) 初更(八時)
 じよかう 初號(色) ①頭號、第一號
 じよかう 頭號活字
 じよかう 徐行(色) 慢走
 じよかく 初學(色) 初學、初階、啓蒙(初學の人) 初學的、初階的(初學讀本) クロト 初階、蒙學課本
 じよかく 序樂(色) 樂引、領樂、導
 じよかつ 所轄(色) 所屬、所轄、所
 じよかん 所感(色) 所感 「管轄
 じよかん 書翰(色) 書信、書札、書柬、書子(書翰紙) シ 信箋、信紙、箋紙、八行書、花箋(横書)

花紙(珂) (書翰箋) (セシ) 同上(書翰袋) (テクロ) 信皮、信套、信封(書翰文) 尺牘文
 じよき 所期(色) 所期、所期待
 じよき 書記(色) 書記、錄事、供事、主簿、書吏(書記官) (クワン) 書記官、秘書官
 じよき 初期(色) 頭一期、最初、首先(肺病の初期) 肺病初起、肺病初侵
 じよき 暑氣(色) 暑氣(暑氣中) (アタリ) 中暑、受暑氣(暑氣拂) (ハラヒ) 去暑
 じよき 初級(色) 初級、第一級
 じよぎやう 所行(色) 行爲 (Doing) (アタリ)

しよぎやう 諸行無常(色) 諸行無常
 じよく 私欲(色) 私欲
 じよく 職(色) ①職、任、缺、職位、差使、職分(自分の職を盡す) 盡自己的職分(職に就く) 就職、就任、當差(大學教授の職) 大學教授的職位(公使の職) 公使的職位 ②職業、生業(大工を職とする) 以木匠爲生業(職を求めると) 找個事情 ③手藝、作、匠(職を覺える) 學手藝(仕立職) 裁縫手藝(大工職) 木作(ペンキ職) 油漆作(左官職) 瓦匠
 じよく 燭(色) ①燭 ②與しよくく
 じよく 屬(色) 屬 「わう同
 じよく 食(色) 食、吃的(食を求め

る) 求食(食が進む) 長飯量
 じよく あたり 食中(色) 傷食
 じよくいん 職印(色) 本職的印信
 じよくいん 食鹽(色) 白鹽、食鹽
 じよかく 食客(色) 食客、吃閒飯的
 じよかく 觸覺(色) 觸覺、感覺
 じよかく がたき 職敵(色) 同行是冤家
 じよく き 食氣(色) 思食、想吃、欲食(與しよくよく同)
 じよく き 織機(色) 織布機器
 じよく き 食器(色) 飯具、食器、傢伙、食用器具(食器室) 食器房、飲食房、傢伙房
 じよく き 蝕既(色) 蝕滿
 じよく く わ 燭火(色) 燈火

じよく く わ 燭光(色) 燭光、燭力(十六燭光) 十六燭光、十六支光(この電燈は何燭光ですか) 這盞電燈是幾支燭光的
 じよく げん 職業(色) 職業、生業、買賣、業務(御職業は) 恭喜是「私は仲買を職業にして居ます」我是做經紀的買賣的(職業紹介) (ウクワイ) 介紹職業(職業組合) (ミアヒ) 商會、協會、同業聯合社
 じよく けん 職權(色) 職權、權能
 じよく げん 食言(色) 食言、失信
 じよく ご 食後(色) 飯後
 じよく こう 職工(色) 工人、工匠、職工、藝徒、做工的人、耍手藝的(職工長) 工頭、工匠頭
 じよく ざい 贖罪(色) 贖罪

しよくさん 殖産(名) 殖産、開發
 富源、生財 「頭
 しよくし 食指(名) 食指、二拇指
 しよくじ 食事(名) 餐、膳、食、飯、
 飲食「三度の食事」三頓飯(食事
 の時)食時、膳事(食事が進む)飲
 食多進
 しよくじ 植字(名) 擺字、排字(植
 字工)(ゴウ)排字匠(植字機)(キ)排
 字機 「食、食滯
 しよくしやう 食傷(名) 傷食、停
 しよくしやう 職掌(名) 職掌、職
 分 「樹、栽種樹林子
 しよくじゆ 植樹(名) 種樹、栽種
 しよくす 食ヌ(在嬰他動、自動) 食、吃
 しよくす 囁ス(在嬰他動) 囁、囁咐
 しよくせい 職制(名) 職制

しよくせき 職責(名) 職守、職任
 (職責を盡す)盡其職任
 しよくせつ 觸接(名) 貼着、摩着、
 挨靠、接觸(手に觸接する)貼近
 他的手、挨摩着他的手
 しよくぜん 食前(名) 食前、飯前
 しよくたい 食滯(名) 食滯、停食、
 食物停滯
 しよくだい 燭臺(名) 蠟臺
 しよくだう 食道(名) 食管、食嚥
 しよくだう 食堂(名) 飯廳兒、餐
 堂(食堂車)(シヤ)膳車、餐車、飯
 食車 「餐檯
 しよくたく 食卓(名) 飯桌、食桌
 しよくたく 囁託(名) 囁託
 しよくぢよ 織女(名) 織女
 しよくにん 職人(名) 工匠、工人、

做工的人、耍手藝的
 しよくひ 食費(名) 膳費、火食費
 しよくひん 食品(名) 食品、食物、
 吃食、吃的東西、食用的東西
 しよくぶつ 植物(名) 植物、草木
 (草本植物)(サウホ)草本植物(木
 本植物)(ボクホ)木本植物(植物園)
 (エシ)植物園
 しよくぶん 職分(名) 職分、職任
 (各自の職分を盡す)各人盡各人
 的職分
 しよくみん 殖民(名) 殖民、拓殖、
 開新地移民(殖民地)殖民地、
 屬地、新疆 「務、任務、職掌
 しよくむ 職務(名) 職務、職分、役
 しよくもう 植毛(名) 栽毛(刷毛の
 植毛)栽刷子の毛

しよくもく 矚目(名) 注視、觀察、
 留神
 しよくもつ 食物(名) 食物、食品、
 吃食、吃的東西、食用的東西
 (しよくやすみ 食休(名) 飯後歇息
 しよくよう 食用(名) 吃、食、可
 食、可吃、食用、適於食用(食用
 品)(ヒシ)食物、吃食、食用的、食
 用品、吃的東西、可食之物
 しよくよく 食慾(名) 思食、想食、
 想吃食、胃口開(食慾進む)胃口
 開、胃口清(食慾不進)(フシシ)不
 思飲食、無胃口、胃口不開、胃
 口不清
 しよくりやう 食糧(名) 糧食
 しよくれう 食料(名) ①食物、吃
 食、飯食、吃的東西、食用的東

西の飯錢、火食(食料)(ヒシ)與
 食用品同
 しよくろう 蝕鏽(名) 蝕鏽、蝕刻、
 酸蝕彫刻
 しよくろく 食祿(名) 食祿、俸祿
 しよぐわ 書畫(名) 書畫、字畫(書
 畫會)(ケワイ)書畫會(書畫帖)(テフ)
 冊頁、譜帖
 しよくわい 所懷(名) 所懷、所感
 しよくわい 初會(名) ①初會、初
 見、頭一回見、初次見(初メテ)②
 生客(遊客)(初會客)(キヤク)生客、
 妓女初接之客
 しよくわう 曙光(名) 曙光
 しよくわん 所管(名) 所管、所屬
 しよくゐん 職員(名) 官員、職員、
 人員、辦事人員、在事人員(舊

職員)(キツ)前任職員(現職員)(ゲン)
 現任職員(職員録)(ロク)職員録、
 指紳録、同官録、職官録、官員
 題名録
 しよくろ 觸穢(名) 有喪氣
 しよくん 諸君(代) 諸君、諸位、衆
 位、列位
 じよくん 叙勳(名) 賞勳章
 しよけい 庶兄(名) 庶兄、庶出的
 哥哥
 しよけい 處刑(名) 治罪、辦罪
 じよけうじ 助教授(名) 高等學校
 專門學校大學校之副教習
 じよけうゆ 助教諭(名) 中等學校
 之副教習
 しよけつ 處決(名) 處決、正法
 しよげふ 所業(名) 做的、行爲

(しよげる) (ト一段目動) 無精打彩的、
 喪胆游魂的 「試験に落第してし
 よげかへって居る」他考不中竟無
 精打彩的
 しよけん 書見(名) 看书 「思
 しよけん 所見(名) 所見、意見、意
 しよけん 諸賢(名) 諸君子、羣賢
 しよげん 緒言(名) 緒言、序言
 しよげん 諸彦(名) 諸君、諸位、衆
 位、列位 「言、緒言
 しよげん 序言(名) 序、序言、弁
 しよげん 助言(名) 提補「誰も助言
 するな」誰都不必提補他
 しよこ 書庫(名) 書庫
 しよこ 助語(名) 助語
 しよこ 諸侯(名) 諸侯、藩王

しよこく 諸國(名) 諸國、各國
 しよこく 初刻(名) 初版、初刊
 (しよこことなし) (形久語) 沒法子、
 無法子、不得已、只可、只得「義
 理でしよこことなく承諾した」礙着
 情面無法子答應了 「(男)
 しよこん 初婚(名) 初嫁(女)、初婚
 しよこん 如今(名) 如今、目下、脚
 下、現在
 しよさ 所作(名) ①行為 (ising'wei?)
 ②作派「あの役者は聲は好いが所
 作は下手です」那個唱戲的唱的
 雖然好作派不好「所作事」(ト)
 しよさい 處裁(名) 處決 「作派
 しよさい 書齋(名) 書房、書齋、書
 室
 しよざい 所在(名) 所在、下落「所

在地」(ト)所在的地方、所在地、
 址、地址
 (しよざいなし) 所在無シ(形久語)
 沒事竟閒着、無聊「毎日所在無
 く暮す」每天沒事竟閒着「皆が
 忙しいのに私だけ遊んで居て所在
 がない」大家都有事情很忙就是
 我一個人閒着沒着落
 (しよざいなし) 如才無イ(形久語) 有
 氣靈便兒、機敏、伶俐、圓通、圓
 滑
 しよさう 所相(名) 受動、被動
 しよさう 所藏(名) 所藏
 しよさつ 書札(名) 書札、書信
 しよさん 助産婦(名) 收生婆、
 接生婦、姥姥 (ao's lo?)、隱婆、(ト)方
 しよしん 所信(名) 所信
 しよしん 初審(名) 初審
 しよしん 初心(名) 唛、生「初心の
 田舎者」(ナカモノ) 唛鄉下人「初心
 者」(モノ) 唛人、生手、新手、力笨
 兒
 しよす 處ス(佐變他動) 處 (chi'u?)「事
 を處すること公平なり」處事公平
 しよす 處ス(佐變他動) 處 (chi'u?)「變
 に處す」處變
 しよす 署ス(佐變他動) 署 (shu?)「簽、
 落「姓名を署す」簽名、署名、落
 名姓
 しよす 書ス(佐變他動) 寫
 しよす 恕ス(佐變他動) 恕、原諒「恕
 す可き點がある」有可原諒的地
 方

しよし 處士(名) 處士 「的兒子
 しよし 書肆(名) 書舖、書肆
 しよし 諸子(代) 你們、你們諸位
 しよし 諸事(名) 諸事
 しよし 助詞(名) 助詞又云弓爾乎
 波、無獨立之意義、添在品詞之
 下、幫助其意義
 しよし 叙事(名) 叙事、叙述、記事
 「叙事文」叙事文
 しよし 初秋(名) 初秋
 しよし 諸式(名) 各樣兒東西、
 各色、各式各樣的
 しよし 書式(名) 式、款式、程
 式、書式「受取證書式」收單式「公
 文書書式」公文書程式
 しよし 初七日(名) 人死了
 第七天、初七

しよじつ 初日(名) 頭一天
 しよしや 書寫(名) 抄寫、寫、繕寫
 「書寫人」筆生
 しよじやう 書狀(名) 信、書札、書
 信 「述
 しよじやう 如上(名) 如上、如上
 しよしやく 叙爵(名) 封爵
 しよしゆ 諸種(名) 各樣、各色、諸
 色、各式各樣 「助手
 しよしゆ 助手(名) 幫手的、副手、
 しよじゆつ 叙述(名) 叙述、叙寫
 しよしゆん 初春(名) 初春
 しよじゆん 初旬(名) 初旬、初間、
 初幾兒
 しよしよ 處處(名) 處處
 しよじよ 徐徐(副) 徐徐、慢慢的
 しよしん 書信(名) 書信、信

しよしん 所信(名) 所信
 しよしん 初審(名) 初審
 しよしん 初心(名) 唛、生「初心の
 田舎者」(ナカモノ) 唛鄉下人「初心
 者」(モノ) 唛人、生手、新手、力笨
 兒
 しよす 處ス(佐變他動) 處 (chi'u?)「事
 を處すること公平なり」處事公平
 しよす 處ス(佐變他動) 處 (chi'u?)「變
 に處す」處變
 しよす 署ス(佐變他動) 署 (shu?)「簽、
 落「姓名を署す」簽名、署名、落
 名姓
 しよす 書ス(佐變他動) 寫
 しよす 恕ス(佐變他動) 恕、原諒「恕
 す可き點がある」有可原諒的地
 方

しよせい 處世(名) 處世 (ch'u³)
 しよせい 諸生(名) 諸生
 しよせい 書生(名) ①學生 ②家僮、書僮、侍僕〔書生芝居〕
 良新戲〔書生役者〕(クシヤ)唱改良新戲的〔書生っぽう〕不見世面的少年、還沒脫青衿的少年
 じよせい 助成(名) 助成
 じよせい 助勢(名) 幫助
 しよせき 書籍(名) 書、書本、書籍
 〔書籍業〕(ゲ)販賣書籍、賣書之業〔書籍業者〕(フシヤ)書賈、書店、書舖、書坊
 しよせつ 諸説(名) 諸説
 しよせん 所詮(名) 到底、究竟〔所詮は助からない〕到底保不住命

しよぞく 所屬(名) 所屬〔所屬の各役所〕所屬各機關
 しよそん 書損(名) 寫錯了 「意思、意見、主體、書體」
 しよぞん 所存(名) 字體、書體
 しよたい 所帶(名) ①家産、産業、家業 ②家、過日子〔所帶を持つ〕成家、成立家業〔所帶を潰す〕敗家〔所帶持がよい〕會過日子〔所帶崩〕(ケツレ)離散家業〔所帶道具〕(ダウク)傢伙、傢俱 「祖先、始祖」
 しよだい 初代(名) 始祖、創業的
 じよたい 除隊(名) 散兵、遣散軍隊、叫兵退伍 「見、初次見面」
 しよたいめん 初對面(名) 初會、初
 しよたう 蔗糖(名) 甘蔗糖
 しよたう 書道(名) 書法

しよだう 諸道(名) 諸事 「開端」
 じよだし 序出(名) 發端、起首、
 しよだな 書棚(名) 書架、書櫃子
 しよだん 初段(名) ①頭一層兒 ②段者圍棋象棋柔道擊劍等技術之等級也、其在初級者謂之初
 じよたん 助炭(名) 火鉢罩子
 しよち 處置(名) 處置、佈置、辦理、處理〔家事を處置する〕佈置家務〔處置が適當です〕佈置得宜〔勝手に處置する〕任意辦理
 しよぢ 所持(名) 帶着、有、拿着、所有、持有〔所持の金〕帶着的錢
 しよちつ 書帙(名) 書套
 しよちゆう 暑中(名) 三伏〔暑中休暇〕(キウカ)暑假、放伏學〔暑中見舞〕(キウカ)候暑安

しよちゆう 書中(名) 信上、信裏頭
 じよちゆう 女中(名) 使女、丫頭、老媽、女僕、老婆子
 じよちゆうぎく 除蟲菊(名) 除蟲菊
 じよちゆうふん 除蟲粉(名) 粉
 しよぢよ 處女(名) 處女、閨女、童女、童貞女、童身的、姑娘〔處女演説〕(シヅメ)初次之演説、初次登場〔處女作〕(サク)初次之著作、處女作〔處女膜〕(マク)陰膜、處女膜
 ショック(名) (Shock)心驚、驚慌、吃驚、激動、感動、震駭、戰慄
 「大なるショックを受けた」受了「一大驚慌、嚇我」一大跳〔民衆の精神にショックを與へた〕激動了

民衆的精神、使民衆精神震駭
 (しよ)ちゆう (書) 常常的、不斷的、不住的
 しよて 初手(名) 當初 ①頂上頭
 (しよ)てっぺん 初天邊(名) ①當初
 しよてん 所天(名) 良人、丈夫
 しよてん 書店(名) 書店、書舖、書坊
 しよご 初度(名) 初次、頭一回
 しよとう 初冬(名) 初冬
 しよとう 初等(名) 初等
 じよどうし 助動詞(名) 助動詞
 者添在動詞形容詞及助動詞之下、補助其意義之品詞也、例如「昨日雨降りたり」「明日行くべし」之たり、べし
 しよとく 所得(名) ①所得、取得

①進款、進項、賺項、賺頭〔所得金〕(キン)進項、進款、所得的銀錢〔所得税〕(ゼン)所得稅
 しよとく 書牘(名) 信、書信、書札、尺牘
 しよなの 初七日(名) 人死了第七天、初七
 しよにち 初日(名) 頭一天 「費」
 しよにふよう 諸入用(名) 各項花
 しよにふひ 諸入費(名) 同上
 しよにん 庶人(名) 庶人、庶民
 しよにん 諸人(名) 衆人
 しよにん 初任(名) 初任
 じよにん 叙任(名) 叙任 「目的」
 しよねん 初念(名) 初志、當初的
 しよねん 所念(名) 心思、思想

しよはう 諸方(名) 各處
 しよはう 處方(名) 方子、藥方子、
 處方箋、製方、處方箋(セシ)同上
 「處方を書く」立一個方子、開藥
 しよはつ 初發(名) 初發 「方子
 しよばつ 處罰(名) 處罰、辦罪、治
 罪、懲辦「重く處罰する」從重懲
 辦「規則通に處罰する」照例處罰
 しよはふ 書法(名) 書法
 しよはん 諸般(名) 百般
 しよはん 初版(名) 初版、初次出
 しよはん 初犯(名) 初犯 「版
 (しよひこむ) 脊負込ム(四段他動) ①
 背着進來、拾進來 ②背、負擔
 「厄介な事を脊負込む」背着累
 贅、背黒鍋

(しよひなげ) 脊負投(名) ①拱 ②上
 擋(ラベカ)
 しよびやう 諸病(名) 諸病
 じよびらき 序開(名) 開頭
 (しよふ) 脊負フ(四段他動) 背、負
 しよふう 書風(名) 書法、寫法
 しよぶん 處分(名) 處分(ぶんぶん)
 じよぶん 序文(名) 序文、叙文、小
 引、小序、書序
 しよほ 書舖(名) 書舖、書店、書坊
 しよほ 初步(名) 初步、初階、啓
 蒙、起端
 (しよほ) 淋淋的(雨) ①淋淋的(雨
 がしよほ) 降る」雨淋淋的(下
 ②「(ch'a' pu) 目がしよほし
 よほする」眼晴(巴) 巴

しよもう 所望(名) 所望、所願、願
 意、願欲 「開場戲
 しよまく 初幕(名) 開臺、開臺戲、
 じよまく 序幕(名) ①開臺、楔子、
 序幕、開幕劇 ②開頭(物事ノハ
 じよまく) 除幕式(名) 揭幕禮、
 開幕典禮
 しよみん 庶民(名) 庶民 「務課
 しよむ 庶務(名) 庶務「庶務課」庶
 しよめい 署名(名) 署名、簽名、書
 名、簽押、簽字「署名捺印」(サイン)
 簽印、簽名蓋印「條約に署名す
 る」把條約簽押「小切手に署名す
 る」簽押支票、署名支票
 じよめい 助命(名) 救命、饒命
 しよめん 書面(名) ①信、書信 ②
 文書

しよもく 書目(名) 書目
 しよもつ 書物(名) 書、書本、書籍
 じよやく 助役(名) 幫辦、村副(村役)
 しよよ 薯蕷(名) 薯蕷、大薯、坭洞
 しよよう 所用(名) 事、事情 「薯
 しよらう 初老(名) 四十歲
 しよらう 所勞(名) 病、不舒服
 しより 書吏(名) 書吏 「置、佈置
 しより 處理(名) 處理、辦理、處
 しよりう 諸流(名) 各種流派
 じよりき 助力(名) 幫助、幫忙、助
 力、輔助
 じよりよく 助力(名) 同上 「坊
 しよりん 書林(名) 書林、書舖、書
 しよるゐ 書類(名) 文書、文件、文
 牘「公用書類」(コウヨ) 公事文件「秘
 密書類」(ヒツ) 機密文件

しよるゐ 庶類(名) 庶類、庶物
 しよれい 書例(名) 與しよしき同
 じよれつ 序列(名) ①次序、順序
 ②按着次序擺
 じよれん 如簾(名) 飯罩兒
 じよろ 如露(名) 噴壺
 しよろん 緒論(名) 緒論
 じよろん 序論(名) 序論、首論
 しよる 所爲(名) ①所爲、行爲
 (hsing' wei?) 所作 ②因爲、緣故
 「自分がした事を人の所爲にする」
 把自己辦的事情推在別人身上
 「頭の痛いのは天氣の所爲でせう」
 因爲天氣腦袋疼罷
 じよる 叙位(名) 叙位
 しよるゐん 書院(名) ①書院、書房
 (學校) ②書房(密)

(しよんぼり) 無精打彩的(し
 よんぼり) 坐る」一個人無精打彩
 的坐
 (しり) 假粧不知道、假粧不
 理會(假)「(しりを切る) 假粧不
 知道的样子
 (しら) 不知道、未知「彼は歸
 ってきたかしら」不知道他回來
 了沒有
 しらあり 白蟻(名) 白蟻
 じらい 爾來(副) 爾來、以後、後
 來、其後
 しらいと 白絲(名) 白線 「(しら)
 じらう 次郎(名) 次子、行「(hang)
 しらうを 白魚(名) 銀魚
 しらが 白髮(名) 白頭髮「白髮頭」
 (アタマ) 白頭「白髮雜」(マジ) 蒼白

頭髮

しらかげ白鹿毛(名) 驃 「興
 (しらかす白ス(四段他動) 掃興、敗
 (じらかす(四段他動) 與じらす同
 しらかはよぶね白河夜船(名) 睡
 的很香甜 「牆
 しらかべ白壁(名) 粉壁、粉牆、白
 しらかみ白紙(名) 白紙
 しらかゆ白粥(名) 白米粥
 しらき白木(名) 白碇兒木頭
 しらく白ク(下二段自動) ①敗興、掃
 興②有敗軍之兆頭「座がしらけ
 る」在座的大家都敗興
 しらぐ精グ(下二段他動) 搗「米を精げ
 る」搗米 「辯
 しらくも白雲(名) ①白雲②白狗
 しらく白子(名) 與しらく同

しらさぎ白鷺(名) 鷺鷥

しらさや白鞘(名) 白碇兒的鞘子
 しらじらし白白シ(形志久語) 假粧
 不知道的樣子
 しらす白洲(名) ①白沙②法廷、
 堂臺子「白洲に坐る」跪在堂底
 下
 しらす知ス(下二段他動) 通報、報知、
 知會、告訴、告知「何か耳に入っ
 たら必ずお知らせします」若有所
 聞必要奉告的「御歸着の上は直
 に御知らせ被下度候」抵府即賜佳
 音以慰盼望
 (じらす(四段他動) 使着急、焦心、
 擾心、操心「わざと待せて人をじ
 らす」故意兒叫人等着(oho)着
 (chaos)急)

しらがほ不知顔(名) 假粧不知

道の様子
 しらすな白砂(名) 白沙
 しらすしらす不知不識(副) ①不
 知不覺的②自然而然的
 しらせ知(名) ①通報、告知、知
 會、報知②兆頭
 しらたま白玉(名) 白玉「白玉粉」
 (江米麴)
 しらち白血(名) 白帶下
 (しらち仕埒(名) 着落(oho) to「仕
 埒をつける」辦個水落石出
 しらぢ白地(名) 白地
 しらちや白茶(名) 淡茶色、泥金
 しらつち白土(名) 白堊、陶土、高
 嶺土、瓷礫(akawa) 露水
 しらつゆ白露(名) 露水

しらなみ白波(名) ①白波浪②賊

(しらぬかば不知顔(名) 假粧不
 知道の様子、粧不知「不知顔の
 半兵衛」同上
 しらは白齒(名) 白牙
 しらは白刃(名) 白刃
 しらは白羽(名) 白翎箭「白羽の矢
 が立つ」當犧牲、挑選一個人爲
 犧牲品
 (しらばくれる(下二段自動) 假粧
 不知道的樣子、粧不知
 しらはた白旗(名) ①白旗②降旗
 しらはだ白肌(名) 白癩、汗癩
 しらはり白張(名) 駕衣(黒、緑、赤、三種
 孝衣(白色)「白張仕丁」(チャウ)打執
 事的
 しらひげ白鬚(名) 白鬚子

しらびやうし白拍子(名) 妓女、

歌妓
 しらふ白面(名) 沒有酒氣的臉
 しらふ白斑(名) 白斑點
 しらぶ調ブ(下二段他動) ①調音(tiao)
 yin「調子を調べる」調音、定絃
 兒、調絃兒②彈(tiao)「琴を調べ
 る」彈琴③點「數を調べる」點數
 兒④審理、審問、訊、考訊「罪人
 を調べる」審理罪人「拷問して調
 べる」非刑考問人、用酷刑考訊
 人⑤研究、考究「學問を調べる」
 研究學問⑥調査、稽查、稽考、
 察考「戶籍を調べる」調査戶籍
 「會計を調べる」稽查賬目⑦査
 驗、驗、查對、查核、核對「船舶
 を調べる」驗船、查船「稅關で貨

しらほし白乾(名) 風乾

物を調べる「海關查驗貨物「答案
 を調べる」評閱試卷、閱卷、檢
 閱答案「實情を調べ出す」查明實
 情、追出真情
 しらべ調(名) ①調音(tiao)②腔
 調(tiao)③審理、審問④調
 査(tiao)⑤稽查⑥研究、考究⑦驗
 的、查驗
 しらべいと調絲(名) 打線 「帶
 しらべかは調革(名) 皮帶、機器
 しらべやく調役(名) 調查員(tiao)
 稽查員
 しらほし白乾(名) 風乾
 しらみ蟲(名) 虱子
 しらむ白ム(四段他動) ①亮②有衰
 敗的兆頭「東が白む」天亮了、東
 方亮、東邊發紅

しらむし白蒸(色) 江米飯

しらゆ白湯(色) 白開水

しらゆき白雪(色) 白雪

しり尻(色) ①屁股(尻)後部

②後頭 ③末尾(一番尻で合格する)

中在末一名、考的坐了紅椅子了(喧嘩の尻が来た)打架打賠

了(尻が重い)腿懶(尻が軽い) 1.

腿緊 2.水心揚花的(浮氣ナ)女人(女)

(尻が長い)屁股沈(尻がすわらぬ)性不常(尻が割れる)露了(露)

兒了(亭主を尻に敷く)瞧不起男人、壓制爺們、欺負男人(女房の尻に敷かれる)懼内、爲妻所壓

制(尻を拭ふ)給人擦屁股(ハダキヲヌル)(尻に帆を掛く)飛跑、遠颺(尻を割る)叫事情露筋兒(尻が)

て考へる)退一步想(四五歩退く)倒退幾歩

しりぞく退(下二段他動)退(兵を退く)退兵、退軍(官を退く)退官、罷官、去官

しりたぶら(色) 屁股蛋兒

しりつ市立(色) 市立、市辦

しりつ私立(色) 私立、私設

じりつ自立(色) 自立、獨立、自食其力、自謀餬口

しりつき尻附(色) 跟隨、追隨

しりっほ尻方(色) ①尾、尾巴(犬が尻方をふる)狗擺尾巴 ②後頭、後邊兒(言葉の尻方を出す)露出筋兒來、露出馬脚來(言葉の尻方をつまへる)挑斥字眼兒

ら三番目)倒數第三名(尻に着く)在後頭跟着(尻をはしよる)把衣裳掖起來(尻に火が着く)燃眉之急(爲替尻)滙兌尾

しり私利(色) 私利

じり事理(色) 事理(事理に暗い)味於事理

しりあひ知合(色) 認識的朋友

しりう支流(色) 支流、河岔兒、河漢子

しりうま尻馬(色) 自己沒有主意跟着人家辦事(尻馬に乗る)

同上「煽動、唆使、慫恿、攬撥」

しりおし尻押(色) 挑唆、教唆、しりおも尻重(色) 腿懶「鞞」

しりがい鞞(色) 後鞞、馬尾鞞、鞞しりがは知顔(色) 假充百事通

しりとり尻取(色) 接尾令兒(春眠不覺曉、曉來誰染霜林醉、醉臥沙場君莫笑、笑而不答心自閑の類)しりぬく知抜(四段他動)深知、識透、懂透、透徹深知

しりぬぐひ尻拭(色) 擦屁股(借金)の尻拭をする)替人家還賬

しりぬけ尻抜(色) ①忘死了 ②辦事不完全

しりびと知人(色) 認識的人、朋

しりへ後方(色) 後、後頭、後邊兒

しりほね尻骨(色) 尾閭骨、尾龍骨

しりめ尻目(色) 溜(尻目を使ふ)眼晴往後溜

しりめつれつ支離滅裂(色) 支離滅裂、無秩序、雜亂(話が支離滅裂)

しりからげ尻禁(色) 掖起衣裳來

しりがる尻輕(色) 腿緊

じりき自力(色) 自力 「不常

しりきりどんほ尻切蜻蛉(色) 性

しりくらいくわんおん尻暗觀音(色) 不顧後來

しりげ尻毛(色) 護眼毛(尻毛を抜く)乘着不留神嚇唬人

しりごみ後込(色) 退縮、往後矮

しりざや尻鞞(色) 刀套

しりじり(副) 一步兒一步兒的、

歩歩(じりじり詰寄る)一步兒一步兒的挨着去(じりじり騰る)歩漲(漲)

しりぞく退(四段自動)退、退歩、退縮、退行、倒行、退後、往後退(後の方へ退く)往後退(一步退い

裂なる)說話支離、說的亂七八遭、說的散漫無稽

しりもち尻餅(色) 坐墩兒、坐躰兒(尻餅をつく)摔了一個坐墩兒

しりやう死靈(色) 靈魂(死靈がたしりやく史略(色) 史略、歷史大要)

しりよ思慮(色) 思慮、慮念

しりよく死力(色) 死力(死力を出して國家を守る)出死力保衛國家

しりよく資力(色) 資本、資産、資

しりよく視力(色) 眼力、視力、眼光、目光(視力がとどかない)眼光達不到、眼力不及

しりる尻居(色) 與しりもち同

しりを尻尾(名) 尾、尾巴

しりん 詞林(名) 詞林

しりん 四隣(名) 四隣

じりん 辭林(名) 字典、辭典、字彙

しりんしゃ 四輪車(名) 四輪車

シリンドル (Cylinder) 弓字

擺(時計)

しる汁(名) ①湯(汁) ②水兒、汁

汁水、液、汁液(西瓜の汁) 西瓜

水兒(蜜柑の汁) 橘子水兒(菓物の汁) 菓子汁水、菓汁(レモンの汁) 檸檬果汁(汁の多い) 汁液多

的、汁水多的、多汁兒的、水頭

大的(旨い汁を吸ふ) 貪便宜

しる 知ル(四段他動) 知、知道、懂得、認識、理會、會(貴下は字を知って居ますか) 你認識字麼(貴下は彼

を知って居ますか) 您認識他麼

「人は皆知って居るのに貴下は知らないのですか」 人都知道你還不知道麼

「今の地震は私は知りませんでした」 剛地震は私は知りませんでした

「知って居てわざと問ふ」 明知故問(知らないふりをする) 假粧

不知道(道を知らない) 不認得道

兒、道路都不熟(人情の何たるかは彼は一向知らない) 甚麼叫人

情他一概不懂(彼は飯を食ふ外は何も知らない) 他竟會吃飯不

會甚麼別的

しる あめ汁飴(名) 糖濕 「帽

シルクハット(名) (Silk-hat) 大禮

しる こ汁粉(名) 小豆餡兒湯

しる し標(名) ①記號、標、標記、

標識、號誌(標を付ける) 畫記

號、打記號(標の棒杵を立てる) 立標椿

②憑據 ③首級、腦袋、頭

しる し印(名) ①圖書印、戳子(印)

②表禮、表心(御祝の印までに進呈仕候) 些須微物以表慶賀之忱

③牌、記號、記識、唼頭(孔雀印煙草) 孔雀牌煙(獅子印齒磨粉)

獅子牌牙粉 「頭

しる し徴(名) ①効、効驗 ②兆、兆

しる しばかり印許(印) 寸心、微物(ほんの御印許でございませ)

不過表寸心而已、不過是表表

心就是了

しる す記ス(四段他動) ①錄、記載、記下來 ②記着、記在(心に記す) 記在心(記して後世に傳ふ) 記

論如何、無論怎麼樣(行くにしろ行かぬにしろ) 無論去不去

しる あと城趾(名) 城的廢址、廢墟、城址

しる いろ白色(名) 白色、白顔色

しる うと素人(名) 外行、不在行

(hang) 素人芝居(シバキ) 玩票戲、票友戲、清客串戲

しる うま白馬(名) ①白馬 ②濁酒

しる うり白瓜(名) 老陽瓜

しる えり白襟(名) 白領子

しる かね白銀(名) 銀

しる かみ白髪(名) 白頭髮

(しろくび) 白首(名) 土娼、暗吃、

密姐兒

しる くま白熊(名) 白熊

しる こ白子(名) ①天老兒(皮膚頭髮、

而傳於後世(下に記す) 開列於下、開列如左、在下文開列、列後

しる べ知邊(名) 認識的人、朋友

しる べ導(名) ①教導、指導 ②帶道(道ヲ案) 引道(道) 帶道的(案内)

しる べ使令(名) 使令

しる べ指令(名) 指令、指示、批

しる べ司令(名) 司令(司令官)

(タツ) 司令官、提督、統帶官(司令塔) (タウ) 兵船上的望臺、司令

塔(司令部) (カ) 司令部

しる べ辭令(名) ①辭令(コトバ) ②任

官的命令 ③與辭令書同(辭令書) (シヨ) 任命狀、補官文憑

しる べ時令(名) 時令

しる べ事例(名) 事例

しる べしれ

しる う資料(名) 材料、資料(論文の資料) 論文的資料

しる う史料(名) 編史之材料

しる う飼料(名) 乾草、馬草

(じれ) 悶死、(形久活) 着急(choo)

しる もの痴者(名) ①笨人、蠢人

②歹人、惡棍、無賴子

(じれる) (一段自動) 着急(choo-chi)

悶死、氣氣、心躁、焦心、煩躁、操心

しる ん試鍊(名) 試、試練、試驗、

しる 城(名) 城 「貨物

しる 代(名) ①材料 ②價、價錢 ③

しる 白(名) 白、白顔色

しる (動) 不論、無論(何しろ) 無

しる しれ

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

しる

陰天樂兒②魚白、魚精、公魚精
 しろごま白胡麻(色) 白芝麻
 しろさ白サ(色) 白
 しろざけ白酒(色) 江米造的白色
 しろざたう白砂糖(色) 白糖
 しろし白 (形久活) 白
 しろした白下(色) 二貢糖
 しろしめす知食(色) 統治
 (しろしろ(詞) 耽落(hsich' lo) [じろじろ見る] 耽落着看
 しろたへ白妙(色) ①白布②白色
 しろぢ白地(色) ①白地兒布②白地兒
 しろで白手(色) 白磁器
 しろなす白茄(色) 白凉水茄兒
 しろなまづ白癩(色) 白癩、汗癩
 しろぬの白布(色) 白布

しろね白根(色) 葱白(ネギ)、葱心
 しろねづみ白鼠(色) ①白耗子②老實掌櫃的
 しろばむ白ム(四段自動) 帶白顔色
 しろぶち白斑(色) 白斑點
 しろほり城壕(色) 護城河
 しろまめ白豆(色) 黃豆
 しろみ白身(色) 蛋白
 しろみそ白味噌(色) 白豆醬
 しろみつ白蜜(色) 蜂蜜
 しろみづ白水(色) 淘米泔水
 しろむ白ム(四段自動) 變成白色
 しろむく白無垢(色) 白衣裳
 しろめ白眼(色) 白眼珠兒「白眼をむく」翻着白眼珠兒「鐸口錫しろめ白鐵(色) 錫鐵、錐藥、錐錫、しろめだま白目玉(色) 與しろめ

同
 しろもの代物(色) ①貨、貨物、商品、物品、東西②材料③人
 (しろり(詞) 睜眼「じろり見る」睜しろん史論(色) 史論 「眼一睜しろん私論(色) 私論
 じろん時論(色) 時論
 しわ皺(色) ①皺紋、摺痕②褶子「顔の皺」臉皮皺紋、面皮皺、皺縦紋「額の皺」擡頭紋「着物に皺がつく」衣裳上有褶子「顔中皺が寄る」臉上都是皺紋、一臉的皺紋「大切に持って皺にするな」好好的拿着別揉了「皺をよせる」打摺兒、起摺子、起縐紋
 しわ詩話(色) 詩話
 しわく仕分ク(下二段他動) 分別、區別

別、分類、分配、類別
 (しわくた(色) 皺巴巴的、稜(此紙幣はしわくたです) 這紙鈔票
 (しわくちや(色) 同上 「稜了しわけ仕分(名) 分別、區別、分類、分配、類別
 しわけちやう仕譯帳(名) 分錄帳
 しわざ仕業(名) 行爲(Hsing' wei)
 做的、辦的
 (しわし齋シ(形久活) 齋吝、齋刻
 (しわだらけ(色) 與しわくた同
 しわのばし皺伸(名) ①把褶子舒坦開(摩挲開)②老人解悶兒「皺伸機」(キ)夾布機、軋布機
 しわむ皺ム(四段自動) 有褶子、有皺紋

しわよる皺寄ル(四段自動) 同上
 しわる撓ル(四段自動) 灣
 しむ示威(名) 威嚇、示威「示威運動」游街示威、游行示威、游街會、示威運動
 しむ四圍(名) 四圍、四外、外圍、四下裏、四圍之地
 じむ字彙(名) 字彙、字典
 じむん次韻(名) 次韻
 じむん寺院(名) 與てら(寺)同
 じむい自衛(名) 自衛、自護、正當防衛
 しゑん私怨(名) 私怨、私仇
 しをじ(名) 水曲柳 「喪氣的しをじを(詞) 無精打彩的、垂頭しをり技折(名) ①葉②書簽兒、書簽兒(技折戸)③柴門

しをる萎ル(下二段自動) ①葉②帶道、引道
 しをる萎ル(下二段自動) 呆 (vialty) 萎、枯萎、萎敗、凋枯、沒精神「草木が萎れる」草木呆了「君はなぜさう萎れて居るのだ」你怎麼這麼沒精神呀
 しん心(名) ①心、心田、心地②心、心臟③中心「洋燈(ラン)の心」燈捻子、燈芯「蠟燭の心」蠟心兒「帽子の心」帽胎兒「鉛筆の心」鉛條、鉛心「樹の心」樹心兒「枕の心」枕頭的心子「林檎(リン)の心」蘋果心子、蘋果核「心から喜ぶ」解心裡喜歡、真喜歡「心に病がある」心裡頭有病「心に恨を持つ」心裡懷着恨「心の熱」內火

〔彼は心から酒が好きなのではない〕他不是性好喝酒
 しん臣(名) 臣、臣下
 しん神(名) 神、神仙〔其技神に入る〕其技入神、技進于神
 しん眞(名) ①眞、眞正 ②楷書
 しん箴(名) 箴
 しん新(名) 新
 しん親(名) 親
 しん識(名) 識語、預言〔彼の言うた言葉が識を爲した〕他説的話
 應驗了
 しん信(名) ①信 ②信、音信、消息
 じん仁(名) ①仁 ②人
 じん人(名) 人
 じん尋(名) 尋(仄)
 じん腎(名) 腎

ジン(名) (Gin) 荷蘭酒
 しんあい親愛(名) 親愛
 じんあい仁愛(名) 仁愛
 しんあう深奥(名) 深奥
 しんあん新案(名) 新案、創意
 しんい深意(名) 深意
 しんい鍼醫(名) 扎鍼的大夫(Chiro) [Fol]
 しんい眞意(名) 眞意
 しんい褌衣(名) 褌衣、汗褌兒
 しんい瞋恚(名) 瞋恚
 しんいう親友(名) 親友
 しんうん進運(名) 進運
 しんえい神影(名) 神馬兒
 しんえい眞影(名) 影、傳眞
 じんえい人影(名) 人影
 じんえき津液(名) 唾沫
 じんえん人烟(名) 人烟

しんか臣下(名) 臣下
 しんか眞假(名) 眞假(Chino)
 しんか眞價(名) 眞價
 しんか身價(名) 身價
 しんが新芽(名) 新芽
 じんか人家(名) 人家、住家兒的
 しんかい新開(名) 新開的
 しんがい侵害(名) 侵害、侵奪、侵犯、干犯、侵越〔版權を侵害する〕侵犯版權〔權限を侵害する〕侵越權限
 しんかう進行(名) 進行、前進、進歩、經過〔徐徐に進行する〕慢慢進行
 しんかう深更(名) 深更、深更半
 しんかう信仰(名) 信仰、敬信、虔信、崇奉、信奉、虔誠〔宗教を信

仰する〕崇奉教門
 しんかう進講(名) 御前講書
 しんかう親交(名) 親交
 しんかう信號(名) 號、示號、示信、號誌、信令、信號〔危險の信號〕防險號〔遭難信號〕遇險的示號、遭難的示號、遇險求援號〔旗で信號する〕懸旗爲號、打旗號〔信號機〕信號機、信號柱、腕木信號機〔信號旗〕號旗〔信號所〕シヨ 司號房〔信號符號帳〕(ワフガ) 示號本、示號通語書 (ワチャウ) 楷筆
 しんかき眞書(名) 楷筆
 じんかく人格(名) 人格、人品、人格性〔二重人格〕(ニジュ) 二重人格
 しんがた新形(名) 新樣式、新樣子

しんかぶ新株(名) 新股、新股份
 しんがほ新顔(名) 生臉 一様
 しんがら新柄(名) 新樣子、新花
 しんがり殿(名) 殿、後陣、殿軍
 〔殿をする〕爲殿〔昨晚の宴會は彼が又た殿をした〕昨天晚局又剩下他了
 しんかん宸翰(名) 宸翰
 しんかん心肝(名) 心肝
 しんかん新刊(名) 新出的、新出版的、新近印行的、新刊的
 しんがん眞贋(名) 眞假(Chino)
 しんかんと(副) 靜悄悄的、鴉雀無聲、鴉沒雀靜的〔しんかんとして人聲もない〕淨悄悄的沒有人聲兒
 しんき心氣(名) 心氣〔心氣亢奮〕

(ワシ) 心跳氣急
 しんき神器(名) ①神器(天子) ②與三種神器同
 しんき神氣(名) 神氣
 しんき心機(名) 心機〔心機一轉する〕心機一轉
 しんき新奇(名) 新鮮、新奇、新異
 しんき晨起(名) 晨起、早起
 しんき振起(名) 振作、振起、振刷
 しんき新規(名) ①新規 ②新、從新〔新規にやり直す〕從新改做〔新規の流行〕新行的、時興的〔新規に來た人〕新來的人〔新規に來た商品〕新到的貨〔新規に造る〕新造、從新創造
 しんき新禧(名) 新禧
 しんき辛氣(名) 悶

しんぎ 眞偽(名) 眞假(chia?)
 しんぎ 信疑(名) 眞假(chia?)
 しんぎ 審議(名) 細議、審議、討論
 [今審議中です] 正在審議中
 しんぎ 心木(名) 軸、軸樞
 しんぎ 人氣(名) 與にんき同
 しんぎ 仁義(名) 仁義
 しんぎ 神祇(名) 神祇
 しんぎ 新舊(名) 新舊
 しんぎ 賑救(名) 賑濟、賑恤、振
 郵、振救
 しんぎ 審札(名) 審問、審訊、審
 しんぎ げん 新紀元(名) 新紀元(新
 紀元を作る) 作新紀元、開新紀
 元 「機軸を出す」 別開生面
 しんぎ ちく 新機軸(名) 生面(一新
 しんぎ 賑給(名) 賑濟、賑恤、振

しんぎ 眞金(名) 眞金
 郵、振施、賑給(賑給を賑給する)
 賑濟饑饉、賑饑(賑給費)(ヒ) 賑
 歛
 しんぎ 進級(名) 升級、進級
 しんぎ やう 神鏡(名) ① 與八咫鏡
 (ヤタの) 同 ② 安置神龕之明鏡
 しんぎ ゆう 賑窮(名) 賑濟窮民、
 賑窮
 しんぎ ゆう 寢宮(名) 寢宮(マヤ)
 しんぎ よ 新居(名) 新居、新房子
 しんぎ よ 腎虛(名) 腎虛
 しんぎ よく 新曲(名) 新曲兒
 しんぎ り 心切(名) 蠟夾子、蠟花
 剪兒
 しんぎ ろう 蜃氣樓(名) 蜃氣樓、
 しんぎ ん 宸襟(名) 宸襟
 しんぎ ん 眞金(名) 足金

しんぎん 親近(名) 親近
 しんぎん 呻吟(名) 呻吟、哼哼
 しんく 辛苦(名) 辛苦
 しんく 眞紅(名) 深紅色、玫瑰紫
 しんく 神供(名) 供神的東西、供
 しんぐ 寢具(名) 臥具
 しんく 甚句(名) 小曲之名
 しんく 眞空(名) 眞空、清空(眞
 空管)(クワン) 眞空管
 しんぐ 神宮(名) ① 神廟 ② 日本
 皇祖天照大神之廟
 しんく 進化(名) 進化、天演(進
 化論)(ロ) 進化論、天演論
 しんく わい 神怪(名) 很奇怪
 しんぐ わい 心外(名) ① 意外、想
 不到 ② 可氣、可恨、抱憾、遺憾
 [心外に思ふ] 可氣、抱憾

じんくわう 人皇(名) 帝王、皇帝
 しんくわん 神官(名) 與かんぬし
 しんくわん 信管(名) 信管 「同
 しんぐわん 心願(名) 心願
 しんぐん 進軍(名) 進軍、開隊、行
 軍、向敵前進
 じんくん 仁君(名) 仁君
 じんくん 人君(名) 人君、君主
 しんけ 新家(名) ① 新房子 ② 分的
 しんけい 眞景(名) 眞景 「家
 しんけい 親兄(名) 親哥哥
 しんけい 親系(名) 親族的統系
 しんけい 神經(名) 腦線、經絡、神
 經、腦筋、腦氣筋(神經家)(カ) 多
 心的人(神經過敏)(ワビク) 怔忡、
 神經過敏(神經過敏症)(ビンシヤウ)
 怔忡之疾、腦腺病、神經過敏

症、驚悸病(神經系)(ケイ) 神經
 系、神經統系(神經質)(シツ) 多
 心、神經質(神經衰弱)(サジヤク) 神
 經衰弱、腦力衰弱(神經中樞)
 (ウスチ) 神經中樞、腦司所(神經
 痛)(ツ) 筋痛、神經痛、腦系痛
 (坐骨神經痛)(サコツ) 坐骨神經痛
 (顔面神經痛)(ガンメン) 顔面神經痛
 (神經病)(ベウ) 瘋病、神經病(神經
 を鎮める) 鎮定神經、鎮經、安神
 しんげい 親迎(名) 親自迎接
 しんげい 仁惠(名) 仁惠
 しんけう 信教(名) 敬信宗教、信
 教、奉教、信仰宗教(信教の自
 由) 信教自由、自由信仰
 しんけう 新教(名) 新教、耶蘇教
 しんげき 進擊(名) 進擊

しんけつ 心血(名) 心血(心血を注
 ぐ) 傾注心血、費盡心血
 しんげつ 新月(名) 新月、月芽兒
 しんけつ 人傑(名) 人傑
 しんけん 眞劍(名) ① 眞刀 ② 眞、
 實在(眞劍勝負)(ヨウシ) 1. 用眞刀
 打仗 2. 捨命的爭鬪
 しんけん 進獻(名) 進獻、奉獻、呈
 しんけん 親權(名) 親權 「獻
 しんけん 信驗(名) 效驗
 しんげん 森嚴(名) 莊嚴的、森嚴
 的、嚴肅的
 じんけん 人絹(名) 人造絲
 じんげん 人言(名) 人言、人家說
 的話
 しんげん 信支袋(名) 「的布口袋
 しんご 新古(名) 新舊、新陳

しん

しんこ 糝粉(名) 江米麩做的餅(糝粉細工) 江米人兒(糝粉細工人) 捏江米人兒的

しんこ 眞個(副) 眞個的

じんご 人後(名) 人後(人後に落つ) 落在人後、落後

しんこ 振興(名) 振興、發達(貿易を振興する) 振興貿易

しんこ 進貢(名) 進貢、納貢、入貢、獻貢、上貢

しんこ 鍼孔(名) 針鼻兒

しんこ 深紅(名) 大紅

しんこ 深厚(名) 深厚

じんこ 人工(名) 人工(人口呼吸)

(コキウ) 人工呼吸、代引呼吸(人工呼吸器) 人工呼吸器

じんこ 人口(名) 人口、丁口、人口

しん

しんこ 居民、戸口(人口數) (スウ) 民數、人口數目(人口稠密) (ユウミツ) 人烟稠密、人民衆多

しんこ 深呼吸(名) 深呼吸、深長呼吸(深呼吸をする) 作深長呼吸

しんこ 神國(名) 日本國

しんこ 深刻(名) 利害、烈害、苛酷、苛刻、刻薄(深刻なる批評) 酷評、苛刻的批評、批評的刻薄

しんこ 清國(名) 清國

しんこ 新穀(名) 新糧食

しんこ 申告(名) 申稟、申達、申呈、具呈(申告人) (シ) 具呈人(申告書) (シ) 呈文、報單(税關)

しんこ 親告(名) 親自控告

しんこ 神魂(名) 魂靈、魂魄

しん

しんこ 新墾(名) 新墾、新開墾的

しんこ 新婚(名) 新婚(新婚旅行) (ヨカウ) 新婚旅行

しんこ 審查(名) 細查、詳核、稽核、稽查、審查(審查員) (サ) 審查員、評獎員

しんこ 親祭(名) 親自祭祀

しんこ 親裁(名) 親自裁斷、親裁

しんこ 震災(名) 震災

しんこ 新歲(名) 新年、新歲

しんこ 人才(名) 人才、賢才(人才を登用する) 登庸人才 「埋

しんこ 神葬(名) 以神道禮式葬

しんこ 眞相(名) 眞相、實情、眞象、實在的情形

しんこ 心想(名) 心思

しんこ 神像(名) 神像

七二八

しん

しんご 新造(名) 新做的、新作的 (新造) 大奶奶 (人二對シテ云フ) 馮子 (ババ) 老鴉、老媽兒

しんご 心臟(名) 心臟

じんご 腎臟(名) 腎囊(腎臟炎)

(エ) 腎炎、內腎發炎、腎風

じんご 人造(名) 人做的、人造的、製造的、人工的、人爲的(人造絹絲) (ケンシ) 人造絲(人造石) (ヤキ) 人造石

しんさく 振作(名) 振作、振起、振刷

しんさく 新作(名) 新作的、新做的

しんさつ 診察(名) 診脈、診視(診察料) (レウ) 脈錢、脈禮、診金、醫金、診資、馬錢(往診) (門診) (料)

しん

しんさん 心算(名) 心算

しんさん 辛酸(名) 辛酸

しんさん 深山(名) 深山

しんさん 新參(名) 新來的、新手兒、生手

しんし 簀布用的竹籤子

しんし 紳士(名) 紳衿、縉紳、君子、貴人、貴紳、紳士、士君子(紳士風の) 貴人様子的、文雅的、都雅的、斯文的、秀雅的(田舎紳士) 鄉紳

しんし 親子(名) 親子

しんし 震死(名) 震死(雷ニ打)

しんし 心志(名) 心志

しんし 心思(名) 心思

しんし 深思(名) 深思、沈思、尋思

しんし 唇齒(名) 唇齒

しん

しんし 振子(名) 振子、擺、搖錘(時計の振子) 鐘擺

しんし 眞摯(名) 眞摯、眞切

しんし 參差(名) 參差 (Sanjaku) 參差

しんじ 神靈(名) 與やさかにのまがたま同

しんじ 心事(名) 心事、居心

しんじ 人士(名) 人士

しんじ 仁慈(名) 仁慈

しんじ 人事(名) 人事、本身的、本身的事(人事を盡して天命を待つ) 盡人事以聽天命、盡人事以俟命(人事不省) 不省人事、昏迷沒有知覺、昏過去

しんじき 新式(名) 新式、新樣

シンジゲート(名) (Syndicate) 資本團司、事業包辦公司、企業聯

七二九

合會

しんじげふ 新事業(名) 新業(新事業をはじめる) 創辦新業

しんじつ 寢室(名) 臥房、臥室、寢室

しんじつ 新室(名) 新蓋の房、新房子

しんじつ 信實(名) 信實、忠實、誠

しんじつ 眞實(名) 眞實、實在(彼は云ふ事が眞實だ) 他說話很實在

しんじつ 眞實(名) 眞實、實在(彼は云ふ事が眞實だ) 他說話很實在

しんじつ 眞實(名) 眞實、實在(彼は云ふ事が眞實だ) 他說話很實在

しんじつ 眞實(名) 眞實、實在(彼は云ふ事が眞實だ) 他說話很實在

しんじや 信者(名) 與信徒(しん) 同

しんじや 人車(名) 與人力車(しんり) 同

しんじや 仁者(名) 仁者

しんじや 神社(名) 神廟、神祠

しんじや 紳商(名) 紳商

しんじや 身上(名) 身上(私の身上に關する事件) 關於我身上的事件

しんじや 眞情(名) 眞情實意、眞心(眞情を吐露する) 盡情吐露、開誠布公(眞情) 眞情(眞情)

しんじや 眞情(名) 眞情實意、眞心(眞情を吐露する) 盡情吐露、開誠布公(眞情) 眞情(眞情)

しんじや 尋常(名) 尋常、平常(尋常) 尋常(尋常) 尋常(尋常)

しんじや 尋常(名) 尋常、平常(尋常) 尋常(尋常) 尋常(尋常)

しんじや 尋常(名) 尋常、平常(尋常) 尋常(尋常) 尋常(尋常)

しんじや 尋常(名) 尋常、平常(尋常) 尋常(尋常) 尋常(尋常)

しんじや 尋常(名) 尋常、平常(尋常) 尋常(尋常) 尋常(尋常)

しんじや 尋常(名) 尋常、平常(尋常) 尋常(尋常) 尋常(尋常)

しんじや 尋常(名) 尋常、平常(尋常) 尋常(尋常) 尋常(尋常)

しんじや 尋常(名) 尋常、平常(尋常) 尋常(尋常) 尋常(尋常)

地方情形(斟酌して取扱ふ) 斟酌 着辦(願念、體貼) (トル)

しんじゆ 新酒(名) 新造的酒

しんじゆ 神酒(名) 供神的酒

しんじゆ 進取(名) 進取、敢作、敢爲(進取の氣象ある人) 有進取心的人

しんじゆ 神授(名) 神仙傳授的

しんじゆ 眞珠(名) 眞珠、珍珠、珠子、珠(人造眞珠) (ジンザ) 假珍珠、假珠(眞珠を採取する) 採取眞珠

しんじゆ 人種(名) 人種、種族(西洋人と我々と人種がちがふ) 西洋人和我們不同種

しんじゆ 眞宗(名) 佛教之一派

しんじゆ 伸縮(名) 伸縮、寬緊、

屈伸(伸縮自在) (ジザイ) 伸縮自在、屈伸自在

しんじゆ 滲出(名) 滲出

しんじゆ 心術(名) 心術

しんじゆ 眞書(名) 眞書、書信、書函

しんじゆ 寢所(名) 寢室、臥房、臥室

しんじゆ 神色(名) 神色、氣色

しんじゆ 神職(名) 與かんぬし

しんじゆ 侵蝕(名) 侵蝕、侵蝕

しんじよたい 新世帯(名) 新立的家、新成的家(新世帯)

しんじん 津津(名) 津津(津津として趣味あり) 津津有味

しんじん 深深(名) 沈沈(夜は深々と更け行く) 夜深沈沈、夜靜更深

しんしん 摺紳(名) 摺紳、官紳

しんしん 新進(名) 新進、新起來

しんしん 心身(名) 心身、精神和

しんしん 信心(名) 信心、信仰、敬

しんしん 人心(名) 人心

しんしん 人身(名) 人身(人身攻撃) (ウダキ) 毀人聲名、人身毀譽、人身誹謗

賀新房
 信託、信任〔信託會社〕(イシヤ)信託公司
 申達、傳達
 劈柴和木炭、燃料、薪炭
 診明、診斷〔診斷書〕(シヨ)診斷書、無病憑單
 新開地
 人智
 新蓋、新修、新
 人畜
 建築
 新智識
 新茶、新茶葉、新葉子
 深遠、深微、

身長、身材
 伸張、伸展、
 新到
 擴充
 身中
 心中、心裡
 意中留保、心中隱留〔彼の心中は測られない〕
 情死
 始終
 慎重、小心
 進行、前進、
 新陳(新陳代謝)

新陳代謝、出陳易新
 與しんぱい同
 通神〔神通力〕
 神力
 中柱、雄柱
 心裡
 與進上(アリン)同
 新帝
 新做的
 新潮
 清朝
 宋字
 信條、信經
 手拆、收展、親
 手收展、親手開拆、親展
 進展、進行、進

新墾的田地
 神殿
 正寢
 信徒、信者、教友
 津渡、擺渡
 深、靜、沈沈〔夜がしんとする〕
 夜靜、夜深、夜沈沈
 鴉雀無聲、靜悄悄的〔しんと靜まる〕
 鴉雀無聲的、鴉沒雀靜的
 行、經過
 進度、進程、進
 震怒
 神燈
 親等
 膜
 滲透、互滲、透
 搖擺、擺動、振

震動天地
 震、震動
 人口、人頭、人口
 人口稅、人頭稅
 神德
 仁德
 俗謠之名〔新内節〕(アジ)同上
 眞、實在
 走之兒
 更、加〔之繞をかける〕
 1. 加走之兒
 2. 加一個更字(アキシキ)
 侵入、侵佔、攻
 進〔他人の地所に侵入する〕
 侵佔
 人的地畝〔人家に侵入する〕
 竊進
 屋裡去〔他國に侵入する〕
 攻進
 外國去

浸入
 進去
 滲入、透入、滲
 去、透去〔内膜に滲入する〕
 滲膜
 而入、透膜而入
 新任
 疑
 信認、信而不
 特旨簡任、特
 任〔親任官〕(クワン)特旨簡任的官
 特任官(國)
 信任、信託〔信
 任狀〕(シヤウ)赴任文憑、信任狀、委任狀
 與しんにう同
 男女私語、蜜裡調
 油的密談

しんねん 信念(名) 信念
 しんねん 新年(名) 新年「新年を賀す」叩賀新年、恭賀新禧、恭賀年禧「新年宴會」(シクワイ)春酒
 しんのう 親王(名) 親王
 しんば 新葉(名) 新葉子
 しんば 新派(名) 新派、新流派
 じんば 人馬(名) 人馬
 しんばい 心配(名) 害怕、掛念、掛心、掛慮、操心、懸心、發愁、惦記、擔心、憂慮、憂愁、放不下心、不放心「心配から病氣になる」惦記出病來了「あまり心配すると體を悪くする」操心過度必致傷身「心配事がある」有心事、有關心的事「父が病氣の電報が来て心配でたまらぬ」家裡來電

說是家父有病我懸心的了不得「それでは一つ御心配を願ひます」那麼就求您分心給辦罷
 しんばう 辛抱(名) 忍、耐、忍耐、扎掙「痛くて辛抱しきれない」疼的扎掙不住、忍不住疼「何をするにも辛抱が第二です」無論辦甚麼忍耐是第一要緊「辛抱の強い人」能忍耐的人、有耐性的人
 しんばう 新報(名) 新報、報紙、新法
 しんばう 新法(名) 新法「聞紙」
 じんばう 人望(名) 人望、民望、聲望
 しんばしら 心柱(名) 中心木、臺
 しんばつ 神罰(名) 天譴、報應
 しんばつ 進發(名) 進軍、開隊、拔

しんばり 頂門的棍子「しんば(じんばり)腎張(名) 好(Hood)色的人、色鬼、迷蕩鬼兒「來的しんばん 新版(名) 新版、新印出しんばん 審判(名) 裁判、審判、評判「野球の審判人」棒球評判員、棒球裁判員
 しんび 審美(名) 審美、佳美
 しんび 信否(名) 信否「機、神秘
 しんび 神祕(名) 妙秘、奧秘、元
 しんびつ 宸筆(名) 宸筆、御筆
 しんびつ 眞筆(名) 親筆、親筆寫
 じんびん 人品(名) 人品
 しんぶ 親父(名) 父親
 しんぶ 新婦(名) 新婦、新人、新娘
 しんぶ 神符(名) 神符

しんぶく 心服(名) 心服
 しんぶく 信服(名) 信服
 しんぶく 臣服(名) 臣服
 しんぶつ 眞物(名) 眞的
 しんぶつ 神佛(名) 神佛
 じんぶつ 人物(名) 人、人物、人才
 「山水人物」(サンス)山水人物「温しい人物」温和的人「今の政府には人物が多い」現在官界多有人才
 しんぶん 新聞(名) 新聞紙、新報、報紙、報章「新聞閱覽室」(リシツ)閱報室「新聞賣子」(ウリコ)賣報童、賣報的「新聞記者」(キヤ)報館主筆、新報記者、新聞主筆、報館記事的「新聞紙」(シ)與新聞同「新聞社」(シヤ)報館、新報館「新聞條例」(ウレイ)報紙條例「新聞屋」(ヤ)

しんぶん 派報所(種別) 送報的(種別)
 じんぶん 人文(名) 人文
 しんべい 親兵(名) 親兵、禁衛軍
 しんべい 新兵(名) 新兵
 しんへい 新平民(名) 古來屠
 しんべう 神廟(名) 神廟
 しんべん 新編(名) 新編的
 しんべん 身邊(名) 身邊
 しんべん 神變(名) 神變「神變不思議」(シギ)神跡、靈驗、奇異
 しんほ 親母(名) 母親
 しんほ 進歩(名) 進歩、長進(chang)
 しんほ 進歩(名) 進歩、前進「彼の英語は進歩が鈍い」他的英國話進歩慢「近來支那の文化は頗る進歩した」近來中國文化見頗進歩

しんぼ 親補(名) 與親任(しん)同
 しんぼう 心棒(名) 軸、車軸、輪軸
 しんぼく 親睦(名) 和睦、親睦、親密「親睦會」(クワイ)懇親會
 シンボル(名) (Symbol)與表象(シヤ)同
 しんまい 新米(名) ①新米 ②生手、
 しんまく 身莫(名) 處身(ohi) ③
 しんまへ 新前(名) 生手、新前、新來的、新出手兒的、力笨兒
 しんみ 親身(名) 近親戚、近本家、親骨肉「親身も及ばぬ御親切」親骨肉都沒有這麼樣的情分「親身の意見」懇懇切切的勸「親身の交際」知己的交「親身になって世話する」實心的給照料
 しんみ 辛味(名) 辛味

しんみち 新路(名) ①新開的道路
 ②小胡同兒(小路) 「近、親熱」
 しんみつ 親密(名) 親密、密切、親
 しんみやう 身命(名) 身體和性命
 しんみやく 診脈(名) 診脈
 (しんみり(副) 從容 「しんみりと
 話す」從容說話
 じんみん 人民(名) 人民、百姓、下
 民、平民、庶民
 しんめ 新芽(名) 新芽兒
 じんめ 神馬(名) 神馬
 しんめい 身命(名) 身體和性命
 しんめい 神明(名) 神明
 じんめい 人命(名) 人命、性命
 じんめい 人名(名) 人名(人名辭書)
 (ジシヨ) 人名辭典 「人名簿」(利) 名
 單、姓名簿

しんめう 神妙(名) ①神妙 ②老實
 じんめん 人面(名) 人面(人面獸心)
 (ウシジ) 人面獸心、獸心的人、無
 人心的、畜生性子
 しんめんもく 眞面目(名) ①眞面
 目 ②認真(マジ) 「樣的、新貨
 しんもの 新物(名) 新的、新物、新
 しんもつ 進物(名) 禮物 「聽
 じんもん 尋問(名) 尋問、詢問、打
 じんもん 訊問(名) 訊問
 しんや 深夜(名) 更深、夜裡
 しんやう 新陽(名) 新陽、新春
 しんやく 信約(名) 信約(契約)
 しんやく 神藥(名) 神藥、靈藥
 しんやくぜ しんよ 新約全書(名) 新
 しんよ 神輿(名) 神輿 「約全書
 しんよう 信用(名) ①信用、信服、

靠得住 ②憑信、取銀憑信、憑信
 交銀(商人は信用が第一です) 商
 人以信用爲最要緊(あの先生は
 信用が無い) 那位先生沒有信用
 「あの人は信用出来ない」 他人靠
 不住 「人は皆彼を信用して居る」
 人都信服他(信用借) (ガシ) 信借、
 信用放款(信用狀) (ジャウ) 信用
 票、信用單、信用證書、憑信、取
 銀憑信、支款憑信(信用取引)
 (リヒキ) 信用交易、信用往來
 じんよく 人欲(名) 人欲
 しんらい 信賴(名) 倚賴、依賴、倚
 靠、倚仗(信賴すべき人) 可靠的
 人、靠得住的人、安實的人
 じんらい 迅雷(名) 迅雷(迅雷耳
 を掩ふに暇あらず) 迅雷不暇掩

しんらう 辛勞(名) 辛勞
 しんらう 心勞(名) 勞心、費心
 しんらう 新郎(名) 新郎、新姑爺
 しんらつ 辛辣(名) 辛辣、苛刻、利
 害(辛辣なる手段) 利害手段(彼
 の腕は辛辣だ) 他的本事眞利害
 しんらばん しゃう 森羅萬象(名) 森
 羅萬象、天地萬物、萬物
 しんり 眞理(名) 眞理、眞道
 しんり 審理(名) 審理
 しんり 心理(名) 心理(心理學) (ガク)
 心理學
 しんりき 神力(名) 神力
 じんりき 人力(名) ①人力 ②與人
 力車同(人力車) (シヤ) 人力車、洋

しんりん 親臨(名) 親臨
 しんりん 森林(名) 樹林子、森林
 じんりん 人倫(名) 人倫、人道、倫
 しんりよく 新綠(名) 新綠 「慮
 しんりよく 心力(名) 心力
 じんりよく 人力(名) 人力
 じんりよく 盡力(名) 盡力、爲力、
 出力(私の爲に御盡力を願ひま
 す) 奉懇替我代勞(人の爲に盡力
 する) 替人代勞、給人効勞、給
 人出力
 しんりん 親臨(名) 親臨
 しんりん 森林(名) 樹林子、森林
 じんりん 人倫(名) 人倫、人道、倫

しんるゐ 親類(名) 親族、親屬、親
 戚(母方)、本家(父方)(貴下の御親
 類) 令親(私の親類) 舍親(遠い親
 類) 遠親(近い親類) 近親(遠い親
 類より近い他人) 遠親不如近鄰
 じんるゐ 人類(名) 人類、爲人的
 「人類の敵」人類公敵
 しんれい 振鈴(名) 搖鈴
 しんれい 神靈(名) 神靈
 しんれい 浸禮(名) 浸禮、洗禮
 しんれき 新曆(名) 太陽曆、陽曆、
 西曆
 しんろ 進路(名) 前路、前途
 しんろ 針路(名) 船路 「睦、和美
 しんわ 親和(名) 親和、親密、和
 しんわ 神話(名) 神話、神祇談、神

しんす

代誌

しんわう親王(名) 親王
しんる神威(名) 神威 「做的
じんる人爲(名) 人爲的 (weir)、人
じんるん人員(名) 人數兒 「深
しんるん深遠(名) 深遠、深微、淵
しんるん深淵(名) 深淵

すす

す巢(名) 巢、窩、網、窩巢(鳥の巢)
鳥兒窩(蜘蛛の巢) 蜘蛛網(泥棒の巢) 賊窩(蜂の巢) 蜂窩(巢をくふ) 打窩、搭窩、累窩(巢につく)
伏窩(名) 乾(大根に鬆が出来た) 蘿
す砂(名) 砂、沙

す

す洲(名) 洲、沙灘、淤沙處
す酢(名) 酢、醋
す簀(名) 竹席(竹)、葦席(葦)
す馬尾(名) 馬尾兒
す(在變他動) 爲、做、辦、弄、做爲
「勉強をする」用功「喧嘩をする」
打架「節約をする」省錢、儉省「悪
い事をする」做不好的事情「もう
爲ない」再不「人の噂(ウワ)をす
る」批評人「庭の掃除をする」掃
院子「小便をする」撒尿「大便を
する」拉屎「仕事は皆爲終へま
したか」事情都辦完了沒有「部
屋を暖にする」把屋裡弄暖和「電
燈を暗くする」把電燈弄暗「爲る
ままに任せる」任其所爲「頭の飾
にする」做爲頭上裝飾

す

す(助動セ・スル・スレ) 使役之助動
詞、令也、使也、俾也、叫也(學
生に本を讀ます) 叫學生念書
す數(接頭) 數也、此語冠於名詞之
上表示大概之數、例如數人・數
年・數月
す素(接頭) 冠於名詞之上、有不加
修飾之意「素顔」(ガホ) 臉上不點
胭脂「素手」(テ) 空手、白手「素町
人」(ヤウニ) 平平凡凡的商人
す子(接尾) 添在名詞之下、無特別
意義、扇子・椅子・帽子之子是
也
ず(在變自動) 其意義同于爲(ス)、
常在鼻音ん・む之下「上官は彼
を重んず」上憲器重他「彼は我を
輕んず」他藐視我

すすい

す(助動ス・スル) 不、沒「彼は知らず
我不知、我不知道「彼は家に在
らず」他没在家「云はぬがよい」
不說倒好「一度行かれればなるま
い」總得去一盪、非得走一回
スーツケース(名) (Suit-case) 輕
便旅行衣箱、手提衣箱、手提皮
箱 「スープ皿」湯碟、湯盆
スープ(名) (Soup) 羹湯、肉湯、湯
すあし素足(名) 赤足、光着脚、光
着脚步鴨兒
すあひ牙儉(名) 經紀、市儉、牙
行、捐客、牙子、售儉「牙儉女」
(アヒ) 媒婆兒
すあへ醉蝿(名) 攪醋拌的菜
すいたどうし好同士(名) 相思的
すいたひと好人(名) 戀人、可

すいすう

すいぬう久遠(名) 夏字底兒
すう數(名) 數 (shu)、數目「數を數
へる」數 (shu)、數兒「數に充たす」
不充數「數が合はない」數兒不
對
すう据ウ(下二段他動) 安、安上、安
置、裝置「机を据ゑる」安置一張
桌子「心を据ゑる」定心、決意「灸
(キ)を据う」用艾火灸「目を据ゑ
る」定眼看、釘眼睛
すう數(接頭) 與す(數)同
すウイチ(名) (Switch) 開、路
開、變路開、軌開、分軌轉機、轉
轍器(電燈)、搬簧、電門、開閉
器、轉換器、絕緣器
すうえう樞要(名) 樞要、重要

すう

すうか數個(名) 幾個
すうかう數行(名) 數行 (hang) 數
行の字「數行字」淚數行「淚數行
すうかう趨向(名) 趨向、行向、方
向
すうがく數學(名) 數學、算學
すうぎ樞機(名) 樞機
すうぎ雛妓(名) 清官
すうくわい數回(名) 幾回、數次
「數回に分けて發行する」分作數
次發行
すうけい崇敬(名) 崇敬、宗仰、欽
すうに數個(名) 幾個
すうし數詞(名) 數詞「基數詞」(キ)
基數詞「序數詞」(ジ) 序數詞
すうじ數字(名) 數字、碼字、數
碼、數目字、數目碼字「羅馬數

すう

字(ローマ)羅馬碼(アラビヤ數字) 阿刺伯碼

(すうすう) 抽打抽打(鼻をすうすうと鳴す) 鼻子抽打抽打的 順當(何事もすうすうと都合よく行く) 諸事都順順當當的 辦好了

(すうすう) 與すうすう 同 濃濃的(すうすう辯) 說話濃濃的

(すうすう) 面皮厚、沒有羞耻的、不知耻的

すうせい 趨勢、傾向、潮流、趨向 (Tendency)

すうそ 趨走、趨行 趨走、趨行 趨走、趨行 趨走、趨行

すうすか

樞、樞機、旋轉窩

すうはい 趨拜、趨詣、趨謁 崇拝、崇奉、崇拜、敬拜

すうみつ 樞密、樞密院 (キーン) 日本皇帝之最高顧問府也、置議長副議長顧問官等之官員、有皇帝諮詢即開會議覆奏、彌德院(補)

すうもく 數目、數目 數量、數量、數量、數量

すうりやう 數量、數量、數量、數量 スエーター(名) (Sweater) 外衣、毛織短衫、外着絨衫、絨線衫

すえーでん 瑞典、瑞典、瑞典 (すえーでん) 瑞典、瑞典、瑞典 スカート(名) (Skirt) 裙子、女袴

すか

すががき 清搔、清彈

すがかく 清搔、清彈

すがき 素書、水墨畫兒

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

すかし 透、透兒、空兒、暗

七四二

すか

「人を騙して金を取る」 誑騙人家 的錢 哄 (bung) 「あの子はなぜ泣くか早く行って騙してやりなさい」 他爲甚麼哭你快哄他去

すがすが 清清(副) 爽快快快的 順順當當的

すがすがし 清清シ(形志久語) 同上

(すかすかと) 楞 楞(すかすかと) 這入って来る」 楞進來

すがた姿(名) 姿、容姿、姿容、姿態、容貌、相貌、様子、態、影、あの女は姿がよい」 那個女人長得好看、她有姿色「己が姿を鏡に映す」 把自己的容貌照在鏡子上

「自分の姿が水に映る」 自己的影兒映在水裡「姿を替へる」 改扮

「世の姿」 世態(どうしても兩立出

來ぬ姿にある」 勢不能兩立 すがたにんぎやう 姿人形(名) 傳 眞的坭人兒

すがたみ 姿見(名) 穿衣鏡 すがたり 素語(名) 清唱

すがたる 姿繪(名) 喜容兒、影(其人) すがへ 巢換(名) 換窩(鳥)、妓女轉

すがほ 素顔(名) 清水臉(顔=白粉ヲ施サヌコト) 臉上不點胭脂 ② 沒有酒氣的臉

すがむ 眇ム(下二段他動) 眇 すがめ 眇(名) 眇、一隻眼瞎子

すがら ① 整(夜すがら) 整夜 ② 一面、一邊(路すがら思ふ) 一邊兒走一邊兒想

(すかり) 撲岐的「すかりと二

すか

つに切る」 撲岐的一聲切了兩塊 すがる 縮ル(四段自動) ① 吊(繩に縮つて下りる) 吊下繩兒去 ② 拄(杖に縮る) 拄着棍子 ③ 拉(袖に縮る) 拉着袖子 ④ 倚靠、靠着(言葉に縮る) 倚靠人家的話 ⑤ 纏、黏(nien)「子供等が縮り付いて離さない」 小孩子們纏着不放棄

(すかんぴん 素寒貧(名) 赤貧、很窮、窮的連褲子都沒有

すき鋤(名) 犁、耕犁(鋤の頭) 犁頭、犁嘴、犁刃(鋤の柄) 犁柄(鋤で田を耕す) 用犁耕田

すき隙(名) 隙、縫兒 (Feng) (縫) ② 閒工夫、空兒、工夫、閒

(chien)「手の隙がない」 手沒有空兒、騰不出手來(隙をぬらふ) 慙

すかすき

すかすき

すかすき

七四三

着時候兒〔仕事の隙〕做工的空兒〔隙を窺って逃る〕抽空跑了〔隙につけこむ〕乘隙、乘虚〔乗すべき隙なし〕無間可乘、無隙可乘〔御隙に是を書いて下さい〕請您有工夫的時候兒給我寫這個〔齒の隙〕牙縫兒〔戸の隙〕門縫兒

すぎ好〔名〕 ①好〔hao⁴〕、愛、喜歡〔彼は酒が好きです〕他愛喝酒〔好こそ物の上手なれ〕好者爲樂〔hao⁴〕

②好色〔hao⁴ se⁴〕

すぎ數寄〔名〕 文雅、風雅〔數寄をこらす〕極其風雅

すぎ杉〔名〕 杉、杉樹

スキー〔名〕 (Skee) 滑雪屐

すぎあぶら 梳油〔名〕 梳頭油

すぎいた 杉板〔名〕 杉木板子

すぎうつし 透寫〔名〕 寫影格兒〔写〕

畫影格兒〔写〕、臨摹、寫仿

すぎがき 透垣〔名〕 籬笆

すぎかは 杉皮〔名〕 杉木表皮

すぎがへし 漉返〔名〕 豆兒紙

すぎかへす 鋤返ス〔四段他動〕 鋤地

すぎがへす 漉返ス〔四段他動〕 用廢紙抄紙

すぎざらひ 好嫌〔名〕 ①好惡〔hao⁴ wu⁴〕人にはそれぞれ好嫌がある

人各有各的好惡 ②挑別〔人と交際するには好嫌をするな〕和人际交往別挑別〔食物の好嫌をする〕挑別飲食

すぎぐし 梳櫛〔名〕 篦子

すぎこころ 好心〔名〕 ①好專的心

②好色的心〔hao⁴〕

すぎごと 好事〔名〕 ①好事 ②好色

すぎこむ 漉込△〔四段他動〕 抄紙抄

各様花様

すぎしや 好者〔名〕 與好者〔hao⁴〕同

すぎずき 好好〔名〕 所好〔hao⁴〕人

にはそれぞれ好好がある 各人有

すぎと 全、全都 各人所好

すぎとほる 透徹ル〔四段自動〕 透光、

透亮、透明、透徹

すぎなべ 剝鍋〔名〕 鍋炮

すぎはひ 生業〔名〕 生業、生意

すぎばら 透腹〔名〕 空肚子

すぎぶすき 好不好〔名〕 與好嫌

すぎま 同

すぎみ 透見〔名〕 把〔hao⁴〕着看、把

縫兒往裡瞧

すぎみ 剝身〔名〕 肉片兒

すぎもの 好者〔名〕 ①好專的人 ②好色的人〔hao⁴〕

すぎや 數寄屋〔名〕 亭子

すぎや 透綾〔名〕 亮紗

すぎやき 剝燒〔名〕 鍋炮、鍋子〔剝燒鍋〕〔ナベ〕 1. 同上 2. 鍋炮用的鍋

すぎ透ク〔四段自動〕 ①痛快〔サイダ―を飲むと胸が透く〕一喝汽水肚子就痛快了 ②餓〔腹が透く〕肚子餓了 ③有縫〔縫い〕〔齒が透く〕牙有縫兒 ④閒着、有工夫〔手が透く〕閒着手 ⑤斷〔人通が透く〕人來往的斷一點兒了

すぎ漉ク〔四段他動〕 抄紙

すぎ好ク〔四段他動〕 好〔hao⁴〕、愛、喜歡、喜愛〔私は麥酒が好きです〕我愛喝啤酒〔彼は正直だから人に好かれる〕他人實誠所以人人都喜愛他〔人に好かれる〕得人心、取人愛、招人喜愛、人緣兒好

すぎ梳ク〔四段他動〕 梳頭

すぎ鋤ク〔四段他動〕 鋤地、耕地

すぎ結ク〔四段他動〕 打網

すぎ剝ク〔四段他動〕 剝肉

すぎ助ク〔下二段他動〕 助、幫助

すぎ着グ〔下二段他動〕 按〔筆の毛を着ける〕按筆頭兒〔烟管を着ける〕按烟袋

すぎ過グ〔上二段自動〕 過、逾〔山を過ぐ〕過山〔門を過ぎて入らず〕過門而不入〔天津を過ぐ〕路過天津

津〔過ぎたるはなほ及ばざるか如し〕過猶不及〔多きに過ぐ〕過于多〔過ぎにし人〕過去的人〔食ひ過ぎる〕吃的太多、吃的過多〔言ひ過ぎる〕說的太過于〔期限を過ぎる〕逾限期〔通り過ぐ〕走過、走過去〔百圓の月俸は彼には過ぎて居る〕一百圓的薪水在他太過

了

〔すぐ直グ〔副〕 趕緊的、立刻、就、一會兒〔直ぐに來て下さい〕趕緊的來〔直ぐ答へる〕立刻就回答〔私は着物を着換へて直ぐ行きます〕我換了衣裳就去〔汽船はもう直ぐ着きます〕再過一會兒輪船就到了

〔すぐさま 直様〔副〕 同上

すく

すくせ宿世(色) 宿世、夙世(宿世)

の因縁(宿縁)

すぐち菓口(色) 槍口(銃口)

すくなし少シ(形久活) 少、不多

すくばる辣ル(四段自動) 蹲下

すくひ救(色) ①救、救助、救済

賑恤、賑濟

すくひあみ(色) 撈魚網

すくひだま(色) 同上

すくひまひ救米(色) 賑米

すくひぬし救主(色) ①救主 ②救

世主

すくふ救フ(四段他動) ①救、救助、

救護、救援、拯救、搭救、救済、

周濟(以テ)「命を救ふ」救命、救

生、救活「溺れた人を救ふ」拯救

すく

被淹の人、把淹の人撈救上來

「難儀を救ふ」救難「救を求む」求

人救助「救ひ出す」拯脱、救脱、

救出來「焦眉の急を救ふ」濟燃眉

之急 ②賑恤、賑濟、賑給

すくふ抄フ(四段他動) ①撇「浮いた

油を抄ひ取る」撇飄着的油(石を

下から抄ひ上げて投げる)撇高兒

扔石頭 ②撈「魚を抄ふ」撈魚 ③

捧「手で水を抄ふ」用手捧水 ④

使絆子、絆住「脚を抄って倒す」

使絆子給摔倒了、把人絆倒了

すくふ菓フ(四段自動) 打窩 「同

すくまる辣ル(四段自動) 與すくむ

すくむ辣ム(四段自動) 縮、畏縮「恐

れ辣む」嚇的縮頭縮腦的、畏縮

「寒くて手足が辣む」冷的手脚拘

すくすけ

栗

スクリュー(色) (Screw)暗車、暗輪

すぐる選ル(四段他動) 選、擇、挑揀、

挑選、揀選

すぐる勝ル(下二段自動) ①勝、出衆、

出羣、勝強、優勝、超出「才智人

より勝る」才智勝于人、才智出

衆「人品が勝れて居る」人品高超

②健壯、健康「體が勝れない」身

子有不舒服

すけ助(色) 助、幫助

すげ菅(色) 草名、茅之一類

すけだち助太刀(色) ①幫忙(手傳ヲ

やる)給人打助拳

スケッチ(色) (Sketch)草稿、稿本、

文草(原註)、畫稿、草圖(畫)、粗像

女の顔は「美しい」那個女子臉上悽

愴(凄)手並「利害手段

すこしく少ク(副) 與すこし同

すこす過ス(四段他動) ①過「酒を過

す」喝酒喝的過多「夏を過せばこ

の病氣は大丈夫です」一過夏天

這場病就好了「知らぬ間に通リ

過した」沒留神錯過去了「眠過

した」睡過時了 ②過日子、度日

「安樂に日を過す」安樂度日、過

快活日子「無駄に日月を過す」虛

度光陰

すこすこ悄悄(副) 無精打彩的(悄

悄歸ってしまった)無精打彩的走

了

すこたん(色) 上檔(すこたんを

食はせられた)上了他的檔了

(人物)スケッチする「畫大略的圖、

寫意、約略畫出、起畫稿

すけて助手(色) 幫忙的、助手

すげなし素氣無シ(色) 無情無理

的、少情寡義的、不肯動融的、

難說話的、不容讓人的、不肯方

便的「素氣なく」ことばる「無精無

理的推辭「素氣ない人」冷心人、

薄情的人、難說話的人

(すけべる助兵衛(色) 好(Hood)色

的人、色鬼、迷蕩鬼兒

(すけん素見(色) 與ひやかし同

すこく素扱ク(四段他動) 與しこく

同

すこし少シ(副) 少、稍微、一點

兒、些「支那語は少し出來ます」

中國話我會一點兒「これは少し

すこ

値段が高い「這個貴一點兒(少し

早く持つて來い)快些拿來(少し

御息なさい)稍微歇一歇兒(少

しですが差上げます)不過是一

點兒東西奉送您(少しお待ち下

さい)請您等一會兒(少しでも少

くてはいけない)少一點兒也不

行(少しの事で命の無い所だった)

差一點兒要了我的命了(少し

も毫(無)、一點兒也(不、沒(學

問が少しも進歩しない)學問毫

無長進(chang?)「少しも恐れな

い)一點兒也不怕

すこ

すこし凄シ(形久活) 甚得慌、慘愴、

淒涼、淒愴、利害(稻光イナ)が

凄(閃)閃打的甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

い)「閃閃の甚得慌(今夜は凄

すしすし

スコップ(名) (Scoop) 勺子、勺子
 すこぶる 頗ル(副) 頗、很、甚(頗る別嬪だ) 頗有姿色(頗る閉口した) 很爲了難了(頗付の) 很甚
 すこもり 巢籠(名) 伏窩
 すこもる 巢籠ル(四段自動) 伏窩(鳥、入窩(名))
 すこやか 健(名) 健壯、康健、硬朗
 すころく 雙六(名) 雙陸
 すさき 洲崎(名) 沙嘴
 すさぶ 荒(名) 荒
 すさまじ(形) 形志久活 掃興(興チサ)、可
 怕(シイ)、利害(シイ) 與すさぶ同
 すさむ 荒ム(四段自動) 與しざる同
 (すさむ) 退ル(四段自動) 與しざる同
 すし 鮮(名) 四喜飯(此物支那ニハ無ケル)

すしすす

すし 酸シ(形) 酸、參看すっぱい
 すじやう 素性(名) 來歴、出身、來由(素性の分らぬ人) 來歴不明的人(彼は如何なる素性ですか) 他是甚麼來由(素性の賤(イ)しい人) 出身下賤的、出身低微(寒微)的
 すず 煤(名) 黑灰兒、塔灰、火煤、
 すず 鈴(名) 鈴、鈴鐺
 すず 錫(名) 錫鐵
 すず かげ 涼風(名) 涼風
 すず 鱸(名) 鱸魚
 すず 煤ク(下二段自動) 燠黑
 すず 濯グ 濯グ・洒グ(四段他動) ①
 洗(着物を濯ぐ) 洗衣裳 ② 潮洗(Shower) ③ 急須を綺麗に濯ぐ ④ 把

すす

茶壺 瀾乾淨 ③ 嗽(口を洒ぐ) 嗽口、用水嗽淨口齒 ④ 雪、伸(冤を雪ぐ) 雪冤、伸冤
 すず 生絹(名) 生絹
 すず 涼シ(形) 形志久活 ① 凉快(木の下は涼しい) 樹底下凉快 ② 水冷的 (shui ling' ti) ③ 响亮的(聲) 洪亮的(詞)
 すず しろ 清白(名) 蘿蔔
 すず だけ 煤竹(名) 燠竹 「子
 すず だま 數珠玉(名) 念珠兒的珠
 すず つなぎ 數珠繫(名) 用繩子串上
 すず なり 鈴生(名) 提鈴倒掛的(菓物が鈴生で枝がたわんでゐる) 果子掛的很多樹枝兒垂下來了
 すず はき 煤掃(名) 年底大掃房屋

七四八

すす

すすばむ 煤ム(四段自動) 燠黑 「同
 すすはらひ 煤掃(名) 與すすはき
 すすみ 進(名) 進、走的(船の進が速い) 船走的快
 すずみ 涼(名) 乘涼 「往前走
 すすみ いづ 進出ヅ(下二段自動) 前進、
 すずみ だい 涼臺(名) 涼榻
 すすむ 進ム(四段自動) ① 進、往前
 走、前進(敵に向つて進む) 向敵
 前進(列を組んで進む) 排着走、
 走排(前へ進む) 往前走(前へ進め) 開歩走(蒸氣力で船が進む) 用蒸氣力推進船隻(病氣が進む) 病勢進歩 ② 長進(chang's)、
 進歩、上達、進行、起色、陞(食事が進む) 飯量長了、飲食多進
 了(工事が進む) 工程有起色、工

すす

程 進行的快(位が進む) 爵位陞
 ④ 快(此時計は少し進む) 這個表
 快一點兒(氣が進まない) 心懶、
 懶怠
 すすむ 進ム(下二段他動) ① 進、往前
 走(兵を進める) 進兵、進軍(膝を進める) 往前湊合着(風が船を進める) 風推進船隻 ② 舉薦(人を進める) 舉薦人 ③ 陞(官を進める) 陞官 ④ 進獻(讒言(ザン)を進める) 進獻讒言 ⑤ 撥(時計を進める) 把表撥一撥
 すすむ 勸ム(下二段他動) ① 勸、懲想
 [善を勧め悪を懲す] 勸善懲惡(農事を勧める) 勸農 ② 敬(酒を勧める) 敬酒 ③ 讓(貴下はもう御飯を召上つたらなら御勸は致しません)

すす

您 既是吃了飯了 我就不讓你了
 すずむ 涼ム(四段自動) 乘涼、凉快、
 納涼兒
 すずむし 鈴蟲(名) 金鐘兒
 すずめ 雀(名) 家雀兒、老雀子、老
 家賊(雀糞)(ク) 雀糞、雀兒飯
 甕、蝸蝓房
 すずめ ゆみ 雀弓(名) 小弓
 すずり 硯(名) 硯臺(硯の海) 硯池
 すずり いし 硯石(名) 同上 「兒
 すずりがめ 硯瓶(名) 硯水壺
 すずり なき 啜泣(名) 抽打抽打的
 哭、抽抽打打的哭、悲咽、哽咽、
 抽抽啼啼
 すずり ばこ 硯箱(名) 硯臺盒子
 すずる 啜ル(四段他動) ① 喝(粥を啜る) 喝粥 ② 抽(鼻を啜る) 抽鼻涕

七四九

すすすた

③ 歎〔血を啜り盟をなす〕歎血爲盟
 すすろありき漫歩〔色〕 散步、閑
 すすろに漫〔副〕 無故的、不由
 的、不知不覺的
 すそ裾〔名〕 ①〔着物〕衣裳的底邊兒、
 衣邊、衣裳貼邊 ②山脚〔山〕
 すそもやう裾模様〔名〕 底邊的縲
 子〔衣ノ裾〕
 すそわけ裾分〔名〕 分送人家送來
 的東西、轉分給、轉送〔これは友
 達から送って來たのでお裾分しま
 す〕這是我的朋友送來的東西
 轉送給您一半兒
 すだい數代〔名〕 數世
 スター〔名〕 (Stars) 明星、名角、名
 伶〔活動のスター〕電影明星、電

すた

影名伶
 〔すたすた〕急〔すたすた歩く〕
 〔すたすた寸寸〕小塊兒、粉碎
 〔手紙を寸寸に破る〕把信撕了個
 粉碎〔寸寸に切る〕切成小塊兒、
 すだち巢立〔名〕 立飛兒 切碎了
 スタヂオ〔名〕 (Studio) 製影片室、
 製片室
 すだつ巢立ツ〔四段自動〕 立飛兒
 すだま魘魅〔名〕 魘魅
 すたりもの廢物〔名〕 廢物
 すたる廢ル〔四段自動〕 ①廢 ②不時
 興〔七文〕
 すたる廢ル〔下二段自動〕 同上
 すだれ簾〔名〕 簾子
 スタンド〔名〕 (Stand) 架〔杖〕、臺
 〔座〕、臺架〔座〕、器具架〔器具〕、看臺

すたすち

〔野球器〕、觀覽臺
 スタンプ〔名〕 (Stamp) ①〔印〕圖書、
 圖章、戳子、戳記、印 ②〔郵便〕信
 票、郵票 ③改票的圖章〔印〕
 すぢ筋〔名〕 ①筋〔筋がつまる〕抽筋
 〔筋をちがへた〕躓了筋了、扭了
 筋了〔足の筋をちがへた〕踉了脚
 了、扭了脚了〔額に筋を立てて怒
 る〕氣的腦筋噴起來了 ②血統
 〔血筋〕〔子〕血統〔あの家は筋が悪
 い〕他的家血統不好〔母方の筋〕
 母黨 ③線、縲〔一筋の希望〕一線
 的希望 ④紋、紋理〔手の筋〕手紋
 ⑤條理、理〔貴下の説〕〔は筋が立
 たない〕您說的話沒有條理、您
 說的話上下不串貫、您說的話
 前言不應後語〔それは又た筋が

七五〇

すぢ

違います〕那另一回事〔事の筋を
 糺す〕究問事情的始末根由 ⑥
 湯兒、道兒〔紙に筋を引く〕紙上
 打邊兒、紙上畫線、紙上畫個道
 兒〔筋を一筋引く〕畫一道兒 ⑦
 道〔路筋〕街道〔川筋〕河道 ⑧遺
 傳〔肺病は筋を引く〕肺病能傳流
 子孫 ⑨鬚子〔此字は筋が多い〕這
 個白薯鬚子很多 ⑩提綱、大關
 節目、情節〔芝居の筋〕戲的提
 綱 〔その筋〕官場中、官署
 すぢ筋〔接尾〕 條、道〔帶二筋〕兩條
 帶子〔絲三筋〕三條線〔一筋の河〕
 一道河
 スチーム〔名〕 (Steam) ①蒸氣 ②暖
 すぢあひ筋合〔名〕 條理、理
 すぢがき筋書〔名〕 綱目、要略

すぢすつ

すぢかひ筋違〔名〕 ①搭着〔二筋ル〕
 斜對過兒
 すぢかふ筋違ふ〔四段自動〕 斜對着
 すぢたて筋立〔名〕 與けすぢたて
 同 〔筋張る〕肚脹
 すぢばる筋張ル〔四段自動〕 脹〔腹が
 すぢみち筋道〔名〕 條理、道理、次
 序 〔斜對
 すぢむかひ筋向〔名〕 斜對面兒、
 すぢむかふ筋向〔名〕 同上
 すぢめ筋目〔名〕 ①條理 ②門第
 すぢりもちり〔副〕 來回的扭身子
 すぢる振ル〔四段他動〕 扭
 すつ棄ツ、捨ツ〔下二段他動〕 捨、棄、
 扔、擲、扔去、扔棄、拋棄、棄捨
 〔命を捨てる〕捨一命〔本を捨て末

すつ

を求む〕捨本求末〔子を捨てる〕
 扔孩子、捨孩子、拋棄嬰兒〔官
 を捨てて國に歸る〕把官扔棄回
 家鄉去了
 すつかり〔副〕 全、都、全都、完全、
 簡直的、通盤、通通、一概、一共
 〔すっかり忘れた〕簡直的忘了〔す
 っかり賊に盗まれた〕全都叫賊偷
 了去了〔仕事はすっかり綺麗に片
 付けた〕把事情一概的都辦理清
 楚了〔すっかりで何圓になります
 か〕一共算是多少塊錢〔心中を
 すっかり打ち明ける〕把心裡的話
 通盤說出來了
 すつきり〔副〕 同上
 すつくり〔副〕 同上
 スック〔名〕 帆布、篷布

七五一

すつ

すつくと(副) 踏(すつくと立上る)

踏站起來

すつたもんだ擦揉(名) 糝糶、亂

ずつと(副) ①多 ②一直的「これは

あれよりすつと好い」這個比那個

好的多「私は、これからすつと歸り

ます」我這就一直的回去

すつばい酸イ(形久活) 酸「私は酸い

のが好きです」我愛吃酸的「あの

女は酸い物が好きになった」那個

婦人害口一定有了罷「口を酸く

して云つても矢張だめです」說破

了嘴唇子也是白說

すつばぬく素破抜ク(四段他動) 嘔

嘔出來、宣出來、把人的密事發

表出來

すつぱり(副) 與すつかり同

すつすて

すつほり(副) 正合式、正合「すつ

ほり合ふ」同上 「魚

すつぽん鼈(名) 鼈、甲魚、王八、團

すで素手(名) 白手、空手

ステーション(名) (Station) 火車

站、車站 「説明書、說帖

ステートメント(名) (Statement) 火車

ステアリン(名) (Stearin) 硬脂、

脂素、肪素

すてうり捨賣(名) 扔着賣 (Jing's

cho' mai)、賤賤的賣出去

すてがな捨假名(名) 與送假名

(おくり) 同

すてがね捨鐘(名) 預鐘

すてき素敵(副) 非常、異常、絕

妙、好、壯烈、華麗「これは素敵

だ」真好、好極、最好不過了「素

すて

敵によい天氣だ」好勁天氣「素敵

な光景」壯烈的光景 「的嬰兒

すてご捨子(名) 扔的孩子、拋棄

すてごば捨詞(名) 臨走說的話、

臨去時所說的話

すてごへん捨子偏(名) 子子旁

すてだいご捨太鼓(名) 預鼓

ステッキ(名) (Stick) 手杖兒、文明

棍兒、司的克

すでに既に・己(名) 既、已、業、

已經、業已「既に承諾した」已經

答應了

すてね捨直(名) 扔 (Jing's) 着賣的

(すてばち捨鉢(名) 自暴自棄

すてみ捨身(名) 捨命的、拼命的

すてむち捨鞭(名) 拿鞭子亂打馬

すてもの捨物(名) ①扔的東西

廢物

ストレンショ(名) 與ステーション

すど簀戸(名) 竹席做的窻戶

すど數度(名) 好幾回、好幾次、屢

次 「ストーブ」煤油火爐、油爐

ストーブ(名) (Stove) 洋爐子「石油

ストック(名) (Stock) 存貨、儲貨、

存積、屯積的貨物、貯存、儲蓄、

藏貯 「兒的鏡子

すどぼし素通(名) 養目鏡、過光

すどぼり素通(名) 解門口過不進

來

ストライキ(名) (Strike) ①打、打

擊 ②齊行(商人)、罷學(學生)、齊行罷

市(商人)、齊行罷工(工人)、罷工

③同盟罷工「ゼネラルストラ

イキ」總罷工、全體同盟罷工

すてすと

ストロンチウム(名) (Strontium)

銻、鎢 「沙

すな砂(名) 沙、砂子「砂を敷く」鋪

すなけむり砂煙(名) 塵沙、砂煙、

すなご砂子(名) 沙、砂子 「砂雲

すなごし砂漉(名) 砂漉「砂漉器」

(キ) 砂漉器

すなぢ砂地(名) 砂地

すなごけい砂時計(名) 沙表、沙漏

すなごり漁(名) 漁、打魚

すなごる漁ル(四段他動) 漁、打魚

すなはち乃・則・即・便(接) 乃、則、

即、便、就「君子重からざれば則

ち威あらず」君子不重則不威(文)

「性は即ち理なり」性即理也(文)

「做す者は便ち能くす」做者便能

(文)「これ乃ち仁の術なり」是乃仁

術也(文)

すなはら砂原(名) 砂地、砂野

すなぶくろ砂囊(名) 砂囊、砂袋、

すなぶろ砂風呂(名) 沙浴 「砂包

すなほ素直(名) 老實、順良、馴

順、服管、馴良「あの子は素直で

す」那個小孩兒老實「あの店の

小僧は皆素直です」那個鋪子的

七五二

すなすね

すねおし膳押(名) 推迎面骨賽勁

すねかじり膳嚙(名) 吃老家兒的

人

すなやま砂山(名) 沙丘、沙岡、沙

すね膳(名) 迎面骨「親の膳を嚙る」

吃老家

「頭兒

すねおし膳押(名) 推迎面骨賽勁

すねかじり膳嚙(名) 吃老家兒的

人

強する「乖乖的念書

すなはち乃・則・即・便(接) 乃、則、

即、便、就「君子重からざれば則

ち威あらず」君子不重則不威(文)

「性は即ち理なり」性即理也(文)

「做す者は便ち能くす」做者便能

(文)「これ乃ち仁の術なり」是乃仁

術也(文)

すなはら砂原(名) 砂地、砂野

すなぶくろ砂囊(名) 砂囊、砂袋、

すなぶろ砂風呂(名) 沙浴 「砂包

すなほ素直(名) 老實、順良、馴

順、服管、馴良「あの子は素直で

す」那個小孩兒老實「あの店の

小僧は皆素直です」那個鋪子的

徒弟都是順良「素直に金をかへ

す」順情順理的還錢「素直に勉

強する」乖乖的念書

すなはち乃・則・即・便(接) 乃、則、

即、便、就「君子重からざれば則

ち威あらず」君子不重則不威(文)

「性は即ち理なり」性即理也(文)

「做す者は便ち能くす」做者便能

(文)「これ乃ち仁の術なり」是乃仁

術也(文)

すなはら砂原(名) 砂地、砂野

すなぶくろ砂囊(名) 砂囊、砂袋、

七五三

すねすは

すねことば 拗言葉(名) 抗頭の話
(すねる 拗ル(下二段自動) ①擰(ming)
擰起來(彼は拗て出て来ない)他
擰着不來 ②哼唧唧、開魔(子
供が拗る)小孩子鬧魔
(すねもの 拗者(名) 擰的人、強
(chiang)的人 「來」數年以來
すねん數年(名) 數年、幾年(數年
すの二簀子(名) 竹席(竹)、葦席(葦
すのもの 酢物(名) 攪醋的茶
すは(感) 哎呀 「奸、作眼線的
スパイ(名) (Spy) 探子、細作、漢
すはう蘇方(名) 蘇方、蘇木
すはう素袍(名) 古昔士人之官服
すばえ楚(名) 直樹枝兒
すばく寸白(名) ①婦人腰疼的病

すはすひ

寸白蟲、條蟲
すば一寸白(名) 與すばく同
(すばしこい (形久語) 麻俐、敏捷、
靈便、爽利
すはだ素肌(名) ①光着身子(かま)
②敞穿大衣裳(シヤツヲ着ケズ)
すはだか素裸(名) 光身子、渾身
光着、赤身露體、一絲不掛、赤
條條的
すばなし素話(名) 乾說話
すはや(感) 哎呀
すばやし素早シ(形久語) 麻俐、敏
捷、靈便、爽利、快手快脚的
(すばらしい 素晴イ(形久語) 非常、
異常、烈害
すばる昂(名) 昂、七曜星
すひあぐ 吸上グ(下二段他動) 吸上

すひ

去、抽(花が水を吸上げる)花兒
把水吸上去(唧筒で水を吸上ぐ)
拿激筒抽水 「水唧筒、抽水機
すひあげほんぶ 吸上唧筒(名) 抽
すひがら 吸殻(名) 烟灰
すひくち 吸口(名) 煙袋嘴兒(ルキセ)、
洋煙袋嘴兒(パイ)
すひこむ 吸込ム(四段他動) 吸進去、
吸入(空氣を吸込む) 吸空氣(水
を地中へ吸込む) 把水往地下吸
進去 「起泡膏
すひだし 吸出(名) 拔病的膏藥、
すひだす 吸出す(四段他動) 用藥拔
出來
すひだま 吸玉(名) 與吸瓢(ひぶ)同
すひつく 吸付ク(四段自動) 吸(attach)

七五四

すひ

〔涎を吸付ける〕叫馬龍嗽人
すひつけたばこ 吸付煙草(名) 給
客人裝烟
すひづつ 吸筒(名) 水壺、水筒
すひとりがみ 吸取紙(名) 吃墨紙
すひとる 吸取ル(四段自動) 吸取、吸
收(汗を吸取る) 吸取汁水兒(養
分を吸取る) 吸取養料(滋養物を
吸取る) 吸取補身的東西(智識
を吸取る) 吸取智識(利益を吸取
る) 吸取利益(百姓の膏血を吸取
る) 吸百姓的脂膏
すひふくべ 吸瓢(名) 拔頭罐子、
吸器、吸角、放血杯、放血器(吸
瓢をかける) 用吸器放血
すひもの 吸物(名) 湯

すふ

すふ 吸フ(四段自動) ①吸、吸(空氣を
吸ふ) 吸空氣(蚊が人の血を吸ふ)
蚊子吸人的血(汁を吸ふ) 吸汁
兒(民の膏血を吸ふ) 吸民膏血
(水を吸出したさい) 把水吸出來
(管の中) ②吃、抽(磁石が鐵を引く)
磁石引鐵、吸鐵石吸鐵(煙草を
吸ふ) 吃煙、抽烟(乳を吸ふ) 吃
奶、吃乳兒 (口を吸ふ) 親嘴
すぶ統ブ(下二段他動) 統、總管
(すぶすぶと (副) 與すぶりと同
(すぶりと (副) 撲噠的、撲噠的
[すぶりと水中に落ちた] 撲噠的
一聲掉在水裡頭了[すぶりと泥
の中へ脚を入れた] 撲噠的一聲
把脚掉在泥裡
スプリング(名) (Spring) 彈機、

すへ

發條、彈條、法條、彈簧、司浦零
すへ術(名) 法子 「當、須得、該
すべからく 須ク(副) 須、須要、須
(すべすべ 滑滑(副) 滑溜、滑潤、
光滑 「七分像鬼的婦人
(すべた(名) 容貌醜、三分像人
(すべっこい (形久語) 與すべすべ同
すべて總テ(副) 總、共總、一共、
通共、共計、凡、都、所有、是(人
口總て五十萬) 共總有五十萬人
口(何事も總て貴下の仰に従いま
す) 甚麼事只要您吩咐我就遵
命(一つの癖は總ての人皆ありま
す) 大凡人都有一樣兒毛病(總
て論じれば) 總說起來(總ての
人は富貴に諂ひ易い) 凡人都愛
諂媚富貴的(總ての財產を賣り

七五五

すみ

色孝服

すみだばら炭俵(色) 炭苞
 すみちがひ隅違(色) 斜對過兒
 すみづか墨柄(色) 夾墨頭兒
 すみつき墨付(色) 掛墨(此紙は墨付がよい) 這個紙很掛墨
 跡
 すみつぎ墨續(色) 筆添上墨水
 すみつく住付ク(四段自動) 落戸
 すみつほ墨盒(色) 墨盒兒
 線斗子(用江) 墨斗子(用)
 すみごころ住所(色) 住處、住址
 すみどり炭取(色) 煤斗子(石炭ヲ、煤桶(用)炭斗子(木炭)
 すみながし墨流(色) 染雲石紙
 すみなは墨繩(色) 墨線斗子、墨斗子

すみすむ

すみなる住慣ル(下二段自動) 住慣
 すみはさみ墨掃(色) 與すみづか
 すみび炭火(色) 炭火
 すみや炭屋(色) 炭廠子(木炭ヲ賣ル店) 同
 廠子(石炭ヲ賣ル店) 煤舖(石炭ト木炭ト賣ル店)
 すみやか速(色) 快、速、迅速、速
 急(馬の歩は速です) 馬走得快
 すみやかに速(副) 快、快快的
 (速に歸れ) 快快的回去罷
 すみやき炭燒(色) 燒炭(炭燒竈)
 (ガ) 炭竈
 すみやぐら角櫓(色) 角樓
 すみれ菫(色) 二月蘭、紫蘿蘭、紫花地丁、蝴蝶花、菫葵(菫色) 蓮青
 すみゑ墨繪(色) 水墨畫兒
 すむ住(四段自動) 住、居、居住、

すむ

住下、寓(何處にお住ひですか) 寓在那裡、住在那兒(此家は住みよい) 這個房子住着合式(大阪は氣候がよくて住みよい) 大阪地方氣候好住着舒服
 すむ済ム(四段自動) 完了、了結
 (用事が済む) 事情辦完了(話はまだ済みません) 話還沒說完哪
 (済んだ事) 早已過的事情
 安定(氣が済む) 心安、心安定了、心滿意足
 對得起(實に濟まない事をしました) 實在對不起(よく考へてごらんそれで先生に對して済みますか) 你好好兒的想一想這可對得起先生麼
 省、免(君が行くなら僕は行かんで済む) 你若去就省的我去

すむ

すむ澄ム(四段自動) 澄、澄清、澄湛(水が澄む) 水澄清了(澄んだ水) 澄清的水
 澄亮、清楚(音が澄む) 聲音清楚
 すめらぎ天皇(色) 皇上、皇帝
 すもじ酢文字(色) 與すし同
 すもどり素戾(色) 白去一邊回來
 すもも李(色) 李子
 すやき素燒(色) 泥性的、瓦器
 (すやすや) 安安靜靜的(すやすや眠る) 安安靜靜的睡覺
 すゆ簪ゆ(下二段自動) 餽
 すら(助) 尙且、猶且、且、連(君すら知らない事を僕は知るものか) 連你尙且都不知道何況是我呢(金貨は見る事すらない) 金幣我

連看也沒看過(聖人すらも過(マテ)あり) 聖人尙且有過(鳥すら禮を知る) 鳥兒尙且知禮
 (すらすら) 痛痛快快的、順順當當的、滑流、流利(すらすら讀む) 念得順流、念的流利(すらすらと話す) 說得流利、順着嘴兒說(二回の試験がすらすら通った) 兩場考試順順當當的考過去了(仕事がすらすらと運ぶ) 事情按部就班的有起色
 (すらりと) 聽的(すらりと刀を抜く) 聽的一聲拔出刀來了
 ② 細長(脊がすらりと高い) 身量細長
 (すらりと) 一排(大官連がすらりと並ぶ) 大官們一排坐着

すり搨換(色) 小綑(Asioco's 125) 白錢賊、剪綑、綑賊、扒手(搨換御用心) 謹防扒手
 すり摺(色) 印、印刷 「的升騰(ずりあがり) (色) 累進、慢慢兒(ずりあがる) (四段自動) 累進、慢慢兒的升騰
 すりいも播芋(色) 山藥泥
 すりうす磨臼(色) 扇車子
 すりかふ磨替フ(下二段自動) 抵換(外のもの) 磨替(へる) 拿別的東西
 すりきず擦疵(色) 磨傷 「抵換すりくだく磨碎ク(四段自動) 磨碎
 すりこぎ磨粉(色) 磨的麪
 すりこぎ播粉木(色) 檣槌
 すりこみいた刷込板(色) 與型付板(かたつ) 同

すむすら

すら

すり

すり

すりこむ 磨込ム (四段他動)

搽進去

「藥を磨込む」把藥搽進去「磨込藥」(タスリ) 搽用藥、搽藥膏

すりこむ 刷込ム (四段他動)

用鏤花

板刷印 「來、印刷、印出、印行

すりだす 刷出ス (四段他動)

刷印出

すりつけぎ 擦付木 (名)

洋火、火柴

すりつぶす 磨潰ス (四段他動)

磨爛

すりぬか 磨糠 (名)

稻子皮兒

すりぬける (下二段他動)

擠出去

すりばち 搗鉢 (名)

搗鉢

スリッパ (名)

拖鞋、拖鞋

すりび 擦火 (名)

鑽火、鑽出來的

すりへらす 磨滅ラス (四段他動)

磨滅

すりほん 刷本 (名)

印本、印板的

すりする

書

すりむき 擦剝 (名)

「的、磨損的

すりむく 擦剝ク (四段他動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮を

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

すりむく 擦剝ク (下二段自動)

踏破、擦破、磨損、擦損、踏脫落了「皮が擦剝

する

を磨る 用藥碾子研藥料 ② 耗盡

「本手(モト)を磨る」把資本耗盡、折本、侵本 ③ 亂打

する 磨ル (下二段自動) 磨 (mo), 擦、磨擦「車に磨れて破れた」叫車磨破了

する 爲ル (左變他動) す之第四變化

「する (四段他動) 吃、扒竊(掏摸)が時計をやる」小竊把表吃了去了、扒手把表扒竊了

「する 剃ル (四段他動) 剃 「下

「する 爲ル (左變他動) 爲、做(見)す條

する 刷ル (四段他動) ① 刷、印、印刷、刊刷、印行 ② 擷取、摹拓、擷

印 (ニスル) ① 磨爛「するを構へる」

「する (名) ② 狡猾、滑、奸、奸猾

磨滅 不去 ③ 狡猾、滑、奸、奸猾

磨滅 不去 ④ 狡猾、滑、奸、奸猾

磨滅 不去 ⑤ 狡猾、滑、奸、奸猾

磨滅 不去 ⑥ 狡猾、滑、奸、奸猾

磨滅 不去 ⑦ 狡猾、滑、奸、奸猾

子鬆下了「桶の箍がする」桶

箍鬆了 ② 溜「席を溜す」溜走了

「する (形久活) ① 躲懶 ② 狡猾、滑、奸、奸猾、狡黠「するい奴」滑

東西、奸詐的人「するい方法」取巧的法子、奸策「彼はするい」他人奸猾

「するける (下二段自動) 懶惰、躲懶、偷懶、腿懶「私はするけるて行かない

いのではない實用事が忙しいので

「す」我不是腿懶不肯去實在是

事情太忙不能分身「あの學生は

するけるて出席しない」那個學生

躲懶不上學「逃學、滑學」(する

けた學生) 懶惰的學生、逃學的

學生「するけた人」游手、懶人、

する

する

する

偷懶的

「するする (副) 與すらすら同

「するする (副) ① 離離拉拉的「帶

ををするする引づる」把帶子離離

拉拉的搭拉着 ② 滴浪「鼻をする

する垂す」鼻涕滴浪搭拉着 ③ 脫

落脫落「此靴は大きくてするする

です」這雙鞋太大脫落脫落的

「するするべったり (副) 烏焦巴工

的、烏了烏突的「するするべた

りにする」把事情烏焦巴工的了

了 (kiao' ta) 「ける同

「する」二ける (下二段自動) 與する

「する (接) 可就「品が少くなれば

相場が上ると私が大儲する」

貨少了行市就往上長可就我賺

了好錢了

する (形久活) ① 銳、銳利、

鋒利、快「此小刀は鋭い」這把小

刀子快 ② 尖「眼が鋭い」眼尖 ③

利害、猛、猛烈「あの女は口が鋭

い」那個女人嘴很利害「勢鋭く

攻め寄す」猛攻起來了

するめ 鯛 (名) 魷魚

すれあふ 擦合フ (四段自動) ① 摩擦

「肩と肩と擦合ふ」擦肩摩擦 ② 彼

此不合 「羞耻

「すれからし (名) 無面皮的、沒有

「すれすれ 擦擦 (副) 不合「それか

ら二人はすれすれになった」從此

以後他們倆彼此不合了

すれちがひ 擦違 (名) 差過去

すれちがふ 擦違フ (四段自動) 差過

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

するすれ

すれすわ

去〔途中で擦違ふ〕在路上兩個人差過去了、擦肩相錯而過〔人力車が擦違ふ〕兩輛洋車錯過去〔すれっからし〕與すれっからし同

すわり坐〔坐〕坐的、安置的〔かう置く〕と坐が悪い、這麼擱着安不穩

すわりこむ坐込ム〔四段自動〕粘着、起膩〔悪者モル〕が坐込んで居て動かない、惡頼子粘在這兒一死兒不走〔彼が來ると坐込んで居て歸らない〕他一來就起膩不回去
すわる坐ル〔四段自動〕①跪坐〔地上に坐る〕跪在地下②準、定〔値段が坐る〕行市準了、行市靠住了〔膽が坐って居る〕膽壯、膽子鎮

すゐ

定的、剛勇的③勻式〔文字がよくすわる〕字個兒寫的很勻式④呆〔mei〕〔眼がすわる〕眼睛呆了

⑤擱〔船が坐る〕船擱了淺了

する錘〔名〕錘、錠

する粹〔名〕①粹②風流俊俏

する脾〔名〕與するさう同〔脾液〕

する髓〔名〕髓、骨髓

する藜〔名〕花藜

する穂〔名〕稻

するあつ水壓〔名〕水壓、水壓力

〔水壓機〕〔水壓機〕水壓櫃

するい推移〔名〕推移、變遷

するい隨意〔名〕隨意、任意、隨便〔縦覽御隨意〕〔ジユウラ〕隨便觀覽〔何事も自分の隨意にする〕甚麼事都隨自己的意思辦

すゐ

ずゐいち隨一〔名〕第一、大宗兒、主、獨一無二的〔神戸の輸出の隨一は何ですか〕神戸出口的大宗貨是甚麼〔天下隨一の名勝〕天下獨一無二的名勝

するうん水運〔名〕水運

するうん衰運〔名〕衰運

するえう水曜〔名〕禮拜三、星期三

するゑい水泳〔名〕泗水、浮水〔水泳服〕〔水〕泗水衣

するか誰何〔名〕誰何、誰啊

するか垂下〔名〕搭拉

するがい水害〔名〕水害、水災

するかう推考〔名〕推想

するかう遂行〔名〕遂其所爲

するかう推敲〔名〕推敲

七六一

すゐ

ずゐかう隨行〔名〕跟着去、陪着去
すゐかく醉客〔名〕醉客、醉漢
すゐかん水旱〔名〕水旱、旱潦
すゐかん醉漢〔名〕醉鬼、醉漢
すゐがん醉眼〔名〕醉眼
すゐき水氣〔名〕①濕氣、潮氣②蒸氣③浮腫〔身體カ水ツ、クレニナル〕、水腫
ずゐき隨喜〔名〕隨喜
ずゐき瑞氣〔名〕瑞氣
ずゐき芋苗〔名〕芋頭莖兒
すゐきう推究〔名〕推究、論究
すゐぎう水牛〔名〕水牛
すゐきふ推及〔名〕推及
すゐきやう醉狂〔名〕①醉癲、酒後無德、醉鬧、撒酒瘋兒②好事、好逞能的
すゐきよ推舉〔名〕薦、舉薦、推

すゐ

舉、推薦、薦舉、提舉〔推舉狀〕
〔ジャウ〕薦信、薦書、薦函、舉薦書
するぎよ水魚〔名〕水魚
するきん水禽〔名〕水禽
するぎん水銀〔名〕水銀、汞
するくわ水瓜〔名〕西瓜
するくわん吹管〔名〕吹管
するぐん水軍〔名〕水軍、海軍
するげん水源〔名〕水源
するげん推原〔名〕推原、溯源
するさい水災〔名〕水災
するさいぐわ水彩畫〔名〕水彩畫、水色畫
するさう水草〔名〕萍、水草〔水草を逐うて住む〕逐水草而居
するさう水葬〔名〕水葬

すゐ

するさう水櫃〔名〕水櫃子
するさう脾臟〔名〕脾、脾腺
するさう瑞相〔名〕吉兆
するさつ推察〔名〕猜想、猜諒、估摸、料估、揣摩
するさん推參〔名〕趨赴、登門拜訪
するさん水産〔名〕水産〔水産物〕
〔カ〕水産物、海味
するさん推算〔名〕推算
するし水死〔名〕淹死
するし垂死〔名〕垂危
するし水師〔名〕水師、水軍、海軍
するし出師〔名〕出兵、出師
するし粹士〔名〕風流俊俏的人、風流才子
するじ炊事〔名〕做菜飯的事
するじ推辭〔名〕推辭

七六三

する

ずるじ 隨時(名) 隨時
 するしつ 水質(名) 水性
 するしや 水車(名) 水車、水磨
 するしや 水瀉(名) 水瀉
 するしやう 水晶(名) 水晶、水精、
 水玉(紫水晶)(ミラサ) 紫石英、紫
 晶(黒水晶)(クロ) 黒石英
 ずるしやう 瑞祥(名) 祥瑞
 ずるしやう 隨性(名) 生來的命兒
 するじやうけいさつ 水上警察(名)
 水面警察、水警、水巡捕房
 するしやく 水尺(名) 水準
 するじやく 衰弱(名) 衰弱、衰敗、
 衰頹 「腫、水腫、水脹、
 するしゆ 水腫(名) 浮腫、水腫、痲
 するしゆ 水手(名) 水手

する

ずるじゆう 隨從(名) 隨從、隨同、
 隨行
 するじゆうん 水準(名) 水準、水平
 ずるしよ 隨處(名) 到處
 するじようき 水蒸氣(名) 水氣、蒸
 氣、水蒸氣
 するしん 水神(名) 水伯、水神、龍
 するしん 推進(名) 推進「推進機」
 (キ) 推進機、暗輪、機輪
 するじん 醉人(名) 醉漢、醉鬼
 するじん 粹人(名) 風流才子、風
 流俊俏的人
 するじん 隨身(名) 跟隨、跟伴的
 するす 推ス(推勢動) 推、量、諒
 するせい 彗星(名) 彗星、掃帚星
 するせい 水星(名) 水星、辰星
 するせい 水勢(名) 水勢

する

するせいがん 水成岩(名) 水成岩、
 水渣石、水成石
 するせき 燧石(名) 火石、燧石
 するせん 水仙(名) 水仙
 するせん 垂線(名) 垂線、直角線、
 垂直線
 するせん 水戰(名) 水戰
 するせん 推薦(名) 與するきよ同
 するぜん 垂涎(名) 垂涎
 するそ 水素(名) 水素、輕、輕氣、
 氫(hydrogen)
 するそ 吹奏(名) 吹奏
 するそく 推測(名) 猜、猜想、估
 摸、料估、測、測度、推、推知、推
 得
 するぞく 水族(名) 水生動物、水
 棲動物、水族(水族館)(ケウイ) 水

族館

するたい 推戴(名) 推戴 「落
 するたい 衰退(名) 衰退、衰微、衰
 するたい 衰頹(名) 衰頹
 するたい 醉態(名) 醉態
 するたう 推倒(名) 推倒
 するたう 隧道(名) 穿山路、穿山
 洞、山洞、隧洞
 するたう 水道(名) ① 自來水的水
 溝 ② 自來水、算水
 するたふ 出納(名) 出納、銀錢出
 入、收支(出納掛)(ガカリ) 管賬目
 的、管銀房的、賬目先生(出納
 簿)(カ) 銀錢日流、收支簿(出納を
 司る) 管銀錢出入、管賬目(出納
 吏)(カ) 出納吏、司庫官、會計員

する

するだん 推斷(名) 推斷、推定
 するち 推知(名) 推知、推得、推測
 するちゆう 水中(名) 水裡頭
 するちよく 垂直(名) 垂直、豎立、
 豎直、鉛直、直立(垂直線)(セン)
 垂線、垂直線、直角線
 するづつ 水筒(名) 水筒
 するてい 水底(名) 水底
 するてい 推定(名) 自一推萬、推
 定、測定、推知、推斷(事實から
 推定する) 由事實推斷
 するてう 水鳥(名) 水鳥
 するてき 水滴(名) 水點、水滴
 するでん 水田(名) 水田
 するど 水土(名) 水土
 するとう 水痘(名) 水痘、假痘、雞
 痘、水痘症

する

するとう 水筒(名) 水筒
 するどん 水團(名) 涼粉兒
 するなう 水囊(名) 馬尾羅兒
 するなふ 出納(名) 與出納(する)同
 するなん 水難(名) 水災、水難
 (man)
 するのう 水膿(名) 膿水兒
 するはい 衰敗(名) 衰敗
 するはい 衰廢(名) 衰頹
 するはう 水泡(名) 水泡
 するばん 水盤(名) 水仙花盆
 するはん 隨伴(名) 跟隨
 するび 衰微(名) 衰微、衰敗、衰
 落、退化
 するひつ 水筆(名) 水筆
 するひつ 隨筆(名) 隨筆、隨錄、見

する

聞隨録

するふ水夫(名) 水手、撥船的
 するふ炊夫(名) 飯夫
 するふ炊婦(名) 做飯的老婆子
 するぶん水分(名) 水頭兒
 するぶん隨分(副) 頗、很
 するへい水兵(名) 水兵、水勇
 するへい水平(名) 水平、水準(水平器)
 線(キ) 水準儀、水平器(水平線)
 線(セ) 水平線(水平面)
 平面(水平社) 古之屠戸(水平運動)
 運動(水平坑道) 解放屠戸階級之
 するへい隨兵(名) 跟隨的兵
 するへう水豹(名) 與あざらし同
 するへん水邊(名) 水邊兒
 するほ酔歩(名) 酔歩

する

するほ水母(名) 水母、海月、海蜇
 するま睡魔(名) 睡魔、困來鬼
 するま揣摩(名) 揣摩
 するみつたう水蜜桃(名) 蜜桃
 するみやく水脈(名) 水脈
 するみん睡眠(名) 睡覺、眠、睡眠
 するむ睡夢(名) 睡覺夢見
 するむ瑞夢(名) 吉夢
 するめつ衰滅(名) 衰滅
 するめん水面(名) 水面
 するもん水門(名) 閘、閘門、水門
 子、水關兒
 するもん水紋(名) 水紋兒
 するやく水藥(名) 水藥
 するよく水浴(名) 凉水洗澡、洗凉水澡
 するらい水雷(名) 水雷、魚雷(水雷)

する

雷驅逐艇(チクテイ) 滅魚雷艦、驅滅水雷艦(水雷火) 水雷、魚雷(水雷艇)
 するり水利(名) 水利
 するり推理(名) 推理
 するりう水流(名) 水流
 するりく水陸(名) 水陸
 するりやう水量(名) 水量
 するりやう推量(名) 猜想、猜諒、估摸、料估、村量、揣摩(推量が當った) 猜著了、猜對了、猜對了
 [無暗に推量する] 胡猜(八九分まで推量が付いた) 猜著了八九
 するれい衰齡(名) 衰老
 するれん水練(名) 浮水、泗水
 するれん睡蓮(名) 睡蓮
 するろ隧路(名) 隧道、穿山開路

七六六

するろ水路(名) 水路

するろん推論(名) 推而論之、推
 する末(名) 末、末尾(光緒の末) 光緒末年(世も末になった) 到了末脚子年了
 ②季(末の子) 季子、老兒子(末の世) 季世、末脚子年
 梢(木の末) 樹梢兒
 ④後代、後裔
 [名門の末] 名門之後
 ⑤將來、後來(末を案じる) 愴記將來(未恐ろしい) 將來可怖的
 ⑥底(年の末) 年底
 ⑦到底、究竟(喧嘩の末夫婦別(ワカフ)した) 他們夫妻倆打架究竟離別了
 [末の約束をする] 契爲夫婦、訂終身
 するおき据置(名) ①安置、固定
 ②長存、定期
 するおく据置ク(四段他動) ①安置、

固定(長存、定期)

するこ末子(名) 季子、老兒子、末
 するざる末末(名) ①後來、將來
 ②後代、後裔
 ③人民、百姓
 するぜん据膳(名) 擺飯、擺臺(据膳で食ふ) 1. 坐着吃、茶來動手
 飯來張口(子第ガ)、吃現成兒的飯
 (2) 意味 2. 坐着得便宜
 するつかた末方(名) 底、杪(五月の末方) 五月底
 するつく据付ク(下二段他動) 安上、安置、固定、架、裝置、裝修(テーブルを据付ける) 安上一個桌子(砲臺に砲を据付ける) 砲臺上架砲(電燈を据付ける) 安電燈
 [機械を据付ける] 裝置機器
 するなり末生(名) 樹熟的果子、

樹上熟

するのよ末世(名) 季世、澆季
 するひろ末廣(名) 扇子、摺扇
 するぶる据風呂(名) 澡盆
 するん寸(名) ①寸②尺寸(寸を取る) 量尺寸
 (すん) 哈(うんとすんとも云はない) 也不哼也不哈
 すんいん寸陰(名) 寸陰
 すんか寸暇(名) 一點兒閒工夫
 すんがう寸毫(名) 寸毫、絲毫(寸毫の違もない) 絲毫不錯
 すんかん寸簡(名) 短札、短簡、寸函、寸柬、寸緘
 ずんぎり寸切(名) 直切
 すんこう寸功(名) 寸功
 すんさつ寸札(名) 與すんかん同

するすゑ

すゑ

すゑすん

七六七

すん

すんし寸志(名) 寸志、寸忱、芹私、芹意(聊寸志を表し候)聊表寸忱(ほんの寸志です)不過小意思 「寸(寸法)」

すんしやく寸尺(名) ①寸尺 ②尺

すんずん(副) 快快當當的(工事)がすんずん進む)工程快快當當的進行(敵軍をすんずん撃退する)把敵兵快快當當的打退了

すんだん寸斷(名) 寸段兒、切了

すんちち寸地(名) 寸地 「個小塊

すんちよ寸楮(名) 與すんかん同

すんてつ寸鐵(名) 寸鐵(寸鐵人を殺す)寸鐵殺人(寸鐵も帯びない)手無寸鐵

(すんでに(副) 殆、幾(少し)乎、幾幾乎、差一點兒(すんでに命を落

すんせ

す處だった)差一點兒連我的性命都保不住了

(すんでのこと(副) 同上

すんとりむし寸取虫(名) 與しやくとりむし同

すんばふ寸法(名) ①尺寸(法) ②次序(寸法書)(がき) 尺寸單子(寸法を取る)量尺寸

(すんぶり(副) 一冒兒(水中へすんぶり洗む)往水裡頭一冒兒沈下去了

すんぶん寸分(副) 毫、絲毫、一點兒也(寸分の相違がない)毫無差錯

せせ

せ背(名) ①背、脊梁背 ②身量

せ

後、後頭(背が高い)身量高(山の背)山後頭(背に腹は換へられぬ)不能因輕傷重

せ瀨(名) ①瀨、湍 ②時候、法子、事情(瀨が早い)河流甚快(浮む瀨がない)沒有出頭の日(遣る瀨がない)無法遣悶

せ畝(名) 畝(三百六十弓一畝トス(約我ガ六畝ニ合セ七寸ニ當ル)

せ爲(在變第一變化) 爲、做、幹(何も爲ないで遊んで居る)任甚麼不做 竟閒着

せ(使性助動第一第二變化) 使、令、俾、叫

「御飯(ゴハ)を食はせない」不叫人吃飯

ぜ是(名) 是(天道は是非か)天道是(ぜ(助) 與ぞ同、添在他語之下激其語勢、略(さうすると善くない

せい性(名) ①(性)性、性兒、性質、性情、天性(性は相近し)性相近(文) (性はもと善なり) 性本善(文) ②性慾、情慾、色慾 ③性、男女的、陰陽的、男女雌雄之別

(男性)(ダシ)男性(女性)(メ)女性 (中性)(チュウ)中性、無性的、無陰陽之別的

せい制(名) 制

せい製(名) 製

せい聖(名) 聖

せい生(名) 生

せい姓(名) 姓

せい勢(名) 勢、勢力(勢を落す)灰心、喪氣、敗興、挫銳氣(勢を割ける)勉勵人、鼓舞人心(勢を割

せい

せい割勢、去勢、闊(其勢三萬騎) せい正(名) 正 「有三萬騎之勢

せい靜(名) 靜

せい精(名) ①精、細 ②精神、精力 (精を出す)發憤、振刷精神、憤勉、努力、勉力、出力、儘着力兒

③妖精(木の精)樹精

せい成(名) 成

せい税(名) 税、課、捐、賦税、錢糧

(家屋税)(カラク)房租(地租)(チ)地

税、田賦、田租、地丁、錢糧(輸出税)(ユシユ)出口税、輸出税(輸入税)(ユニユ)進出口税、輸入税(所得税)(ゲト)進項税、所入税、所得税(地方税)(チハウ)地方税(附加税)(フカク)附加税(營業税)(エイゲ)營業税(國税)(コク)國税(雜税)(ザツ)業税(國税)(コク)國税(雜税)(ザツ)

せい

雜税(車税)(クルマ)車捐(關稅)(カウシ)關稅(稅を取る)抽捐、征

稅、抽稅、賦課、課稅、徵稅、征收錢糧、徵收稅銀(稅をかける)同上(稅を納める)上稅、納稅、交稅、納餉、完稅、交納錢糧

ぜい贅(名) 贅

せいあん成案(名) 成案

せい聖意(名) 聖心、聖意

せい誠意(名) 誠意、眞心實意、赤誠、眞誠(誠意を以て人をあしらふ)眞心實意的待人(彼は誠意がない)他沒有誠意

せい清遊(名) 清遊

せい生育(名) 生育

せい

（せい）いっばい 精一杯（副） 儘着力
 兒、狼命的、竭力的、努力的、拚
 着命〔精一杯仕事する〕儘着力兒
 做活、盡着力作、竭盡筋力
 せい 晴雨（名） 晴雨、晴天陰天
 〔晴雨に拘はらず〕風雨勿阻〔晴
 雨儀〕（シ）風雨表〔晴雨計〕（ケ）同
 せい うち海馬（名） 海馬
 せい うち青雲（名） 青雲
 せい 盛運（名） 盛運
 せい 精銳（名） 精銳
 せい 道履嘉勝、起
 居迪吉〔貴家皆様愈御清榮大慶に
 存候〕園府諸位起居迪吉爲欣爲
 頌
 せい 精液（名） 精液、精水
 せい 盛宴（名） 盛設、盛宴

せい 製鹽（名） 製鹽
 せい おん 聲音（名） 聲音〔聲音學〕
 せい おん 聲音學
 せい おん 清音（名） 音清澄者謂清
 音、五十音圖中之音都屬清音
 せい か 聲價（名） 聲價〔聲價を落す〕
 損聲價
 せい か 生家（名） 生身的家
 せい か 正價（名） 實價
 せい か 請假（名） 請假（chia⁴）
 せい か 盛夏（名） 盛夏
 せい かい 正解（名） 正解說
 せい かい 政海（名） 政界
 せい がい 生涯（名） 生涯、一輩子
 せい かい けん 制海機（名） 制海權
 せい かい 精巧（名） 精巧、精緻〔精
 巧品〕（シ）精工、細工〔精巧に出

來て居る〕做的很精巧〔精巧なる
 品物〕精巧的東西〔此機械は精巧
 だ〕這個機器做得精緻
 せい 政綱（名） 政綱〔政綱を發
 布す〕發布政綱
 せい 生硬（名） 生冷、不雅馴、
 不自然〔字句生硬〕（ジク）字句生
 冷、字句不雅馴
 せい 性行（名） 性質行爲
 せい 性交（名） 交合、交媾、雲
 雨、行房、性交
 せい 正確（名） 精確、正確、
 準、準確、靠準兒〔この時計は正
 確です〕這個表走得準、這個表
 最準確〔彼は何事をするにも正確
 です〕他做甚麼很靠準兒〔正確

〔時間〕準時、正時〔彼の報告は
 實に正確です〕他的報告實在精
 確〔彼の勘定は中々正確です〕他
 的算盤打的很準確絲毫不錯
 せい 性格（名） 性格兒、品性
 せい 正客（名） 正客
 せい 政客（名） 論政治之人
 せい 星學（名） 星學、星氣學
 〔星學者〕（シ）星士、星者、星文
 先生
 せい 稅額（名） 稅額、稅項
 せい 背恰好（名） 相貌
 せい 清閑（名） 清閒
 せい 精氣（名） ①精、精氣 ②物
 醇者、精粹、精英 ①「空氣
 せい 清氣（名） 清氣、淨氣、清鮮
 せい 正氣（名） 正氣

せい 生氣（名） 生氣、神氣、氣
 力、精力〔生氣ある〕有精神的、
 有神氣的、有氣力的、有精力
 的、活潑的
 せい 世紀（名） 一世紀、百歲、世
 紀
 せい 成規（名） 章程、規則、規
 定、成規〔成規の手續する〕按照
 章程辦
 せい 制規（名） 規制、規例
 せい 正義（名） 正義
 せい 正偽（名） 眞假（chia³）
 せい 請求（名） 討、索、要求、
 索取、討索〔請求書〕（シヨ）本單、
 訂單〔手紙にて請求被下候はば直
 に御送り申上へ候〕凡蒙函索
 即行寄奉 ①「急、急性子
 せい 性急（名） 性急的、性子

せい 盛況（名） 盛況
 せい 逝去（名） 逝、逝世、長逝
 せい 生魚（名） 生魚
 せい 制御（名） 制御
 せい 聲曲（名） 音曲
 せい 禁制、禁令
 せい 生擒、活捉、拿
 活的
 せい 精勤（名） 精勤、黽勉
 せい 稅項、捐項、稅
 せい 成句（名） 成句、成語
 せい 制空權（名） 制空權
 せい 做點心
 せい 金錢、銀錢、正
 幣、現幣
 せい 精華（名） 精華

せいぐわい 政界(名) 政界
 せいぐわい 盛會(名) 盛會
 せいぐわい 制外(名) 禁制以外
 せいくわつ 生活(名) ①生活、活
 ②生意、生業、營生 ③養生、謀
 生(生活費) ④嚼用、嚼過兒、生
 活費(生活困難) シナゴ 生活艱難、
 謀生之路窄、不容易謀求生活
 「生活の道」 謀生之道、生活之
 計、養生之計(彼はあの工場で勞
 働生活をして居る) 他在那個工
 廠裏做勞動生活(自分で生活し
 て行く) 自謀生活、自食其力(給
 料で生活する) 吃俸度日、仗着
 薪俸过日子
 せいくわん 生還(名) 生還
 せいくわん 盛觀(名) 壯觀

せいぐわん 誓願(名) 誓願
 せいぐわん 請願(名) 請願、稟、稟
 請、陳請(請願書) シヨ 請願書、
 稟、稟帖、稟呈(請願人) シニ 具
 稟人、遞稟人、呈請人(請願書を
 差出す) 遞稟帖、呈稟、上稟(請
 願委員) シヤシ 請願代表者
 せいくわん 税關(名) 税關、海關
 「税關長」 ショウ 稅務司
 せいけい 生計(名) 生計、生活、養
 生、營生、謀生、过日子(一本の
 筆で生計を立てる) 靠着一管筆
 过日子
 せいけい 整形外科(名) 畸
 形療學、畸形外科
 せいけい 政教(名) 政教
 せいけい 性教育(名) 性教育

せいけつ 清潔(名) 清潔、乾淨、潔
 淨(部屋が清潔です) 屋子潔淨
 「清潔に洗ふ」 乾淨的洗 「生
 せいげふ 生業(名) 生業、生意、營
 せいげふ 正業(名) 正經事、正經
 せいげふ 成業(名) 成業 「事業
 せいけん 政權(名) 政權
 せいけん 政見(名) 政見(政見を發
 表する) 發表政見
 せいけん 聖賢(名) 聖賢
 せいけん 清健(名) 清健(愈御清健
 欣喜の至に存候) 德躬清健起居
 納祐爲欣爲頌
 せいげん 誓言(名) 誓言、約言
 せいげん 聲言(名) 聲言、聲明
 せいげん 制限(名) 限制、定點、拘

東、節制(人間の慾望は制限がな
 い) 人的慾望沒有限制(食物を
 制限する) 限制飲食(制限外の支
 出) 透支(幼年工制限) 限制孩工
 「産兒制限」 生育節制、限制生
 産、限止産子、節育
 せいげん 世諺(名) 常言、諺語
 せいげん 贅言(名) 閒言、泛言、贅
 言、贅語、贅叙
 せいこ 世故(名) 世故
 せいこ 正誤(名) 改正、訂正、勘誤
 せいこ 成語(名) 成語、成詞
 せいこう 成功(名) 成功、成效、成
 就、得成、收效、奏功
 せいこく 正刻(名) 正時辰
 せいこつ 整骨(名) 揣骨
 せいこん 精根(名) 精神

せいこん 誓言(名) 誓言、約言
 せいさ 精査(名) 細査
 せいざ 靜坐(名) 靜坐
 せいざ 正坐(名) 正坐、端坐
 せいざ 星座(名) 星象、星宿
 せいさい 正妻(名) 嫡妻、正妻、正
 室、正夫人、正太太
 せいさい 精細(名) 精細
 せいさい 制裁(名) 約束、阻遏、禁
 約、裁制(制裁を受ける) 受裁制、
 被約束
 せいさう 悽愴(名) 悽愴
 せいさう 正裝(名) 官服
 せいさう 盛裝(名) 盛服、衣冠
 せいさう 星霜(名) 星霜、歲月
 せいざう 製造(名) 製造、做、造、

造作(製造家) カ 製造家(製造
 所) シヨ 廠子、局子、作坊、工藝
 廠、製造廠、製作場
 せいざう 聖像(名) 聖像(佛陀、孔子、那
 造) せいざく 製作(名) 製造、製成、做、
 造成(名簿を製作する) 造成名冊
 「文書を製作する」 繕寫文書(製
 作所) 廠子、局子、作坊、製造廠、
 工藝廠、製作場(製作品) シニ 製
 作品、製造品、製品
 せいさく 政策(名) 政策
 せいさく 成策(名) 成竹、成算
 せいさつ 生殺(名) 生殺
 せいさつ 制札(名) 告示牌、禁牌
 せいさん 成算(名) 成竹、成算
 せいさん 精算(名) 細算
 せいさん 清算(名) 清理、清算、清

欠、清帳、把賬目結算清楚〔清算書〕(ガキ) 清單〔清算人〕(ニ) 清理人、清理賬目人、破産管財人〔清算表〕(ウ) 出入數目表、總結資本帳、貸債平衡單、貸借對照帳、盈虧清帳、決算表

せいさん 生産(名) 出產、殖産(生産率)(リツ) 出產率(生産高)(ガ) 出產額數(生産物)(ツ) 產品、生産物、産物、出產、殖産物、物産(生産費)(ヒ) 出産費(生産力)(リョク) 生産力、殖産力

せいざん 青山(名) 青山

せいし 青史(名) 青史

せいし 聖旨(名) 聖旨

せいし 誓詞(名) 誓言 「息、靜息

せいし 靜止(名) 靜止、休息、止

せいし 制止(名) 禁止、禁阻、抑制、禁制〔警官がいくら制止しても制止しきれない〕 巡警怎麼禁止也禁止不來

せいし 世子(名) 世子、公子

せいし 生死(名) 生死(見いきしに條下)

せいし 誓紙(名) 誓書

せいし 製紙(名) 造紙、抄紙〔製紙機械〕(キカイ) 造紙機〔製紙業〕(ギョウ) 紙業〔製紙術〕(ジュツ) 造紙術〔製紙場〕(ジヤウ) 造紙坊、造紙廠

せいし 製絲(名) 造絲

せいじ 世事(名) 世故

せいじ 政事(名) 政事

せいじ 青磁(名) 青瓷

せいしき 正式(名) 正式、正經、照禮、按規矩、就範的、循規的、循

格式的〔正式に契約を結ぶ〕立正式合同〔正式の手續〕正式的手續〔正式に結婚する〕明媒正娶

せいし 制聲(名) 喝道

せいしつ 性質(名) ①質、性兒、性質、性子、性情、本性、性格、品格、人格〔あの兄弟は性質が反對です〕他們哥兒倆性情彼此相反 ②成色、品質〔この銀は性質がよくない〕這個銀子成色不好 ③理、事理〔それは問題の性質が違ひます〕那另一回事、您說的和這個不能一概而論〔それは同じ性質のもです〕是一個理

せいじつ 生日(名) 生日

せいじつ 誠實(名) 實誠、眞心的〔彼は人間が誠實です〕他人實誠

〔誠實に取扱ふ〕竭誠辦理

せいしふ 世襲(名) 世襲〔世襲の役目〕世職〔世襲の爵位〕世襲爵位〔世襲財産〕祖業、世産、遺産、家業、遺傳的産業、遺下來的産業

せいしや 清寫(名) 謄清 「社

せいしや 政社(名) 政治團體、政

せいしや 正斜(名) 正斜、正歪

せいじや 正邪(名) 正邪

せいじやう 聖上(名) 皇上

せいじやう 性情(名) 性情

せいじやう 清淨(名) 清淨

せいじやく 脆弱(名) 糟脆

せいしゆ 清酒(名) 清亮的酒

せいじゆ 聖壽(名) 聖壽

せいしゆく 靜肅(名) 肅靜

せいじゆく 成熟(名) 熟、熟成

せいしゆつ 正出(名) 嫡出

せいしゆん 青春(名) 青春〔青春期〕

(キ) 青春期

せいしよ 清書(名) 謄清、繕寫、繕清〔文書を清書する〕繕寫文書

せいしよ 聖書(名) 聖書、聖經

せいしよ 誓書(名) 誓書

せいしよく 生色(名) 活潑氣色、勃勃生氣

せいしよく 生食(名) 生食、生着

せいしよく 正色(名) ①正色(顏色ヲ正ス) ②五色

せいしよく 聲色(名) 聲色

せいしよく 生殖(名) 繁殖、蕃殖、生殖、生産、生育、孳生〔生殖器〕

(キ) 生殖器、陰陽物、孳生具、孳

生經、陰陽經具〔男子生殖器〕陽物、陽具、男孳生具〔女子生殖器〕陰物、陰具、女孳生具

せいしん 誠心(名) 誠心

せいしん 星辰(名) 星辰、星星

せいしん 生辰(名) 生辰、生日

せいしん 精神(名) ①心、心地、心意、心神、精神〔精神一到何事不成(多)〕〔彼はどんな精神で居るか〕他怎麼個居心不能測知〔精神を作用する〕振刷精神、振奮精神〔精神を込めてする〕用上精神

做、貫注心神〔精神上の愛〕精神上的愛情 ②氣力、精力、精氣、精神 ③精魂 ④宗旨〔法律の精神〕法律之精神、法律之宗旨

〔精神が狂ふ〕瘋癲〔精神療法〕
 (ウツレ)精神療法〔時代精神〕(ジダイ)
 時代精神〔精神教育〕(ウイク)精神
 教育〔精神家〕(カ)正經人、善人
 〔精神的〕(テキ)合乎道德的〔精神
 病〕(ビヤウ)瘋病、精神病
 せいしん 清新(名) 清新、新鮮、清
 せいじん 聖人(名) 聖人 「爽
 せいじん 正人(名) 正人
 せいじん 成人(名) 成人、成丁〔成
 人教育〕成人補習教育、成年補
 習教育、成人教育 「製造
 せいす 製ス(佐變他動) 製、做、造、
 せいす 制ス(佐變他動) 制〔勝を制す〕
 制勝〔先んずれば人を制す〕先則
 せいす 征ス(佐變他動) 征 「制人
 せいすう 整數(名) 整數、完全數

せいすう 世數(名) 輩數
 せいすい 清水(名) 清亮の水
 せいすゐ 盛衰(名) 盛衰、隆替
 せいせい 清清(副) 爽快、痛快、清
 爽〔氣が清清した〕心裡覺着痛
 快、神清氣爽的
 せいせい 青青(副) 青青
 せいせい 井井(副) 井井〔井井條あ
 り〕井井有條
 せいせい 聖世(名) 聖世、聖代
 せいせい 齊整(名) 齊整、整齊
 せいせい 濟世(名) 濟世
 せいせい 精製(名) 精製〔精製品〕
 (ヒシ)細貨
 せいぜい 精精(副) 〇儘着力兒、
 狠命的、竭力的、努力的〔精精骨
 を折ります〕儘着力兒出力 〇至

……也〔高くても精精五六圓位な
 ものです〕至貴也就是五六塊錢
 的光景
 (ぜいぜい) 喝嘍喝嘍的〔喘息
 でぜいぜい云ふ〕喘得直嘍嘍喝
 嘍的
 せいせい 堂堂(副) 堂堂正正
 せいせき 成績(名) 成績、成效〔成
 績が見える〕有成效、見成效〔今
 度の試験に彼は成績がよかった〕
 這回考試他取的很高 「灰
 せいせき 生石灰(名) 生石
 せいせん 生鮮(名) 新鮮
 せいせん 精選(名) 精選
 せいぜん 生前(名) 在世的時侯
 せいぜん 整然(副) 整然
 せいそ 精疎(名) 精粗

せいそく 棲息(名) 棲息
 せいそく 正則(名) 正經
 せいそく 正續(名) 正續
 せいそく 稅則(名) 稅則
 せいぞろ 勢揃(名) 齊兵、隊伍
 集合、召集兵
 せいそん 生存(名) 生存、活命、在
 世〔生存競争〕(ヤウサキ)生存競争、
 爭存、競争
 せいたい 政體(名) 政體
 せいたい 世態(名) 世態
 せいたい 聖代(名) 聖代、聖世
 せいたい 盛大(名) 盛大
 せいたい 正大(名) 正大〔正大光明〕
 (ウツク)正大光明、明堂正道
 せいたいりく 西大陸(名) 西大陸
 せいたう 正當(名) 正當、當然、合

法、適法〔正當の手續を經る〕經
 正當の手續〔法律上正當と認め
 る〕法律上認爲正當〔正當の行
 爲〕適法的行爲〔正當防衛〕(ウエバ)
 正當防衛、自衛、自護
 せいたう 政黨(名) 政黨
 せいたう 征討(名) 征討
 せいたう 正道(名) 正道
 せいたう 政道(名) 政道
 せいたう 聖堂(名) 文廟、聖廟
 (せいたか)背高(名) 高身量
 せいたく 請託(名) 託、託附、人情
 せいたく 清濁(名) 清濁 「囑咐
 せいたく 贅澤(名) 奢侈、奢華、潤
 〔贅澤をする〕作潤〔贅澤を云ふと
 罰が當る〕你說這麼過福的話後

來一定不得好〔贅澤品〕(ヒシ)奢
 侈品、奢華品
 せいだん 政談(名) 政論
 せいだん 聖斷(名) 聖斷、聖裁
 せいち 整地(名) 平墊基地(地ナラシ、
 平墊地畝(畑ナラシ)
 せいち 精緻(名) 精緻、極清細
 せいち 生地(名) 生地、出生處、誕
 生處
 せいぢ 政治(名) 政治、政事、國政
 〔政治家〕(カ)政治家、政客、經世
 家〔政治手腕〕(ウツシ)政治手腕、
 治國之才、經世之才
 せいちう 掣肘(名) 掣肘
 せいちく 筮竹(名) 筮草
 せいちや 製茶(名) 製茶、造茶
 せいちやう 正廳(名) 客廳

せい

せいちやう 成長(名) 長成(chang³)
 せいちやう 生長(名) 生長(chang³)
 せいちゆう 誠忠(名) 忠誠
 せいちゆう 精蟲(名) 精子、精微、
 精純
 せいちよく 正直(名) 正直、實誠
 せいづ 製圖(名) 起圖樣、打樣、畫
 圖、製圖、繪圖、作圖(製圖板)
 (パン) 圖板
 せいつう 精通(名) 精通、精明、明
 透、熟習、嫻熟、諳練
 せいてい 制定(名) 制定、定立(規
 則を制定する) 制立規條、定立
 章程
 せいてい 成丁(名) 成丁、成人
 せいてい 蜻蜓(名) 蜻蜓、螞螂
 せいてい 井底(名) 井底(井底の蛙)

せい

大海を知らず 井底之蛙不知大
 せいとう 聲調(名) 腔調 「海
 せいとう 生鐵(名) 生鐵
 せいとう 製鐵(名) 製鐵、鑄鐵(製
 鐵所) (シヨ) 製鐵所、鐵工廠
 せいとう 晴天(名) 晴天
 せいとう 盛典(名) 盛典
 せいとう 青天白日(名) 青
 天白日
 せいとう 生徒(名) 學生、生徒
 せいとう 制度(名) 制、制度(紙幣
 制度) (シイ) 紙幣制度(封建制度)
 (ホウ) 封建治制(貨幣制度) (カヘイ)
 幣制、圓法
 せいとう 西土(名) 西洋、泰西
 せいとう 正統(名) 正統、嫡派
 せいとう 青銅(名) 青銅

せい

せいとう 成童(名) 成童(男子十五歳ニ)
 せいとう 制動機(名) 制動機、停
 輪機
 せいとう 生徒監(名) 監學
 せいとう 整頓(名) 整頓、整理
 せいとう 生肉(名) 生肉
 せいとう 贅肉(名) 贅肉、贅肉
 せいとう 生乳(名) 新鮮牛奶
 せいねん 整年(名) 整一年
 せいねん 生年(名) 生年(生年月日)
 年庚
 せいねん 青年(名) 青年、青春(青
 年期) (キ) 青年期(青年會) (クワイ)
 青年會、基督教青年會
 せいねん 盛年(名) 盛年(盛年重
 來) (キ) 盛年不重來(文)
 せいねん 成年(名) 成年、成丁

七七八

せい

せいばい 成敗(名) 成敗
 せいばい 斬殺(名) ① 辦政務 ② 罰、
 責備
 せいほう 西方(名) 西方
 せいぼう 正帽(名) 官帽
 せいぼう 制帽(名) 制帽
 せいぼう 聲望(名) 聲望、名望
 せいほう 正方形(名) 正方形
 せいばつ 征伐(名) 征伐、討伐
 せいばつ 製法(名) 製法、造法、做
 せいばつ 政法(名) 政治法律「法
 せいばつ 税法(名) 税法
 せいばん 生蕃(名) 生蕃、野人
 せいばん 正反對(名) 正反對
 せいひ 成否(名) 成否、成不成
 せいひ 政費(名) 政費

せい

せいび 精美(名) 精美
 せいひつ 省筆(名) 簡筆
 せいひつ 世評(名) 世論
 せいびやう 性病(名) 花柳病、生
 殖器病
 せいひよう 製氷(名) 造氷
 せいひん 製品(名) 製品、製造物、
 工作物、工作品、製作品
 せいひん 清貧(名) 清貧
 せいひん 政府(名) 政府、官府
 せいひん 正副(名) 正副
 せいひん 征服(名) 征服、打服、克
 服、平服、壓服
 せいひん 正服(名) 官衣、官服
 せいひん 制服(名) 制服
 せいひん 生物(名) 生物、活物
 せいひん 贅物(名) 贅疣、贅物

せい

せいぶん 正文(名) 正文
 せいぶん 省文(名) 省略的文
 せいぶん 成分(名) 心力、精力
 せいぶん 成分(名) 成分、組合的、
 配合的、配合的料 「麵廠
 せいぶん 製粉所(名) 磨坊、磨
 せいぶん 成文法(名) 律例、成
 文法
 せいぶん 成文律(名) 同上
 せいへい 生平(名) 生平、平素、平
 せいへい 精兵(名) 精兵 「常
 せいへい 聖廟(名) 文廟、聖廟
 せいへい 性癖(名) 脾氣、皮氣
 せいへい 生別(名) 生離、離別(生
 別は死別よりつらい) 生離勝於
 せいへん 世變(名) 世變 「死別
 せいへん 政變(名) 政變

七七九

せいほ 聖母(名) 聖母
 せいほ 歳暮(名) ① 年底、年下 ② 年禮(歳末)
 せいほ 生母(名) 生身母、親母親、
 せいほん 正本(名) 正本
 せいほん 製本(名) 釘書「製本屋」
 (ヤ) 釘書匠
 せいまい 精米(名) 細米 「綴
 せいみつ 精密(名) 精密、精細、精
 せいみやく 靜脈(名) 靜脈
 せいむ 政務(名) 政務
 せいむ 稅務(名) 稅務「稅務署」(シヨ)
 せいむ 稅局、稅局子
 せいめい 生命(名) 生命、性命「生
 命を全うす」保全性命「生命を賭
 してかかる」以生命賭之、拚着
 命做「生命保險」(ホケン) 人壽保險、

生命保險、壽險、人險
 せいめい 姓名(名) 姓名
 せいめい 聲明(名) 聲明、表明、發
 表、表白、聲說、述說、說明「聲
 明書」(シヨ) 說明書、說帖
 せいめい 聖明(名) 聖明
 せいめい 清明(名) 清明 (陰曆三月ノ節
 ナリ此日墓ニ
 せいめい 精妙(名) 精妙 「謝子祖先
 謝祭ル」
 せいめん 正面(名) 正面、前面、對
 面 「面を開く」另開生面
 せいめん 生面(名) 生面「別に一生
 ぜいもく 稅目(名) 稅的條目
 せいもん 正門(名) 正門、大門
 せいもん 聲門(名) 嚙口、聲門、嚙
 子眼兒
 せいもん 誓文(名) 誓文、誓書
 せいやう 靜養(名) 靜養、調養

せいやう 西洋(名) 西洋、泰西(西
 洋醫者)(イシヤ) 洋醫「西洋犬」(イヌ)
 洋狗「西洋家具」(カグ) 西洋傢俱
 「西洋形」(ガタ) 洋式、西式「西洋
 釘」洋釘子「西洋畫」(ガク) 洋畫兒
 「西洋菓子」(クワシ) 西洋點心「西洋
 館」(クワン) 洋房子、洋樓、西式房
 屋「西洋小間物」(マモノ) 西洋雜貨、
 洋廣雜貨「西洋紙」(シ) 西洋紙、
 洋紙「西洋酒」(シユ) 西洋酒、洋酒
 「西洋人」(ジン) 西洋人、洋人「西洋
 洗濯」(シダク) 洋法洗衣裳「西洋煙
 草」(タバコ) 洋煙「西洋造」(ツクリ) 與
 西洋館同「西洋手品」(テジナ) 洋戲
 法兒「西洋手拭」(ヌグヒタ) 羊肚兒手
 巾、毛巾「西洋綴」(トナ) 洋裝的
 書、洋式裝釘「西洋風」(フエ) 洋

式、西式「西洋蠟燭」(ツラク) 洋蠟
 「西洋料理」(レウ) 西洋菜飯、蕃
 菜、西餐
 せいやく 誓約(名) 誓約
 せいやく 製藥(名) 製藥、做藥
 せいゆ 聖諭(名) 聖諭
 せいよく 性慾(名) 性慾、情慾、色
 慾「性慾障礙」(ヤウガイ) 性慾障礙
 せいよく 制慾(名) 制慾、克己
 せいらい 生來(名) 生來
 せいらい 晴朗(名) 晴朗
 せいらい 整理(名) 整理、整頓、調
 整、修整、清理「休業して店を整
 理する」歇號清帳、收市理帳、
 歇業清帳「室内を整理する」拾掇
 屋子、把屋子歸着
 せいり 生理(名) ① 生理學 ② 百物

生活之道理 性理
 せいり 性理(名) 性理
 せいり 稅吏(名) 稅吏
 せいりう 清流(名) 清流
 せいりつ 聲律(名) 音律
 せいりつ 成立(名) 成立
 せいりやう 精良(名) 精良
 せいりやう 清涼(名) 清涼「清涼劑」
 (ザイ) 涼藥、清涼散 「策
 せいりやく 政略(名) ① 政策 ② 計
 せいりやく 省略(名) 省略、簡略
 せいりやく 精力(名) 心力、精力、
 氣力、精神、生活氣「精力旺盛」
 (ウセウ) 精壯、精力旺「六十になっ
 ても精力は衰へない」到了六十
 歲精力還不衰敗「精力が續かな
 い」精力斷了

せいりよく 勢力(名) 勢力、權勢
 「勢力範圍」(ハンシ) 勢力圈線、勢
 力圈、勢力範圍「勢力のある人」
 有勢力的人、有權勢的「勢力に
 たよる」倚仗勢力
 せいるる 生類(名) 生物、活物
 せいらい 政令(名) 政令
 せいらい 精勵(名) 精勵
 せいらい 蜻蛉(名) 蜻蛉
 せいらい 精靈(名) 靈魂
 せいらい 生靈(名) 生靈 「元
 せいれき 西曆(名) 西曆、陽曆、西
 せいれつ 整列(名) 排隊、列隊
 せいれん 清廉(名) 清廉 「煉
 せいれん 製煉(名) 製煉、化煉、鎔
 せいれん 精鍊(名) 精鍊、練熟
 せいろ 世路(名) 世路

せいせう

せいろう 生路(名) 活路
 せいろう 蒸籠(名) 籠屉
 せいろう 青樓(名) 青樓、妓館
 せいろん 世論(名) 世論
 せいろん 政論(名) 政論
 せいゐん 勢威(名) 勢威 「報
 せいゐん 聲援(名) 助威、捧場架
 せう小(名) ①小 ②小建(跡)〔今月
 は小ですか大ですか〕這月是小
 せう簫(名) 笙 「建是大建
 せう少(名) ①少(スクナシ) ②少(ワカシ)
 せう抄(名) ①抄 ②斗量之名、勺
 之十分之一
 せうあん 小安(名) 小安
 せうい 小異(名) 小異〔大同小異〕大
 同小異

せう

せういん 小飲(名) 小飲、小酌
 せういん 小引(名) 小引
 せうう 小雨(名) 小雨
 せうえう 逍遙(名) 逍遙
 せうえん 小宴(名) 小飲、小酌
 せうえんだん 確煙彈雨(名) 槍
 林彈雨
 せうおう 照應(名) 照應
 せうか 消暑(名) 消暑
 せうが 生薑(名) 薑
 せうかい 紹介(名) 紹介、先容(ど
 うぞ紹介して下さい) 請給我介
 紹(私は貴下に此方を御紹介しま
 す) 我給你們二位見一見(會員
 二名以上の紹介によるもの) 由會

せう

員二名以上之介紹者(紹介の手
 紙) 介紹的信(紹介書) (シ) 同上
 せうかう 燒香(名) 燒香
 せうかう 小康(名) 小康
 せうかう 照校(名) 查對、照對
 せうかう 招降(名) 勸降 (Isyangi)
 說降
 せうかう 小巷(名) 小巷、胡同、衚
 せうかう 消耗(名) 消耗、消費
 せうかく 少額(名) 額數不多、小額
 せうかく 小學(名) ①小學 ②小學
 校〔小學校〕 (カウ) 小學校〔小學兒
 童〕 (ジドウ) 小學校兒童〔小學生徒〕
 (セイト) 同上〔尋常小學校〕 (ジンジャ)
 國民學校、初級小學校

七八二

せう

せうかち 消渴(名) ①婦人痲症 ②
 瘡渴病
 せうかん 小寒(名) 小寒
 せうかん 消閑(名) 消閑、消遣
 せうかん 少閑(名) 少閑、小暇
 せうかん 消寒(名) 消寒
 せうがん 笑顏(名) 笑臉
 せうき 哨騎(名) 哨馬
 せうき 小器(名) 小器、量小
 せうぎ 少妓(名) 少妓、清官、雛妓
 せうぎ 小技(名) 小技
 せうきやう 照鏡(名) 穿衣鏡
 せうきやく 招客(名) 請客
 せうきやく 消却(名) 歸還、還清、
 還賬

せう

せうきよくてき 消極的(名) 消極
 的
 せうきん 銷金(名) 銷金、銷鎔
 せうくわ 小過(名) 小錯兒、小過失
 せうくわ 消化(名) 消化、剋化〔消
 化を助ける〕 助消化〔消化しやす
 し〕 易消化〔消化しにくい〕 難消
 化〔消化出来ない〕 消化不開、消
 化不動〔消化器〕 (キ) 消化器官〔消
 化力〕 (リョク) 消化力〔消化作用〕
 (チヨウ) 消化作用〔消化不良〕 (リョウ)
 胃不消化、胃滯〔消化を進める〕
 増進消化
 せうくわ 消火(名) 消火、救火〔消
 火器〕 (キ) 熄火器、滅火器、藥水
 龍〔消火器用の藥〕 滅火藥水〔消

せう

火栓) (セシ) 消火栓、救火水道栓
 せうくわん 小官(名) 小職
 せうくわん 小官(名) 卑職
 せうくわん 召還(名) 召還、呼還
 せうくわん 召喚(名) 傳 (eh'uan)
 傳喚、召喚、傳呼、傳審、傳到案
 (召喚狀) (ジャウ) 傳票、召喚狀、傳
 審票
 せうけい 小計(名) 零計
 せうけい 少憩(名) 少息
 せうけん 召見(名) 召見、召對
 せうけん 小圈(名) 小圈兒
 せうげん 小言(名) 小言
 せうに 沼湖(名) 沼湖
 せうに 招呼(名) 招呼

七八三